

京都大学(桂)総合研究棟Ⅴ、(桂)福利・保健管理棟  
施設整備事業

要求水準書（案）

平成14年12月26日

京都大学

# 京都大学(桂)総合研究棟Ⅴ、(桂)福利・保健管理棟施設整備事業 要求水準書（案）

## 目 次

本要求水準書（案）の位置付け	1
I. 京都大学(桂)総合研究棟Ⅴ、(桂)福利・保健管理棟の概要	1
1. 施設の設置目的	1
2. 桂キャンパスの構成と本施設の位置付け	1
3. 本施設の特徴	1
II. 施設の設計及び建設に関する要求水準	3
1. 一般事項	3
2. 遵守すべき法規制等	3
3. 適用基準等	3
4. 敷地条件	4
5. 施設概要	6
6. 設計要求水準	9
7. 各エリアの要求水準	28
8. 設計及び施工に関する要求事項	212
III. 維持管理業務に関する要求水準	214
1. 目的	214
2. 一般事項	214
3. 建物保守管理業務	215
4. 設備保守管理業務	216
5. 清掃業務	217
6. 植栽・外構維持管理業務	219
7. 警備業務	220

## 別添資料

- 【資料1】事業計画地位置図、現況配置図(工事範囲区分・インフラ取合等)
- 【資料2】地盤調査資料(ボーリング図)
- 【資料3】概略平面図・概略立面図・概略断面図・面積表
- 【資料4】確認申請関係書類(法規制一覧含む)
- 【資料5】住民説明関係資料
- 【資料6】桂キャンパス基本コンセプト
- 【資料7】機械設備資料
- 【資料8】遠隔講義システム備品資料

## 本要求水準書（案）の位置付け

この要求水準書（案）は、「京都大学(桂)総合研究棟Ⅴ、(桂)福利・保健管理棟」（以下「本施設」という）の整備等に関して、施設の空間機能要件、設備の機能要件、維持管理に関する要件について、本施設が要求する一定の水準を示すものである。

### I. 京都大学(桂)総合研究棟Ⅴ、(桂)福利・保健管理棟の概要

#### 1. 施設の設置目的

京都大学（以下「大学」という。）は、京都大学（桂）総合研究棟Ⅴ、(桂)福利・保健管理棟の施設整備事業（以下「本事業」という。）について、以下のように施設の設置目的を定める。

総合研究棟Ⅴ整備においては、大学院重点化に伴う少人数教育の実施、大学院レベルにおける生涯教育や国際教育の拡大、プロジェクト研究の増加等による既存施設の狭隘化への対応、複数の分野に共通の研究設備を共同利用することによる施設の集約化・効率化並びに地球工学系・建築学系における改組・統合によるフレキシブルな共同利用形態を可能とする施設の整備等を目的とする。

福利・保健管理棟整備においては、飲食・購買等の福利厚生施設として、日夜、教育・研究に取り組む教職員・学生の交流を円滑とするオアシスを提供することを目的とすると共に、大学の保健機関の責務として、新しい保健サービスや診療方法の開発および提供を行うことを目的とする。

#### 2. 桂キャンパスの構成と本施設の位置付け

桂キャンパスは、御陵細谷の豊かな自然に恵まれた、なだらかな丘陵地の一郭に位置し、クラスターAからクラスターDまで4つのエリアによって構成されている。

総合研究棟Ⅴは、桂キャンパスの北西部のクラスターCに属し、テクノ・サイエンスヒルの顔として、住宅地と自然に囲まれた高低差25mの傾斜地に位置している。クラスターCは、グレートコートを中心に配置し、総合研究棟Ⅲ、総合研究棟Ⅳ、総合研究棟Ⅴ、RⅠ棟を周囲に配置し、グレートコートとの連続感・一体感をもった計画とする。また、クラスターA～クラスターCをつなぐヒルトップ・プロムナードとのスムーズな動線計画を確保する。

福利・保健管理棟は、ヒルトップ・プロムナードと正門から北上する道との結接点であり、学内関係者と学外からの来客との交流拠点ともなる「キャンパス・コミュニティ・プラザ」に近接したクラスターBの一角に位置している。

#### 3. 本施設の特徴

##### (1) 総合研究棟Ⅴ

総合研究棟Ⅴは、工学研究科における地球工学系、建築学系の改組・統合による都市環境工学専攻、都市社会工学専攻、社会基盤工学専攻、建築学専攻が共同利用する施設である。

クラスターCの他の総合研究棟と共に、①研究科共同実験室・系共同実験室を整備することで、外部資金導入による大型プロジェクト研究の推進、②実験室ゾーンをオープンラボとすることによる利用規程に基づく流動的な実験室の利用、③実験室の共同利用・有効利用を図ることによるコミュニティスペースやリフレッシュラウンジ等の空間の確保、④学部教育充実のための空間創出、⑤地球環境の諸問題に対し、従来の固定的な枠組みにとらわれない広い視野からの取り組みへの展開の事業効果が期待されている。

(2) 福利・保健管理棟

福利・保健管理棟は、保健管理施設と福利施設の2施設で構成されている。桂キャンパスの地理的・生活的中心となり、「憩い・和み・安らぎ・癒し」と「交流・融合」を主題とし、地形を利用した立体空間によって、清心かつ落ち着いた雰囲気を熟成するスペースを形成する。

## II. 施設の設計及び建設に関する要求水準

### 1. 一般事項

本「要求水準書」に示された要求事項に沿って施設の設計、建設、及びその他の下記関連業務（以下「本業務」という）を行う。

#### (1) 施設の設計

- ・基本設計
- ・実施設計
- ・工事開始までに必要な関連手続き（各種申請業務等）

#### (2) 施設の建設

- ・敷地造成
- ・建設工事
- ・工事監理
- ・施設運用開始までに必要な関連手続き（各種申請業務等）

#### (3) 施設の維持管理

### 2. 遵守すべき法規制等

本業務の実施に当たっては、次の関係法令等を遵守すること。

- ・建築基準法
- ・都市計画法
- ・消防法
- ・国有財産法
- ・高齢者・身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の促進に関する法律（ハートビル法）
- ・建築物における衛生的環境の確保に関する法律
- ・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律
- ・エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネルギー法）
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・大気汚染防止法
- ・人事院規則
- ・電気設備技術基準
- ・内線規定（関西版）
- ・高圧受電設備指針
- ・その他関係法令等

上記に関するすべての関連施行令・規則等についても含むものとし、また本業務を行うにあたり必要とされるその他の条例及び関係法令等についても遵守のこと。

### 3. 適用基準等

本業務を行うにあたっては、基本的に下記基準類の最新版を標準仕様として適用するものとする。

- ・文部科学省建築工事標準仕様書・附属資料（平成14年版）
- ・官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説（平成8年版）
- ・学校建築構造設計指針・同解説（平成8年版）
- ・文部科学省電気設備工事標準仕様書（平成14年版）
- ・文部科学省電気設備工事標準図集（平成14年版）
- ・文部科学省機械設備工事標準仕様書（平成14年版）

- ・ 文部科学省機械設備工事標準図集（平成14年版）
- ・ 建築設備設計基準・同要領（建設大臣官房官庁営繕部監修）
- ・ 建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省住宅局建築指導課監修）
- ・ 文部科学省土木工事標準仕様書（平成14年版）
- ・ 建設省制定土木構造物標準設計(1)(2)（国土交通省監修）
- ・ 建築保全業務共通仕様書（建設大臣官房官庁営繕部監修）
- ・ 文部科学省保全業務仕様書・附属資料（平成14年版）
- ・ 国立文教施設設計指針・同解説
- ・ 文部科学省学校給食衛生管理の基準

#### 4. 敷地条件

本施設が立地する敷地の主な前提条件は次の通り。

##### (1) 総合研究棟V

- |   |   |
|---|---|
| ① 位置  | 京都市西京区御陵細谷6-1（京都大学桂団地内）<br>（別添【資料1】位置図参照）                                   |
| ② 敷地面積  | 桂団地全体：372,109 m <sup>2</sup><br>当該施設計画地（桂キャンパスクラスターC）：57,942 m <sup>2</sup> |
| ③ 敷地隣接道路  | 京都市道100号線   |
| ④ 区域  | 用途地域 第1種中高層住居専用地域<br>都市計画「京都大学桂キャンパス地区地区計画」区域                               |
| ⑤ 建ぺい率  | 35%   |
| ⑥ 容積率   | 150%  |
| ⑦ 壁面後退距離  | 5m以上  |
| ⑧ 建築物の高さの最高限度                                     | 15m   |
| ⑨ インフラ整備状況（共同構又は総合研究棟地階機械室より引込み可能な容量、但し、排水・ガスは土中） |   |
| ・ 電気  | 高压電力引込み クラスターAのE・Mセンターより3相3線6.6kv2回線  |
| ・ 情報通信回線  | クラスターBの総合研究・管理棟の情報基盤センターより光ファイバーケーブルにて引込み                                   |
| ・ 電話通信回線  | 総合研究棟IVのIDFより引き込み   |
| ・ ガス  | 都市ガス 300φ   |
| ・ 上水  | 総合研究棟IV地階機械室内にポンプを設置し引込む。但し受水槽は既設水槽を利用する。                                   |
| ・ 井水  | 総合研究棟IV地階機械室内にポンプを設置し引込む。但し、受水槽は既設水槽を利用する。                                  |
| ・ 屋内消火栓配管   | 65φ<br>総合研究棟IV地階機械室。但し、ポンプは既設消火設備ポンプの利用は可能。                                 |
| ・ 屋外消火栓配管   | 80φ<br>総合研究棟IV地階機械室。但し、ポンプは既設消火設備ポンプの利用は可能。                                 |
| ・ スプリンクラー消火設備                                     | 150φ<br>総合研究棟IV地階機械室。但し、ポンプは既設消火設備ポンプの利用は可能。                                |

可能。

- ・雨水排水 450 φ
- ・汚水排水 200 φ
- ・実験排水 200 φ

⑩ 地盤状況 参考資料として敷地の地盤調査資料【資料2】を添付する

(2) 福利・保健管理棟

- ① 位置 京都市西京区御陵細谷(京都大学桂団地内)(別添【資料1】位置図参照)
- ② 敷地面積 桂団地全体：372,109 m<sup>2</sup>  
当該施設計画地(桂キャンパスクラスターB)：46,566 m<sup>2</sup>
- ③ 敷地隣接道路 京都市道 100 号線
- ④ 区域 用途地域 第1種中高層住居専用地域  
都市計画「京都大学桂キャンパス地区地区計画」区域
- ⑤ 建ぺい率 35%
- ⑥ 容積率 150%
- ⑦ 壁面後退距離 5m以上
- ⑧ 建築物の高さの最高限度 15m
- ⑨ インフラ整備状況 (共同構より引込み可能な容量、但し排水・ガスは土中)
  - ・電気 高圧電力引込み クラスターAのE・Mセンターより3相3線6.6kv2回線
  - ・情報通信回線 クラスターBの総合研究・管理棟の情報基盤センターより光ファイバーケーブルで引込み
  - ・電話通信回線 クラスターBの総合研究・管理棟のIDFより引き込み
  - ・ガス 都市ガス 150 φ
  - ・上水 125 φ (供給圧力 0.5MPa)
  - ・井水 100 φ (供給圧力 0.5MPa)
  - ・屋内消火栓配管 65 φ
  - ・スプリンクラー消火設備 200 φ総合研究管理棟地階機械室。但し、ポンプは既設消火設備ポンプの利用は可能。
- ・雨水排水 500 φ (公共下水道)
- ・汚水排水 200 φ
- ・実験排水 250 φ

## 5. 施設概要

### 1) 総合研究棟V

#### (1) 規模

総合研究棟Vの規模は、延べ面積25,270㎡程度とし、その内訳は次の通りとする。

- |           |                              |
|-----------|------------------------------|
| ① 共用      | 2,490㎡程度                     |
| ② 構造系     | 2,380㎡程度                     |
| ③ 水工系     | 2,330㎡程度                     |
| ④ 地盤系     | 860㎡程度                       |
| ⑤ 資源系     | 770㎡程度                       |
| ⑥ 計画系     | 160㎡程度                       |
| ⑦ 空間情報系   | 60㎡程度                        |
| ⑧ 生活環境系   | 860㎡程度                       |
| ⑨ 環境系     | 1,670㎡程度                     |
| ⑩ 建築系     | 200㎡程度                       |
| ⑪ 居室      | 教官室 2,930㎡程度<br>院生室 3,120㎡程度 |
| ⑫ 設備室     | 460㎡程度                       |
| ⑬ 廊下・手洗い等 |                              |

#### ⑭ 外構施設

#### (2) 構成

総合研究棟Vの内容及び構成は次のとおりとする。

##### ① 共用

- ・計39室

<主な諸室構成>

ライブラリーレクチャーホール、大講義室、中講義室、小講義室、事務室、  
その他上記に付随する諸室等

##### ② 構造系

- ・計21室

<主な諸室構成>

構造実験室、コンクリート実験室、風洞実験室、構造解析室、QNDE室、並列計算機室  
その他上記に付随する諸室等

##### ③ 水工系

- ・計14室

<主な諸室構成>

動的相互作用実験用長水路実験室、流域土砂動態研究実験長水路実験室、  
乱流水理実験長水路実験室、非線形波動水理実験室、地球流体マルチプロセッシング室  
その他上記に付随する諸室等

##### ④ 地盤系

- ・計11室

<主な諸室構成>



地盤模型実験室、地盤基礎実験室、X線実験室、試料保管室、コンプレッサー室  
その他上記に付随する諸室等

⑤ 資源系

・計7室

<主な諸室構成>

大深度地下物性実験室、地殻環境模型実験室、地殻環境解析室、地下電磁計測実験室  
その他上記に付随する諸室等

⑥ 計画系

・計2室

<主な諸室構成>

対話型行動心理観測実験室、運転行動シミュレーション室

⑦ 空間情報系

・計1室

<主な諸室構成>

精密空間情報計測室

⑧ 生活環境系

・計10室

<主な諸室構成>

温湿度環境制御実験室、温湿度環境制御実験準備室、移動空間シミュレーション実験室、  
景観シミュレーション実験室、小観測室  
その他上記に付随する諸室等

⑨ 環境系

・計40室

<主な諸室構成>

プラント実験室、化学実験室、ガスボンベ保管庫、X線使用実験室、  
実験廃液調整保管室、環境重金属汚染分析室、水士壤環境分析室、環境計算室  
その他上記に付随する諸室等

⑩ 建築系

・計4室

<主な諸室構成>

建築環境設計学、国際共同研究室  
その他上記に付随する諸室等

⑪ 居室

・教授室 39室

・助教授室 39室

・共同利用室 39室

・院生室 39室

⑫ 設備室

・防災センター、電気室、機械室、EV機械室

⑬ 廊下・手洗い等

・エントランスホール、ゴミ収集場、サービスヤード、廊下、便所等

⑭ 外構施設

- ・屋上植栽等
- ・構内道路、駐車場、擁壁、植栽等

2) 福利・保健管理棟

(1) 規模

福利・保健管理棟の規模は、延べ面積2,470㎡程度とし、その内訳は次の通りとする。

① 保健管理棟	保健管理施設	340㎡程度
② 福利棟	福利施設	1,950㎡程度
	設備室	180㎡程度

(2) 構成

福利・保健管理棟の内容及び構成は次のとおりとする。

① 保健管理棟

- ・保健サービスや診療方法の開発、提供を行う施設

<主な諸室構成>

相談室、診療・遠隔医療室、処置・休養室、研究室、検査室、会議室、  
エクササイズルーム・ヒーリングルーム、便所  
その他上記に付随する諸室等

② 福利棟

- ・飲食・購買等の福利厚生施設、教職員・学生の交流スペース

<主な諸室構成>

エントランスロビー、多目的ラウンジ、和風レストラン、洋風レストラン、厨房、  
インターネットカフェ(会議室)、購買部、機械室、電気室、通信機械室、便所  
その他上記に付随する諸室等

③ 外構施設

- ・テラス、構内道路、サービス用駐車場、擁壁、植栽等

## 6. 設計要求水準

### 6-1. 基本コンセプト

#### 1) 総合研究棟V

クラスターCの設計コンセプト「人にやさしい、自然にやさしい建築」をテーマに以下の計画を行う。

##### (1) 居住環境の重視

- ・ 実験室(ヘビーなゾーン)を地下に、居室的な教室、研究室(ライトなゾーン)を上階に配置し、断面的にゾーニングする。
- ・ 上階の研究棟を小さなボリュームに分散し、隣棟間隔を広くとることによって日照・通風を確保する。

##### (2) 周辺環境への配慮

- ・ 建物を大きなボリュームに見せない。
- ・ 大型実験室を住宅地側の地下に埋め、屋上緑化を図ることにより、壁面後退距離を大きく見せる。
- ・ 縦横の隣棟間隔を広くとることによって、視界が通るように計画する。
- ・ 住宅地側に大きな緑地ゾーンを確保し、遊歩道兼メンテナンス用道路を設ける。
- ・ 周辺道路の高低差に合わせて、建物の高さを抑え、景観に配慮する。

##### (3) 実験用サービス動線の確保

- ・ 地下実験室へのサービス動線として、大型車両の搬入に配慮する。

##### (4) クラスターCにおいて各建物の一体的整備

- ・ クラスターC内の総合研究棟Ⅲ、総合研究棟Ⅳ、総合研究棟Ⅴ、RⅠ棟について一体的な整備を行う。

##### (5) 安全性と快適性の確保

- ・ 火災や自然災害に対し、十分な安全性が確保できる構造と設備を採用する。
- ・ 各種の実験等に伴う危険物の取り扱いに留意した施設を目指す。

#### 2) 福利・保健管理棟

##### (1) 桂キャンパス中心部への配置

- ・ 福利・保健管理棟は、大学関係者のみならず、一般利用者也対象となるため、キャンパス中心部に配置し、アプローチを広くとる計画とする。

##### (2) 住民との交流

- ・ 大学関係者のみではなく、住民との交流エリアとしての流用も図る。

##### (3) カウンセリング機能の充実

- ・ 従来の保健機能に加え、カウンセリング機能をさらに充実させた計画とする。

##### (4) 変化に対応した施設

- ・ 必要とされる施設用途の変化に伴い、対応可能な施設とする。

### 6-2. 地球環境保護への配慮

- (1) 桂キャンパスは大規模な計画であり、周辺環境に大きな影響力を持っている。本施設の特徴を生かしつつも周辺環境との共生に配慮し、地域生態系の保全と安全、周辺環境への汚染防止に取り組むこと。

- (2) 本件事業は、省エネルギー・省資源に寄与するために、自然の力の利用、負荷の抑制、エネル

- ギーの効率的利用、搬送エネルギーの最小化、照明エネルギーの最小化等に取り組むこと。
- (3) 本事業は、環境保全を重要課題として位置づけ、廃棄物の適正処理、減量化、リサイクル等の推進、化学物質等の適正な管理・処理、建設副産物の発生抑制・再資源化、ノンフロン化、フロンの回収等、環境問題に対して積極的に取り組むこと。
  - (4) 施設の計画にあたっては、窒素酸化物や硫黄酸化物等の周辺環境への排出による大気汚染防止など、地域環境保全に配慮し、かつCOP3の開催された京都の地にふさわしく、二酸化炭素排出の少ない設備の導入を優先することにより、地球温暖化防止に積極的に取り組むこと。

#### 6-3. 施設の耐用期間

- (1) 予算の効率的な活用と上記6-2に配慮し、長期間使用可能な施設の整備を目指すこと。また、事業期間外の適切な時期に国が行う大規模改修等を考慮の上、施設の整備に努めること。
- (2) 個々の部位、部材、設備、部品等の耐用年数については特に定めないが、事業者は少なくとも建築物の法定耐用年数を満たした上で、上記(1)に示された内容を考慮し、施設の各部について合理的な長期修繕計画を立て、それに基づく材料の選択、施設の設計、及び事業期間にわたる施設保全を行うこと。

#### 6-4. 変化に対する対応性の確保

本施設について事業期間中の基本的な用途の変更等は想定していないが、将来的なニーズの質・量の変化をある程度予測して、建物及びその構成要素の機能的柔軟性の確保に努めること。

#### 6-5. 土地利用に関する基本的要件

本事業は、全体計画として周辺環境(特に既存住宅地)に十分に配慮した敷地形状とする。

##### 1) 総合研究棟V

- (1) クラスタCの整地手法に合わせて、建物を埋め込み、北側の整地高さを上げることにより、周辺住民に配慮した計画とする。
- (2) 総合研究棟V建設により発生した全ての不要土は、適切な方法で構外へ処分する運土計画を行う。

##### 2) 福利・保健管理棟

- (1) クラスタBの整地手法に合わせて、現況地形をあまり変更せず、クラスタCとの連続性を確保する計画とする。
- (2) 福利・保健管理棟建設により発生した全ての不要土は、適切な方法で構外へ処分する運土計画を行う。

## 6-6. 建築計画における基本的要件

### 1) 総合研究棟V

#### (1) 配置計画

- ・ 物理系の総合研究棟Ⅲ、R I 棟は、東側に配置し、建築系の総合研究棟Ⅳと連携の強い地球系の総合研究棟Ⅴは西側に配置する計画とする。
- ・ 総合研究棟Ⅲ、R I 棟と総合研究棟Ⅳ、総合研究棟Ⅴとに囲まれた中央ゾーンをグレートコート(本事業範囲外)とする。これは、ヒルトップ・プロムナードからの動線とクラスターDへの受け止め、サブ入口へと連続する計画とする。
- ・ 敷地南東側、御陵公園と連続する位置にクラスターCの正面入口(本事業範囲外)を構え、グレートコートを介して、東側より総合研究棟Ⅴへの動線を導く。また、敷地北西側、国際日本文化研究センター側との連携に配慮し、クラスターCのサブ入口(本事業範囲外)からもコミュニケーション・スクエアを介してアクセス可能な計画とする。

#### (2) 平面・動線計画

- ・ 総合研究棟Ⅴは地球系の研究棟のため、大型かつ特殊な実験室を多数配置する必要がある。大型実験室は、住宅地側の地下に埋設し、壁面後退距離を大きくとり、圧迫感を抑えた計画とする。
- ・ 地階に配置された実験室には、サービス動線として建物内への物流や機器更新に機動性を発揮するため、大型車両の搬入路を確保し、十分なサービスヤードを計画する。
- ・ 居室的な教官室、研究室は上階に分棟形式で配置し、各棟の横移動の動線を渡り廊下で確保し、施設利用者の利便性を確保した計画とする。
- ・ クラスターC内の各整備建物の一体的な構築を図るため、各整備建物と総合研究棟Ⅴの接続部については、スムーズな移動を可能とする動線計画とする。総合研究棟Ⅳの1～3階と内部廊下によって接続し、総合研究棟Ⅳ側の既設の建具については撤去する。
- ・ 屋上部分について、室外機等は消防活動上、支障のない位置に配置し、出来るだけ住宅から離隔距離をとれるよう配慮すると共に、美観壁等を設置するなどして景観及び騒音に配慮する。
- ・ 各諸室に対して、自然採光取り入れのための窓、トップライト等は、可能な限り大きくとる計画とする。
- ・ 各部門及び所要室の特性を十分に把握し、機能性を重視した利便性のある平面計画とする。
- ・ 廊下や階段など、複雑な形状・位置をなるべく避け、分かりやすく明快な平面構成とする。
- ・ フロア案内や室名サインなどを見やすい位置に適切に設置し、円滑な移動を促すよう配慮する。
- ・ 運用管理・警備等がしやすい動線計画やエリアの配置計画を行う。

#### (3) 断面計画

- ・ 実験室を地階に集中して配置し、居室的な教官室、研究室を上階に配置し、断面的に明快に分けたゾーニング計画とする。
- ・ 住宅地からの景観と調和するよう、上階の研究棟は圧迫感を抑えた小さな建物ボリュームの形成に努める。
- ・ 上階の研究棟の隣棟間隔を広くとることによって、自然光や自然通風をできるだけ確保するとともに、閉塞感のない開放的な断面構成に努める。

- ・ 条例に定められた建物高さを満足した上で、各実験室の機能性を満足した階層構成とするとともに無理のない設備配管や更新に備えた以下の階高設定とする。

[床レベルおよび階高]

4階：床レベルTP+158.6m	階高4.2m
3階：床レベルTP+154.4m	階高4.2m
2階：床レベルTP+150.2m	階高4.2m
1階：床レベルTP+146.0m	階高4.2m
B1階：床レベルTP+141.0m	階高5.0m
B2階：床レベルTP+136.0m	階高6.0m

#### (4) 内装計画

- ・ 仕上材については、各エリアの用途及び使用頻度、並びに各部位の特性を把握した上で、最適の組み合わせを選ぶよう努める。
- ・ 仕上材は各室の機能を満足させるとともに、メンテナンス等維持管理面に配慮した選定を行う。
- ・ 使用する材料は、ホルムアルデヒドや揮発性有機化合物等の化学物質を含むものを極力避けるとともに、改修時・解体時における環境汚染に配慮する。
- ・ 内装仕上の色彩については、研究活動に相応しい、清潔感のある落ち着いた色彩環境の創造に努める。

#### (5) 外装計画

- ・ 外観デザインについては総合研究棟Ⅳに合わせ、クラスターCでの一体的な建物としての調和を図るよう努める。
- ・ 外部仕上については総合研究棟Ⅳに合わせ、景観に相応しい材料を選定するとともに、メンテナンス等維持管理面に配慮した材料選定を行う。
- ・ 外観の色彩については、景観に適した色彩とするとともに、総合研究棟Ⅳに合わせた、自然で落ち着いた色合いで構成させる。

#### (6) クラスターCの建築物についての京都市および近隣協議事項

##### (ア) 近隣住民説明

- ・ 大学は、近隣住民に対して、【資料5】により総合研究棟Ⅴの高さ、外観形状、色彩計画、建物配置について説明を行っているので、この内容を厳守のこと。

##### (イ) 京都市中高層建築物等の建築に係る住環境の保全及び形成に関する条例

に伴う京都市との協議事項

- ・ 平均地盤面の高さの算定方法について、総合研究棟Ⅲ・RⅠ施設、総合研究棟Ⅳ、総合研究棟Ⅴを建築基準法上一棟とし、その擁壁外周の地面を地盤面として算定すること。ただし、協議結果としてからぼりについては擁壁の底盤が建築物の基礎とつながっていることが条件であるので、これを厳守すること。
- ・ この条例上の近隣住民(当該中高層建築物等の高さHに相当する距離の範囲内にある土地の所有者等、その他)、周辺住民(当該中高層建築物等の高さ2Hに相当する距離の範囲内にある土地の所有者等、その他)の範囲は、将来増築部分を含めたCクラスターの建物全体に基づいて作成し、日影図は既設部分と当該工事部分で作成することが協議結果として得られているので、これを厳守のこと。
- ・ 条例上の住民説明はSPCが責任を持って行うこと。

##### (ウ) 京都府福祉のまちづくり条例に伴う京都市との協議

- ・ 総合研究棟Vの南東の車椅子使用者専用駐車場に直近の場所に車いす対応のエレベーター(11人乗り以上)を設け、外部から利用できるようにすること。停止階はB 2階及びB 1階とする。
  - ・ B 1階のE V出口から大階段の上部まで車椅子の通れる通路を設けること (【資料4】参照)
- (エ) 京都市市街地景観整備条例に伴う京都市との協議
- ・ 外観のイメージは総合研究棟IVに合わせる (【資料4】参照)。
- (オ) 建築基準法及び建築基準法関連法規に伴う京都市との協議
- ・ 平均地盤面の高さの算定方法について、総合研究棟Ⅲ・R I施設、総合研究棟IV、総合研究棟Vを建築基準法上一棟とし、その擁壁外周の地面を地盤面として算定すること。ただし、協議結果としてからぼりについては擁壁の底盤が建築物の基礎とつながっていることが条件であるので、これを厳守すること。
  - ・ 建築物の高さの算定方法について、地盤面高低差3 m毎に領域を設定し、それぞれの領域での平均地盤面の高さより建築物の高さを算定する (上記(イ)に添付した【資料4】参照のこと)。
  - ・ 階の設定について、総合研究棟Ⅲ・R I施設、総合研究棟IV、総合研究棟V全体建築物の外周地盤面の高さで全体平均地盤面の高さを算出することにより、階を設定すること。
  - ・ 建築面積の算定方法については、地盤面高低差3 m毎の領域設定と上記の階の設定により算出する。
  - ・ 総合研究棟Vの設計業務において既発注建物 (総合研究棟IV) と別棟にした場合は建築基準法及び消防法への違反事項が発生するので、必ず一棟として設計すること。
- (カ) 消防法及び消防法関連法規に伴う京都市西京消防署との協議
- ・ 消防署と「Cクラスターについては消防上、一棟扱いとし、外周から消防活動する」という方針で協議を行っているので、この方針を厳守すること。
  - ・ 「消防活動空地 (6 × 12 m) と防火水槽と連結送水管の送水口をセットにして、総合研究棟Vの北側 (擁壁の外側) に設置し、非常用進入口をその直近に設けること」という協議を行っているので、非常用進入口を総合研究棟Vの4階北面に設けること。
  - ・ 「消防隊は進入口から建物に進入して、連結送水管にホースをつないで消火活動をするので、進入口は可能な限り多くとること」という協議を行っているので、これを厳守すること。なお、大型実験室の屋上については耐荷重20 tは想定する必要はない。
  - ・ 防災センター (40 m<sup>2</sup>) を総合研究棟Vの南東に設け、緊急車両が寄り付けるように配置計画を行うこと (【資料4】参照)。
  - ・ 消防法上の無窓階の判定により、総合研究棟Ⅲ・R I施設、総合研究棟IVに対して、遡及措置が発生しないよう計画を行うこと。

## 2) 福利・保健管理棟

### (1) 配置計画

- ・ クラスターBの中で、キャンパス・コミュニティ・プラザは中央に位置し、桂キャンパスの中核をなす広場となる。この広場から北東方向の吉田キャンパスへと大きく軸線を開き、この方向に福利・保健管理棟が位置している。
- ・ キャンパス・コミュニティ・プラザは、桂キャンパス全体を結ぶヒルトップ・プロムナードと、クラスターB内の南北アプローチ軸のクロスする位置であり、この広場からロ

トンダを經由して福利・保健管理棟へのアプローチを考慮し、キャンパスの利便性を支えると同時に人々の交流の活性化を促す。

- ・ 建物は、出来るだけ開放性のあるオープンな空間とし、サンクンガーデンとの一体的な利用及び東側への眺望等を考慮した計画とする。

## (2) 平面・動線計画

- ・ 各部門及び所要室の特性を十分に考慮し、機能性を重視した利便性のある平面計画とする。
- ・ 廊下や階段など、複雑な形状・位置をなるべく避け、分かりやすく明快な平面構成とする。
- ・ フロア案内や室名サインなどを見やすい位置に適切に設置し、円滑な移動を促すよう配慮する。
- ・ 運用管理・警備等がしやすい動線計画やエリアの配置計画を行う。
- ・ 余剰スペースは可能な限り倉庫等有効利用を図り、無駄のない計画とする。
- ・ 福利棟だけでなく、保健管理棟についても北東への室内からの景観を配慮した計画とする。
- ・ 床レベルは、ロトンダに合わせた計画とする。（【資料1】参照）

## (3) 断面計画

- ・ 周辺の景観と調和するよう、地形を利用した立体空間の形成に努める。
- ・ 条例に定められた建物高さを満足した上で、機能性を考慮した階層構成とするとともに無理のない階高設定とする。
- ・ 自然光や自然通風をできるだけ確保するとともに、閉塞感のない開放的な断面構成に努める。
- ・ 利用者のアプローチは、ロトンダからとする。
- ・ サービス用のアプローチは、東側構内道路の南方からとする。
- ・ ロトンダ中心点から吉田キャンパス方向へ軸線を取り、上階に「屋根の掛かった吹き放しの空間」と「展望デッキ」を設けた計画とする。

## (4) 内装計画

- ・ 仕上材については、各エリアの用途及び使用頻度、並びに各部位の特性を把握した上で、最適の組み合わせを選ぶよう努める。
- ・ 仕上材は各室の機能を満足させるとともに、メンテナンス等維持管理面に配慮した選定を行う。
- ・ 使用する材料は、ホルムアルデヒドや揮発性有機化合物等の化学物質を含むものを極力避けるとともに、改修時・解体時における環境汚染に配慮する。
- ・ 内装仕上の色彩については、福利・保健に相応しい、清潔感のある落ち着いた色彩環境の創造に努める。

## (5) 外装計画

- ・ 外観デザインについては、景観に相応しい形態とし、周辺環境との調和を図るよう努める。
- ・ 外部仕上については、景観に相応しい材料を選定するとともに、メンテナンス等維持管理面に配慮した材料選定を行う。
- ・ 外観の色彩については、景観に適した色彩とするとともに、施設の主旨に沿った、自然で落ち着いた色合いで構成させる。



(6) クラスターBの建築物についての京都市及び近隣協議事項

(ア) 消防法及び消防法関連法規に伴う京都市西京消防署との協議

- ・ 福利・保健管理棟は建築物となるロトндаを含めた消防計画とすること。

6-7. 構造計画における基本的要件

- ・ 総合研究棟Vについては、プレキャストプレストレストコンクリート(PCaPC)構造を基本構造とする。
- ・ 建築基準法等の関係法令や指針を遵守し、安全性や機能の確保及び経済性に配慮した計画を行うこと。
- ・ 大地震後も構造体の大きな補修を行うことなく建物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保を図るものとする。

(1) 建築構造体の耐震安全性の確保

- ・ 地震力の算定に当たっては、建築基準法施行令による値を1.25倍することを標準とする。
- ・ 大地震時の層間変形角が1/100以内であることを確認すること。
- ・ 一時設計及び保有水平耐力の算定に当たっては、建築基準法施行令によるCo値を1.25倍することを標準とする。
- ・ 建物の基礎については、計画地の地盤条件、施工性及び上部構造の規模・形状・構造・剛性等を考慮し、上部構造を安全に支持でき、かつ上部構造に対して均衡のとれたものとする。

(2) 建築非構造部材の耐震安全性の確保

大地震後の耐震安全性を確保するため以下の内容を達成すること。

- ・ 外壁仕上げ、外回りの建具及びガラスについては、追従性能の確保に配慮するとともに、二次災害の防止に配慮した建築計画上有効な措置を講ずること。
- ・ 内部間仕切り、天井、内部建具等については、各室が必要とする性能に応じて使い分け、とくに主要な避難経路に接する部分では、災害時の安全な経路の確保に配慮すること。
- ・ 天井下地やフリーアクセスの床下地、屋外機用架台は補強を行うこと。

(3) 建築設備の耐震安全性の確保

大地震後の耐震安全性を確保するため以下の内容を達成すること。

- ・ 建築設備の信頼性向上及び代替手段の確保に配慮し、地震動に強い設備機器の採用、自立性の高い設備機器の採用、移動装置及び可搬機器による応急対応に配慮すること。
- ・ 二次災害の被災防止に配慮し、大地震動後においても機能する必要がある設備機器、配管等は、雨水等の浸水等による水損被害を受け難い場所に設置すること。

(ア) 設備機器、配管等

- ・ 設備機器、配管等は、大地震時の水平方向及び鉛直方向の地震力に対し、移動、転倒、破損等が生じないように固定する。
- ・ 配管等は、大地震動時に破損、亀裂、脱落等が生じた場合に、早期復旧が容易な計画とすること。

(イ) 電力供給に関わる設備の信頼性向上対策

- ・ 自家発電設備の冷却方式を空冷式とする。

(ウ) 給水機能の確保

- ・ 給水系統は信頼性が高く、かつ、早期復旧が容易なシステムとする。
- ・ 給水配管は、十分な強度と耐久性を有するものを使用する。

- (エ) 排水機能の確保
  - ・ 施設の機能等に応じて必要な排水系統を確保するため、該当する系統の排水管は十分な強度を有するものを使用する。
- (オ) 空調機能の確保
  - ・ 熱源機器の設置場所は、建築物低層部等、極力、地震動の小さな場所とし、復旧工事の行いやすい位置とする。
- (カ) 防災・避難機能の確保
  - ・ 防災・避難システムは、重要機器としての耐震性能を確保する。
  - ・ コンクリート製消火水槽については、漏水防止を十分に行う。
  - ・ 消火ポンプ等の防災機器は、地震動が小さい地下階又は1階で復旧工事の行いやすい位置に設置し、設置室内への浸水対策にも留意する。
- (キ) 監視制御機能の確保
  - ・ 監視盤及び制御盤は、必要に応じて壁固定や頭部固定等、耐震性能を強化するものとし、卓上機器は固定する。
- (ク) その他設備の耐震性能確保
  - ・ エレベーター設備の耐震設計は、(社)日本エレベーター協会の定めた基準による耐震性能を確保する。
  - ・ エレベーターの昇降路・機器及びエレベーター機械室は、十分な耐震性能を確保すると共に、昇降路及びエレベーター機械室への水損防止策に十分留意する。
  - ・ ガス設備については、耐震性能の確保及び二次災害防止のため、変位に有効で耐震性に富む配管の使用や必要箇所への緊急遮断弁の設置等を行う。

#### 6-8. 設備計画における基本的要件

- ・ 将来的な変化や発展性などを考慮し、更新性に配慮した設備計画とする。
- ・ 設備システムについては、外部熱負荷の積極的な低減や、エネルギー・資源の有効利用より適正な機器能力を選定し、運転制御やメンテナンスが容易でシンプルな構成とすること。
- ・ 各種機器の寿命や騒音、景観への配慮から、各種設備機器は可能な限り屋内に設置するものとする。
- ・ 風水害や落雷、断水、停電、火災等の災害対策を考慮した設備計画とする。
- ・ 各種設備や防災関係の自動監視は集中化を図り、一元管理により省人力化を図るシステムとする。
- ・ 主要な機器の納まる電気室、通信機械室および機械室については、直上階に便所等の水廻りスペースがないよう、平面配置に留意すること。
- ・ 各種機器や配管・ダクト類については、地震時の転倒防止、防振等に配慮し、適切な耐震措置を施すこと。

#### 1) 共通事項

##### (1) 各室の設計条件：

- ・ 別表1-1、別表1-2、別表2を参照する事。

##### (2) 建物管理方式

##### (ア) 設備の管理：

- ・ 桂団地全体の建物の電力設備、動力設備、画像設備、入退出管理設備等をAクラスター

E・Mセンターで監視、制御できる中央監視設備を設けている。本建物もこの中央監視設備に接続して監視制御を行う。

- ・ 本建物にクラスターCの防災関係の業務を管理するための防災センターを設ける。

(イ) 技術者：

- ・ 原則として有資格者を常駐しないものとする。

(ウ) 警備：

- ・ 夜間においても機械警備を行う体制とする。

## 2) 電気設備における基本的要件

### (1) 総合研究棟V

#### (ア) 照明設備

各室・共用部等に設ける照明器具等の設置及び配線工事を行う。

##### a) 一般

- ・ 照度は照度計算により各室毎に算出する。(ただし、居室等で同じ広さの部屋に関しては代表でよい) 目標照度は別表1-1に記載の照度を原則として設定する他JIS 9110-89による。
- ・ 誘導灯は地階から避難階出入り口までの間、消防法の設置基準により設置する。
- ・ 非常照明は地階部分に設置する。(ただし、地上階で中廊下となり、自然採光が無い場合は設置する)。
- ・ E P S, P Sには照明器具を設置する。
- ・ 天井の吊り下げ型器具でパイプ吊りは原則使用しない。
- ・ 省エネルギー計算書(C E C / L)を作成のこと。

##### b) 配線

- ・ 直天井部分で打ち込める所は、P F (合成樹脂可とう管) 管【以下、P F管という】にE M - I E電線【以下、I Eという】とする。また、打ち込めないものは、金属管(ねじなし電線管)【以下、金属管という】にI E線とする。
- ・ 二重天井のある部分は、E M - E E - Fケーブル【E E - Fケーブルという】のころがし配線とする。
- ・ 露出配管は塗装のこと。

##### c) 器具等

- ・ 原則として照明器具管球はH F 3 2 W・ H F 16 Wとし、ダウンライトを使用する場合はF H T 管を主体として使用する。埋め込み型を原則とし、部屋の機能に応じグレアカッターバ ー等を付加する。保守が行いやすい場所に設置することを原則とし、高所に設置する物 については、昇降式照明器具や無電極電球の採用もしくは点検用歩路等により保守が行 いやすい方式とする。
- ・ 照明器具は公共施設用照明器具を基本とし、それ以外のものは照明器具メーカーから採用し図面に姿図を記載する。
- ・ 非常照明バッテリー別置き型を原則とする。
- ・ 誘導灯は、バッテリー内蔵型を原則とする。
- ・ 共通部分で建築意匠上特注器具を採用してもよいが、最小限とする。(姿図に材質、大きさ等記入)
- ・ 高天井(5m以上)の実験室には水銀灯(電動昇降装置付き)を主照明とし副照明として

壁面に蛍光灯照明器具を設置する。

- ・ パソコン、ワークステーションを複数（10台以上）設置する部屋はVDT対策としてOA専用照明器具を設置する。
- ・ 会議室、講義室等、建築の仕上げが一般居室と異なる部屋は器種を検討すること。また、使用形態を考慮して調光装置の導入も検討すること。
- ・ 別表1-2に特記する部屋は調光装置を設置する。調光は0～100%の連続調光とし、その室の基本となる器具を調光する事を原則とする。

d) 照明制御方式

- ・ 共用分の照明は、リモコン回路としCクラスター総合事務所から電源管理が行える方式とする。
- ・ 廊下照明は、ちどり点滅とする。
- ・ 各階トイレやは人感センサーを設け、点滅制御を行い消費電力の低減に努める。
- ・ 研究室等居室の点滅区分で窓側1列は、点滅区分を分けること。また、実験室においても照明器具の配置等を考慮して点滅区分を設定する。
- ・ 研究室等居室部分は照度センサーによる初期照度補正及び昼光制御を行う方式とする。
- ・ 外灯は、自動点滅器およびタイマーによる点滅が可能な方式とする。

(イ) コンセント設備

各室・共用部等に設けるコンセント等の設置及び配線工事を行う。

a) 一般

- ・ 1回路最大5カ所までとする。
- ・ 1回路は配線用遮断器の80%以下とする。（単独負荷場合は別とする）
- ・ 複数の部屋にまたがった回路構成はしない。
- ・ OA床、フリーアクセスフロア部分に設置する床コンセントは、アウトフリー型のOAタップコンセント（4口E極付型）とする。

b) 配線

- ・ 直天井部分で打ち込める所は、PF（合成樹脂可とう管）管【以下PF管という】にEM-IE電線【以下IEという】とする。また、打ち込めないものは、金属管（ねじなし電線管）【以下、金属管という】にIE線とする。
- ・ 二重天井のある部分は、EM-EE-Fケーブル【EE-Fケーブルという】のころがし配線とし、引き下げ部分は配管内に納めること。
- ・ 露出配管は塗装のこと。

c) 器具等

- ・ コンセントは2P15A×2、E極付きを基本とする。（プレートはSUS製とする）
- ・ 廊下にはサービスコンセントを設置する。（清掃器具の使用を考え15～20m間隔）
- ・ コンセントで賄えない高容量の負荷については手元開閉器、実験盤で対応する。
- ・ 手元開閉器器、実験盤は1負荷1ブレーカーとする。負荷が同じ壁面に多数ある場合は実験盤の集約を計る。
- ・ 実験盤は部屋の使用者が直接遮断器に接続するため、下面に開口を設ける。
- ・ 弱電との統合設置は行わない。
- ・ 非常コンセント盤は地階部分に50m半径でカバーできるように設ける。また、階段室から5m以内の距離に設置する。（詳細は、所轄消防署と打合せのこと）
- ・ コンセントの高さは一般的には床上0.3m(中心)とするが、机上で操作する場所は床上

- 1.0m以上（中心）とする。
- ・ 実験台、ドラフトチャンバー等に附属するコンセントは供給位置附近にBOX止めとする。
- (ウ) 動力設備
- a) 一般
- ・ 換気扇、空調機、PUMP等の電源供給を行う
- b) 配線
- ・ 直天井部分で打ち込める所は、PF（合成樹脂可とう管）管【以下、PF管という】にEM-CE-T、CEケーブル【以下、CEケーブルという】とする。また、打ち込めないものは、金属管（ねじなし電線管）【以下、金属管という】にCEケーブルとする。ただし、屋外の配管、雨線内の配管は厚鋼電線管とする。
  - ・ 露出配管は塗装のこと。
- c) 器具等
- ・ 基本的には機械設備工事で制御盤等を設ける。
- (エ) 幹線設備
- a) 一般
- ・ 電気室からの低圧幹線は、250～300A/1幹線で幹線分岐とする。分岐数は5分岐を最大とする。
  - ・ 幹線計算は電圧降下、許容電流を見て行う。
  - ・ 電圧降下は分岐回路で2%以下、それ以外は3%-120m以下、4%-200m以下、5%-200mを越える、とする。
  - ・
  - ・ 分電盤は共通部分（廊下、ホール等）と研究室、実験室等とは分けて設ける。
  - ・ 共通部分の分電盤はEPS内、研究室、実験室分電盤はそれぞれの部屋に設ける。
  - ・ それぞれの分電盤は電力量が計量でき、既存計量システムに接続して電力量を伝送できること。
  - ・ 実験用接地で使用者から要求のあった場合は一般接地とは別に設け、抵抗値、用途別に設ける。
  - ・ ケーブルラックの屋内は合成樹脂焼き付け塗装仕上げ、屋外や床下ピットは鋼板製 溶融亜鉛メッキ仕上げ、ステンレス製又は、高耐食メッキ鋼板とする。
  - ・ ケーブルラックは強電、弱電別々に敷設する。（どちらか一方が極端に少ないときはセパレーターを設けてもよい）
  - ・ 耐震対策が必要な場所はケーブルラックを設けること。
  - ・ ケーブルラックは電気室、通信機械室から各階、各EPSに電力配線、情報配線を敷設する範囲に設ける。また、実験室内で実験装置等の配線が輻輳する場所も必要に応じ設ける。
  - ・ 弱電のケーブルラックは将来対応として裕度を見ること。
  - ・ ELCB用の接地は一般用接地とは別に設ける。
  - ・ 便所、実験室等で水を使用する負荷の回路は漏電しゃ断器回路とする。
- b) 配線
- ・ 電気室からの配線はケーブルラック上配線とする。ケーブルのサイズは250sqを最大とする。実験装置で高容量が必要となる場合はバスダクトを検討する。
  - ・ 露出配管は塗装のこと。

- c) 器具等
- ・ 共通部分の分電盤の設置は各階、各棟等管理し易い（廊下等からアクセスできる）位置を選定する。（EPSの場所と連動して検討が必要）
  - ・ 研究室、実験室の分電盤はその部屋で一元管理できることとする。ただし、実験装置等負荷で高容量のものは、直接、電気室低圧配電盤から実験用分電盤に配線する。
  - ・ 分電盤の分岐回路で水廻り、湿気の多い回路は漏電遮断器とする。
  - ・ 分電盤の主開閉器はMCCB、分岐開閉器はJIS協約型配線用遮断器(2P2L型50AF以上)とする。安全ブレーカーは不可する。
- (d) 受変電設備
- a) 一般・配線・機器等
- ・ 高圧の配電方式は2回線（本線、予備線（非常用））オープンループ方式とする。尚、高圧引込みケーブルは、別途とする。
  - ・ 電気室は建物内オープン方式とする。高圧盤は閉鎖型、低圧盤はアングル枠組型自立開放型とする。
  - ・ 饋電方式はセクション付単母線方式とする。
  - ・ 高圧受電盤の遮断器はVCBとし遮断容量は20kAとする。
  - ・ 変圧器の総容量で1000kVAを超える場合は高圧系統でバンク分け（1φ、3φ）を行う。
  - ・ 変圧器は棟毎にバンクを構成し、省エネルギーを考慮した機種を選定する。
  - ・ 変圧器の容量は1φ200kVA、3φ300kVAを最大とする。
  - ・ 変圧器の保護についてはLBS等を設ける。
  - ・ 変圧器のB種接地は1φ、3φ別々にとること。
  - ・ 高圧受電盤の主回路はDS、VCBで構成する。保護装置はOCRで保護する。また、計測装置は電圧、電流（最高需要電流）、電力が計量できることとし、既設中央監視設備に接続してデータを送信できること。
  - ・ 高圧饋電盤の主回路は、VCBで構成する。保護装置は、OCR、DGRで保護する。また、計測は、電流（最高需要電流）、電力が計量できることとし、既設中央監視設備に接続してデータを送信できること。
  - ・ 低圧配電盤はMCCBで構成し、電圧、電流（最高需要電流）が計測できるものとする。また、保護装置として漏電警報設備を設置する。
  - ・ 電気室のレイアウトは保守点検が行い易く、かつ接触事故が起きないように十分なスペースを確保すると共に将来の変圧器、遮断器等の増設スペースを確保する。
  - ・ 高圧、低圧充電露出部分に接触するおそれのある部分は絶縁製の遮蔽板を設けること。
  - ・ 接地はA、B、C、D種、実験用等銅棒打設工法による。
- (b) 静止形電源設備
- ・ 別途、基幹整備工事とする。
- (c) 非常用電源設備
- ・ 自家発電装置の設置は、別途し、E・Mセンターより非常用高圧回線で供給を受け、各関連法規の予備電源及び、施設内の重要負荷への停電時供給する。
  - ・ 対象負荷： 関連法規を満たすと共に、昇降機・給排水ポンプ及び各室諸現表に記載する内容に対し送電する。
- (d) 避雷設備
- ・ 建築基準法に基づき設備する。

(ケ) 構内交換機及び構内情報設備

a) 一般

- ・ 建物内に通信機械室(30㎡程度)を設け各階一各分野まで樹枝状配線でLANを構築する。配線は光ファイバーケーブル【以下光ケーブルという】を使用し各階、各分野毎にEIA情報ラック【以下情報ラックという】を設置する。また、各分野から各室までの配線はEM-UTP0.5-4P(CAT5e)【以下UTPケーブルという】とする。
- ・ 各分野から各室までのUTPケーブル配線は統合配線として末端は情報コンセント(RJ-45、CAT5e)とする。分野での情報コンセントの口数は統一し、使用形態は部屋の使用者が自由に選択することができること。
- ・ 電話系は情報系と同様に通信機械室から各階～各分野まで電話配線を行う。通信機械室は電話端子盤を設置し、各階、各分野は情報系の情報ラック内に110パッチパネル等を設置する。
- ・ 建物内及び周辺で使用が可能となるよう構内PHSのアンテナを設置する。

b) 配線

- ・ 建物内の光ケーブル、UTPケーブルとも幹線設備で設ける弱電ケーブルラック上に敷設する。
- ・ 光ケーブル、電話ケーブルは総合研究棟Ⅳの通信機械室から引き込む(別途工事)
- ・ 上記以外の設備の配管、配線は打ち込み可能な場所はPF管に配線、露出部分は金属管に配線、二重天井がある部分に関しては、ころがし配線を基本とする。また、廊下等共通部分に幹線設備で設ける弱電ケーブルラックがある場合はそれを利用する。
- ・ 露出配管は塗装のこと。

c) 器具等

- ・ LAN構築に必要な機器は情報ラックに収納できるようにすること。
- ・ 各階、各分野の情報ラックはEPSに設置し配線や機器の増設、入れ替え等が容易に行えること。
- ・ 上記以外のLAN設備機器は別途とし、情報ラックに収納できる用スペースを見込むこと。

(コ) 拡声設備

- ・ 消防法に定める非常放送及び業務放送兼用設備を設置する。防災アンプは、防災センターに設ける。EMセンター内には、Cクラスターの代表移報が出せる用にすること。
- ・ スピーカー等：天井埋め込み型を原則とし、部屋単位に壁つき音量調整器を設ける。設置個所は、別紙各室諸元表による他、関係法規による。又専用のAV設備を設置する部屋には非常放送カントリーを設置する。

(ク) 情報表示設備

- ・ 学内の要所に学事情報伝達用の電子式掲示板を設ける為の配管工事を行うこと。
- ・ 設置個所：施設内各所に設ける学事掲示板と共に計画する。
- ・ 情報伝達方式：事務室から遠隔で表示させられる事(配管のみ本工事)

(ク) 警報設備

a) 身障者トイレ

- ・ 各身障者トイレ内に警報用押し釦を設置し、表示を防災センターに行う
- ・ 設置個所：施設内の各身障者トイレ内に押し釦、その出入り口周辺に現場表示灯・復旧ボタン、ブザーを設置する。防災センターに窓表示型の表示装置を設置する。

b) 女子更衣室

- ・ 女子更衣室内に警報用押しボタンを設け、その出入り口周辺に現場表示灯・復旧ボタン、

- ブザーを設置する
- ・ Cクラスター総合事務所に窓表示型の表示装置を設置する。
- (ス) インターホン設備
  - ・ 夜間受付用として設備する
  - ・ 出入り口用インターホン： 外部出入り口と防災センター間にテレビカメラ付インターホンを設置する。
- (セ) テレビ共同受信設備
  - ・ 各種テレビ・ラジオアンテナを設置し、施設内の直列ユニット設置及びその間の配線を布設する。又将来CATVが引き込める方式とする事。
  - ・ 設置アンテナ種別：UHF・VHF・FM・AM・BSの各アンテナを設置する。又CSアンテナに 関しても対応可能な計画とする 。機器は、双方向型とする。
- (ソ) テレビ電波障害防除設備
  - ・ 調査： 設計時に現地調査を実施し、受信レベル・受信画質等の報告書を作成し提出する。中間検査・事後調査を実施する。
  - ・ 障害範囲の想定図の提出：今回の提案競技の提出物として、提案内容に即した電波障害範囲の予想図を提出の事
  - ・ 電波障害対策工事は、別途とする。
- (タ) 監視カメラ設備
  - ・ 施設の主要な出入り口に監視カメラ装置を設備する。
  - ・ カメラ設置箇所： 建物への主たる出入り口。
  - ・ モニター設備箇所： 防災センターにモニター装置・カメラ制御装置を設備する。
- (チ) 防犯設備
  - ・ 別表1-1に指定する室および外部との出入り口にはカードロック装置を設ける。電気錠、配管以外は、別途とする。
- (ツ) 火災報知設備
  - a) 一般・配線・器具等
    - ・ 消防法、自治体条例等を遵守して自動火災報知設備を設置する。(受信機等の設置場所はCクラスター防災センターとする。)
    - ・ 建築基準法、自治体条例等を遵守して自動閉鎖装置設備（防火戸、防火シャッター等閉鎖装置）を設置する。自動閉鎖装置（レリーズ）取付けまで電気設備工事（連動制御盤の設置場所はCクラスター防災センターとする。)
    - ・ 上記以外に実験研究用にガス等を使用する場合は非常警報設備、ガス漏れ警報設備を設置する。
- (テ) 中央監視設備
  - a) 一般・配線・器具等
    - ・ 既存中央監視設備に本工事の電力設備、一般設備、画像設備、入退出管理設備等 を監視、制御できる機能を設置すること。(ただし、リモートステーションの設置、一次側の配線は別途工事とする。)
    - ・ 既存検針設備に本工事の電気、ガス、水道等使用量を計量できる設備を増設すること。
- (ト) 外灯設備
  - ・ 建物周辺に事故防止、保安用としてガーデンライト式、ポール式の外灯を設置する。
  - ・ 地階実験室へのサービス動線にも夜間通行時の照明設備を設置する。



(ナ) その他

- ・ 防災センターの設置（本建物の一角にCクラスターの防災関係を一括管理するための施設を設置する。設置機器に関しては別途工事とする）
- ・ 本事業建物のインフラストラクチャーで設備室（電気室、通信機械室、防災センター、E P S）の大きさ、幹線経路等を下記のことを留意の上、検討、協議し決定すること。
- ・ 将来貯蔵形電源設備（レドックス等）が設備可能なよう配慮しておくこと。

a) 電気室

- ・ 電気室の大きさは、高低圧配電盤、変圧器等点検時に感電しない保有面積を確保すること。（特に高圧遮断器のリフターを使用しての出し入れに注意）
- ・ 変圧器前後の保有面積に対しても一次側開閉器の操作や将来変圧器の取り替えが容易にできる動線を設けること。電気室は機器の搬入、搬出をする扉と日常点検で点検者出入りする扉と二カ所設けること。また、機器搬入搬出の扉はW:2000、H:2500以上とし外部に直接接続できる所を選定すること。

b) 通信機械室

- ・ 通信機械室の大きさは情報ラックを設置し点検時、機器出し入れ時に情報ラックの扉を開けた状態で作業者が作業できる前面保有スペースを確保すること。
- ・ 情報ラック以外にLAN機器用無停電電源装置、保守用部品を設置するスペースや情報配線の布設、撤去が容易にできることを考慮すること。

c) 防災センター

- ・ 自動火災報知設備、非常放送設備等防災関係の各盤や操作盤等防災センター設置に必要な機器の監視、操作が容易にでき、かつ監視者が業務に支障をきたさないスペースを確保すること。（概ね40～50㎡）

d) E P S（パイプシャフト）

- ・ 共通部分の分電盤、情報ラック、電力・通信幹線、防災中継器盤、諸設備端子盤、計量設備中継器等設置できるスペースで、特に日常点検時に分電盤等扉を開けた状態で点検者が容易に作業できること。

(2) 福利・保健管理棟

(ア) 照明設備

- ・ 検査室照明器具は、シールド型器具とする。
- ・ その他、総合研究棟Vに準じて設備する。

(イ) コンセント設備

- ・ 処置、休憩室、診療・遠隔医療室、検査室、エクササイズルーム等はJIS-T-1022の病院電気設備基準に基づいて医用接地を設けること。
- ・ その他、総合研究棟Vに準じて設備すること。

(ウ) その他設備

- ・ 避雷針設備、テレビ電波障害防除設備を除き、総合研究棟Vに準じて設備すること。

3) 機械設備における基本的要件

(ア) 一般事項

- ・ 研究・実験ゾーンは現在の研究内容かつ将来の変化に対応できるよう適宜PSを配置し給排水管等を収め、床面には設備埋め込みボックス（給水、排水、ガス）を設け実験器具等の変更に対応できる設備とすること。

- (イ) 給水設備
- ・ 給水設備については、各施設の規模等に応じて適切な方式を選択すること（実験・分析室関係で必要なユーティリティの種別については、別表3参照）。
  - ・ 給水系統は市水及び井水の2系統とする。市水は主に飲料水、井水は便所の洗浄水に使用する。
  - ・ 給水方式は市水、井水とも総合研究棟Ⅳ地階機械室内にポンプを設置し加圧送水方式とする。（市水用受水槽、井水用受水槽は既設水槽を利用する。）
  - ・ 雨水等を再利用するなど、水資源の有効活用を積極的に行なうこと。
- (ウ) 給湯設備
- ・ 局所式及び中央式の選択については、室の利用形態等に応じて適切に行なうこと。
- (エ) 排水設備
- ・ 雨水、空調ドレン排水、生活排水及び実験系排水の性質ごとに系統を区分し、必要に応じて適切な処理及をおこない排出すること。
  - ・ 屋外は雨水、生活排水、実験系排水の分流式とする。
  - ・ 屋内は生活系、実験系排水の分流式とし、便所内は雑排水、汚水の合流式とする。
  - ・ 実験系排水については、モニター排水槽を設け水質の監視（PH値の監視）を行う。異常時には、警報を総合研究棟Ⅴ及び排水処理施設に異常警報を出すこととする。
  - ・ 実験系排水の性質に応じて、PH自動調整設備を設け、中和処理を行うものとする。
  - ・ 厨房からの排水は単独系統とし、法律、条例等に基づく水質基準以下となるように除外施設を設置し排水する。
- (オ) 衛生器具設備
- ・ 男子便所、女子便所及び多目的便所を設けること。
  - ・ 大小便器、洗面器、手洗い等の衛生器具の設備については人員の規模に応じた適切な数とするとともに、使い勝手や清掃、メンテナンスに配慮した器具の選定を行うこと。
  - ・ 便所内の洗面化粧台はカウンター方式、自動給水とし、小便器は自動洗浄、洋風便器は暖房洗浄便座付とする。また、女子用便所には擬音装置を設置すること。
  - ・ 教授室等の手洗い用洗面化粧台は幅600mmを基本とする。
- (カ) ガス設備
- ・ ガスの種類は都市ガスとし、ガス漏れ警報器、緊急遮断弁等の設置を行い安全性を高めること。また、ガス漏れ等の緊急時には、警備員室で防災管理できるよう配慮する。
- (キ) 消火設備
- ・ 消防関係法令及び京都市火災予防条例等に定める適切な消火設備を設置すること。
  - ・ 屋内消火栓、屋外消火栓、スプリンクラー消火設備の各設備用ポンプは研究棟Ⅳ及び総合研究管理棟に設置しているポンプを利用すること。尚、屋内消火栓は易操作性1号消火栓とする。
  - ・ 総合研究棟Ⅴについては所轄消防署との協議により連結送水管を全ての階に設置すること。また、総合研究棟Ⅳ系統の連結送水管と接続すること。
- (ク) 特殊ガス設備
- ・ 実験用ガスを適宜供給する（別表3参照）。尚、緊急時の安全対策を示すと共にヘリウムガスには回収装置を設置し、回収したヘリウムガスは共同溝（別図【資料】参照）内にあるヘリウム回収配管に接続するものとする。
- (ケ) 特殊配管設備

- ・ 実験用純水は適宜供給する。(別表3参照)
- (コ) 冷却水循環設備
- ・ 実験用冷却水は適宜供給する。(別表1-1参照)
  - ・ 冷却水方式は実験機器にかかる背圧等も考慮した方式とする。計画上の方針と計画説明書を提出する。
  - ・ 冷却水の供給温度は20℃程度とする。
- (カ) 空調設備
- ・ 各施設の規模、用途に応じて、ライフサイクルコストを考慮した最適な空調方式を選定するとともに、環境影響を配慮した方式を採用、もしくはできるだけ自然エネルギーを活用することで、環境負荷の軽減に努めるものとする。
  - ・ 空調設計温湿度条件、特殊条件は、別表1-1、別表1-2を参照すること。
  - ・ 空調方式については既存の方式と整合性を取り研究室・実験諸室ともその使用勝手を考慮して個別空調方式とする。(中央熱源は用意されていない。)
  - ・ 研究室の空調については、その使用時間、使用頻度、冷暖房の選択等は特定できないので室毎に使用者が任意に発停できるものとし、機器のCOP値には特に留意する。
  - ・ 研究室以外の空調については、受電設備容量に特に留意して最適な空調方式を選定する。
  - ・ 空調設備計画上の方針と計画説明書を提出する。
  - ・ ゾーニングにあたっては、計画上の方針とゾーニング平面区画図を提出する。
  - ・ エネルギー源は原則として構内インフラの整備されている電気・ガスを採用する。
  - ・ 主要機器仕様を提示する。
  - ・ PAL/CEC値の算出とその根拠資料を提出する事。
  - ・ 自動制御方式の選定にあたっては、既存の建物管理方式との整合性をとると共に、ビルマネージメントシステム(BMS)の導入を計画する。
- (キ) 換気設備
- ・ 各施設の規模、用途に応じて、最適な換気方式を選定すると共に、実験等の各室のエアバランスに留意し、最適風量制御を講じる。(別表1-1、別表1-2参照)
  - ・ 居室には省エネルギー性と不快なドラフト防止を考慮して空調換気扇を設けること。
  - ・ 方式の選定にあたっては、計画上の方針と計画説明書を提出する。
  - ・ 可能な限り、自然換気を行えるよう計画し、非空調期間には、自然換気・ナイトパーージシステム等を導入できるよう計画する。
  - ・ ドラフトチャンバー用の排気は屋上にファンを設置して排気するとともに、周囲の環境を考慮したスクラバー等の排ガス除去装置を適宜設置すること。
  - ・ 建築基準法上排煙が不要である場合でも、当該室の使用状況を考慮して適宜計画する。
- (ク) 昇降機設備等
- ・ 身障者、高齢者等の利用を考慮し、昇降機を設置すること。
  - ・ 機械や機材等の搬入を考慮すること。
  - ・ 昇降機は、動線や規模に応じて、適切な位置及び数を配置すること。
  - ・ 性能は下記の水準以上とする。
- a) 総合研究棟
- ・ 車椅子用、11人乗り、750kg 積載、地震・停電時・火災時管制運転、交流インバーター60m/分 3基

- ・ 車椅子用、15人乗り、1000kg 積載、地震・停電時・火災時管制運転、交流インバーター60m/分 2基
- b) 福利・保健管理棟
  - ・ 車椅子用、11人乗り、750kg 積載、地震・停電時・火災時管制運転、交流インバーター60m/分 1基
  - ・ 小荷物用 100kg 交流インバーター30m/分 2基
- (セ) 厨房関連設備
  - ・ 近年の0-157等に係わる状況を鑑み、HACCP基準に準拠していることとし、調理室内環境を室温25℃以下、湿度80%以下に保持するとともに、カビ等の発生を極力抑えるシステムを導入すること。
  - ・ 厨房等の作業環境については快適な職場環境を追求する観点から輻射熱、油飛散等の低減に配慮し、作業効率性、操作性に優れた機器の採用、機能的なレイアウトとすること。
  - ・ 防火・防災等安全で高い信頼性を有し、省エネ・環境保全にも考慮した効率的な運営が出来ることとし、極力燃焼を無くし、地震時等の非常時においても他への類焼防止に配慮すること。
- (ソ) その他
  - ・ 騒音：実験室を除く各室については、機器等から発生する騒音を充分配慮すること。
  - ・ 各講座ごとに給水、ガス、冷却水、特殊ガスの各使用量、空調・換気設備の電力量を計量する集中検針システムを設置すること。
  - ・ 配管材料等は【資料7】によるものとする。

## 6-9. 外構計画における基本的要件

### 1) 総合研究棟V

- ・ 総合研究棟Vに伴う外構整備範囲は、計画予定地範囲内とする。
- ・ 敷地の高低差を吸収する緑地を市道沿いに計画し、「テクノサイエンス・ヒル」を表現する。
- ・ 緑地沿いには、クラスターC内の外周道路と駐車スペースを適宜確保し、緑地の中に修景する。

#### (1) 建物周辺部

- ・ 人の出入口や機器等の搬出入口廻りは、出入りに支障のないよう段差の解消に努める。
- ・ 自然との調和や快適な室内外環境の創造を目指し、建物の機能に支障のない範囲で、緑化や修景等の配慮を行う。
- ・ 総合研究棟Vとコミュニケーション・スクエア内のグレートコート回廊及び正面入口からのグレートコートまでの大階段との接続について、十分に配慮して計画を行う。(【資料1】参照)

#### (2) 構内道路

- ・ 構内道路は、車両の通行に支障のない幅とするとともに、路面の仕上については、自然景観や環境の保全に配慮した材料の選定等を行う。
- ・ 大型機器や試料等の搬出入に際し、実験・分析エリアに対し大型車両が進入できるためのサービス動線を十分に確保する。

#### (3) 駐車場

- ・ 駐車場は、総合研究棟V南側、クラスターC正面入口付近に13台設置する。

- ・ 駐車場のうち、最も正面入口に近く、かつ車いす対応のエレベーターへの動線に配慮した位置に車椅子使用者専用駐車場を1台設置する。
- ・ 駐車スペースの路面は、自然景観や環境の保全に配慮した材料の選定を行う。

#### (4) 擁壁・掲示等

- ・ 総合研究棟Vと接続する総合研究棟IVの擁壁は、テールアルメ擁壁の工法を用いているため、これに配慮した擁壁の計画を行う。(【資料1】参照)
- ・ 本施設利用者が無理なく目的場所へと到達できるよう、適切な位置に屋外サインを設置すること。

#### (5) 雨水排水

- ・ 外構エリアについての雨水排水計画を適切に行う。また、既設の雨水排水本管へ接続し、支障の無い計画とする。(既設雨水配管、汚水配管、実験配管について【資料1】参照)

#### (6) 植栽

- ・ 植栽については、植物の成長に支障がないよう配慮し、かつローメンテナンスとなるような計画とする。
- ・ 屋上植栽に関して、植栽計画(平面プラン、モニタージュ等)、水栓配置などにも配慮した計画とする。

### 2) 福利・保健管理棟

- ・ 福利・保健管理棟に伴う外構整備範囲は、ロトンダより北西の範囲とする。
- ・ テラス、自販機コーナー、ファーストフードコーナー、構内道路、サービス用駐車場、擁壁、植栽等を福利・保健管理棟の施設計画と桂キャンパスおよびクラスターBの配置計画に合わせ、適切に配置する。
- ・ 既設構内道路の勾配及び舗装材は、適宜改修を行える計画とする。
- ・ 建設予定地東側の大学敷地内の樹木は、適宜伐採して良い。但し、地表面の崩壊が生じないよう対策を講じた計画とする。

## 7. 各エリアの要求水準

### 共通事項

- ・各エリアにおいて、用途及び補足事項を以下に示す。また、主要な各エリアの面積・室数等の一般事項及び、内装や設備等の事項については、後述の【別表1-1】【別表1-2】並びに【別表2】に一覧表形式で示す。

### 7-1. 総合研究棟V

#### 1) 共用

##### (1) 大講義室

- ・映像音声情報通信機器を使用しての講義

##### [補足事項]

総合研究棟Vのメイン講義室である。階段教室として講義専用にする。

明るく、かつ聴講者が講義に集中できる落ち着いた雰囲気の内装。

特に正面演壇周辺は、内装の高級感にも配慮。

特に事業者による提案を求める。

##### (2A) 中講義室(1)

- ・映像音声情報通信機器を使用しての講義と遠隔講義

##### (2B) 中講義室(2)

- ・映像音声情報通信機器を使用しての講義と遠隔講義

##### (3A) 小講義室(1)

- ・映像音声情報通信機器を使用しての講義

##### (3B) 小講義室(2)

- ・映像音声情報通信機器を使用しての講義

##### (4A) 遠隔講義室(1)

- ・遠隔講義システムを用いた吉田キャンパス向け講義

##### (4B) 遠隔講義室(2)

- ・遠隔講義システムを用いた吉田キャンパス向け講義(将来拡張用)

##### (4C) 遠隔講義室(3)

- ・遠隔講義システムを用いた吉田キャンパス向け講義(将来拡張用)

##### (5) 大会議室

- ・映像音声情報通信機器を使用しての会議及び講義並びに遠隔会議

##### [補足事項]

歴代名誉教授の肖像写真に囲まれた格調高く威厳ある空間とする。

教官が一堂に会する各専攻のメイン会議室として、落ち着いた高級感のある濃色木質系の内装とする。

特に事業者による提案を求める。

##### (6A) 中会議室(1)

- ・音声機器を使用しての会議及び講義

##### [補足事項]

歴代名誉教授の肖像写真に囲まれた格調高く威厳ある空間とする。

教官が一堂に会する各専攻のメイン会議室として、落ち着いた高級感のある濃色木質系の内装とする。

特に事業者による提案を求める。

(6B) 中会議室(2)

- ・音声機器を使用する会議及び講義

[補足事項]

歴代名誉教授の肖像写真に囲まれた格調高く威厳ある空間とする。

教官が一堂に会する各専攻のメイン会議室として、落ち着いた高級感のある濃色木質系の内装とする。

特に事業者による提案を求める。

(7A) 小会議室(1)

- ・専攻委員会会議など

(7B) 小会議室(2)

- ・専攻委員会会議など

(8) ライブラリーレクチャーホール

- ・多目的ホールおよび資料閲覧・情報検索スペース
- ・出来るだけ柱のない大空間とすること。

[補足事項]

ホールへのアプローチは、歴代名誉教授の肖像写真を掲げるなど、京都大学創設時から続く地球系専攻(土木工学系)の伝統を感じられる空間とする。

ホールは、隣席者に感銘を与えるレクチャーやレセプションが行える場(舞台装置)としての眺望を重視する。

開放感(最上階であることを活用して天井高を高くするなど)をもたせながらも落ち着いたシックな内装とする。

特に下記の内容に配慮した提案を求める。

- ① 特別に意義深い講演のためのレクチャーホール(諸先生の退官記念講義, 海外著名学者による記念講義, 学術賞の受賞記念講演など)

ライブラリー内のアプローチの壁面には歴代名誉教授の先生方の肖像写真を掲げるとともに成果品を展示して、京都大学創設時から続く地球系専攻(土木工学系)の伝統を感じられる空間とする。聴衆が厳かな気持ちでレクチャーホールに入るための装置として、アプローチを位置付ける。レクチャーホールからの眺望として、近景にクラスターCの建築棟・物理棟に囲まれた中央広場、中景には桂キャンパス全体、遠景には吉田キャンパスの所在地である京都市内や東山・北山を一望できるように配慮する。新旧融合を実感できる桂キャンパスの最高の空間とする。地球系専攻の関係者・OBにとって特別の意味を持つ空間として、地球系関連研究棟内部で位置付ける。なお、諸外国でのライブラリーでのもてなしに配慮し、アカデミックな至高の接待が可能な空間とする。

- ② 常時はエキジビションルームとしての機能

常時は、研究紹介パネルを設置して、各分野の研究内容のエキジビションスペース、およびラウンジとして利用する。OBを中心とする産業界との交流の場として、研究内容のエキジビションを行う場としての機能を想定している。アプローチが、エキジビションの演出にとって重要な役割を果たすよう計画する。なお、パネルは容易に移動可能なものとして、レクチャーホールやレセプションホールとしての利用を容易にするよう配慮する。

- ③ 比較的少人数の国内・国際セミナーの開催

比較的少人数の国内・国際セミナーを開催する場合、パラレルセッションルームとして

1階の会議室群を活用し、セレモニーやレセプションを行うメイン会場としてライブラリー・レクチャーホールを使用する。項目①で記述したレクチャーホールの雰囲気は、地球系関連分野の研究者に、特に感銘を与え、少人数であっても意義深いセミナーとするための有効な舞台装置として計画する。

④学外のセミナー参加者に対して交流会（レセプション）の開催

学外のゲストを迎えての特別講演会やセミナーでは、レセプションルームとしての機能も持たせる。窓外に広がる美しい眺望が、参加者の記憶に残るような計画とする。

⑤地球系以外の系の利用に関して

総合研究棟 V はヒルトップに位置するため、本レクチャーホールからの眺望は特に配慮する。桂キャンパスに諸外国から賓客を迎える際にも、展望ホールとして桂キャンパス全体を一望できる本ホールは、もてなしの場として使用する（この際には、レセプションの併催も想定している）。このように本ホールは、講堂やインテックセンターの大講義室では代替できない特別の空間としての性格を有しており、クラスター C 内の建築系・物理系はもとより桂キャンパス全体計画の中での位置付けにも配慮する。

- (9A) 外国人研究者室(1)
  - ・ 招聘外国人学者など共同研究のために来学する外国人研究者の研究室
- (9B) 外国人研究者室(2)
  - ・ 外国人研究者の居室として利用
- (9C) 外国人研究者室(3)
  - ・ 外国人研究者の居室として利用
- (10) 研究用資料保管庫
  - ・ 研究用資料を保管する
- (11) 協力講座教官室
  - ・ 協力講座の教官の研究並びに打ち合わせ室
- (12) 協力講座学生室
  - ・ 協力講座の学生の研究並びに打ち合わせ室
- (13) 事務室
  - ・ 教育研究支援のための事務室
- (14A) 用務員室
  - ・ 会議等の飲み物等の準備、雇用職員の休憩所
- (14B) 印刷室
  - ・ 教育研究支援のための印刷室
- (15) メールボックス室
  - ・ 研究室宛の郵便物を仕分けるためのボックスを設置
- (16) 職員談話室・女子更衣室
  - ・ 教職員および学生の休養・ミーティング・昼食及び更衣のため
- (17) 事務室倉庫
  - ・ 教育研究支援のための雑誌等の保管倉庫
- (18A) 会議室(1)
  - ・ 専攻会議及び遠隔会議
- (18B) 会議室(2)
  - ・ 専攻会議及び遠隔会議



- (18C) 給湯
- ・会議などの準備のため
- (18D) 技術室
- ・技官の作業及び待機スペース
- (18E) 小会議室 (3)
- ・専攻委員会会議など
- (18F) 共同利用室 (35㎡)
- ・小規模なセミナーや研究会
  - ・研究室周辺での小規模ミーティングディスカッションの場
- [補足事項]
- 開放感 (廊下側壁面はガラス+ブラインド) のある明るい雰囲気とする。  
シンプルでシャープな内装とする。  
特に事業者による提案を求める。
- (18G) 共同利用室 (50㎡)
- ・小規模なセミナーや研究会
  - ・研究室周辺での小規模ミーティングディスカッションの場
- [補足事項]
- 開放感 (廊下側壁面はガラス+ブラインド) のある明るい雰囲気とする。  
シンプルでシャープな内装とする。  
特に事業者による提案を求める。
- (18H) 男子更衣室
- ・教育研究支援のための作業着に更衣するため
- (18I) 更衣室
- ・実験などのための更衣。作業着の洗濯。
- 2) 構造系
- (19A) 第1 構造実験室
- ・大型構造物模型の載荷実験
- (19B) 第1 構造実験制御室
- ・第1 構造実験室での実験および計測の制御
- (20) 第3 構造実験室
- ・大型振動台における構造模型の振動実験
- (21A) 第2 構造実験室
- ・材料試験、構造部材の載荷実験および疲労実験
- (21B) 第2 構造実験制御室
- ・載荷実験の制御および計測
- (22) 工作室
- ・実験用小型構造物模型の製作や実験用載荷治具等の工作
- (23) 供試体製作室
- ・実験用構造物模型の製作
- (26) 第1 コンクリート実験室
- ・コンクリート供試体の製作・計測 (コンクリートミキサー等の設置)

[補足事項]

コンクリート洗浄水の中和沈殿槽を設置  
排水のpH調整が、地球系で一括して行われる場合でも、  
洗浄水中のコンクリート残留分を沈殿させ排水のみ行うため。

(27) 第2 コンクリート実験室

・コンクリート供試体の計測（計測機器・環境槽等の設置）

(28) コンクリート恒温室

・コンクリート供試体を暴露する恒温室および恒温水槽の設置

(29) コンクリート分析室

・コンクリート供試体の分析（分析機器等の設置）

(30) コンクリート用骨材ピット

・コンクリート用骨材および実験コンクリート廃棄物の保管… 2ピット  
更衣室… 1ピット  
計3区切り

[補足事項]

・保管ピット：壁高1mのオープンスペース  
・更衣室：天井高3メートルのクロードスペース

(31A) 風洞実験室

・風洞実験 計測・解析

(31B) 風洞実験室

・風洞実験 計測・解析

(31C) 風洞実験室

・風洞実験 計測・解析・工作

(31D) 風洞実験室

・風洞実験 計測・解析

(32) 構造計測室

・実験計測・制御および実験用計測機器の保管とメンテナンス用スペース

(33) 構造解析室

・構造実験データ収集／処理作業、およびそのデータ解析作業用スペース

(113) QNDE室

・レーザー超音波、AEなどの非破壊評価に関する研究・教育を行う

(114) CAE室

・コンピュータ支援工学用の専用室としてプログラムの研究・開発と各種の実習を行う。

(115) 並列計算機室

・並列計算機・クラスターを設置する専用室として使用する。

3) 水工系

(35A) 乱流水理実験長水路実験室(39室と一体利用)

・乱流水理学に関する高性能計測実験。  
レーザー流速計、画像解析流速計など空調の完備した高精度乱流計測

[補足事項]

⑤風洞開水路実験装置(工学部1号館水理実験室より移転)→一定温度空気量が必要

- ⑥多目的風洞開水路実験装置(工学部1号館水理実験室より移転)→一定温度空気量が必要
  - ⑦流砂水路実験装置(工学部1号館水理実験室より移転)
  - ⑧広幅河川実験装置(工学部1号館水理実験室より移転・復元)
  - ⑨と⑩レーザー流速計装置コントロール室(工学部1号館より移転) 2設備の移転
- (39)環境水理実験室(35A室と一体利用)
- ・環境水理に関する高性能計測実験を行う。  
レーザー流速計、画像解析流速計など高度空調の完備した高精度環境水理計測
- [補足事項]
- ①風洞実験装置(土木5号館西館3より移設)
  - ②可視化開水路実験装置(土木5号館西館2より移設)
  - ③急勾配開水路実験装置(土木5号館西館1より移設)
  - ④レーザー流速計装置コントロール室(土木5号館西館より移転) 外寸4.6m×2.3m
- (35B)実験準備室
- ・水理実験の準備と管理を行う。  
工作機器, PC, プリンタ等の設置と運用
- (35C)データ解析室
- ・実験データの解析をコンピュータ群を活用して行う。数値計算も行う。  
PC, 超並列計算機, PCクラスタ, 画像処理機器, プリンタ等の機器の設置と運用
- (36, 38A)
- (36)流域土砂動態研究実験長水路実験室
- ・流域内の土砂の輸送過程を解明するための水理実験を実施する。実験室内には河床・河道変動実験用長水路二本(幅2m×長さ35m(コンクリート製), 幅1.5m×15m), 河口密度流実験装置などが設置される。
- (38A)都市型水害対策実験用長水路実験室A
- ・都市型水害発生時に生じる過渡水理現象を解明し予測するための基礎水理実験を実施する。実験室内には、地下水路系過渡現象実験装置, 吸い込み渦実験装置などが設置される。
- (37, 40A)
- (37)動的相互作用実験用長水路実験室
- ・水域内に設置された構造物・基礎地盤・流体の3者相互作用の再現を目的とした水理実験を実施する。実験室内には、多目的水理・地盤実験装置(振動台および循環流システムを装備した全長50mの造波水槽)および、同時加減圧可能振動流発生装置が設置される。これらの装置では波浪と構造物の相互作用, 波浪伝播に伴う海底地盤の液状化現象など構造工学, 地盤工学と水工水理学といった複数の分野に渡る課題についての実験が実施される。
- (40A)非線形波動水理実験室A
- ・海岸域, 河川急変流区間等, 水域の至る所で出現する水面波について, 基礎的水理実験を実施する。実験室内には, 造波水槽, 耐圧振動流装置, 移動床実験用振動流装置が設置される。これらの装置では, 水面波の非線形伝播特性, 水面波による底泥層の不安定現象, 流動土砂層と水層界面の不安定現象など気相・液相・固相(土砂)の界面付近の構造に関する水理実験を実施する。
- (38B)都市型水害対策実験用長水路実験室B
- ・都市型水害や都市水環境に関する実験や観測結果の分析・解析を行う, コンピュータによる解析や観測機器などの調整が行われる他, 暗室に顕微鏡, 生物実験用の水槽が設置される。

(40B) 非線形波動水理実験室 B

- ・海岸域，河川急変流区間等，水域の至る所で出現する水面波について，基礎的水理実験を実施する。実験室内には、造波水槽，耐圧振動流装置，移動床実験用振動流装置が設置される。これらの装置では，水面波の非線形伝播特性，水面波による底泥層の不安定現象，流動土砂層と水層界面の不安定現象など気相・液相・固相（土砂）の界面付近の構造に関する水理実験を実施する。

(40C) 非線形波動水理実験室 C

- ・40A室および40B室で実施される水理実験とともに，気相・液相・固相（土砂）の界面付近の構造を解き明かすための有力な手段が計算力学である。本解析室内には，並列型計算機を設置し，数値シミュレーションによって非線形波動水理現象の解明に取り組む。

(41A) 大気・水観測・測器調整室 A

- ・野外観測装置の調整・試験とキャリブレーション  
バルーンによるゾンデ観測ならびにその受信（年に数回程度）

[補足事項]

他室からのケーブルの引き込みは必要時のみ行う

(41B) 大気・水観測・測器調整室 B

- ・野外観測装置の調整・試験とキャリブレーション

(42) 地球流体マルチプロセッシング室

- ・疎結合並列ノード群を用いた大気・熱循環シミュレーション及び人間行動シミュレーション  
屋上に設置する可搬型衛星画像受信アンテナとケーブルでつないだ受信機を常時設置する。

4) 地盤系

(43) 地盤基礎実験室 (恒温・恒湿制御部)

- ・温度および湿度の変化に敏感に反応する粘土，砂，軟岩等の地盤材料の力学的な物性値を恒温・恒湿環境下において各種実験を行うことにより精密に求める。

(44) 地盤基礎実験室 (恒温制御部)

- ・温度の変化に敏感反応する粘土，軟岩等の地盤材料の力学的な物性値を恒温環境下において各種実験を行うことにより精密に求める。

(45) 基礎実験計測管理室

- ・温度変化に敏感な地盤材料実験の供試体の作製や，各種精密計測機器を設置し，地盤基礎実験室で行う実験を集中管理する。

(46) 地盤模型実験室

- ・砂，粘土，軟岩，硬岩等の地盤材料を対象としたトンネル掘削，杭基礎，ダム堤体基礎，橋梁基礎，斜面崩壊等の中・小規模模型実験装置を設置し，地盤工学における諸問題の解明を行う，併せて，それらの実験で用いる地盤試料，地盤構造物模型の準備・製作を行う。

(47) 地盤模型実験室 (恒温制御部)

- ・液状化や圧密沈下現象，地盤内浸透流や温室効果ガスの地下貯留等の地盤工学的諸問題における地盤および地盤構造物の挙動を解明するため，大型・中型模型実験および中規模要素試験を恒温恒湿条件下で行う。また，これらに付随する地盤材料・地盤構造物の作製・準備などを実施する。

(48) 模型実験計測管理室

- ・粘土・砂・軟岩・硬岩等の地盤材料の力学的・水理学的な物性を求める基礎実験および地盤

の液状化，斜面安定，トンネル掘削など地盤工学的諸問題に関する模型実験を実施・管理・制御を行う。

(49) 試料保管室

・原地盤で採取してきた自然堆積粘土，砂，軟岩・硬岩等の貴重な実験試料を，恒温・恒湿環境下で長期にわたり採取状態を高品質で維持して保管する。

(50) コンプレッサー室

・模型実験装置・要素試験装置に供給する圧縮空気を生成管理する。  
実験装置および計測機器の機械加工，修理，作動調査等を行う。

(51) X線実験室

・X線透視装置を用いた地盤内変形場の可視化実験を行う専用室。X線遮蔽性能を有する。

(52) X線計測・準備室

・隣室のX線実験室（051）に設置した実験機器のための遠隔操作やデータ収集・解析と実験準備のための部屋である。

(52B) コンプレッサー室

[補足事項]

・騒音・振動を発生するため，他の設備と隔離する必要がある。また，継続運転するため室内が高温になる危険性があるため，室温は常に一定となるように制御する必要がある。

5) 資源系

(53) 地殻環境模型実験室

・地殻環境における地表・地下空間開発，環境保全，防災，地下資源開発における技術開発を目的として，地殻における地質および物性構造，水理・力学環境，物質移動現象等をモデル化した地震探査モデル，可視化水槽モデル，岩盤不連続面モデル，力学構造モデル，浸透流・物質移動モデル，岩盤注入モデルによる模型実験を行う。

弾性波計測装置，水槽実験装置，比抵抗実験装置，ボアホール試験モデル実験装置を移設するほか，岩盤浸透流実験装置，岩盤注入実験装置を新設し，地殻環境における水理・力学環境および物質移動現象について実験的に再現し，それらの特性について評価する。

(54) 大深度地下物性実験室

・大深度を対象とした資源開発技術，地下空間開発技術，地下情報収集技術，地下における物性移動のモニタリング技術などの研究開発を目的に，大深度地下環境における岩盤および地層流体の基本物性を計測評価を行う。

岩石材料試験装置，一面せん断試験装置，一軸引張試験装置，浸透率孔隙率測定装置，岩盤透水試験装置，岩石試料加工装置（NC加工装置 他），岩石変形精密計測装置，岩石三軸圧縮試験装置を移設するほか岩盤応力実験装置を新設し，岩盤および地層流体の基本物性を計測評価する。

(55) 岩石鉱物分析室

・地殻環境における地表・地下空間開発，環境保全，防災，地下資源開発における技術開発を目的として，地殻の最も基本的な構成物である岩石・鉱物組織構造および化学組成に関する分析を行う。

実験や分析に供する岩石試料の調整装置，偏光顕微鏡岩石組織分析装置を移設するほか，電子顕微鏡鉱物組織分析装置，X線鉱物組成分析装置，CT岩石組織分析装置，EPMA鉱物元素分布分析装置，原子吸光科学組成分析装置，高速液体クロマトグラフ化学組成分析装

置を新設して、地殻の物理的・化学的特性に影響を及ぼす岩石・鉱物の微細構造および化学組成を明らかにし、地殻に関するミクロな特性を評価する。

(56) 地化学環境実験室

・地殻を対象とした資源開発技術、地質工学技術、モニタリング技術、計測評価技術、地殻環境保全技術の開発を目的として、地殻環境を地化学的に詳細に把握するため、モニタリング装置を移設するほか土壌浄化実験装置、岩石物理特性・劣化環境試験装置、化学分析装置、相挙動実験装置を新設し、地殻環境の基本物性を地化学的に検討すると同時に地殻環境保全技術の開発を行う。

(57) 地殻環境解析室

・地下空間利用に係わる研究開発においては、地形・地質・岩盤・水理などの地殻を対象とした地下構造の調査・計測データの解析とその解釈、およびそれらの情報に基づいた、大規模な力学系シミュレーションや物質流動との複合シミュレーションを行う。

空中写真解析装置やリモートセンシングデータの解析システム、および物理探査データの処理・解析システムを移設し、実計測データの解析と、それにもとづく各種シミュレーションを実施する。

(58) 地下電磁計測実験室

・地下資源開発や地下空間利用を対象とする物理探査や、地下における物質移動や環境のモニタリングにおいては、さらなる高精度な探査計測技術開発のために、電気・磁気あるいは超音波を利用した新しい計測手法についての基礎的研究とその実用化にむけた機器の開発・評価を行う。

地中レーダ装置、比抵抗探査装置、岩石表面形状測定装置、磁気特性測定装置、およびその電源装置などを移設し、新しい地下探査技術や非破壊非接触計測技術の開発を目的とした基礎研究と、試作機器の製作・評価を行う。

(59) 地下可視化解析室

・地下資源の開発や、地下の空間利用においては、対象となる地下の3次元的な構造の事前推定のために、各種の計測・探査データや他の地質学的な情報など、多種・大量の情報を解釈・加工し、さらにそれを視覚的な情報（いわゆるバーチャル・リアリティ）として統合・表現していく技術の研究開発を行う。

データ処理・解析結果の3次元可視化を行うためのスクリーン（高さ2m、幅5m）や、それに付随する高速データ回線を新設するとともに、計算機システムやいくつかの解析システムを移設して、実システム利用したバーチャルリアリティ実現のための、基礎技術の研究開発と評価を行う。

6) 計画系

(60) 対話型行動心理観測実験室

・利害が対立する多種多様な主体の意思決定を対象として室内実験を行い、いわゆる相互依存性が認められる状況下での意思決定・心理的な作用を観測・データ収集する。

・学生が各々公共側・市民・専門コンサルタントの役割を担い、Role Play形式でディベートを展開することで、市民参加を前提とした計画策定プロセスに関する実習を行う。

・実験室内に設置されたコンピュータを利用して、上記の実験データの解析・モデル化を行う。

(61) 運転行動シミュレーション室

- ・ドライビングシミュレータを設置し、極度な悪天候下や他の車両が事故を引き起こした状況下でのドライバーの運転操作や運転心理に関するデータを収集する。
- ・ドライビングシミュレータならびにCG映像を利用した室内実験を実施し、案内標識や交通情報提供の最適デザインに関するデータを収集する。
- ・実験室内に設置されたコンピュータを利用して、上記の実験データの解析・モデル化を行う。

## 7) 空間情報系

### (62) 精密空間情報計測室

- ・デジタルカメラ等により実験室内に置いた対象物を撮影し、精密な画像計測を行うことにより対象物の三次元空間情報を取得する。主に撮影用のスタジオとして使用し、対象物は工業製品、模型、人物など様々であり、それらを取り囲むように様々な方向から撮影する。そのため広い空間が必要となる。現像用の暗室も必要である。
- ・また、室内及び野外で取得した空間情報を実験室内のコンピュータに取り込み、CADやGIS上でそれらの空間情報を統合する。
- ・また、デジタルカメラ等の精密計測機器の保管とキャリブレーションを行う。

## 8) 生活環境系

### (63) 温湿度環境制御実験室

- ・温湿度の制御された環境下で、都市や建築の日照・採光、熱環境および環境の実験や準備を行う。

### (64) 温湿度環境制御実験準備室

- ・環境調整ならびに材料、構工法による、地球環境負荷低減のための研究を行うための機材の保管、試験体の製作、基本的な材料試験などを行う。

### (65) 人工環境実験制御分析室

- ・室内外の温湿度環境が、人間生理や快適感・温熱感に及ぼす影響、材料の熱湿気物性に及ぼす影響を調査研究する。

#### [補足事項]

世界各地の気候での屋内と屋外の温湿度環境を再現するため、2室の恒温恒湿室を連結し、独立して空調する必要がある。ただし既成のプレハブ恒温恒湿室では対応できない場合は、「築造式恒温恒湿室」すなわち建築物の壁に断熱・防湿を施して部屋そのものを恒温恒湿室に改装する必要がある。

### (66) 外界気象計測機器室

- ・屋上に設置する外界気象観測装置の計測機器を設置し、観測機器の調整をする。

#### [補足事項]

気象観測機器の光学的較正を行うために、暗室仕様とする。

計測機器及び光学機器を安定して稼働させるため、年間を通じて温度 $24^{\circ}\text{C} \pm 2^{\circ}\text{C}$ 、湿度 $40\% \pm 10\%$ に空調する必要がある。

### (66B) 小観測室

- ・小観測室には、この小観測室と階段室を合わせた屋上(32 $\text{m}^2$ )に設置する外界気象観測装置のデータロガーと観測装置制御用PCを設置する。

#### [補足事項]

日常的な点検のため道具や機器を持って屋上に上がるので、ハシゴではなく、手摺付き階段が必要。

落雷による機器破損事故（九州大学の観測所で発生した）を防ぐため、階段室及び小観測室の屋上全体を保護する避雷針が必要。ただし、機器に日陰を落とさぬように、屋上の北側中央に設置する。また連続観測のため、電源に停電対策（非常用）が必要。

(66C) 日照環境実験室の設置場所（将来対応）

・将来、プレハブの実験室（ユニットハウス）を4階屋上に設置し、太陽光による日照環境の実験をする予定がある。

そのため、アンカーを打ち込める布基礎と防水型コンセント盤（電源・情報）を設置しておく必要がある。

(67) 移動空間シミュレーション実験室

・多様な都市環境・空間をフルスケールで再現し、高齢者や障害者の歩行や車椅子の利用を実測し、ユニバーサルデザインに関する実験と評価を行う

(68) 景観シミュレーション制御室

・コンピューターグラフィックスを用いた高度な景観シミュレーション機器とシステムの制御のために利用。

(69) 行動解析分析室

・移動空間シミュレーション実験室および生活設備シミュレーション実験室で行った動作解析データを分析する。

(70) 景観シミュレーション実験室

・コンピューターグラフィックスを用いた景観シミュレーションおよび、都市構造物と公共空間の景観デザインの設計製図・モデル作成のための実験作業室として利用。

(71) 生活設備シミュレーション実験室

・キッチン、浴槽、トイレなどの住空間をフルスケールで再現し、高齢者や障害者の日常生活動作を実測し、ユニバーサルデザインに関する実験と評価を行う。

9) 環境系

(72, 73) 冷蔵保管室, 冷凍保管室

環境汚染の実態を調査する上で、環境水、土壌、生物、植物、食品、廃棄物等様々な環境試料を多種多量に分析する必要があるが、これらの安定な保存を行う。ダイオキシンなどの微量な有害物質を分析するためには、保存期間中の分解や損失を防がねばならない。そのため分析対象物質によっては±2℃の精度で冷凍保存及び冷凍保管の必要がある。また食品や廃棄物などは腐敗を防ぐため、冷凍保管せねばならない。また長期間の停電に備え、自家発電機（非常用）に接続する必要がある。

(74, 89) 試薬管理室、天秤室

- ・試薬類の保管・管理
- ・秤量、ろ紙等の精密重量測定

[補足事項]

試薬類の調整

(防犯・防災特別仕様：入退室管理システム・試薬使用管理・防犯用人感センサー  
・安全シャワー他)

(75A, 76, 77) 実験器具保管室, フィールド調査準備室, プラント保管庫



- ・環境工学の実験場は大学だけではなく、大学外における実験および試料の採取をおこなう機会が多い。これらのフィールド調査を円滑に進めるために、試料の準備や作業の準備を行うためにフィールド調査準備室を設ける  
プラント実験室は、パイロット実験を中心に実験を実施するため、様々な備品、機材、プラント自体を保管する必要がある、その用途で保管庫を設置し使用する。

(75B, 75C) 実験器具保管室

- ・実験・研究に使用する実験器具や装置等を保管する。一時的に使用しない器具類を保管することによって化学実験室や生物実験室などの共通利用実験室のスペースの有効利用を図る。
- ・実験・研究に使用する実験器具や装置等を保管する。一時的に使用しない器具類を保管することによって化学実験室や生物実験室などの共通利用実験室のスペースの有効利用を図る。

(77b) 実験管理室

- ・環境系実験棟全体の利用状況を把握し管理するとともに高度分析機器及び実験装置に関する資料を保存し管理するために使用する。
  1. 高度環境分析機器及び実験装置の取り扱い説明書を保存管理する。
  2. 高度環境分析機器及び実験プラントによる研究実績記録を保存管理する。
  3. 実験棟全体の利用状況を常に把握しコンピューターにて管理する。
  4. 高度環境分析機器の使用、予約状況をコンピューターにて集中管理する。
 本管理室には資料保管庫、コンピューター及び机・椅子等が設置される。

(78) 低温環境実験室

化学物質等に汚染された環境のバイオレメディエーション技術を研究する上で、微生物・植物による汚染物質分解メカニズムを明らかにすることが重要であるが、そのためには生物の遺伝子や酵素の機能解析を行わねばならない。特に酵素（蛋白質）は温度によっては変性しやすいため、実験上低温環境で扱うよう求められることが多い。大幅な温度上昇・低下は蛋白質の変性に関わるため、温度制御は $4\pm 1^{\circ}\text{C}$ の精度が必要である。また長時間の停電に備え、自家発電機（非常用）に接続する必要がある。

(79) 常温環境実験室

バイオレメディエーション技術の基礎研究においては、化学物質の蛋白質等生体内高分子による吸着、代謝の機構を明らかにすることが重要である。吸着や代謝に関与する酵素・蛋白質は条件によっては常温環境における安定的な取扱が求められるため、 $20\sim 30^{\circ}\text{C}\pm 2^{\circ}\text{C}$ （設定温度可変）の精度における温度制御が必要である。

また、環境汚染物質の毒性評価のため実験動物の飼育は重要であるが、代謝試験などでは温度条件がデータの再現性に影響する可能性が考えられるため、常に一定温度を保つ必要がある。また長時間の停電に備え、自家発電機（非常用）に接続する必要がある。

(80) 中温環境実験室

環境汚染物質の生体影響評価を行うには魚類や低生生物を用いた試験が求められるが、その影響メカニズムを解明する基礎研究においては再現性の高い実験データが必要である。生物を用いた試験の場合、その再現性は実験環境に大きく左右され、特に温度の変化は生物の代謝等に影響する。また、本実験室では培養微生物による環境汚染物質の分解試験も予定されるため、温度制御は $20\sim 37^{\circ}\text{C}\pm 1^{\circ}\text{C}$ （設定温度可変）とする必要がある。また長時間の停電に備え、自家発電機（非常用）に接続する必要がある。

(81) 恒温恒湿室

環境汚染物質の生態影響評価やバイオレメディエーション研究のため植物の培養等を行い、

その植物の変化機序を生化学的または分子生物学的に研究する。植物培養には照度・温度・湿度の管理が重要である。照度は育成棚にLED等を取り付けることでは管理するが、本実験室の温度・湿度制御は $20\sim 30^{\circ}\text{C}\pm 1^{\circ}\text{C}$ 、 $50\sim 70\%\pm 5\%$ とする必要がある。また長時間の停電に備え、自家発電機（非常用）に接続する必要がある。

(82, 97) ガス供給室・環境微生物培養室

環境保全・修復技術に求められる生物処理に関する研究や、環境汚染物質が生物に与える影響について研究を行うため、微生物による汚染物質分解試験や影響試験を行う。そのため培養した微生物を実験に用いるので、インキュベーター、振とう培養器、培養液等の試薬の調整に必要なオートクレーブ、菌体の回収に必要な大容量冷却遠心器などを配置する。また安全に微生物を使用するためバイオハザード対策安全キャビネットを配置する必要がある。化学物質の使用があるため、クリーンベンチを配置する必要がある。

(83, 93, 94) 純水供給実験室、高純度ガス供給室、ガスボンベ保管室

・各高度分析機器の使用のためには、高純度ガスが必要であり、高純度ガス供給室ではそれらのガスを一括集中して管理し、送ガスするために使用する。本室では、供給しているHe, Ar, N<sub>2</sub>, O<sub>2</sub>, Airの在庫ガスボンベを保管する。

また、環境中の様々な物質、特に有害物質の挙動を評価するためには、環境サンプルの分析が必要である。前処理から、分析操作まで、分析精度を保持するためには、純水の使用が不可欠である。また分析機器によっては運転に純水を必要とする機器も有る。

以上のことから、これらの各実験室に純水を供給するために、純水製造装置、およびその供給配管設備を送液設備を本室に設置する。

(84) プラント実験室

・環境工学における研究の大きな柱として、環境保全プラントおよびエネルギー創出、回収プラントの開発が挙げられる。特にこれら環境保全プラントからの有害物質の発生を抑制に関しては、既存のプラントで生じている複雑なメカニズムを解明するために、パイロット、ベンチスケールでのプラント実験を実施する必要がある。

また、プラントの開発により、汚染物質の排出やエネルギー消費の削減、循環型社会システムの構築への寄与、学術的な知見の蓄積が期待できる。

以上から、本実験室は、主に実規模プラントを想定したパイロットプラント実験を中心に使用する。

(85) 化学実験室

・環境試料に関する化学実験を行う。

(86) 物理実験室

・一般的な物理計測・物理実験の実施。

[補足事項]

電気化学的計測・実験を行ったり、環境放射能測定のため前処理操作なども行うため化学計測・実験を行える設備も必要である。

(87) 生物実験室

・環境保全・修復技術に求められる生物処理に関する研究や、環境汚染物質が生物に与える影響について研究を行うために必要な生化学的・分子生物学的実験を行う。また生物に影響を与える環境汚染物質の同定・定量のため化学分析も行う。本実験室では生物実験に必要なオートクレーブや恒温槽、顕微鏡、また試料調整のために必要な凍結乾燥機などを配置する。また安全に微生物を使用するためバイオハザード対策安全キャビネットを配置する必要がある。

る。化学物質の使用があるため、クリーンベンチを配置する必要がある。

(88)分析管理室

- ・極微量汚染物質検出室や環境重金属汚染物分析室などの分析機器に関するマニュアルやメンテナンス情報、その他資料などを整理し、管理する。また、分析データの解析を行い、ディスカッションができるような会議室の役割をもつ。

(90)極微量汚染物質検出室

- ・環境汚染物質の環境動態を明らかにすることは、環境工学が担うべき重要なテーマであり、特にヒトに有害な影響を及ぼす可能性のあるPCB、ダイオキシン、トリクロロエチレン、内分泌攪乱物質など極微量汚染物質の環境中での挙動を明らかにすることを目的とする。具体的には、高性能ガスクロマトグラフ質量分析計、液体クロマトグラフ質量分析計等の高性能分析機器を設置し、環境試料中の極微量汚染物質の分析に使用する。

(91)環境重金属汚染分析室

- ・環境試料中の微量重金属濃度の測定を行う。  
室内環境からの汚染を避けるため、室内は常にクリーンに保つ必要がある。

(92)水士環境分析室

- ・主として土壌を試料とする、実験および測定のために使用する。  
土ほこりなどが発生しやすいことが特徴である。

(95)生体毒性評価実験室

- ・核磁気共鳴分析装置、電子スピン共鳴スペクトロメータなどによる貴金属やラジカルの検出、および有機化合物の構造決定を行う。核磁気共鳴分析装置、電子スピン共鳴スペクトロメータの相互干渉および隣室の精密分析機器への影響を防止するために壁等は磁場シールド加工を施す(1 Gauss以下にする)。緊急用、保守管理用に換気扇を設ける。

(96・99)高度機器分析室、高度分析関連器具保管室

- ・ガスクロマトグラフ/質量分析計、ガスクロマトグラフ、イオンクロマトグラフなどにより環境中の微量汚染物質の分析を行う。

(98)環境生物培養実験室

- ・環境汚染物質が生物に与える影響について研究を行うため、ヒト等の哺乳動物の培養細胞を用いた毒性試験を行う。動物細胞の取扱は、無菌的に行う必要があるためクリーンベンチが必要であり、培養は温度と炭酸ガス濃度の管理が必要であるため、CO<sub>2</sub>インキュベーターを使用する。また培養する細胞は株化細胞だけでなく、実験動物等から採取することもあるためバイオハザード対策安全キャビネットを配置する。培養細胞の観察、計数には位相差顕微鏡、コールターカウンター等を使用する。

(100)試料前処理室

- ・分析に供する試料の前処理を行う。

(101)精密試料前処理室

- ・微量測定のための試料調整を行う。

(103)環境化学物質分子毒性評価室

- ・環境汚染物質が生物に与える影響に関する研究を行うため、主に分子生物学解析を行う。例えば、LC/MSなどを用いた汚染物質のDNA損傷性の定量や、DNAシーケンサーによる遺伝子の変異等の解析等を行う。本実験室には、LC/MS、DNAシーケンサーを始め、顕微鏡画像解析装置やルミノメーター、マイクロプレートリーダーなどの解析機器、測定機器を主に配置する。化学物質の使用があるため、クリーンベンチを配置する必要がある。

(106)防音室

- ・防音室には、外部から音が侵入しないため、測定対象音のみを正確に測定が可能である。そのため、
  - ・スピーカやマイクなどの音響機器の特性の評価
  - ・各種材料の吸音・遮音効果の評価実験
  - ・録音した現場の音場を忠実に再現した聴覚心理実験
  - ・聴力検査、模型実験

等が実施できる。

(107) X線使用実験室

- ・有害物質（得て無機物）の環境中の挙動を解析するために、環境サンプル中の元素、化合物組成、微細構造を分析するためには、X線の使用が不可欠である。

本実験室は蛍光X線分析装置およびX線光電子分光分析装置、電子顕微鏡、X線回析装置からなる実験室であり、X線を使用して、環境試料に含まれる元素の含有量およびその結合状態などを測定する。

(108)実験廃液調整保管室

- ・各種実験によって発生する実験廃液を環境保全センターにて処理できるように調整し、一時的に保管する。

(109)環境計算室

- ・並列計算機など、環境工学専攻で共通に使う計算機およびその関連設備、関連図書を配置する。

10) 建築系

(110・111・112)国際共同研究室1、国際共同研究室2、国際共同研究室3

- ・国際的な学術交流のために来日した研究者の利用。

(112A)建築環境設計学

- ・建築環境設計学系の院生室

(112B)地盤環境学

- ・地盤環境学系の院生室

(112C)地盤環境工学サブラボ

- ・建築模型あるいは地盤模型の簡易的な振動実験を行う。さらに、大学院生が野外調査等のデータ分析を行う。

11) 居室

(116)教授室

- ・教授の研究室

(117)助教授室

- ・助教授の研究室

(118)共同利用室

- ・教官・院生の共同利用室
- ・特に事業者による提案を求める。

(119)院生室

- ・院生の研究・学習室

12) 設備室

(122)防災センター、(123)電気室、(124)機械室、(125)EV機械室

13) 廊下・手洗い等

(120) エントランスホール

- ・総合研究棟Ⅴの顔として来客を迎える場

[補足事項]

余裕のある天井高とシンメトリックな柱列を活用して、明るくかつ威厳ある雰囲気 연출 する。

木質系で格調が高い内装とする。

特に事業者による提案を求める。

(121) ラウンジ

- ・研究者が交流することで新たな発想を喚起する場

[補足事項]

知的で品のあるラウンジ、明るめで暖かみのある内装とする。

各階ラウンジには喫煙スペースを設置する。

喫煙スペースは、ガラスで仕切り、独立性を保ちながらも明るく圧迫感のない空間とする。

特に事業者による提案を求める。

(126) ゴミ収集場

(127) サービスヤード

- ・サービスヤード内の歩行者の安全を確保すること。

(128) 廊下、(129) 階段、(130) 便所

## 7-2. 福利・保健管理棟

### 1) 保健管理棟

- (1) 相談室
  - ・学生・教職員のカウンセリングルーム
- (2) 処置・休養室
  - ・職員・学生の健康相談・診療に使用
- (3) 診療・遠隔医療室
  - ・教職員・学生の診察・健康相談に使用
- (4) 研究室
  - ・保健管理センター研究室
- (5) 物置
  - ・健康診断・診療用具の置き場
- (6) 受付・事務室
  - ・職員・学生の健康相談・カウンセリング・診断及びヒーリングサービスの受け付け、事務室として使用
- (7) 検査室
  - ・教職員・学生の検査に使用
- (8) 会議室・スタッフルーム
  - ・保健管理担当職員のスタッフルームと会議室を兼ねる
- (9) 倉庫・更衣室
  - ・倉庫：エクササイズルームは職員・学生の健康診断にも使用するので設備品の収納倉庫を設ける。
  - ・更衣室：エクササイズ利用者の更衣室
- (10) エクササイズルーム・ヒーリングルーム
  - ・教職員・学生のエクササイズ、ヒーリングルームとして使用
- (11) 便所、(12) 倉庫
  - ・フロアの規模に応じて適切な規模を確保する。

### 2) 福利棟

- (13) エントランスロビー
  - ・福利棟の主出入口として、各諸室への動線を考慮する。
- (14) 多目的ラウンジ
  - ・普段はごく一般的なラウンジとして利用し、状況に応じて各レストランと接続できるよう利用形態を多様化させた計画とする。また、吉田方面への軸線および景観に配慮した計画とする。
- (15) 和風レストラン
  - ・和風のしつらえとし、来客の対応にも利用できるよう給仕式とする。
  - ・設定席数を45席とし、回転率は3回で最大食数を135人分とする。
- (16) 厨房(和風レストラン)
  - ・和風レストランの調理に支障のない室とし、厨房機器等を設置すること。
  - ・調理用の機器・機具類は、保守、洗浄、消毒が安易な材質、形式、構造で常に清潔に保たれていること。

- ・光熱水費低減の観点から、エネルギーロス、空調負荷の低減に配慮すること。
- (17) 搬入スペース
- ・厨房、購買等へのサービス搬入スペース。
- (18) 倉庫
- ・フロアの規模に応じて適切な規模を確保する。
- (19) 洋風レストラン
- ・日常的な利用に適したセルフ式の洋風レストランを設置する。
  - ・設定席数を190席とし、回転率は3回で最大食数を570人分とする。
  - ・洋風レストラン外部には設定席数を45席としたテラスを設け、回転率は3回で最大食数を135人分とする。
- (20) 厨房(洋風レストラン)
- ・洋風レストランの調理に支障のない室とし、厨房機器等を設置すること。
  - ・調理用の機器・機具類は、保守、洗浄、消毒が安易な材質、形式、構造で常に清潔に保たれていること。
  - ・光熱水費低減の観点から、エネルギーロス、空調負荷の低減に配慮すること。
- (21) ATM郵便局設置スペース
- ・利用しやすく、わかりやすい位置に設置する。
- (22) インターネットカフェ(会議室)
- ・利用者が自分のノートパソコン等で自由にインターネットを使用できるよう、無線LANを備えた給仕式のカフェを設ける。また、必要に応じて、会議室としても利用できるような計画とする。
  - ・設定席数を90席とし、回転率は2回で最大食数を180人分とする。
- (23) パントリー
- ・インターネットカフェ(会議室)の調理に支障のない室とし、厨房機器等を設置すること。
  - ・調理用の機器・機具類は、保守、洗浄、消毒が安易な材質、形式、構造で常に清潔に保たれていること。
  - ・光熱水費低減の観点から、エネルギーロス、空調負荷の低減に配慮すること。
- (24) スタッフルーム
- ・福利棟管理者の室とする。
- (25) 購買部
- ・日用品・文具等の販売や旅行・各種申込み等のコーナーとして利用するが、書籍・CD・パソコン等については、主としてインターネット注文に対応した受け渡しコーナーとして、省スペース化を図る。また、間仕切りなどの設置によって会議室にも利用できるようにする。
- (26) 展望デッキ(外部)
- ・京都市街・東山連峰への景観を考慮した計画とする。また、インターネットカフェから飲み物の提供も行えるようにする。ロトンダの中心から吉田キャンパス方向の軸線上に設ける。
  - ・設定席数を65席とし、回転率は2回で最大食数を130人分とする。
- (27) 機械室(1)、(28) 電気室、(29) 機械室(2)
- ・面積、室内の仕様等適切な規模及び計画とするとともに、メンテナンス動線の確保を留意する。
- (30) 便所

- ・男子便所、女子便所及び身障者便所を設けるものとし、フロアの規模に応じて効果的な位置に、適切な規模の便所を設置する。
- ・清潔感のある内装仕上とする。
- ・清掃等の維持管理面に配慮した計画とする。

(31) 廊下(保健管理棟共通)

- ・廊下の幅は、法令に定められた幅員を確保するとともに、動線計画に応じて適切な計画とする。
- ・単調にならないよう仕上や天井、照明等に工夫を行うこと。

(32) 階段(保健管理棟共通)

- ・階段の幅は、法令に定められた幅員を確保するとともに、動線計画に応じて適切な幅とし、日常の利用や避難時の安全性の確保に努める。
- ・踏面、蹴上については、昇降しやすい寸法とし、手摺と併せ転倒や落下に配慮した計画とする。



【別表1-1】各エリアの要求水準

エリア(室名)	(a) 一般事項						(b) 建築関係				(c) 電源設備		(d) 照明設備	(e) 電話・情報設備	(f) TV	(g) 入退室	(h) 給排水衛生設備			(i) 特殊設備等			(j) 室内環境													
	階	面積 m <sup>2</sup>	室数	利用人員(人)		天井高 m	関連する 部屋	床荷重 kg/m <sup>2</sup>	換気	空調	床仕上	壁仕上	天井仕上	防水	暗室	重量物	電源設備		室内照度 ルクス	照明設備	電話・情報設備	TV	入退室	給水	排水	冷却水	ガス設備	給湯設備	実験排水	クレーン等	特殊配管	チャイム	ドラフト	室内の 温湿度 環境		
				常時	最高												夜間	VA/m <sup>2</sup>																	VA/m <sup>2</sup>	要
1 大講義室	B1	180 (18×10)	1	120(8:21 17-16)	-	3.2	-	300	中央	一般	F1 F4	W1	C1	-	-	-	70	単50 三-	500	12 (B)*5 (C)*1	要 (2)	K2	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	E1
2A 中講義室(1)	B1	85 (10.8 ×7.8)	1	30(8:3 10-17)	30(17- 18)	3.2	-	300	中央	一般	F1	W1	C1	-	-	-	70	単100 三-	500	12 (B)*1	要	K2	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	E1	
2B 中講義室(2)	B1	81(9× 9)	1	30(8- 17)	30(17- 18)	3.2	-	300	中央	一般	F1	W1	C1	-	-	-	70	単100 三-	500	12 (B)*1	要	K2	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	E1	
3A 小講義室(1)	B1	78(10. 8×7.2)	1	25(8- 17)	25(17- 18)	3.2	-	300	中央	一般	F1	W1	C1	-	-	-	70	単100 三-	500	12 (B)*1	要	K2	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	E1	
3B 小講義室(2)	B1	47(8.7 ×5.4)	1	15(8:3 10-17)	15(17- 18)	3.2	-	300	中央	一般	F1	W1	C1	-	-	-	70	単100 三-	500	12 (B)*1	要	K2	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	E1	
4A 遠隔講義室(1)	B1	26(7.2 ×3.6)	1	2(8- 17)	2(8- 17)	3.2	-	300	中央	一般	F1	W1	C1	-	-	-	70	-	500	12 (C)*1	要	K2	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	E1	
4B 遠隔講義室(2)	B1	13(3.6 ×3.6)	1	2(8- 17)	2(8- 17)	3.2	-	300	中央	一般	F1	W1	C1	-	-	-	70	-	500	12 (C)*1	要	K2	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	E1	
4C 遠隔講義室(3)	B1	13(3.6 ×3.6)	1	2(8- 17)	2(8- 17)	3.2	-	300	中央	一般	F1	W1	C1	-	-	-	70	-	500	12 (C)*1	要	K2	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	E1	
5 大会議室	B1	100(14. 4×7)	1	50(8- 17)	50(17- 19)	3.2	-	300	中央	一般	F1 F4	W1	C1	-	-	-	70	単100 三-	500	12 (C)*1	要	K2	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	E1	
6A 中会議室(2)	B1	55(7.8 ×7.2)	1	15(8- 17)	15(17- 19)	3.2	-	300	中央	一般	F1	W1	C1	-	-	-	70	-	500	12 (C)*1	要	K2	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	E1	
6B 中会議室(1)	B1	55(7.8 ×7.2)	1	15(8- 17)	15(17- 19)	3.2	-	300	中央	一般	F1	W1	C1	-	-	-	70	-	500	12 (C)*1	要	K2	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	E1	
7A 小会議室(1)	B1	40(7.2 ×5.5)	1	15(8- 17)	15(8- 17)	3.2	-	300	中央	一般	F1	W1	C1	-	-	-	70	-	500	12 (C)*1	要	K2	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	E1	

共用

エリア(室名)	(a) 一般事項						(b) 建築関係				(c) 電源設備		(d) 照明設備	(e) 電話・情報設備	(f) TV	(g) 入退室	(h) 給排水衛生設備			(i) 特殊設備等			(j) 室内環境						
	階	面積 m <sup>2</sup>	室数	利用人員(人)		天井高 m	関連する 部屋	床荷重 kg/m <sup>2</sup>	換気	空調	天井仕上	防水	暗室	重量物	電源設備		照明設備 ルクス	電話・情報設備	TV	入退室	給水	排水	冷却水	ガス設備	給湯設備	実験排水	特殊配管等	ドラフト	室内環境
				常時	最高										VA/m <sup>2</sup>	VA/m <sup>2</sup>													
7B 小会議室(2)	B1	40(7.2 × 5.5)	1	15(8-17)	-	3.2	-	300	中央	一般	F1 W1 C1	-	-	-	70	-	500	12 (C)*1	要	K2	-	-	-	-	-	-	-	-	E1
8 ライブラリー・レクチャーホール	2	465	1	6(9-17)	17(14-16)	3.2以上	-	600	中央	一般	F1 W1 F4 W16 C1	-	-	-	70	単20	500	12	要	K2	要	要	-	要	-	-	-	E1	
9A 外国人研究者室(1)	B1	45(7.2 × 6.25)	1	2(8-17)	4(8-17)	直天	-	400	中央	一般	F1 W1 C1	-	-	-	70	-	500	12 (A)*1	要	K2	要	要	-	-	-	-	-	E1	
9B 外国人研究者室(2)	B1	36.96(4.4 × 8.4)	1	2(9-18)	7(9-18)	直天	-	400	個別	一般	F1 W1 C1	-	-	-	70	-	500	12 (A)*1	要	K2	要	要	-	-	-	-	-	E1	
9C 外国人研究者室(3)	B1	36.96(4.4 × 8.4)	1	2(9-18)	7(9-18)	直天	-	400	個別	一般	F1 W1 C1	-	-	-	70	-	500	12 (A)*1	要	K2	要	要	-	-	-	-	-	E1	
10 研究用資料保管庫	B1	100	1	-	10(9-17)	3.4	-	1200	個別	一般	F1 F16 W1 C1	-	有	-	20	単三100	100	13	-	K2	要	要	-	-	-	-	-	E1	
11 協力講座教官室	B1	50.4(7.2 × 7)	1	5(9-17)	15(10-17)	直天	12	400	個別	一般	F1 W2 C2	-	-	-	70	-	500	12 (A)*1 (B)*1	-	K2	要	要	-	-	-	-	-	E1	
12 協力講座学生室	B1	50.76(9.4 × 5.4)	1	5(9-17)	15(10-17)	3.0	11	400	個別	一般	F1 W3 C3	-	-	-	70	-	500	12 (A)*1 (B)*1	-	K2	要	要	-	-	要	-	-	E1	
13 事務室	B1	155.5(7.2 × 21.6)	1	30(8.2-19)	30(8.3-17)	2.8	14, 15, 17	400	中央	一般	F1 F2 F4 W1 C1	-	-	-	70	単三100	600	12 (A)*1 (C)*18	要(2)	K2	要	要	要	-	要	-	-	E1	
14A 用務員室	B1	15	1	2(8.30-17)	4(11-17)	2.8	13	400	個別	一般	F1 F6 W1 C1	-	-	-	30	単80	100	12 (C)*14	要(1)	K2	要	要	-	要	-	-	-	E1	
14B 印刷室	B1	25(3.6 × 6.9)	1	1(8.20-17)	3(9-17)	2.8	-	300	個別	一般	F1 W1 C1	-	-	-	50	単200	400	12 (A)*1	-	K2	要	要	-	-	要	-	-	E1	

共用

エリア(室名)	(a) 一般事項												(b) 建築関係					(c) 電源設備		(d) 照明設備	(e) 電話・情報設備	(f) TV	(g) 入退室	(h) 給排水衛生設備				(i) 特殊設備等			(j) 室内環境
	階	面積 m <sup>2</sup>	室数	利用人員(人)		天井高 m	関連する 部屋	床荷重 kg/m <sup>2</sup>	換気	空調	建築関係				電源設備		室内照度 ルクス	先行統合 情報配線 システム	接続端子					出入口の 施設方式	給水	排水	冷却水	ガス設備	給湯設備	実験排水	
				常時	最高						夜間	壁仕上	天井仕上	防水	暗室	重量物				照明用コンテナ用 VA/m <sup>2</sup>	実験用単相三相 VA/m <sup>2</sup>	床仕上	天井								床
15 メールボックス室	B1	20	1	2(8:30-17)	5(11:30-13:30)	0(17-8:30)	13	400	個別	一般	F1	W1	C1	-	-	-	30	-	K2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	E1
16 職員談話室・女子更衣室	B1	71(7.2 x 10.8)	1	10(12-13)	15(9-19)	-	400	個別	一般	F1	W1	F17	C1	-	-	50	単60三-	K2	要	要	要	要	要	要	-	-	-	-	-	E1	
17 事務室倉庫	B1	41.9(3.6 x 11.66)	2	3(8:20-17)	10(8:30-17)	-	1200	個別	-	-	F1	W1	C1	-	有	30	-	K2	要	要	要	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
18A 会議室(1)	B1	35(7.2 x 9.7)	1	30(8-17)	30(8-17)	-	300	中央	一般	F1	W1	F4	C1	-	-	70	単200三-	K2	要	要	要	要	要	要	-	-	-	-	E1		
18B 会議室(2)	B1	35(7.2 x 9.7)	1	30(8-17)	30(8-17)	-	300	中央	一般	F1	W1	F4	C1	-	-	70	単200三-	K2	要	要	要	要	要	要	-	-	-	-	E1		
18C 給湯	B1	20(3.6 x 5.6)	1	2(8:30-17)	6(8:30-17)	-	180	個別	一般	F1	W1	F6	C1	-	-	70	-	K2	-	要	要	要	要	要	-	-	-	-	E1		
18D 技術室	B1	75(11 x 6.8)	1	8(8-19)	8(9-17)	3(19-21)	400	個別	一般	F1	W1	F2	C1	-	-	70	単120三-	K2	要	要	要	要	要	要	-	-	-	-	E1		
18E 小会議室(3)	B1	50(7.2 x 6.9)	1	20(8-17)	25(8-17)	-	300	中央	一般	F1	W1	C1	C1	-	-	70	-	K2	要	要	要	要	要	要	-	-	-	-	E1		
18F 共同利用室(35m <sup>2</sup> )	B1	35(7.2 x 4.86)	3	0(8-17)	10(8-17)	-	300	中央	一般	F1	W1	C1	C1	-	-	70	-	K2	要	要	要	要	要	要	-	-	-	-	E1		
18G 共同利用室(50m <sup>3</sup> )	B1	35(7.2 x 6.9)	3	0(8-17)	20(8-17)	-	300	中央	一般	F1	W1	C1	C1	-	-	70	-	K2	要	要	要	要	要	要	-	-	-	-	E1		
18H 男子更衣室	B1	15	1	3(8:20-17)	8(8:20-17)	-	300	個別	-	-	F1	W1	C1	C1	-	20	-	K2	-	要	要	要	要	要	-	-	-	-	-		
18I 更衣室	B2	45(7.2 x 7.2)	1	2(8-17)	4(8-17)	-	300	個別	一般	F1	W1	F6	F8	C1	-	20	-	K2	-	要	要	要	要	要	-	-	-	-	E1		

共用

エリア(室名)	(a) 一般事項										(b) 建築関係					(c) 電源設備		(d) 照明設備	(e) 電話・情報設備	(f) TV	(g) 入退室	(h) 給排水衛生設備				(i) 特殊設備等			(j) 室内環境		
	階	面積 m <sup>2</sup>	室数	利用人員(人) 常時 最高 夜間	天井高 m	関連する部屋	床荷重 kg/m <sup>2</sup>	換気	空調	天井仕上	壁仕上	防水	暗室	重量物	照明 VA/m <sup>2</sup>	実験 VA/m <sup>2</sup>	室内照度 ルクス	先行 システム	接続端子	出入口の 施設方式	給水	排水	冷却水	ガス設備	給湯設備	実験排水	クリーン等	特殊配管	チャイム ドラフト	室内の 温度 環境	
19A 第1構造実験室	B2	374	1	20(9-19)	65(9-19)	20(19-9)	直天(10)	21A,2 0,19B .21B, 23	設置 機器 による。	個別	一般	F6 F8 F9	W4 W5	C2	-	有	70	単10 三200 (3)	500	12 (B)*1	-	-	要	要	要	要	要	要	要	要	E3
19B 第1構造実験制御室	B2	26	1	5(9-19)	15(9-19)	5(19-9)	3.0	19A,2 1A,20 .21B, 23	400	個別	一般	F1 F2 F4	W1	C1	-	-	70	単200 三-	600	12 (A)*1	-	-	要	要	要	要	要	要	要	E3	
20 第3構造実験室	B2	100	1	10(9-19)	20(9-19)	10(19-9)	直天(10)	19A,2 1A,19 B,21 B,23	設置 機器 による。	個別	一般	F6 F8 F10	W4	C2	-	有	70	単100 三700 (3)	500	12 (A)*1	-	-	要	要	要	要	要	要	要	E3	
21A 第2構造実験室	B2	140 (10×14)	1	20(9-19)	65(9-19)	20(19-9)	直天(10)	19A,2 0,19B .21B, 23	設置 機器 による。	個別	一般	F6 F8 F10	W4	C2	-	有	70	単40 三700 (4)	500	12 (A)*1 (B)*1	-	-	要	要	要	要	要	要	要	要	E3
21B 第2構造実験制御室	B2	13	1	5(9-19)	10(9-19)	5(19-9)	(3.0)	19A,2 1A,20 .19B, 23	設置 機器 による。	個別	一般	F1 F2 F4	W1	C1	-	有	70	単600 三-	500	12 (A)*1	-	-	要	要	要	要	要	要	要	E3	
22 工作室	B2	50	1	10(9-19)	20(9-19)	10(19-9)	直天(10)	-	設置 機器 による。	個別	一般	F8	W4	C2	-	有	70	単- 三200	500	12 (A)*1	-	-	要	要	要	要	要	要	要	E3	
23 供試体製作室	B2	100	1	10(9-19)	20(9-19)	10(19-9)	直天(10)	19A,1 9B,21 A,21 B,20	設置 機器 による。	個別	一般	F7 F8	W4	C2	-	有	70	単- 三200	500	13	-	-	要	要	要	要	要	要	要	E3	

構造系

エリア(室名)	(a) 一般事項										(b) 建築関係				(c) 電源設備		(d) 照明設備	(e) 電話・情報設備	(f) TV	(g) 入退室	(h) 給排水衛生設備				(i) 特殊設備等			(j) 室内環境	
	階	面積 m <sup>2</sup>	室数	利用人員(人) 常時 最高 夜間	天井高 m	関連する部屋	床荷重 kg/m <sup>2</sup>	換気	空調	天井仕上	防水	暗室	重量物	照明 VA/m <sup>2</sup>	実験 VA/m <sup>2</sup>	室内照度 ルクス	先行 システム	接続 端子	入退室 方式	給水	排水	冷却水	ガス設備	給湯設備	実験排水	クリーン等	特殊配管	ドラフト	室内の 温度 環境
構造系	26	300	1	10(9-21) 20(9-17) 10(17-21)	(直天)	19A ~33	1600	個別	一般	F1 F6 F7(一部)	要(一部)	-	有	70	単- 三400	500	12 (A)*1 (B)*1	-	K2	要	要	要	要	-	中和	G5(2t)	-	-	E1
	27	100	1	5(9-21) 10(9-17)	(直天)	19A ~33	1600	個別	一般	F1 F6 F8	-	有	70	単- 三900	500	12 (A)*1	-	K2	要	要	要	要	-	中和	G5(2t)	-	-	E1	
	28	100	1	3(9-21) 10(9-17) 3(17-21)	3.0	19A ~33	2400	個別	特殊	F1 F7 F8	要	-	有	70	単- 三100	500	12 (B)*1	-	K2	要	要	要	-	中和	-	-	-	E18	
	29	50	1	3(9-21) 6(9-17)	3.0	19A ~33	400	個別	特殊	F1 F6	-	-	-	70	単100 三100	500	12 (B)*1	-	K2	要	要	要	-	中和	-	-	-	E7	
	30	50	1	10(9-21) 20(9-17)	直天 (10-3.0) 一部	26	1600 更衣室300	個別	更衣室一	F8 W4	-	-	-	20	-	100	12 (A)*1	-	K2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	E1 (更衣室)
	31A	350(10.8×32.4)	1	5(9-18) 10(瞬時的に)	直天 (6.0)	31A ~D	設置 機器 による。	個別	一般	F1 F6 F19	-	A2	有	70	単40 三600	500	12 (A)*1 (B)*1 (C)*1	-	K2	要	要	要	要	要	要	一般 (2.8t)	G2( )	-	E1
	31B	80(3.6×27)	1	5(9-18) 10(瞬時的に)	3.0	31A ~D	400	個別	一般	F1 W1	-	A2	-	70	単40 三600	500	12 (A)*1	-	K2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	E1
	31C	39(5.4×7.2)	1	2(9-18) 5(瞬時的に)	3.0	31A ~D	400	個別	一般	F1 F19	-	A2	-	70	単40 三600	500	12 (C)*1	-	K2	要	要	要	要	要	要	-	-	-	E1
	31D	65(9×7.2)	1	5(9-18) 10(瞬時的に)	3.0	31A ~D	400	個別	一般	F1 F2	-	A2	-	70	単40 三600	500	12 (C)*1	-	K2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	E1
	32	50	1	5(9-19) 10(9-19)	3.0	33	400	個別	一般	F1 W1	-	-	-	70	単40 三-	500	12 (A)*1	-	K2	要	要	要	要	要	要	-	-	-	E3
33	100	1	15(9-19) 30(9-19)	3.0	32	400	個別	一般	F1 F2	-	-	-	100	単110 三-	1000	12 (A)*2	-	K2	要	要	要	要	要	要	-	-	-	E3	

エリア(室名)	(a) 一般事項										(b) 建築関係					(c) 電源設備		(d) 照明設備	(e) 電話・情報設備	(f) TV	(g) 入退室	(h) 給排水衛生設備				(i) 特殊設備等			(j) 室内環境	
	階	面積 m <sup>2</sup>	室数	利用人員(人) 常時 最高 夜間	天井高 m	関連する 部屋	床荷重 kg/m <sup>2</sup>	換気	空調	天井仕上	防水	暗室	重量物	照明 VA/m <sup>2</sup>	実験 VA/m <sup>2</sup>	室内照度 ルクス	先行 システム	接続 端子	出入口の 施設方式	給水	排水	冷却水	ガス設備	給湯設備	実験排水	クリーン等	特殊配管	ドラフト	室内の 温度 環境	
35A 乱流水理実験長水路 実験室(39と一体利 用)	B2	250 (9.94 ×25.2)	1	10(9- 20)	12(10- 15)	4(20- 24)	6.0	39,35 B	設置 機器 による。	個別	一般・ 特殊	F7 F8	W6	C2	-	有	70	単150 三400 (4)	500	13	-	K1	要	要	要	要	要	要	要	E1、 E19(フル ハ7)
39 環境水理実験室 (35Aと一体利用)	B2	203 (8.06 ×25.2)	1	8(9- 20)	12(10- 15)	4(20- 24)	6.0	35A,4 1B	設置 機器 による。	個別	一般・ 特殊	F7 F8	W6	C2	-	有	70	単110 三250	500	12 (A)*1 (C)*1	-	K1	要	要	要	要	要	要	E1、 E19(フル ハ7)	
35B 実験準備室	B2	29.88 (3.6× 8.3)	1	2(9- 20)	4(10- 15)	2(20- 24)	4.0	35C、 連絡 通路	400	個別	一般	F1 F2	W6	C2	-	A2	70	単400 三700	600	12 (A)*1	-	K2	要	要	要	要	要	要	E1	
35C データ解析室	B2	89.64 (10.8 ×25.2)	1	6(9- 20)	10(10- 17)	4(20- 24)	4.0	35B、 連絡 通路	400	個別	一般	F1 F2	W6	C2	-	A2	100	単 1100 三400	1000	12 (A)*1 (C)*1	要	K1	要	要	要	要	要	要	E1(単独 空調)	
36・流域土砂動態研究実 験長水路実験室・	B2	401	1	2(10- 17)	15(10- 17)	-	直天 (6.0)	38B	設置 機器 による。	個別	-	F7 F8	W1	C1	-	有	70	単- 三200	500	12 (C)*1	-	K2	要	要	要	要	要	要	-	
38A 都市型水害対策実験 用長水路実験室A	B2	464	1	2(10- 17)	15(10- 17)	-	直天 (6.0)	40B,4 0C	設置 機器 による。	個別	-	F1 F7	W1	C1	-	有	70	単- 三150	500	12 (B)*1 (C)*1	-	K2	要	要	要	要	要	要	-	
37・動的相互作用実験用 長水路実験室・ 40A 非線形波動水理実験 室A	B2	130	1	2(10- 17)	15(10- 17)	-	3	36,38 A	400	個別	一般	F1 F7	W1	C1	-	A2	70	単80 三-	600	12 (A)*1 (B)*1	-	K2	要	要	要	要	要	要	E1	
38B 都市型水害対策実験 用長水路実験室B	B2	110	1	5(10- 17)	15(10- 17)	-	3.0	37,40 A,40 C	400	個別	一般	F1 F2 F6	W2	C2	-	-	70	単70 三-	500	12 (C)*1	-	K2	要	要	要	要	要	要	E1	

水工系

エリア(室名)	(a) 一般事項										(b) 建築関係				(c) 電源設備		(d) 照明設備	(e) 電話・情報設備	(f) TV	(g) 入退室	(h) 給排水衛生設備				(i) 特殊設備等			(j) 室内環境	
	階	面積 m <sup>2</sup>	室数	利用人員(人)	天井高 m	関連する部屋	床荷重 kg/m <sup>2</sup>	換気	空調	壁仕上	天井仕上	防水	暗室	重量物	照明 VA/m <sup>2</sup>	実験 VA/m <sup>2</sup>	室内照度 ルクス	先行 システム	接続 端子	入退室 方式	給水	排水	冷却水	ガス設備	給湯設備	実験排水	特殊 配管	ドラフト パイプ	室内の 温度 環境
水工系	40C 非線形波動水理実験室C	B2	80	15(10-17)	-	3.0	37.40 A.40 B	400	個別	F1 F2	W2	C2	-	100	単300 三-	1000	12 (B)*1 (C)*1	-	K2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	E1
	41A 大気・水観測・測器調整室A	B2	31	4(9-17)	4(17-21)	3.0	39.41 B	400	個別	F1 F2 F6	W2	C2	-	70	単300 三800	500	12 (A)*1	-	K2	要	要	-	-	-	-	-	-	-	E20
	41B 大気・水観測・測器調整室B	B2	94	4(9-17)	4(17-21)	直天 (6.0)	41A	400	個別	F1 F7 F 15 20	W2 W C 15 10	C2	-	70	単- 三200	600	12 (B)*1 (C)*1	-	K2	要	要	-	-	-	-	-	-	-	E1
	42 地球流体マルチプロセッシング室	B1	115	8(9-17)	6(17-21)	3.0	-	400	個別	F1 F2	W2	C2	-	70	単50 三200	500	12	-	K2	要	要	-	-	-	-	-	-	-	E1
地盤系	43 地盤基礎実験室(恒温・恒湿制御部)	B2	150 (14×1 0.7)	5(9-17)	2(17-22)	4.0	44.45, 51.52, 52B	400	個別	F1 F6 F 15 20	W1 W C 15 10	C1	-	70	単120 三300	500	12 (B)*1 (C)*1	-	K2	要	要	-	要	-	-	-	T1 (52B)	-	E4
	44 地盤基礎実験室(恒温制御部)	B2	150 (14×1 0.7)	5(9-17)	2(17-22)	6.0	43.45, 51.52, 52B	400	個別	F1 F7	W1	C1	-	70	単100 三850	500	12 (B)*1 (C)*1	-	K2	要	要	-	要	-	-	-	-	-	E6
	45 基礎実験計測管理室	B2	40 (10×4)	2(9-17)	1(17-22)	3.0	43.44, 51.52, 52B	400	個別	F1 F6	W1	C1	-	70	単150 三300	600	12 (A)*1	-	K2	要	要	-	要	-	要	-	-	-	E1
	46 地盤模型実験室	B2	267 (14.4 ×18.0)	10(9-20)	3(20-9)	直天 (6.0)	48.50	設置 機器 による。	個別	F1 F7	W1	C1	-	70	単150 三250	500	12 (A)*1 (B)*1	-	K2	要	要	-	要	-	要	-	G6 (2.9 t)	-	E1 E3
47 地盤模型実験室(恒温制御部)	B2	100 (10×1 0)	10(9-17)	2(17-22)	直天 (6.0)	48.50	設置 機器 による。	個別	F1 F7	W1	C1	-	70	単210 三400	500	12 (A)*1 (B)*1	-	K2	要	要	-	要	-	要	-	G6 (2.9 t)	-	E6	
48 模型実験計測管理室	B2	43 (7.2× 6)	4(9-17)	1(17-22)	3.0	46.47	400	個別	F1 F6	W1	C1	-	70	単150 三300	600	12 (A)*1	-	K2	要	要	-	要	-	要	-	-	-	E1	

エリア(室名)	(a) 一般事項						(b) 建築関係				(c) 電源設備		(d) 照明設備	(e) 電話・情報設備	(f) TV	(g) 入退室	(h) 給排水衛生設備			(i) 特殊設備等			(j) 室内環境							
	階	面積 m <sup>2</sup>	室数	利用人員(人) 常時 最高 夜間	天井高 m	関連する 部屋	床荷重 kg/m <sup>2</sup>	換気	空調	床仕上	壁仕上	天井仕上	防水	暗室	重量物	照明 VA/m <sup>2</sup>	実験 VA/m <sup>2</sup>	室内照度 ルクス	先行 システム	接続 端子	入室 方式	給水	排水	冷却水	ガス設備	給湯設備	実験排水	特殊 配管	ドラフト フード	室内の 温度 環境
地盤系	49 試料保管室	B2	24(7.2 ×3.6)	1	-	2	4.0 6.0	-	特殊 個別	F1 W1 F7 W17 F 20	C1 C 10	-	-	有	70	三350 単300	500	12 (C)*1	-	K2	要	要	-	-	-	-	-	-	-	E4
	50 コンプレッサー室	B2	35(7.2 ×4.8)	1	-	2(13- 17)	直天 (6.0)	46.47, 48	400	個別	F1 W2 F7 W 13	C2	-	-	70	三200 三 2100	500	13	-	K2	-	-	-	-	-	-	-	T1(4 6,47)	-	-
	51 X線実験室	B2	30	1	2(10- 18)	6(13- 17)	9)	4.0	52	400	個別	F1 W7 F7	C5	-	-	70	三350 単300 (200v)	500	12 (B)*1	-	K2	要	要	-	-	-	-	-	T1(5 2B)	-
52 X線計測準備室	B2	20	1	2(10- 20)	6(13- 17)	9)	4.0	51	400	個別	F1 W7 C5	-	-	-	70	単150 三- 三-	500	12 (C)*1	-	K2	要	要	-	-	-	-	-	T1(5 2B)	-	E1
52B コンプレッサー室	B2	10	1	0(9- 17)	2(13- 16)	22)	6.0	43.44, 45.51, 52	400	個別	F1 W2 F6 W 13	C2	-	-	20	単150 三 20.8kv A	150	-	-	K2	-	-	-	-	-	-	-	T1(4 3.44, 45.5 1.52)	-	-
53 地殻環境模型実験室	B2	150	1	8(9- 20)	15(13- 17)	9)	直天 (6.0)	-	設置 機器 による。	F7 W1 F8	C1	要	-	有	70	単100 三50 (3)	500	12 (A)*1 (B)*3	-	K2	要	要	要	要	要	要	G6( 2.9t )	-	E1 E3	
54 大深度地下物性実験 室	B2	180	1	5(9- 20)	8(13- 17)	9)	直天 (6.0)	-	設置 機器 による。	F7 W1 F8	C1	要	-	有	70	単250 三700	500	12 (A)*1 (B)*2	-	K2	要	要	要	要	要	要	G6( 5t)	-	E1 E3	
55 岩石鉱物分析室	B1	80	1	4(9- 20)	8(13- 17)	9)	5.0	-	400	個別	F3 W3 F7 W13	C3	要	-	70	単250 三250	500	12 (B)*1 (C)*2	-	K2	要	要	要	要	要	要	-	要 (φ37 mm ×W1.	E1 E3	
資源系																														



エリア(室名)	(a) 一般事項						(b) 建築関係				(c) 電源設備		(d) 照明設備	(e) 電話・情報設備	(f) TV	(g) 入退室	(h) 給排水衛生設備			(i) 特殊設備等			(j) 室内環境									
	階	面積 m <sup>2</sup>	室数	利用人員(人) 常時 最高 夜間	天井高 m	関連する 部屋	床荷重 kg/m <sup>2</sup>	換気	空調	重量物	暗室	防水	天井仕上	壁仕上	床仕上	照明 用コネク ション用 VA/m <sup>2</sup>	実験 用単相・ 三相 VA/m <sup>2</sup>	室内照 度 ルクス	先行 統合情 報配線 システム	接続端 子	入退室 方式	給水	排水	冷却水	ガス設備	給湯設備	実験排水	クリーン等	特殊 配管	チャ ンパ イ	室内の 温度 環境	
資源系	56	地化学環境実験室	B1	100	1	9(9-20)	15(13-17)	4(20-9)	直天	-	400	個別	一般	F3 F7	W3	C3	要	-	-	-	-	要	-	-	要	-	-	-	-	-	-	E1 E3
	57	地殻環境解析室	B1	100	1	9(9-20)	15(13-17)	4(20-9)	3.0	-	400	個別	一般	F1 F2	W1	C1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	E1 E3
	58	地下電磁計測実験室	B1	100(10.8×9)	1	5(9-20)	10(13-17)	2(20-9)	直天 (5.0)	-	400	個別	一般	F1 F2	W1	C1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	E1 E3
	59	地下可視化解析室	B1	60	1	5(9-19)	12(13-17)	2(20-9)	3.0	-	400	個別	一般	F1 F2	W1	C1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	E1 E3
計画系	60	対話型行動心理観測実験室	2	80	1	5(9-17)	20(13-15)	3(17-20)	4.0	-	400	個別	一般	F1 F2	W1	C1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	E1
	61	運転行動シミュレーション室	2	80	1	6(9-17)	14(13-15)	4(17-20)	4.0	-	400	個別	一般	F1 F2 F16	W1	C1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	E1
空間情報系	62	精密空間情報計測室	2	60	1	2(9-17)	5(13-17)	1(17-21)	直天	-	400	個別	一般	F1 F2 F6	W13	C2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	E1
生活環境系	63	温湿度環境制御実験室	2	96(8.9×10.8)	1	4(9-17)	8(13-17)	4(17-22)	3.2	65	400	個別	一般	F1 F6 F13	W1 W9	C1 C7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	E1
	64	温湿度環境制御実験準備室	1	200(12.7×8.8)	1	10(9-17)	37(13-17)	5(17-24)	直天 (3.0)	63	設置機器による。	個別	一般	F1 F6 F8	W1 W4	C1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	E1

エリア(室名)	(a) 一般事項										(b) 建築関係				(c) 電源設備		(d) 照明設備	(e) 電話・情報設備	(f) TV	(g) 入退室	(h) 給排水衛生設備				(i) 特殊設備等			(j) 室内環境		
	階	面積 m <sup>2</sup>	室数	利用人員(人) 常時 最高 夜間	天井高 m	関連する部屋	床荷重 kg/m <sup>2</sup>	換気	空調	壁仕上	天井仕上	防水	暗室	重量物	照明 VA/m <sup>2</sup>	実験 VA/m <sup>2</sup>	室内照度 ルクス	先行 システム	接続端子	出入口の 施設方式	給水	排水	冷却水	ガス設備	給湯設備	実験排水	クリーン等	特殊配管	ドラフト	室内の 温度湿度 環境
65 人工環境実験制御分 析室	2	75(8.4 ×9)	1	4(9- 17)	8(13- 17)	4(17- 22)	3.2	63	400	個別	一般・ 特殊	F1 F6 F2 0	W1 W17 C1 0	-	-	70	600	12 (A)*1	-	K2	要	要	-	-	要	-	-	-	-	Ei(前 室) E22(恒 温恒湿 ①) E23(恒 温恒湿 ②)
66 外界気象計測機器室	1	20(4.5 ×5)	1	1(9- 17)	3(13- 17)	1(17- 22)	2.8	66B	400	個別	特殊	F1 F 12	W1 W8 C6	C1	-	50	500	12 (C)*1	-	K2	要	要	-	-	-	-	-	-	-	Ei(前 室) E8
66B 小観測室	屋 階	6(2.5 ×3)	1	1(9- 17)	3(13- 17)	1(17- 22)	2.5	66	400	個別	一般	F1 F1	W1 C1	C1	-	40	500	12 (C)*1	-	K2	要 (屋 上)	-	-	-	要	-	-	-	-	E1
66C 日照環境実験室の設 置場所(将来対応)	4		1	-	-	-	-	-	設置 機器 による	-	-	F1 W1 C1	C1	要	60	500	12 (C)*1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
67 移動空間シミュレー ション実験室	1	195(13 .5×14. 4)	1	5(10- 17)	20(13- 17)	2(20- 23)	直天	69 71	400	個別	一般	F1 F5 W2	W1 W2 C1	C1	-	70	600	12 (A)*1 (B)*1	要 (1)	K2	要	要	-	-	要	-	-	-	-	E1
68 景観シミュレーション 制御室	1	40(8× 5)	1	5(9- 19)	7(13- 17)	2(19- 23)	4.0	70	400	個別	一般	F1 F1	W1 C1	C1	-	70	600	12 (A)*1	-	K2	要	要	-	-	-	-	-	-	-	E1
69 行動解析分析室	1	40	1	3(10- 17)	8(13- 17)	2(20- 23)	3.0	67 71	400	個別	一般	F1 F1	W1 C1	C1	-	70	600	12 (C)*1	-	K2	要	要	-	-	-	-	-	-	-	E1
70 景観シミュレーション 実験室	1	155	1	10(9- 19)	18(13- 17)	5(19- 23)	4.0	68	400	個別	一般	F1 F1	W1 C1	C1	-	70	600	12 (A)*2	-	K2	要	要	-	-	-	-	-	-	-	E1
71 生活設備シミュレー ション実験室	1	40(3.3 ×12)	1	2(10- 17)	10(13- 17)	1(20- 23)	直天	67 69	400	個別	一般	F1 F6	W1 C1	C1	要	70	500	12 (C)*1	-	K2	要	要	-	-	要	-	-	-	-	E1

生活環境系

エリア(室名)	(a) 一般事項						(b) 建築関係				(c) 電源設備		(d) 照明設備	(e) 電話・情報設備	(f) TV	(g) 入退室	(h) 給排水衛生設備				(i) 特殊設備等			(j) 室内環境						
	階	面積 m <sup>2</sup>	室数	利用人員(人) 常時 最高 夜間	天井高 m	関連する 部屋	床荷重 kg/m <sup>2</sup>	換気	空調	床仕上	壁仕上	天井仕上	防水	暗室	重量物	照明 VA/m <sup>2</sup> VA/m <sup>2</sup>	実験 VA/m <sup>2</sup>	室内照度 ルクス	先行 システム	接続端子	出入口の 施設方式	給水	排水	冷却水	ガス設備	給湯設備	実験排水	クリーン等	特殊配管	ドラフト チャンバ
72・冷蔵保管室・ 73 冷凍保管室	B2	40(4× 4.8)	1	0(9- 17)	3(13- 15)	0(17- 9)	3.0	83	500	個別	特殊	F3 F6	W1	C1	-	有	20 単- 三500	100 (C)*1	12 (C)*1	-	K2	要	要	-	-	要	-	-	-	E3 E9 E10
74・ 試薬管理室・天秤室 89	B2	70	1	1-3(9- 17)	7(13- 15)	0- 2(17- 22)	3.0	-	設置 機器 による。	一般	個別	F3	W1	C1	-	有	70 単200 三200	600 (A)*1	12 (C)*1	-	K1	要	要	-	-	-	-	-	要 (W1.2)	E1
75A 実験器具保管室 76・ フォールド調査準備室 77 プラント保管庫	B2	100	1	10(10- 17)	20(13- 16)	3(18- 22)	直天 (6.0) 一部 3.0	84	設置 機器 による。 (2000)	一般	個別	F1 F7	W1	C1	要	有	50	100 (C)*1 (C)*1 (C)*1	12 (C)*1	-	K2	要	要 (2)	-	-	-	-	-	-	E1
75B 実験器具保管室 75C 実験器具保管室	B2	60(8× 7.5)	1	1(9- 17)	3(13- 17)	1(17- 9)	直天 (6.0) 一部 3.0	85 87	400	一般	個別	F1	W1	C1	-	-	単100	100 (C)*1	12 (C)*1	-	K2	要	要	-	-	-	-	-	-	E1
77b 実験管理室	B2	20(6.4 ×3.1)	1	3(10- 16)	6(11- 15)	-	3.0	-	400	一般	個別	F1	W1	C1	-	-	単100	600 (A)*1	12 (A)*1	-	K2	要	要	-	-	-	-	-	-	E1
78 低環境実験室	B2	20(4× 4.8)	1	1(9- 17)	2(15- 17)	0(17- 22)	3.0	83	500	特殊	個別	F3 F7	W1	C1	-	有	70 単100 三100	600 (C)*1	12 (C)*1	-	K2	要	要	-	要 (前室のみ)	要 (前室のみ)	-	-	-	E11

エリア(室名)	(a) 一般事項										(b) 建築関係				(c) 電源設備		(d) 照明設備	(e) 電話・情報設備	(f) TV	(g) 入退室	(h) 給排水衛生設備				(i) 特殊設備等			(j) 室内環境			
	階	面積 m <sup>2</sup>	室数	利用人員(人) 常時 最高 夜間	天井高 m	関連する 部屋	床荷重 kg/m <sup>2</sup>	換気 個別	空調	床仕上	壁仕上	天井仕上	防水	暗室	重量物	照明 VA/m <sup>2</sup> コンテナ用	実験 VA/m <sup>2</sup> 三相	室内照度 ルクス	先行 統合 情報 配線 システム	接続 端子	出入口の 施設 方式	給水	排水	冷却水	ガス設備	給湯設備	実験排水	クリーン等	特殊 配管	ドラフト パイプ	室内の 温度 環境
79 常温環境実験室	B2	20(4×4.8)	1	1(9-17) 2(15-17) 0(17-22)	3.0	83	500	個別	特殊	F3 F7	W1	C1	-	有	70	単50 三100	600	12 (C)*1	-	K2	要	要	-	-	-	一般 or 中和	-	-	-	E12	
80 中温環境実験室	B2	20(4×4.8)	1	1(9-17) 2(15-17) 0(17-22)	3.0	83	500	個別	特殊	F3 F7	W1	C1	-	-	70	単50 三100	600	12 (C)*1	-	K2	要	要	-	-	-	一般 or 中和	-	-	-	E13	
81 恒温恒湿室	B2	20(4×4.8)	1	1(9-17) 2(15-17) 0(17-22)	3.0	83	500	個別	特殊	F3 F7	W1	C1	-	-	70	単50 三100	600	12 (C)*1	-	K2	要	要	-	-	-	一般 or 中和	-	-	-	E14	
82 ガス供給室 97 環境微生物培養室	B2	50(7.2×7.2)	1	6(9-17) 10(13-16) 3(17-22)	3.0	83, 93	400	個別	一般	F3 F6	W1	C1	-	-	70	単400 三50	600	12 (C)*1	-	K2	要	要	-	-	要	一般 or 中和	-	-	要 (W1.5)	E1	
83 純水供給実験室 93 高純度ガス供給室 94 ガスボンベ保管室	B2	50(8.3×6)	1	5(10-17) 10(13-16) 3(18-22)	直天 (6.0), 3.0	77b	設置 機器 による。	個別	一般	F1 F16	W1	C1	-	有	20	単-30 三300	100	12 (C)*1	-	K2	要	要	-	-	要	-	-	-	-	E1	
84 プラント実験室	B2	240(13.3×18)	1	20(10-17) 50(13-16) 10(18-24)	直天 (6.0)	77	設置 機器 による。	個別	一般	F7 F8 F16	W1	C1	要	有	70	単100 三400 (7)	500	12 (A)*1	-	K2	要	要	-	-	-	-	-	G7(2t)	要	-	E1

エリア(室名)	(a) 一般事項										(b) 建築関係					(c) 電源設備		(d) 照明設備	(e) 電話・情報設備	(f) TV	(g) 入退室	(h) 給排水衛生設備				(i) 特殊設備等			(j) 室内環境	
	階	面積 m <sup>2</sup>	室数	利用人員(人) 常時 最高 夜間	天井高 m	関連する 部屋	床荷重 kg/m <sup>2</sup>	換気	空調	壁仕上	天井仕上	防水	暗室	重量物	照明 VA/m <sup>2</sup> コンテナ用	実験 VA/m <sup>2</sup> 三相	室内照度 ルクス	先行 統合 情報 配線 システム	接続 端子	出入口の 施錠 方式	給水	排水	冷却水	ガス設備	給湯設備	実験排水	クリーン等	特殊 配管	ドラフト バート	室内の 温度 環境
85 化学実験室	B2	120(8 x15)	1	8(9- 17)	19(9- 17)	4(17- 9)	直天 (6.0)3 .0	75A, B,C	400	個別	一般	F3 F6	W1	C1	要	-	-	600	12 (A)*1	-	K2	要	要	-	要	要	一般 or 中和	-	要 (W1.5)	E1 E3
86 物理実験室	B2	80(7.5 x10.7)	1	6(9- 22)	12(9- 17)	6(17- 22)	3.0	-	400	個別	一般	F3 F6 W13	W1	C1	要	-	-	600	12 (A)*1	-	K2	要	要	-	要	一般 or 中和	-	要 (W1.8)	E1	
87 生物実験室	B2	80(7.2 x11.6)	1	8(9- 17)	14(13- 16)	6(17- 22)	3.0	83, 93	設置 機器 による。	個別	一般	F3 F6	W1	C1	-	有	70	12 (A)*1	-	K2	要	要	-	要	要	一般 or 中和	-	要 (W1.5)	E1	
88 分析管理室	B2	20(2.8 8x6.9 4)	1	4(10- 17)	6(13- 16)	2(18- 22)	3.0	-	400	個別	一般	F1	W1	C1	-	-	600	12 (A)*1	-	K2	要	要	-	要	要	-	-	-	E1	
90 極微量汚染物質検出 室	B2	40(7x 5.7)	1	6(10- 17)	10(13- 16)	3(18- 24)	3.0	83 93 101	設置 機器 による。	個別	特殊	F3 F6 F14	W3 W10	C3	要	有	70	12 (A)*1	-	K2	要	要	-	要	要	-	-	E1(前 室) E24		
91 環境重金属汚染分析 室	B2	60(7.5 x8)	1	2(9- 22)	8(9- 17)	2(17- 22)	3.0	-	設置 機器 による。	個別	一般	F1 F3 F6	W1	C1	-	有	70	12 (A)*1	-	K2	要	要	-	要	要	一般 or 中和	-	-	E1	

エリア(室名)	(a) 一般事項										(b) 建築関係				(c) 電源設備		(d) 照明設備	(e) 電話・情報設備	(f) TV	(g) 入退室	(h) 給排水衛生設備				(i) 特殊設備等			(j) 室内環境			
	階	面積 m <sup>2</sup>	室数	利用人員(人) 常時 最高 夜間	天井高 m	関連する 部屋	床荷重 kg/m <sup>2</sup>	換気	空調	壁仕上	天井仕上	防水	暗室	重量物	照明 VA/m <sup>2</sup>	実験 VA/m <sup>2</sup>	室内照度 ルクス	先行 システム	接続 端子	出入口の 施設方式	給水	排水	冷却水	ガス設備	給湯設備	実験排水	クレーン等	特殊配管	ドラフト パイプ	室内の 温度 環境	
92 水・土壌環境分析室	B2	60(7.5 ×8)	1	4(9- 22)	10(9- 17)	4(17- 22)	3.0	75A	400	個別	一般	F1 F3 F6 F8	W1 W2 W13	C1	-	-	70	単110 三600	500	12 (A)*1	-	-	-	要	要	要	要	要	要	要	E1
95 生体毒性評価実験室	B2	40(5.7 ×6.9)	1	2(9- 17)	10(9- 17)	2(17- 9)	3.3	-	2000	個別	特殊	F3 F6	W3	C1	要	有	70	単120 三650 (2)	500	12 (C)*1	-	-	-	要	要	要	要	要	要	E3 E15	
96・ 99 高度機器分析室 高度分析関連器具保 管室	B2	70(10. 1×6.9)	1	4(9- 17)	15(9- 17)	4(17- 9)	3.0	-	2000	個別	一般	F3 F6 W3	W1 W3	C1	-	-	70	単450 三70 (2)	600	12 (A)*1	-	-	-	要	要	要	要	要	要	E1	
98 環境生物培養実験室	B2	40(7.2 ×5.6)	1	3(9- 17)	6(13- 16)	2(17- 22)	3.0	83	設置 機器 による。	個別	一般	F1 F3 F6	W1	C1	-	有	70	単250 三50	600	12 (C)*1	-	-	要	-	要	要	要	要	要	E1	
100 試料前処理室	B2	60(8× 7.5)	1	4(9- 17)	8(9- 17)	2(17- 9)	3.0	85	400	個別	一般	F1 F3 F6	W1	C1	-	-	70	単200 三400	500	12 (C)*1	-	-	要	要	要	要	要	要	E1 E3		
101 精密試料前処理室	B2	30(8× 3.75)	1	2(9- 17)	4(9- 17)	2(17- 9)	3.0	103	400	個別	特殊	F1 F3 F6	W1	C1	-	-	70	単300 三400	500	12 (C)*1	-	-	要	要	要	要	要	要	E1(前 室) E3 E17		

環境系

エリア(室名)	(a) 一般事項						(b) 建築関係				(c) 電源設備		(d) 照明設備	(e) 電話・情報設備	(f) TV	(g) 入退室	(h) 給排水衛生設備				(i) 特殊設備等			(j) 室内環境								
	階	面積 m <sup>2</sup>	室数	室	利用人員(人) 常時 最高 夜間	天井高 m	関連する 部屋	床荷重 kg/m <sup>2</sup>	換気	空調	床仕上	壁仕上	天井仕上	防水	暗室	重量物	照明 用コンセント VA/m <sup>2</sup>	実験 用三相 VA/m <sup>2</sup>	室内照度 ルクス	電話・ 情報 配線 システム	接続端子	出入口の 施設 方式	給水	排水	冷却水	ガス設備	給湯設備	実験排水	クレーン等	特殊 配管	ドラフト パイプ	室内の 温度 環境
103 環境化学物質分子毒性評価室	B2	30(7.2 ×3.6)	1	4(9- 17)	6(13- 17)	2(17- 22)	3.0	83 93	設置 機器 による。	個別	一般	F1 F3 F6	W1	C1	-	有	70	単100 三150	600	12 (C)*1	-	K2	要	-	-	要	要	要	要	要	要	E1
106 防音室	B2	30(3.8 ×7.6)	1	2(9- 17)	5(13- 15)	2(18- 22)	3.4	400	個別・ 特殊	一般・ 特殊	F1 F 15	W1 W11 C8	C1	-	-	-	70	単400 三-	600	12 (C)*1	-	K2	要	要	-	-	-	-	-	-	E1	
107 X線使用実験室	B2	60(7× 8.6)	1	3(10- 17)	10(13- 16)	1(18- 22)	3.0	2000 93	個別	特殊	F1 F3 F5 F6 F 16	W1	C1	-	有	70	単300 三 1300	600	12 (A)*1	-	K2	要	要	-	要	要	-	-	-	-	E18	
108 実験廃液調整保管室	B2	60(8× 7.5)	1	1(9- 17)	3(13- 17)	1(17- 9)	3.0	400	個別	一般	F1 F3 W 12	W1	C1	-	-	-	70	単50 三200	500	12 (C)*1	-	K2	要	要	-	要	要	要	要	要	E1 E3	
109 環境計算室	2	80(8.6 ×9.3)	1	12(9- 17)	22(9- 17)	6(17- 22)	2.7	-	設置 機器 による。	個別	F1 F2	W1	C1	-	有	70	単 1000 三50 (2)	600	12 (A)*3	要	K1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	E1	

エリア(室名)	(a) 一般事項						(b) 建築関係				(c) 電源設備		(d) 照明設備	(e) 電話・情報設備	(f) TV	(g) 入退室	(h) 給排水衛生設備			(i) 特殊設備等			(j) 室内環境								
	階	面積 m <sup>2</sup>	室数	利用人員(人) 常時 最高 夜間	天井高 m	関連する部屋	床荷重 kg/m <sup>2</sup>	換気	空調	床仕上	壁仕上	天井仕上	防水	暗室	重量物	照明 VA/m <sup>2</sup> 用コンセント	実験 VA/m <sup>2</sup> 用三相	室内照度 ルクス	先行 統合 情報 配線 システム	接続端子	出入口の 施錠 方式	給水	排水	冷却水	ガス設備	給湯設備	実験排水	クリーン等	特殊配管	ドラフト	室内の 温度 湿度 環境
建築系	110 国際共同研究室1	2	39.6(4.4×9)	1	2(9-17)	10(9-17)	3(9-17)	3.2	-	400	個別	一般	F1	W1	C1	-	-	500	12(A)*1(C)*1	要	K2	要	-	-	-	-	-	-	-	-	E1
	111 国際共同研究室2	2	39.6(4.4×9)	1	2(9-17)	10(9-17)	3(9-17)	3.2	-	400	個別	一般	F1	W1	C1	-	-	500	12(A)*1(C)*1	要	K2	要	-	-	-	-	-	-	-	E1	
	112 国際共同研究室3	2	40	1	2(9-17)	10(9-17)	3(9-17)	3.2	-	400	個別	一般	F1	W1	C1	-	-	500	12(A)*1(C)*1	要	K2	-	-	-	-	-	-	-	-	E1	
建築系	112 建築環境設計学 A	3	80	1	20	25	5~10	2.8	-	400	個別	一般	F2	W1 F4	C1	-	-	500	12	-	K2	要	-	-	-	要	-	-	-	E1	
	112 地盤環境学 B	3	80	1	20	25	5~10	2.8	-	400	個別	一般	F2	W1 F4	C1	-	-	500	12	-	K2	要	-	-	-	要	-	-	-	E1	
建築系	112 地盤環境工学サブ C	1	80	1	5(9-19)	10	-	3.0	-	400	個別	一般	F1	W1	C1	-	-	500	12(A)*1(B)*1	要	K2	要	-	-	-	-	-	-	-	E1	
	113 QNDE室	B1	80.08(7.7×10.4)	1	1(9-22)	10(13-15)	0(22-9)	直天	-	400	個別	一般	F1	W1	C1	-	-	500	12(A)*1	-	K2	要	-	-	-	-	-	-	-	E1	
構造系	114 CAE室	B1	75	1	8(9-17)	18	4	3.0	-	400	個別	一般	F1	W1 F2	C1	-	-	600	12(A)*1(B)*1	-	K2	要	-	-	-	-	-	-	-	E1	
	115 並列計算機室	B1	100	1	-	2	-	3.0	-	400	個別	特殊	F1	W1 F2	C1	-	-	1000	12(A)*1(B)*2	-	K2	要	-	-	-	-	-	-	-	E21	



エリア(室名)	(a) 一般事項						(b) 建築関係					(c) 電源設備	(d) 照明設備	(e) 電話・情報設備	(f) TV	(g) 入退室	(h) 給排水衛生設備			(i) 特殊設備等			(j) 室内環境								
	階	面積 m <sup>2</sup>	室数	利用人員(人) 常時 最高 夜間	天井高 m	関連する 部屋	床荷重 kg/m <sup>2</sup>	換気	空調	壁仕上	天井仕上	防水	暗室	重量物	照明 VA/m <sup>2</sup>	実験 VA/m <sup>2</sup>	室内 照度 ルクス	先行 情報 配線 システム	接続 端子	出入口の 施錠 方式	給水	排水	冷却水	ガス設備	給湯設備	実験排水	クリーン等	特殊 配管	ドラフト チャン バー	室内の 温度 環境	
居室	B1 -4	27.9	39	7	2.8	117,1 18	400	個別	一般	F1 F4	W1	C1	-	-	70	-	500	12	-	K2	要	-	-	-	-	-	-	-	-	E1	
	B1 -4	24.8	39	6	2.8	116	400	個別	一般	F1 F4	W1	C1	-	-	70	-	500	12	-	K2	要	-	-	-	-	-	-	-	-	E1	
	B1 -4	21.7	39	2	2.8	116	400	個別	一般	F1 F4	W1	C1	-	-	70	-	500	12	-	K2	要	-	-	-	-	-	-	-	-	E1	
	B1 -4	80	39	25	2.8	-	400	個別	一般	F2 F4	W1	C1	-	-	70	-	500	12	-	K2	要	-	-	-	-	-	-	-	-	E1	
設備室	B1	440	1	-	-	-	360	個別	一般	F1	W1	C1	-	-	40	-	300	12	要	K2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	E1	
	B1 -4	適宜	6	-	-	-	360	個別	一般	F1	W1	C1	-	-	40	-	300	12	要	K0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	E1	
廊下・手洗い等	B2	40	1	適宜	適宜	2.8	適宜	個別	一般	F1	W1	C1	-	-	70	単200	600	12	要	K2	要	-	-	要	-	-	-	-	-	E1	
	B2	適宜	1	-	-	-	適宜	適宜	一般	F1	W1 W2	C1 C2	-	有	20	-	150	-	K2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	B2	適宜	1	-	-	-	適宜	適宜	一般	F1	W1 W2	C1 C2	-	有	20	-	150	-	K2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	適宜	1	-	-	-	適宜	適宜	一般	F1	W1 W2	C1 C2	-	有	20	-	150	-	K2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	B2	適宜	1	-	-	-	適宜	個別	一般	F1	W1	-	-	-	10	-	100	-	K2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B2	適宜	-	-	-	-	適宜	個別	一般	F1	W1	-	-	有	10	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
-	適宜	-	-	-	適宜	-	360	適宜	一般	F1	W1	C1	-	-	20	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	適宜	-	-	-	適宜	-	360	適宜	一般	F1	W1	C1	-	-	20	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	適宜	-	-	-	適宜	-	180	個別	一般	F1	W1	C1	-	-	20	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

エリア(室名)	(a) 一般事項						(b) 建築関係				(c) 電源設備	(d) 照明設備	(e) 電話・情報設備	(f) TV	(g) 入退室	(h) 給排水衛生設備			(i) 特殊設備等			(j) 室内環境								
	階	面積 m <sup>2</sup>	室数	利用人員(人) 常時 最高 夜間	天井高 m	関連する部屋	床荷重 kg/m <sup>2</sup>	換気	空調	床仕上	壁仕上	天井仕上	防水	暗室	重量物	照明 VA/m <sup>2</sup>	実験 VA/m <sup>2</sup>	室内照度 ルクス	先行 情報配線システム	接続端子	出入口の施設方式	給水	排水	冷却水	ガス設備	給湯設備	実験排水	クリーン等	特殊配管	ドラフト
1 相談室	2	20 (4×5)	1	1(9-17)	-	3.0	400	個別	一般	F1 W1 F5 W13	C1	-	-	-	50	-	500	12	要	K2	要	要	-	要	-	-	-	-	-	E1
2 処置・休養室	2	25 (5×5)	1	0	3	3.0	400	個別	一般	F1 W1 F5 W2 F6	C1	-	-	70	-	500	12	要	K2	要	要	-	要	-	一般	-	-	-	E1	
3 診療・遠隔医療室	2	20 (4×5)	1	2(9-17)	2	3.0	400	個別	一般	F1 W1 F5 W2 F6	C1	-	-	70	-	500	12	要	K2	要	要	-	要	-	一般	-	-	-	E1	
4 研究室	2	21 (7×3)	1	2(9-17)	-	3.0	400	個別	一般	F1 W1	C1	-	-	100	-	500	12	要	K2	要	要	-	要	-	-	-	-	-	E1	
5 物置	2	6 (3×2)	1	0	-	3.0	800	個別	-	F1 W1	C1	-	-	20	-	100	12	-	K2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 受付・事務室	2	20 (4×5)	1	2(9-17)	-	3.0	400	個別	-	F1 W1	C1	-	-	70	-	600	12	要	K2	要	要	-	要	-	要	-	-	-	E1	
7 検査室	2	16 (4×4)	1	0	-	3.0	400	個別	-	F1 W1 F6	C1	-	-	100	-	500	12	-	K2	-	要	要	-	-	-	一般	-	-	E1	
8 会議室・スタッフルーム	2	20 (4×5)	1	0	-	3.0	400	個別	-	F1 W1	C1	-	-	70	-	500	12	要	K2	要	要	-	-	-	要	-	-	-	E1	
9 倉庫・更衣室	2	30 (3×10)	1	-	10	3.0	400	個別	-	F1 W1	C1	要	-	20	-	100	13	-	K2	-	要	要	-	-	-	-	-	-	-	
10 エクササイズルーム・ヒーリングルーム	2	170 (17×10)	1	0	9	3.0	400	個別	一般	F1 W1 F1 F8	C1	-	-	70	-	500	12	要	K2	要	要	-	-	-	要	-	-	-	E1	
11 便所	2	19.5 (3×6.5)	1	-	-	3.0	180	個別	-	F1 W1 F7	C1	要	-	20	-	100	-	-	K2	-	要	要	-	-	-	-	-	-	-	
12 倉庫	1	52	1	-	-	2.7以上	800	個別	-	F1 W1	C1	-	-	20	-	100	-	-	K2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

エリア(室名)	(a) 一般事項						(b) 建築関係				(c) 電源設備		(d) 照明設備	(e) 電話・情報設備	(f) TV	(g) 入退室	(h) 給排水衛生設備				(i) 特殊設備等			(j) 室内環境				
	階	面積 m <sup>2</sup>	室数 室	利用人員(人) 常時 最高 夜間	天井高 m	関連する 部屋	床荷重 kg/m <sup>2</sup>	換気 中央	空調 一般	壁仕上	天井仕上	防水	暗室	重量物	照明 VA/m <sup>2</sup>	実験 VA/m <sup>2</sup>	室内照度 ルクス	先行 システム	接続 端子	給水	排水	冷却水	ガス設備	給湯設備	実験排水	クレーン等	特殊配管	ドラフト
13 エントランスロビー	-	100	1	-	3.0 以上	14	360	中央	一般	F1 W1 C1 C2	-	-	-	30	-	300	12	要	-	-	-	-	-	-	-	-	-	E1
14 多目的ラウンジ	-	170	1	-	3.0 以上	13	360	中央	一般	F1 W1 C1 C2	-	-	-	50	-	300	12	要	要	要	-	-	要	-	-	-	-	E1
15 和風レストラン	-	130	1	-	2.7 以上	16、 17	300	中央	一般	F1 F 17 W1 C1 C2	-	-	-	50	-	300	13	要	要	要	-	-	要	-	-	-	-	E1
16 厨房(和風レストラン)	-	100	1	-	3.0 以上	15、 17	300	個別	一般	F1 F6 W1 C1 C2	要	-	-	40	設置 機器 による。	400	13	-	要	要	-	-	要	-	-	-	-	E1
17 搬入スペース	-	40	1	-	直天 3.0 以上	-	300	個別	-	F1 W1 C1	-	-	-	20	-	100	13	-	要	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18 倉庫	-	-	-	-	2.7 以上	-	800	個別	-	F1 W1 C1	-	-	-	20	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19 洋風レストラン	-	340	1	-	3.0 以上	21、 22	300	中央	一般	F1 F6 W1 C1 C2	-	-	-	50	-	300	13	要	要	要	-	-	要	-	-	-	-	E25
20 厨房(洋風レストラン)	-	110	1	-	3.0 以上	20、 22	300	中央	一般	F1 F6 W1 C1 C2	要	-	-	50	設置 機器 による。	400	13	-	要	要	要	-	要	要	-	-	-	E25

エリア(室名)	(a) 一般事項						(b) 建築関係				(c) 電源設備		(d) 照明設備	(e) 電話・情報設備	(f) TV	(g) 入退室	(h) 給排水衛生設備				(i) 特殊設備等			(j) 室内環境						
	階	面積 m <sup>2</sup>	室数	利用人員(人) 常時 最高 夜間	天井高 m	関連する部屋	床荷重 kg/m <sup>2</sup>	換気	空調	床仕上	壁仕上	天井仕上	防水	暗室	重量物	照明 VA/m <sup>2</sup>	実験 VA/m <sup>2</sup>	室内照度 ルクス	先行 システム	接続端子	出入口の 施設方式	給水	排水	冷却水	ガス設備	給湯設備	実験排水	クリーン等	特殊配管	ドラフト
21 ATM郵便局設置スペース	-	30	-	-	2.7 以上	-	300	k	-	F1 W1	C1	-	-	-	70	-	300	12	-	K2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22 インターネットカフェ(会議室)	-	240	1	-	3.0 以上	26	300	中央	一般	F1 W1	C1 C2	-	-	-	70	-	300	14	要	K2	要	要	-	-	要	-	-	-	-	E1
23 パントリー	-	40	1	-	3.0 以上	25	300	個別	一般	F1 W1 F6	C1 C2	要	-	40	設置 機器 による。	300	13	-	K2	要	要	要	-	要	-	-	-	-	-	E25
24 スタッフルーム	-	80	1	-	3.0 以上	-	400	個別	一般	F1 W1	C1	-	-	70	-	600	12	要	K2	要	要	要	-	要	-	-	-	-	-	E1
25 購買部	-	290	1	-	3.0 以上	29	300	個別	一般	F1 W1	C1 C2	-	-	100	-	600	12	-	K2	要	要	要	-	要	-	-	-	-	-	E1
26 展望デッキ(外部)	-	-	-	-	-	25	300	-	-	F1 W1	C1	要	-	-	-	-	-	-	-	-	要	要	-	要	-	-	-	-	-	E1
27 機械室(1)	-	-	-	-	直天	-	適宜	適宜	適宜	F1 W1 W2	C1 C2	-	有	20	-	150	-	-	K2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28 電気室	-	-	-	-	直天	-	適宜	適宜	適宜	F1 W1 W2	C1 C2	-	有	20	-	150	-	-	K2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29 機械室(2)	-	-	-	-	直天	-	適宜	適宜	適宜	F1 W1 W2	C1 C2	-	有	20	-	150	-	-	K2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30 便所	-	-	-	-	-	-	180	個別	-	F1 W1	C1	-	-	20	-	100	-	-	-	-	要	要	-	-	-	-	-	-	-	-
31 廊下(保健管理棟共通)	-	-	-	-	-	-	360	適宜	-	F1 W1	C1	-	-	20	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32 階段(保健管理棟共通)	-	-	-	-	-	-	360	適宜	-	F1 W1	C1	-	-	20	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 【別表2-1】各エリアの要求水準 凡例

### <表記内容の説明>

#### (a) 一般事項

- ・階：表記の階に設置する。但し、室の機能上問題がなく、かつ、ゾーニングの中で関連する部屋の関係上問題が無ければ、若干の変更は構わない。
- ・面積：表記の数値(括弧内は、部屋の形状を示す(Xm×Ym)程度)を目標とする。但し、室の機能上問題が無ければ、若干の変更は構わない。
- ・室数：表記室数を確保する。
- ・利用人員：常時、最高時、夜間の利用人員を示す。括弧内はそれぞれの時間帯を示す。利用人員および時間帯を考慮し、空調計画等に配慮する。
- ・天井高：表記数値は室内の平均天井高を(最低限度)を示し、上がり天井等の工夫により部分的に表記数値を下回っても良い。但し、必要設備・備品の配置を妨げない計画とする。
- ・関連する部屋：室一室間の用途上関連性がある部屋のため、配置は隣接もしくは近接させ、室の機能上問題がない計画とする。
- ・床荷重：表記数値は単位面積当たりの一般的な数値であり、実状に応じて変化する可能性もある。重量物については、(b)建築関係の項目の中で示す。
- ・換気：換気方法について示す。個別は単独個別換気を示し、中央は空調兼用若しくは複数室と換気装置の共用が可能である。
- ・空調：空調条件について示す。特殊は一般空調以外の空調条件が必要であることを示す。空調の設定については、(k)室内環境の項目の中で示す。

#### (b) 建築関係

- 各エリア(室)の用途に応じた適切な仕上材を選定すること。各期号は基本的な仕上等の性能を表し、特にその機能が重視されるものを表記している。
  - ・床：F1(汚れにくく清掃等が容易であること)、F2(配線の取出しが自由にできること)、F3(化学薬品に耐えうる材質であること)、F4(帯電防止に配慮すること)、F5(床衝撃音に配慮すること)、F6(水拭きが可能であること)、F7(床を洗うなど水洗いが可能であること)、F8(コンクリート床)、F9(反力床)、F10(埋め込み部と支持床)、F11(タイル床)、F12(マンセルN2以下)、F13(マンセルN4以下)、F14(目地溶接フタル酸クリー耐薬性シート)、F15(防音室仕様)、F16(床補強)、F17(畳)、F18(フローリング)、F19(樹脂製)、F20(恒温・恒湿に適したもの)
  - ・壁：W1(汚れにくく清掃等が容易であること)、W2(吸音性能を有すること)、W3(化学薬品に耐えうる材質であること)、W4(コンクリート壁)、W5(反力壁)、W6(完全防音壁)、W7(X線遮蔽仕様)、W8(マンセルN2以下)、W9(マンセルN4以下)、W10(目地溶接フタル酸クリー耐薬性シート)、W11(防音室仕様)、W12(耐火壁)、W13(防音仕様)、W14(アモルフィスを含むシーリング工事とする)、W15(恒温室用プレハブ壁)、W16(木質仕上げ)、W17(恒温・恒湿に適したもの)
  - ・天井：C1(汚れにくく清掃等が容易であること)、C2(吸音性能を有すること)、C3(化学薬品に耐えうる材質であること)、C4(照明器具などの取付等に配慮すること)、C5(X線遮蔽仕様)、C6(マンセルN2以下)、C7(マンセルN4以下)、C8(防音室仕様)、C9(アモルフィスを含むシーリング工事とする)、C10(恒温・恒湿に適したもの)
- ・防水：防水の要否を示す。
- ・暗室：暗室の要否を示す。A1(完全暗室)、A2(一般暗室)、A3(遮光カーテン)、A4(遮光用引き戸)
- ・重量物：重量物の設置について示し、詳細は、【別表3】による。

#### (c) 電源設備

- ・照明用、コンセント用電源は表記の容量を確保するとともに、コンセントは適切な間隔で壁または床に設置すること。※印のあるエリアは、OA機器等の特殊設備を見込んだ数値である。
  - ・実験用、電源容量は、研究内容に伴い流動的であるため、表記の数値を目標とする。また、実験用分電盤までを標準装備とすること。( )内の数字は複数面接地する場合の実験版の面数を示す。
- 照明設備
- ・室内照度は、表記数値の範囲内を目安とし、室の用途に応じて照明方法等適切な計画とすること。
- 電話・情報設備
- ・I1：電力・情報へ「ジョイントボックス(スイッチングハブ付)」による対応、I2：情報コンセント(電話・LAN)による対応、(A)：電話コンセント×2、(B)：情報コンセント×2、(C)：電話コンセント×1、情報コンセント×1
  - ・I3：情報コンセント(電話)による対応、I4：マルチメディア用による対応。

#### (f) TV共同視聴設備

- ・TV接続端子を設置する。括弧内は、箇所数を示す。

#### (g) 入退室

- ・K0：特に入退室を設けず、オープンな入退室が可能ないようにする。
- ・K1：出入口は電気錠とし、IDカード(カードリーダー)方式とする。
- ・K2：一般的な締め金物(建具取付)とし、鍵方式とする。

#### (h) 給排水衛生設備

- 各記号に示す衛生陶器類及び給排水配管設備を含むものとする。実験・分析用の給排水については、【別表1】、【別表2-2】並びに【別表3】を参考にする。(括弧内は個数を示す)
- ・S1(洗面手洗器)、S2(流し台、陶器製)、S3(流し台、ステンレス製)、S4(掘込みの水場)、S5(コンクリート製シンク)、S6(障害者対応)、S7(足洗い場形状)、S8(大型ステンレス流し)、S9(システムキッチン)、S10(キッチンユニット)、S11(シャワーユニット)
- ・ガス設備：要不要を示す。
- ・給湯設備：要不要を示す。

- (i) 特殊設備
- ・実験排水・実験器具等の洗浄は(中和)、油圧コンプレッサ冷却水は(一般)、供試体及び床の洗浄・セメント混入の実験排水は(中和)、薬品処理は(中和)、生活汚水は(一般)、濁水は(一般)、コンクリート洗浄水は(中和)、染料加の水道水は(中和)、動物実験排水は(中和)、培養液等の排水は(中和)、医療排水は(一般)
  - ・クレーン等: G1(固定クレーン、括弧内にt表示)、G2(走行クレーン、括弧内にt表示)、G3(チェーンブロック、括弧内にt表示)、G4(ホイスト式天井クレーン、括弧内にt表示)、G5(門型、括弧内にt表示)、G6(電動天井走行クレーン、括弧内にt表示)、G7(トップラニング式クレーンサドル型式、括弧内にt表示)、G8(水平可動電動走行式ダブルゲータ台車、括弧内にt表示)
  - ・特殊配管: T1:(コンプレッサ(空気圧、真空圧):共通のコンプレッサ一室から供給、括弧内に供給する室番号を示す)、  
・ドラフトチャンバー:ドラフトチャンバーの要否について示す。
- (ii) 室内環境
- E1:一般的な快適温度(夏期:乾球温度26℃、冬季:乾球温度22℃)および一般的な快適湿度(夏期:相対湿度60%、冬季:相対湿度40%)、但し大空間の場合スポット空調可能とする。
  - E2:書籍、資料等の保管に適した温湿度環境を確保する。
  - E3:24時間空調を行う。
  - E4:恒温恒湿環境(乾球温度20℃±1℃、相対湿度60%±10%)、E5:恒温環境(乾球温度20℃±1℃)、E6:恒温環境(乾球温度20℃±3℃)
  - E7:恒温恒湿環境(乾球温度20℃±2℃、相対湿度60%±10%)、E8:恒温恒湿環境(乾球温度24℃±2℃、相対湿度40%±10%)
  - E9:冷蔵室(乾球温度4℃±2℃)、E10:冷凍室(乾球温度-20℃±2℃)
  - E11:恒温環境(乾球温度4℃±1℃)、E12:恒温環境(乾球温度20~30℃±2℃(可変)、湿度成行き)
  - E13:恒温環境(乾球温度20~37℃±1℃)、E14:恒温恒湿環境(乾球温度20~30℃±1℃、相対湿度50~70%±5%)
  - E15:恒温恒湿環境(乾球温度20℃±1℃、相対湿度50%±10%)、E16:恒温恒湿環境(乾球温度23℃±5℃、相対湿度50%±10%)
  - E17:列-ルーム(77x10000)、恒温恒湿環境(乾球温度23℃±5℃、除湿機能)(湿度60%以下)、E18:恒温環境(20℃±2℃)
  - E19:高度空調(乾球温度20℃±2℃、相対湿度50%)、E20(乾球温度20~30℃±2℃、相対湿度40~70%±10%)
  - E21:高度空調(乾球温度20℃±2℃、相対湿度20~80%)
  - E22:高度空調(乾球温度-10℃~50℃±2℃、相対湿度20~95%±5%)
  - E23:高度空調(乾球温度0℃~40℃±2℃、相対湿度30~80%±5%)
  - E24:列-ルーム(77x10000)、恒温恒湿環境(乾球温度20℃±2℃、相対湿度60%±10%)
  - E25:厨房空調(1'学校給食衛生管理の基準」による)

【別表1-2】各エリアの特殊条件

エリア(室名)	特殊条件	備考
1 大講義室	<p>照明：調光照明が必要            床(階段)：タイルカーペット            扉：W1,25×H2(親子開き)×2ヶ所            プロジェクター投射サイズ：W2,032mm×H1,524mm(4:3)            但し、天井高さ3,200mm必要            映像音声機器収納ラックに次の外部配線必要            1)非常カット信号(防災アンプより)            2)校内LAN(2系統)            3)共聴ライン            映像音声機器収納ラックに電源として、AC100V20A×6回路必要            流し台、洗面化粧台(1台)            ポストを大講義室外壁側北玄関に40個設置する。</p>	
2A 中講義室(1)	<p>照明：調光照明が必要            天井：トップライトを設ける            扉：W1,25×H2(親子開き)×1ヶ所            プロジェクター投射サイズ：W2,032mm×H1,524mm(4:3)            但し、天井高さ3,200mm必要            柱情報ネットワークWGの作成仕様による遠隔講義システム            映像音声機器収納ラックに次の外部配線必要            1)非常カット信号(防災アンプより)            2)校内LAN(2系統)            3)共聴ライン            映像音声機器収納ラックに電源として、AC100V20A×4回路必要            流し台、洗面化粧台(1台)</p>	
2B 中講義室(2)	<p>照明：調光照明が必要            扉：W1,25×H2(親子開き)×1ヶ所            プロジェクター投射サイズ：W2,032mm×H1,524mm(4:3)            但し、天井高さ3,200mm必要            柱情報ネットワークWGの作成仕様による遠隔講義システム            映像音声機器収納ラックに次の外部配線必要            1)非常カット信号(防災アンプより)            2)校内LAN(2系統)            3)共聴ライン            映像音声機器収納ラックに電源として、AC100V20A×4回路必要            流し台、洗面化粧台(1台)</p>	
3A 小講義室(1)	<p>照明：調光照明が必要            天井：トップライトを設ける            扉：W1,25×H2(親子開き)×1ヶ所            プロジェクター投射サイズ：W2,032mm×H1,524mm(4:3)            但し、天井高さ3,200mm必要            映像音声機器収納ラックに次の外部配線必要            1)非常カット信号(防災アンプより)            2)校内LAN(2系統)            3)共聴ライン            映像音声機器収納ラックに電源として、AC100V20A×4回路必要            流し台、洗面化粧台(1台)</p>	

共用

エリア(室名)	特殊条件	備考
3B 小講義室(2)	<p>照明:調光照明が必要            扉:W0.85×H2(片開き)×1ヶ所            プロジェクター投射サイズ:W2,032mm×H1,524mm(4:3)            但し、天井高さ3,200mm必要            柱情報ネットワークWGの作成仕様による遠隔講義システム            映像音声機器収納ラックに次の外部配線必要            1)非常カット信号(防災アンプより)            2)校内LAN(2系統)            3)共聴ライン            映像音声機器収納ラックに電源として、AC100V20A×4回路必要            流し台:洗面化粧台(1台)</p>	
4A 遠隔講義室(1)	<p>柱情報ネットワークWGの作成仕様による遠隔講義システム            床:居室同様            壁:居室同様            扉:W0.85×H2(片開き)×1ヶ所</p>	
4B 遠隔講義室(2)	<p>床:居室仕様            壁:居室仕様            扉:W0.85×H2(片開き)×1ヶ所</p>	
4C 遠隔講義室(3)	<p>床:居室仕様            壁:居室仕様            扉:W0.85×H2(片開き)×1ヶ所</p>	
5 大会議室	<p>照明:調光照明が必要(照明器具は一般の物よりグレードを高くすること。)            床:タイルカーペット            壁:居室仕様            扉:W1.7×H2(両開き)、ガラリを付けない            プロジェクター投射サイズ:W2,032mm×H1,524mm(4:3)            但し、天井高さ3,200mm必要            柱情報ネットワークWGの作成仕様による遠隔講義システム            映像音声機器収納ラックに次の外部配線必要            1)非常カット信号(防災アンプより)            2)校内LAN(2系統)            3)共聴ライン            映像音声機器収納ラックに電源として、AC100V20A×4回路必要</p>	
6A 中会議室(1)	<p>扉:W0.85×H2(片開き)×1ヶ所            小型アンプラックに次の外部配線が必要            1)非常カット信号(防災アンプより)            2)校内LAN(2系統)            3)共聴ライン            小型アンプラックに電源として、AC100V20A×1回路必要            照明器具は一般のものよりグレードを高くすること。</p>	

共用



エリア(室名)	特殊条件	備考
6B 中会議室(2)	<p>床:居室仕様            壁:居室仕様            扉:W0.85×H2(片開き)×1ヶ所            小型アンブラックに次の外部配線が必要            1)非常カット信号(防災アンプより)            2)校内LAN(2系統)            3)共聴ライン            小型アンブラックに電源として、AC100V20A×1回路必要            照明器具は一般の物よりグレードを高くすること            暗幕はリアモニター式とする。</p>	
7A 小会議室(1)	<p>床:居室仕様            壁:居室仕様            扉:W0.85×H2(片開き)×1ヶ所            電動巻き上げ式スクリーンの設置</p>	
7B 小会議室(2)	<p>照明:調光照明が必要            天井:トップライトを設ける            床:居室仕様            壁:居室仕様            扉:W0.85×H2(片開き)×1ヶ所            リニアモーター式暗幕の設置            電動スクリーンの設置</p>	
8 ライブラリーレクチャール 共用	<p>流し:多目的ホール準備用および利用者・職員の手洗い用、システムキッチン            カス設備:多目的ホール準備用、システムキッチンへ供給            給湯設備:多目的ホール準備用、システムキッチンへ供給            天井:ホール部分は最低3.2            床:カーペット敷きで、新着雑誌架部分は耐荷重200kg/m<sup>2</sup>とする            壁:内壁は木質系とする(特にホール及びそのアプローチ部分は必須)            ホール内の出力音圧レベルは1242db            扉:W0.85×H2(片開き)            W1.7以上            なお、一般の研究室よりグレードの高い仕様とする            ホール部分は無柱空間とする            ホール部分は窓を大きく取り、周囲を一望できる構造とする            リニアモーター式暗幕設置のために、窓上部にカーテンボックスを取り付ける            階段は屋外とし、眺望を妨げない構造とする            ホール内照明は調光できること。ダウンライトを併用する            ホール内照明の点灯・消灯はプロック単位(前列・中列・後列)で管理できること            プロジェクター投影サイズ:W2,032mm×H1,524mm            映像音声機器収納ラックに次の外部配線が必要である            1)非常カット信号(防災アンプより)            2)校内LAN(2系統)            3)共聴ライン            映像音声機器収納ラックに電源としてAC100V20A×6回路必要            流し台、陶器製(1台)、ステンレス製(1台)、システムキッチン(1台)</p>	

エリア(室名)	特殊条件	備考
9A 外国人研究者室(1)	床:居室仕様 壁:居室仕様 扉:W0.9×H2(片開き)×1ヶ所 流し台:ステンレス製(1台)	
9B 外国人研究者室(2)	床:居室仕様 壁:居室仕様 扉:W0.9×H2(片開き) 流し台:ステンレス製(1台)	
9C 外国人研究者室(3)	床:居室仕様 壁:居室仕様 W0.9×H2(片開き)) 流し台:ステンレス製(1台)	
10 研究用資料保管庫	除湿器が必要 照明:壁面照明を行う 床: Pタイル又は長尺シート程度 床補強が必要 扉:W1.25×H2(親子開き) 電動書架用電源一相200v6A*5回路 洗面化粧台(1台)	
11 協力講座教官室	床:居室仕様 壁:居室仕様 扉:W1.25×H2(親子開き) 流し台:ステンレス製(1台)	
12 協力講座学生室	床:居室仕様 壁:居室仕様 扉:W1.25×H2(親子開き) 流し台:ステンレス製(1台)	
13 事務室	受付カウンター L=3,000×W1,000 2ヶ所 床:OAフロア(H=100) 壁:居室仕様 扉: W0.85×H2(片開き)×2ヶ所 W1.25×H2(親子開き)×2ヶ所 流し台:ステンレス製(2台) 給湯設備2栓 流し:会議等で使用した食器を洗うため ガス設備:会議等の飲み物を作るため 給湯設備:会議等の飲み物を作るため 扉: W0.85×H2(片開き)×1ヶ所 W1.25×H2(親子開き)×1ヶ所 流し台:ステンレス製(1台) 給湯設備1栓	
14A 用務員室	流し:手洗い用 扉:W1.25×H2(親子開き)×1ヶ所 流し台:ステンレス製(1台) 給湯設備1栓	
14B 印刷室	流し:手洗い用 扉:W1.25×H2(親子開き)×1ヶ所 流し台:ステンレス製(1台) 給湯設備1栓	

共用

エリア(室名)	特殊条件	備考
15 メールボックス室	メールボックス(50個)は、造り付けとする。 扉: W0.85×H2(片開き)×1ヶ所 W1.25×H2(親子開き)×1ヶ所	
16 職員談話室・女子更衣室	扉: W0.85×H2(片開き)×1ヶ所 W1.25×H2(親子開き)×1ヶ所 床:一部畳 女子更衣室に緊急呼出装置の設置 流し台、ステンレス製(1台) 給湯設備1栓	
17 事務室倉庫	扉:W1.25×H2(親子開き)×1ヶ所 電動式移動ラック用電源単相100Vが必要 洗面化粧台(1台)	
18A 会議室(1)	照明:調光照明が必要 床:タイルカーペット 扉:W1.25×H2(親子開き)×1ヶ所、ガラリを付けない 壁:グレートを上げる 照明器具は一般よりグレードを高くする。 流し台、洗面化粧台(1台) 柱情報ネットワークWGの作成仕様による遠隔講義システム	
18B 会議室(2)	照明:調光照明が必要 床:タイルカーペット 扉:W1.25×H2(親子開き)×1ヶ所、ガラリを付けない 壁:グレートを上げる 照明器具は一般の物よりグレードを高くする。 流し台、洗面化粧台(1台) 柱情報ネットワークWGの作成仕様による遠隔講義システム	
18C 給湯	流し:システムキッチン (ステンレス流し(2シンク)、ビルトイン自動食器洗い機付き、レンジフード付き) ガス設備:湯茶の用意 給湯設備:食器の洗浄化 床:洗い易い床材 扉:W1.25×H2(親子開き) システムキッチン(1台)	
18D 技術室	ガス設備:1栓 給湯設備:1栓 床:二重床とする(H=100) 扉:W1.25×H2(親子開き)×2ヶ所 流し台、ステンレス製(1台)	
18 E 小会議室(3)	床:居室仕様 壁:居室仕様 扉:W0.85×H2(片開き) リニアモウヤー式暗幕の設置 電動式暗幕の設置	

共用

エリア(室名)	特殊条件	備考
18 F 共同利用室(35m <sup>2</sup> )	流し:キッチンユニット 床:廊下仕様とする 壁:居室仕様(廊下側はガラス壁+ブラインド) 扉:W0.85×H2(片開き) キッチンユニット(1台)	
18 G 共同利用室(50m <sup>2</sup> )	流し:キッチンユニット 床:廊下仕様とする 壁:居室仕様(廊下側はガラス壁+ブラインド) 扉:W0.85×H2(片開き) キッチンユニット(1台)	
18 H 男子更衣室	扉:W0.85×H2(片開き) 洗面手洗器(1台)	
18 I 更衣室	流し:洗面台の他にシャワーユニット×3ヶ所 床:土間および清掃しやすい床。間に段差 シャワーユニット(1台) 給湯設備:シャワーユニットへ供給	
共用		

エリア(室名)	特殊条件	備考
<p>19A 第1構造実験室</p> <p style="text-align: center;">構造系</p>	<p>空調：一般的な快適温度を目安とする。(19A.20.21A.23は間仕切りなしの大空間のため)</p> <p>クレーン：実験模型・載荷装置運搬・据付のため。第2構造実験室に配置した5tfクレーンも走行可能にする(同時2つ使用可)</p> <p>照明：10m天井用の照明(主照明:水銀灯、サブ:蛍光灯)、及びピット内部・ギャラリー・キャットウォークの照明</p> <p>冷却水配管：油圧源とアクチュエータ等の冷却のための冷却水循環設備</p> <p>大型機器の搬出入：実験供試体・治具など</p> <p>扉：W3.6×H4.5シャッター×2並列 W1.8H×2(両開き)×1ヶ所</p> <p>壁：制御室との仕切は大形ガラス。 (反力床及び反力壁について)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 反力壁及び反力床は、丸型鋼管を埋め込んだコンクリート製とする。反力壁はL型とする。</li> <li>2. 反力壁の高さは5000mmとし、厚さは最大1500mmとする。天頂部に1MN作用した場合の変形が1mm以下となるようにする。</li> <li>3. 反力床面は17600×8500mmとする。</li> <li>4. 丸型鋼管は内径60mm程度とし、最大φ40のPC鋼棒が余裕を持って緊結可能な大きさとする。</li> <li>5. 反力壁及び反力床の原点はL型反力壁表面と反力床表面の3平面が交差する点とし、反力壁長辺に沿ってX軸、反力壁短辺に沿ってY軸、高さ方向にZ軸とする。</li> <li>6. 反力壁長辺の試験体緊結用丸型鋼管はX=250mmとZ=250mmから始めて、250mmグリッド(X方向、Y方向とも250mm間隔)とする。</li> <li>7. 反力壁短辺の試験体緊結用丸型鋼管はY=250mmとZ=250mmから始めて、250mmグリッドとする。</li> <li>8. 反力床のX方向の試験体緊結用丸型鋼管はX=1000mmから始まり、X=1250mm、1500mm、1750mm、2000mmと5列を250mm間隔で作成する。 ここで500mm飛んで、X=2500mmから再び5列を250mm間隔で作成し、その後500mm飛ぶ、という形を繰り返す。反力床のY方向の試験体緊結用鋼管はY=1000mmから始まり、500mmピッチで配置する。</li> <li>9. 反力床の鋼管上面には、塩化ビニルや金属製を用いた蓋を設ける。ただし、蓋はコンクリート表面から出さず、蓋をした状態で床表面全体が同じレベルとなるようにする。なお、蓋はねじ式にはしないこと。</li> <li>10. ピット内で反力床を支える壁は、丸型鋼管の間隔が500mm空いているところに設置する。壁と壁との間隔は芯芯で4500mmとする。 また壁には、長手方向の往来ができるよう、2000mm程度の開口を設ける。</li> <li>11. 反力壁に沿う8000mm反力床部には深さ400mm程度の溝を設け、油圧ホース等を配管する空間とする。溝には蓋を設け、上面を反力床全面と同じレベルとする。溝の一部は反力床内のピット部へつながる空間を設け、油圧源との配管が可能となるようにする。</li> <li>12. 反力床内のピットには、排水用の溝を周囲に設ける。</li> <li>13. 反力床短辺の第二構造実験室側に、ピットへ降りる階段をつける。</li> <li>14. ピットへ降りる階段の隣に油圧源等の機器をピットに降ろすマシンハッチを設ける。マシンハッチは開口部3000×4000mmを確保する。 上部には蓋を設ける。</li> <li>15. 反力壁、反力床のコンクリート表面の仕上がり状態は目遣い、不陸等の極めて少ない良好な面とする。下記の平坦さを満足するようにグラインダー一掛け等により平滑に調整する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平坦さは1mにつき2mm以下</li> <li>・床面及び壁面の平均レベルからの不陸は±5mm以下</li> <li>・全体の傾斜は1/1000以下</li> </ul> </li> <li>16. 試験体緊結丸型鋼管の精度は以下を満足する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・絶対位置に関して±10mm以内</li> <li>・隣接する丸型鋼管との間隔は±3mm以下</li> <li>・丸型鋼管の傾斜は1/400以下</li> </ul> </li> </ol>	<p>別諸元図1参照</p>

エリア(室名)	特殊条件	備考
19B 第1構造実験制御室	<p>空調：計測・制御用の計算機及び電子機器の安定動作のため、冬季でも冷房する可能性があるため単独空調とする。</p> <p>流し：手洗い、制御室清掃</p> <p>給湯設備：利用者の身体に付着した油・埃の洗浄のため</p> <p>特殊配管：制御装置とアクチュエータ等の配線のため(ピットとして要求)</p> <p>床：OAフロア</p> <p>壁：第1構造実験室との仕切は、大型透明ガラス(ドアもガラス入り)</p> <p>扉：W1.60×H2(両開き)×1ヶ所</p> <p>洗面化粧台(1台)</p>	別諸元図1参照
20 第3構造実験室	<p>空調：一般的な快適温度を目安とする。(19A,20,21A,23は間仕切りなしの大空間のため)</p> <p>クレーン：実験模型・載荷装置運搬・据付のため。2.8tfクレーンは第2構造実験室と共有</p> <p>照明：10m天井用の照明(主照明：水銀灯、サブ：蛍光灯)</p> <p>冷却水配管：機器冷却のための冷却水循環設備</p> <p>大型機器の搬出入：実験供試体・治具など</p> <p>扉：W1.60×H2(両開き)×2箇所</p> <p>20kN用振動台及び3kN用振動台</p> <p>1. 振動台の加振による慣性力を受け持つために、振動台基礎部に反力RCクレーンを設置する。</p> <p>20kN用振動台のクレーンは約60000kg必要であり、RC製の場合4400×2700×2200mm程度となる。</p> <p>将来の振動台システムの拡張を員機し、3kN用振動台の基礎部にも20kN用振動台同等のクレーンを配置する。クレーン間及び実験室床との間は200mmの間隔あるいは緩衝材を設置する。</p> <p>油圧源点検のための階段を設置する。</p>	別諸元図1参照
21A 第2構造実験室	<p>空調：一般的な快適温度を目安とする。(19A,20,21A,23は間仕切りなしの大空間のため)</p> <p>流し：手洗い、実験室清掃</p> <p>給湯設備：利用者の身体に付着した油・埃の洗浄のため</p> <p>クレーン：実験模型・載荷装置運搬・据付のため。第1構造実験室に配置した5tfクレーンも走行可能にする(同時2つ使用可)。</p> <p>2.8tfクレーンは第3構造実験室と共有</p> <p>冷却水配管：機器冷却のための冷却水循環設備</p> <p>サーボバルブサ、材料疲労試験機、万能材料試験機、万能試験機、アムスラー型耐圧試験機</p> <p>1. 各装置は実験室床上面に配置する。各装置は基礎が必要であり、装置重量に応じた床面補強が必要となる。</p> <p>3次元試験装置</p> <p>1. 3次元試験装置の原点が床上面とレベルが同じとなるように、W4000×D3600×H2425mmの載荷装置埋め込み部を設ける。</p> <p>2. Z方向のアクチュエータの点検が可能となるよう、ピットと埋め込み部の間に壁は設けない。柱等に対応する。</p> <p>流し台：陶器製(1台)</p>	別諸元図1参照

エリア(室名)	特殊条件	備考
21B 第2構造実験制御室	<p>空調：計測・制御用の計算機及び電子機器の安定動作のため。冬季でも冷房するため単独とする。</p> <p>流し：手洗い、実験室清掃</p> <p>給湯設備：利用者の身体に付着した油・埃の洗浄のため</p> <p>特殊配管：制御装置、載荷装置等への接続配線のため(ピットとして要求)</p> <p>床：OAフロア</p> <p>壁：第2構造実験室との仕切は、大型透明ガラス(ドアもガラス入り)</p> <p>扉：W0.85×H2(片開き)×2ヶ所</p> <p>流し台：洗面化粧台(1台)</p>	別諸元図1参照
22 工作室	<p>流し：手洗い、工作室清掃</p> <p>給湯設備：利用者の身体に付着した油・埃の洗浄のため</p> <p>クレーン：実験模型・載荷装置運搬・据付のため(2t)</p> <p>大型機器の搬出入：実験供試体・治具など</p> <p>照明：10m天井用の照明(主照明：水銀灯、サブ：蛍光灯を二段(h=3m.6m))</p> <p>扉：W1.60×H2(両開き)×1ヶ所</p> <p>流し台：陶器製(1台)</p>	別諸元図1参照
23 供試体製作室	<p>空調：一般的な快適適温度を目安とする。(19A.2021A.23は間仕切りなしの大空間のため)</p> <p>流し：足洗い場のような形状で蛇口は4個、別途蛇口のみ1ヶ所。</p> <p>実験装置用給排水：コンクリート片、セメント及び骨材などの洗い流しのため。</p> <p>排水：排水は中和処理を行う。</p> <p>給湯設備：利用者の身体に付着した油・埃の洗浄のため</p> <p>クレーン：実験模型・載荷装置運搬・据付のため。5.0tクレーンは第1・2構造実験室と共有</p> <p>照明：10m天井用の照明(主照明：水銀灯、サブ：蛍光灯)</p> <p>大型機器の搬出入：実験供試体・治具など</p> <p>扉： W1.6×H2(両開き)×1ヶ所 W3.6×H4.5シャッター×2並列</p> <p>足洗い場形状(1台)</p>	別諸元図1参照
26 第1コンクリート実験室	<p>空調：一般的な快適適温度を目安とする。</p> <p>コンクリート製シンク： 手洗い及びコンクリート器具洗浄のため。(床面設置の足洗場シンク、床面に設置の排水溝へ排水する。)</p> <p>W500×D100mm</p> <p>実験装置用給排水：環境槽のため。20φとする。</p> <p>ガス設備：実験コンロのため</p> <p>実験排水：排水溝及び沈殿槽の設置(沈殿槽は地下ピットへの掘り込み設置とする)排水：排水は中和処理を行う。</p> <p>排水溝(金網(細目)蓋付)：W200×D100mm。環境槽のドレーン水排水も排水溝へ。</p> <p>クレーン：コンクリート供試体移動のため。(2t)</p> <p>照明：10m天井用の照明(主照明：水銀灯、サブ：蛍光灯)</p> <p>床：一部防水塗装(排水床)(傾斜なし)</p> <p>扉： W4×H6(大型シャッター)×2ヶ所 W0.85×H2(片開き)廊下側1ヶ所 コンクリート製シンク(1台)</p>	別諸元図2参照

エリア(室名)	特殊条件	備考
27 第2コンクリート実験室	<p>空調：一般的な快適温度を目安とする。  コンクリート製シンク：手洗い及びコンクリート器具洗浄のため(床面設置の足洗場シンク、床面に設置の排水溝へ排水し、沈殿槽へ)W500×D100mm  実験装置用給排水：環境槽のため、20φとする。  ガス設備：実験用コンロのため  クレーン：コンクリート供試体(最大1t程度)移動のための1ライン(3方向)  照明：10m天井用の照明(主照明：水銀灯、サブ：蛍光灯)  大型機器の搬出入：実験供試体・治具など  床：一部防水塗装(排水床)(傾斜なし)  壁：26と27の間、一部壁なしとし、バリアフリー仕様とする。  扉：W0.85×H2(片開き)廊下1ヶ所。  コンクリート製シンク(1台)</p>	別諸元図2参照
28 コンクリート恒温室	<p>特殊空調設備：恒温室(環境室)(壁・天井はプレハブ壁)  コンクリート製シンク：手洗い及びコンクリート器具洗浄のため(床面設置の足洗場シンク、床面に設置の排水溝へ排水し、沈殿槽へ)W500×D100mm  実験装置用給排水：コンクリート製水槽への給水(20φ+32φ)、排水は排水溝へ  照明：蛍光灯、重量物：コンクリート製水槽(W1.5×H0.8×L15.0・L型・壁仕200mm)、床：2,400kgf/m<sup>2</sup>(水槽+水+供試体)、コンクリート防水塗装床  扉：  W1.6×H2(両開き)×1(26室へ)  W0.85×H2(片開き)×2(外部→機械制御室→恒温室)  コンクリート製シンク(1台)</p>	別諸元図2参照
29 コンクリート分析室	<p>特殊空調設備：恒温恒温室(プレハブ式)  流し：手洗いのため  実験装置用給排水：機器冷却のため(循環冷却水・10ℓ/min×2ヶ所)  扉：W1.6×H2(両開き)×1(27室へ)  流し台：ステンレス製(1台)</p>	別諸元図2参照
30 コンクリート用骨材ピット	<p>空調：更衣室のみ一般空調  照明：更衣室に蛍光灯が必要  保管ピット：壁高1mのオープンスペース  更衣室：天井高さ3mのクロードスペース  壁：コンクリート壁(壁高1m、更衣室3m)  扉：W1.6×H1(両開き、スチース製)×2(26室との通路用)  W0.85×H2(片開き)×1(更衣室出入口)</p>	別諸元図2参照



エリア(室名)	特殊条件	備考
31A 風洞実験室	<p>空調：一般的な快適温度を目安とする。            実験装置用給排水：風洞内で水を用いた実験を行うため            給湯設備：洗浄            走行クレーン：大型装置の移動のため。31Aの左、31Bの右に走行クレーンを設置。31B室の天井上をクレーンが通るようにする。(2.8t)</p> <p>暗室：照明を全て落とした状態で実験ができる程度            床：風洞下の基礎については別表3参照。            風洞(1台)の送風機部には、2.2W×4L×0.8D(m)のコンクリートの基礎が必要、その周りは縁切りする。            風洞(1台)の下の床はアンカーを打つため、厚さ250mm程度必要。            風洞(2)の下の床もある程度厚みが必要。            壁：31B,Dに面した壁には窓が必要(31B:W10.8×H1.4(床上0.6)Fi×ガラス、31D:W3.6×H1(床上1台)Fi×ガラス)</p> <p>北面壁の高さ2.5mの位置に300mmφの穴を2ヶ所設置。(互いに2～3m離す)            31A、31B空間の窓下方、床面300mmの位置に計測機器とセンサーケーブル貫通要円形開口(200φmm)を等間隔に4ヶ所設置。更に、31Bの配線盤と31A風洞間の電気コード貫通用開口も必要。            31A～Dの4室は個々に消灯、点灯が可能なスイッチとする。</p> <p>扉：            W1.35×H2.3(親子開き)×4ヶ所(31B(2)、31C(1台)、31D(1台)へ)            W1.8×H2.3(両開き)×3ヶ所            W3.6×H6.0(両開き)×1ヶ所(柱、梁内で可能な限り大きく、クレーンの下まで)            流し台、陶器製(1台)及び給水2ヶ所、排水口4ヶ所</p>	別諸元図3参照
31B 風洞実験室	<p>暗室：照明を全て落とした状態で実験ができる程度。            31A～Dの4室は個々に消灯、点灯が可能なスイッチとする。            壁：31Aに面した壁には窓が必要。(W10.8×H1.4(床上0.6)Fi×ガラス)</p> <p>扉：            W1.35×H2.3(親子開き)×2ヶ所(31Aへ)            W1.35×H2.3(親子開き)×1ヶ所(外部へ)</p>	別諸元図3参照
31C 風洞実験室	<p>流し：洗浄用。            給湯設備：洗浄。            31A～Dの4室は個々に消灯、点灯が可能なスイッチとする。            暗室：照明を全て落とした状態で実験ができる程度。            扉：W1.35×H2.3(親子開き)×1ヶ所(31Aへ)            流し台、ステンレス製(1台)</p>	別諸元図3参照
31D 風洞実験室	<p>暗室：照明を全て落とした状態で実験ができる程度。            31A～Dの4室は個々に消灯、点灯が可能なスイッチとする。            壁：31Aに面した壁には窓が必要。(W3.6×H1(床上1)Fi×ガラス、ブラインド設置)            扉：W1.35×H2.3(親子開き)×1ヶ所(31Aへ)</p>	別諸元図3参照

エリア(室名)	特殊条件	備考	
32 構造計測室	<p>流し:精密機器使用に伴う使用者の手洗いのため。            照明:一般照明(OA対応ではない)            床:OAフロア            壁:構造解析室はスロープに接しているため、この場所に出入口は設置しない。            構造計測室内にパーテーションを設け、構造計測室側に出入口を設ける。            扉:W0.85×H2(片開き)×2ヶ所            W1.25×H2(親子開き)×1ヶ所            洗面化粧台(1台)</p>		
構造系	33 構造解析室	<p>流し:精密機器使用に伴う使用者の手洗いのため。            照明:一般照明(OA対応ではない)            床:OAフロア            壁:構造解析室は複数の研究室が同時に使用するため、研究の遂行上、内部に可動パーテーションを設けて2室に区切る。            扉:W0.85×H2(片開き)×1ヶ所            洗面化粧台(1台)</p>	
35A 乱流水理実験長水路実験室(39室と一体利用)	<p>空調:一般的な快適温度を目安とする。            特殊空調は、3台のプレハブコントロール室に設置。レーザー流速計の稼動に必要。→コントロール室のみで設置・配管(39室と一体利用)            流し:実験砂の洗浄、粗度球の洗浄、可視化染料の調合、環境水の調合、清掃、手洗い            実験装置用給排水:            貯水槽C、D、Eへの水道栓。各貯水槽排水ポンプ要。排水溝要            貯水槽C、D、Eへの水道栓各2個、機器用水道栓(内径φ20mm)と床排水            貯水槽の排水用の自吸式ポンプ各2台。            排水:貯水槽から実験水路への排水配管・バルブ            ガス設備:環境水の温水作成、ガスバーナーによる加工            給湯設備:密度流の作成、温度界面層の形成。(能力:一般 60°C程度の温水 1m<sup>3</sup>程度貯湯式)            全ての窓には暗幕とブラインド必要→流体可視化計測のため            重量物:4台の実験水路(固定)            床:水洗可能な水平(±1mm以内)のコンクリート床(水理実験を行うため、水滴散布の可能性有り)            実験の都合上、西側より2つ目(2スパン目の位置、7.2mの位置)の柱を設けない計画とする。            扉:W0.85×H2(片開き、外開き)×1ヶ所            W1.7×H2(両開き)×1ヶ所(35B室へ)            流し台:ステンレス製(2台)</p>	別諸元図4参照	
水工系	35A 乱流水理実験長水路実験室(39室と一体利用)		

エリア(室名)	特殊条件	備考
39 環境水理実験室 (35A室と一体利用)	<p>空調：一般的な快適温度を目安とする。</p> <p>特殊空調は、3台のプレハブコントロール室に設置。レーザー流速計の稼動に必要。→コントロール室のみで設置・配管</p> <p>流し：実験砂の洗浄、粗度球の洗浄、可視化染料の調合、環境水の調合、清掃、手洗い</p> <p>実験装置用給排水：</p> <p>貯水槽AとBへの水道栓 各2個。機器用水道栓(内径φ20mm)と床排水。</p> <p>各貯水槽排水の自吸式ポンプ 各2個 要。</p> <p>排水：貯水槽から実験水路への排水配管・バルブ。床排水溝要。</p> <p>ガス設備：環境水の温水作成、ガスバーナーによる加工</p> <p>給湯設備：機器洗浄用温水作成、温度密度流の作成(能力：一般 60°C程度の温水 1m<sup>3</sup>程度貯湯式)</p> <p>実験排水：貯水槽の水は、染料や土砂で汚染されているため。</p> <p>特殊配管：貯水槽から実験水路への給水配管・バルブ</p> <p>全ての窓には暗幕とブラインド必要→流体可視化計測のため</p> <p>重量物：3台の実験水路(固定)</p> <p>床：水洗可能な水平(±1mm以内)のコンクリート床(水理実験を行うため、水滴散布の可能性有り)</p> <p>実験の都合上、西側より2つ目(2スパン目)の位置、7.2mの位置)の柱を設けない計画とする。</p> <p>扉：W0.85×H2(片開き、外開き)×2ヶ所 W1.25×H2(親子開き、外開き)×1ヶ所(41A室へ) W4×H4程度の電動シャッター×1ヶ所 流し台、ステンレス製(2台)</p> <p>(35A室と39室の一体化使用について)</p> <p>1. 室の用途：(諸元図4添付)</p> <p>39室(環境水理実験室)には、工学部5号館西館水理実験室の水路群、</p> <p>35A室(乱流水理実験長水路実験室)には、工学部1号館水理実験室の水路群を移転する。</p> <p>実験水路は、①から⑩で以下である。諸元図4フロー図に記載。</p> <p>39室(環境水理実験室)</p> <p>①風洞実験装置：開放型風洞。40cm×8cm矩形断面の流速分布計測。 ファン→1×1m断面の風洞→縮流→9mのダクト→大気開放</p> <p>②可視化開水路実験装置：総アクリル製開水路。水流を可視化実験する。 低水槽→ポンプ→流量制御→水路先端から1/100可変勾配水路→低水槽へ帰還。 可変勾配型循環水路。染料を流す。L3.5m×W1.5m×D2mの貯水槽Aが必要。</p> <p>③急勾配開水路実験装置：総ガラス製開水路。水流をレーザー流速計で高精度計測する。1/10まで可変勾配。</p> <p>高性能な実験装置で39室のメインの装置。L3.5m×W1.5m×D2mの貯水槽Bが必要。</p> <p>④レーザー流速計コントロール室(プレハブ)：4.6×2.3×3.1mのプレハブ。 アルゴンレーザー流速計2台設置。レーザー安定発振のため、高度空調必要→設備として設置。 内径20mmの水道栓と床排水。流し台、ステンレス製(2台)</p>	別諸元図4参照

エリア(室名)	特殊条件	備考
39  水工系	<p>35A室(乱流水理実験長水路実験室)</p> <p>⑤風洞開水路実験装置:開水路の上に開放型風洞が設置され、水・空気界面現象を研究する最新の装置。水流は循環式で貯水槽内蔵。最大風速15m/s。40cm×50cm長方形断面。煤煙装置を使用→大型ファンが必要。(最適な換気方式を選定すると共に、排気は周囲の環境を考慮した排気設備とする。)</p> <p>⑥多目的風洞開水路実験装置:水流をレーザ流速計で高精度計測する。1/50まで可変勾配。最大流量50l/s。低水槽→ポンプ→流量制御→水路先端から1/50可変勾配で水路に通水→低水槽へ帰還。風洞付き循環水路。L3.5m×W1.5m×D2mの貯水槽Cが必要。高性能な実験装置で35室メインの装置。L3.5m×W1.5m×D2mの貯水槽Cが必要。最大風速15m/s。40cm×50cm長方形断面。煤煙装置を使用→大型ファンが必要。(最適な換気方式を選定すると共に、排気は周囲の環境を考慮した排気設備とする。)</p> <p>⑦流砂水路実験装置:水流と土砂の流れをレーザ流速計で高精度計測する。1/50まで可変勾配。最大流量50l/s。低水槽→ポンプ→流量制御→水路先端から1/50可変勾配で水路に通水→低水槽へ帰還。可変勾配型循環水路。L3.5m×W1.5m×D2mの貯水槽Dが必要。貯水槽に土砂が堆積するから、貯水槽Cと完全分離必要。⑧広幅河川実験装置:幅1mの広幅河川模型装置。浅流水の土砂輸送を研究。固定勾配。最大流量100l/s。低水槽→ポンプ→流量制御→水路先端から広幅水路に通水→低水槽へ帰還。固定勾配型循環水路。L3.5m×W1.5m×D2mの貯水槽Eが必要。⑨レーザ流速計コントロール室(プレハブ):4.6×2.3×3.1mのプレハブ。アルゴンレーザ流速計2台設置。レーザ安定発振のため、高度空調必要。内径20mmの水道栓と床排水。⑩レーザ流速計コントロール室(プレハブ):4.6×2.3×3.1mのプレハブ。アルゴンレーザ流速計2台設置。レーザ安定発振のため、高度空調必要。内径20mmの水道栓と床排水。</p> <p>2. 空調・給排水関係・機械関係            1) 35室+39室一体化設計仕様で、一般空調必要。→風洞実験のため空気温度を一定にする必要性がある。            2) 上記装置④、⑨、⑩の3台のレーザ流速計コントロール室(プレハブ)内を高度空調必要。            3) ①の風洞用に大型換気扇必要。            4) ⑤の風洞で、煤煙装置を使用→大型ファンが必要。(最適な換気方式を選定すると共に、排気は周囲の環境を考慮した排気設備とする。)            5) ⑥の風洞で、煤煙装置を使用→大型ファンが必要。(最適な換気方式を選定すると共に、排気は周囲の環境を考慮した排気設備とする。)            6) 流し台は、ステンレス4台必要。給排水とガス付き(W、D、G)。            7) 各貯水槽への上水道栓φ32A(1m<sup>3</sup>/分程度)を各2ヶ所(諸元図4添付)            8) 各貯水槽の排水ポンプ(自吸式)各2台。排水ポンプ先端にφ3×0.3×D0.2mの排水ピットを作成のこと。            9) 沈殿砂排水のため(諸元図4添付)            上記④、⑨、⑩の各コントロール室(プレハブ)隣りに機器用水道栓(上水道の水質必要)内径20mmと床排水を各1個必要。            10) 電気温水器2台必要。60度C程度の温水(1m<sup>3</sup>程度)の作成器            11) 特殊配管:5台の各貯水槽から水路への循環配管系が必要→3. 地下ピットの節を参照            12) 各貯水槽に子エッカー付き蓋(100Kg/m<sup>2</sup>以上の耐荷重)を設置のこと。(W1.5m×L0.5m)@7枚。            人力で開閉可能なこと。→貯水槽の掃除のため。通常は、蓋を閉める。</p>	

エリア(室名)	特殊条件	備考
39	<p>3. 地下ピットについて(地下断面イメージ図諸元図4添付)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地下ピットにL3.5m × W1.5m × D2mの貯水槽を5台建設。</li> <li>2) 貯水槽の中央に角落(D40mm × W75mm)を両側壁と底面に設置し、貯水槽を2分割可能な構造。水圧・水漏れ防止の構造(諸元図4参照)</li> <li>3) 2分割貯水槽を独立に使用するため、貯水槽の排水ポンプ(自吸式)各2台。貯水槽内には0.3 × 0.3 × D0.2mの排水ピットを各2個作成のこと。</li> <li>4) 2分割貯水槽から各2個の底部吸込管(φ200mm)を設置、めくらフランジ止め。実験水路循環系パイプ接続は、移転時に行う。</li> <li>5) 吐出管の開口は、W350mmで、L7mにする。途中に梁があっても可。</li> <li>6) シャッター付近に、ポンプ等の機器類の搬入用の開口部(L1.5m × 2m矩形)。蓋は、チェッカー付き500kg/m<sup>2</sup>以上の耐荷重。重機で開閉する。</li> <li>7) 地下ピットに電源配電盤(三相200V、200A)を4ヶ所設置。ただし、電源のスイッチは実験室内でON-OFFとする。諸元図4参照。</li> <li>8) 実験装置の電気配線および通信線の床開口部(φ100mm程度)が必要</li> <li>9) 非常用の点検口(人はタラップで床下ピットに入室可能)を2個設置。</li> <li>10) ピット内には、非常用の照明を多数つけること。</li> </ol> <p>4. 建物関係</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 床下ピットに5台の貯水槽(L3.5m × W1.5m × D2m)が必要。</li> <li>2) 各貯水槽内に0.3m × 0.3m × D0.2mの排水ピット作成。→排水ピットから自吸式ポンプで外部排水。</li> <li>3) 主入口は北側サードからとする。廊下より主入口までひさしを設置し、雨よけと防犯を図る。</li> <li>4) すべての窓に暗幕およびブラインドを設置する。流れの可視化撮影のため。</li> <li>5) 回廊は、平面形がH形の配置とし、床から3.5mの位置に天井から吊り下げる構造。回廊の下に足場を設置しないこと。回廊は、幅1.5m × 0.8m高さ。(諸元図4添付)</li> </ol> <p>5. 電気・照明関係(地下ピットを除く)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実験装置への配電盤を諸元図4に太い矢印で示す。①の風洞実験は壁設置。</li> <li>2) ②と③は、回廊テラスに設置。⑤は、回廊テラスに設置。⑥と⑦は、回廊テラスに設置。⑧は、回廊テラスに設置。四隅に三相配電盤。</li> <li>3) レーザー流速計コントロール室(プレハブ)には、200V単相、三相、100V単相の3つの電源必要。配電盤は、回廊テラスに設置。</li> <li>4) 照明は、別紙のA、B、C、D、Eのゾーンに分けて、点滅する。</li> <li>5) 水銀灯を設置し、天井から上下移動式とする。→電球交換。</li> <li>6) 回廊の上部に蛍光灯。</li> <li>7) 回廊のテラス下に蛍光灯ライン。</li> <li>8) 総配電盤に総スイッチ。その他、適宜、部分スイッチを設置。</li> <li>9) 回廊配置図およびテラス電源部をカラー図で添付する。</li> </ol>	

エリア(室名)	特殊条件	備考
35B 実験準備室	<p>流し:清掃、手洗い            実験装置用給排水:排水のみ要。実験模型から流出する水の排水のため            ガス設備:ガスバーナーによる加工            給湯設備:機器洗浄用温水作成(能力、一般)            暗室:一般暗室窓に暗幕とフライト必要            床:耐荷強度を持たせたOAフロア            扉:W0.85×H2(片開き)×2ヶ所                W1.7×H2(両開き:外開き)×1ヶ所(35A室へ)            流し台:ステンレス製(1台)</p>	
35C データ解析室	<p>空調:発熱機器(コンピュータ)が多く、冬季でも冷房する可能性があるため単独空調とする。            流し:清掃、手洗い            ガス設備:ガスバーナーによる加工            給湯設備:機器洗浄用温水作成            暗室:一般暗室窓に暗幕とフライト必要            床:OAフロア、工事時にLANケーブル引き直し            扉:W0.85×H2(片開き)×3ヶ所                W1.7×H2(両開き:外開き)×1ヶ所            ・入退出管理システムが必要→防犯→35A室と39室の計4つのドア(外部ドア)で統一の入退出管理システムを導入すること            流し台:ステンレス製(1台)</p>	
36・流域土砂動態研究実験長水路実験室・ 38A 都市型水害対策実験用長水路実験室A	<p>流し:上部に照明用蛍光灯            実験装置用給排水:実験では大容量の水道水を使用する。            ガス設備:給湯用他            給湯設備:河口密度流用に必要。            クレーン:移動床実験用砂の運搬、実験装置の移動など。(2t)            実験の計測、可視化やクレーンのメンテナンスに回廊が必要。回廊用の階段をつける。            特殊配管:高水槽からの給水、地下貯水槽からの下水への排水。地下貯水槽→高水槽→実験装置→地下貯水槽の流れになる。            照明:天井水銀灯(自動降下)、壁に補助照明            高水槽への揚水ポンプ90(l/s)、給水管径150mm、オーバーフロー管250mm            河床・河道変動実験装置(2)のコンクリート壁の設置、壁の幅150mm            地下貯水槽:L3.5m×W10m×D1.5m            床:床面水平、コンクリート製水路用壁の設置、シャッター付近の床強化、地下貯水槽・排水ピットの設置            扉:W1.25×H2(親子開き)×3ヶ所、電動式シャッター W3.2×H3            流し台:陶器製(2台)</p>	別諸元図5参照

エリア(室名)	特殊条件	備考
37・動的相互作用実験用長水路実験室・ 40A 非線形波動水理実験室A	<p>流し:実験及び実験器具の洗浄。SK6            実験装置用給排水:実験では大容量の水道水を使用する。            ガス設備:模型作成などにガスバーナーを使用            給湯設備:密度流の実験が必要            クレーン:移動床実験用砂の運搬、実験装置の移動など。(2t)            実験の観測及びクレーンのメンテナンスに回廊を設置。            掘込み型低水槽が必要。低水槽から排水ポンプを介して下水への配管が必要。            大型機器の排出入は、まれに行われる。            照明:通常照明は蛍光灯が容易に取り替え可能な位置(高さ)に設置。(なるべく壁・柱・回廊脇)床:</p> <p>低水槽は次の基準を満たすものとする。            1)床下に埋設し、両端部に閉閉式の進入口を設置。            2)排水する方向に向けて1/100程度の勾配。            3)容積は16.0m×1.5m×1.5mと同規模。            4)排水前の沈砂池としての機能も有する。            排水ピットは次の基準を満たすものとする。            1)掘り込み式で上面はグレーチングを連ねて蓋。            2)低水槽に向けて1/100程度の勾配。            3)幅0.3m×深さ0.3m程度。            コンセントは全て床から50cmの高さに取り付け。            単独回路を5つ配電。            照明は37と40Aにわけ、それぞれスイッチを2ヶ所設ける。            実験装置から発生する騒音対策を行う。(40B、40Cの壁)            シャッターの幅は柱一杯、高さは回廊にかからないもの。            シャッター付近は車が乗り入れるため、床を強化。            壁:北側は換気及び採光のため回廊の高さにも窓を入れる            天井(および回廊の高さ付近):            回廊は次の基準を満たすものとする。            1)高さ3.0m幅0.8m程度で手すりをつける。            2)水路上部からの観測(カメラの固定など)およびクレーンの保守に使用する。            3)同時使用は5人程度。            4)回廊用に階段をつけ、非常用にハンゴを2ヶ所に設置。            5)回廊の5ヶ所に行き違い用・作業用のテラスを設置。            各テラスにコンセント1つずつ配置。            扉:電動式シャッター(3.2×3.0)、W1.25×H2(親子開き) 40B室用:親子開き×2、40C室用:親子開き            流し台:陶器製(2台)</p>	別諸元図6参照
38B 都市型水管対策実験用長水路実験室B		

エリア(室名)	特殊条件	備考
40B 非線形波動水理実験室B	<p>流し: 実験器具の洗浄(SK6)            ガス設備: 模型作成などにガスバーナーを使用            床: OAFフロア            壁: 実験室37.40Aからの騒音(40~50NC)をある程度防音できるもの            室内から37、40A実験室の制御・観測を行う            北東角(図示)にケーブル引き込み用の穴をつける(直径5cm程度の開閉式、床からの高さ15cm)            照明点灯スイッチは室内2ヶ所につける            室中央部の床コンセントはすべてOA床タップ            室中央部の情報取り出し口もOA床に設置            窓にはすべてブラインド[付帯設備]をつける            扉: W0.85×H2(片開き)×1ヶ所 W1.25×H2(親子開き)×1ヶ所 W1.7×H2(両開き)×1ヶ所            流し台: 陶器製(1台)</p>	別諸元図7参照
40C 非線形波動水理実験室C	<p>空調: 並列計算機を設置するため、冬季でも冷房する可能性があるため単独空調とする            床: OAFフロア            壁: 実験室37からの騒音(40NC)をある程度防音できるもの            照明点灯スイッチは室内2ヶ所につける            室中央部の床コンセントはすべてOA床タップ            室中央部の情報取り出し口もOA床に設置            並列計算機1式あたり、単独回路8つで電力供給(2式設置)            上記以外は40B室も含めて、独立回路を合計7つ配置            窓にはすべてブラインド[付帯設備]をつける            扉: W0.85×H2(片開き)×1ヶ所 W1.25×H2(親子開き)×1ヶ所</p>	別諸元図7参照
41A 大気・水観測・測器調整室 A	<p>特殊空調: 恒温恒湿室(プレハブ式)            測器立ち上げ、調整、キャリブレーション、試験観測のためのポータブルコンピュータの安定作動、            温度計、湿度計のキャリブレーション、精密測器保管のため            流し: 小型測器洗浄のため(シンク部: 0.6×0.4)            給湯設備: 測器洗浄のため            床: OA床(ビニール床シートまたはタイル)            壁: 防音            41Bとの間の壁には透明ガラス窓(W2×H2)            サービスヤード、41Bとの間にケーブル引込用穴(φ150mm)            39との間にケーブル引込用穴(φ50mm)            扉:            サービスヤード側はW0.9×H2.0(片開き)防音            39への扉はW0.9×H2.0(片開き)防音            41Bへの扉はW1.8×H2.0(両開き)            流し台: ステンレス製(1台)</p>	



エリア(室名)	特殊条件	備考
41B 大気・水観測・測器調整室 B  水工系	流し: 中型測器洗浄のため(シンク部: 0.9×0.45) 実験装置用給排水: 大型測器洗浄のため(1.8×1.8領域からの給水及び排水) 給湯設備: 測器洗浄のため 床: W0.3×D0.3排水溝とマス(土砂溜)および大型測器洗浄スペース(L1×W1.8×D0.05、床面は床排水溝にむけて勾配、南端は他の床面と連続) 壁: 防音、41Aとの間の壁にはガラス窓(W2×H2) 扉: 電動シャッター(W3.6×H4)×2ヶ所 41Aへの扉はW1.8×H2×1ヶ所 流し台: ステンレス製(1台) 空調設備: 発熱機器(PC)の数が多く、冬でも冷房する可能性があるため単独空調とする。 照明: OA照明が必要 給湯設備: 実験器具洗浄用 床: OAフロア 壁: 防音、衛星受信アンテナからのケーブル引込用穴(φ150mm) 扉: W1.8(両開き)×H2×2ヶ所 流し台: ステンレス製(1台)	
42 地球流体マルチプロセッシング室  水工系	特殊空調: 恒温恒湿室(プレハブ式)。 流し: 実験装置を日常的に洗浄するため。 排水設備: 床面に4ヶ所排水口(FD)を設置。 ガス設備: 地盤材料の煮沸を要する実験を行うためにバーナー程度のももの。 特殊配管: 【別表3】参照 ドライエリアとの壁: W2.75×H3(両開き)×1ヶ所 44室との壁: W1.8×H2(両開き)が必要。 コンセント設置高さ: 1m アースは、D種独立を共通に設ける。 流し台: ステンレス製(4台)	
43 地盤基礎実験室(恒温・恒湿制御部)  地盤系	特殊空調: 恒温室。 流し: 実験装置を日常的に洗浄するため。 実験装置用給排水: 掘り込みの水場に水道を設置する 恒温条件: 断熱材の設置等による、建築的な対処とする。 床: 供試体の洗浄や、床洗浄のための排水溝および排水ピットを掘削 床洗浄のための排水溝(W200mm D100mm) および排水ピットを掘削 水場の寸法は、1,500mm×1,000mm×D150mm 土砂沈殿用ピット寸法 700mm×700mm×D500mm ガス設備: 地盤材料の煮沸を要する実験を行うためにバーナー程度のももの。 特殊配管: 【別表3】参照 照明: 水銀灯・点火灯での補助灯を設置 コンセント設置高さ: 1m アースは、D種独立のアースを共通に設ける。 扉: ドライエリアとの壁: W2.75×H3(両開き)×1ヶ所 W0.9×H2(片開き)×1ヶ所 43、45室、廊下との壁: W1.8×H2(両開き)×3ヶ所 流し台: ステンレス製(2台)	

エリア(室名)	特殊条件	備考
45 基礎実験計測管理室	<p>流し:実験装置を日常的に洗浄するため。            ガス設備:地盤材料の煮沸を要する実験を行うためにバーナー程度のもので。            給湯設備:実験器具洗浄のため。            排水設備:床面に排水口(FD)を設置。            特殊配管:コンプレッサー空気圧、真空圧(共通のコンプレッサー室(52B)から実験用空気圧および真空圧を供給)            コンセント設置高さ:1m            アースは、D種独立を共通に設ける。            扉:            ドライエリアとの壁:W1.8×H2(両開き)×2ヶ所            52室との壁:W1.0×H2(引き戸・窓付)×1ヶ所            流し台、ステンレス製(1台)</p>	
46 地盤模型実験室	<p>空調:一般的な快適温度を目安とする。            流し:実験装置を日常的に洗浄するため。            床:水場用堀込み、排水溝、堆砂用排水ピットの掘削が必要。一部床補強(2tf/m<sup>2</sup>)            床洗浄のための排水溝(W200mm D100mm)            および排水ピット(700mm×700mm×D500mm)を掘削            水場の寸法は、7200mm×1800mm×150mm            ガス設備:実験に煮沸工程が必要のため。(3ヶ所)            給湯設備:実験器具洗浄用。            実験排水:モデル岩石(コンクリート)養生水の排水等。            クレーン:実験装置・実験試料の移動用。(2.9t)            特殊配管:【別表3】参照            照明:水銀灯・点火灯での補助灯を設置            コンセント設置高さ:1m            アースは、D種独立のアースを共通に設ける。            扉:            W2.75シャッター(トラックからの大型搬入用)×1            W2.75×H3(両開き)×3            W2.75×H3(引分け)×1(50室への出入口)            W0.9×H2.5(片開き)×1(48室への出入口)            大型機器の搬出入:頻度 月1~2階程度            流し台、ステンレス製(2台)</p>	

エリア(室名)	特殊条件	備考
47 地盤模型実験室(恒温制御部)	<p>特殊空調:恒温室。地盤材料、特に自然堆積粘土は、温度および湿度変化に敏感なためそれらの変化により物性が変化する。そのため、実際の地盤状況を再現し、高度な研究を維持するために恒温環境を必要とする。</p> <p>流し:実験装置を日常的に洗浄するため。</p> <p>実験装置用給排水:透水模型実験における給排水。</p> <p>特殊配管:【別表3】参照</p> <p>照明:水銀灯・点火灯での補助灯を設置</p> <p>コンセント設置高さ:1m</p> <p>アースは、D種独立のアースを共通に設ける。</p> <p>ガス設備:実験に煮沸工程が必要のため。</p> <p>給湯設備:実験器具洗浄用</p> <p>実験排水:セメント混入の実験排水。中和処理を行う。</p> <p>クレーン:実験装置・実験試料の移動用。(2.9t)</p> <p>床:水場用堀込み、排水溝、堆砂用排水ピットの掘削が必要</p> <p>床洗浄のための排水溝(W200mm D100mm)</p> <p>および排水ピット(700mm×700mm×D500mm)</p> <p>洗場の寸法は、3,600mm×1,800mm×D150mm</p> <p>扉:W2.75×H3.0(両開き)×1</p> <p>W0.9×H2.5(片開き)(48号室への出入口)</p> <p>W1.35×H2.5(親子開き)×1</p> <p>大型機器の搬出入:頻度 月1～2階程度</p> <p>流し台:ステンレス製(2台)</p>	
48 模型実験計測管理室	<p>流し:実験装置を日常的に洗浄するため。</p> <p>ガス設備:実験に煮沸工程が必要のため。</p> <p>給湯設備:実験器具洗浄用</p> <p>排水設備:床面に排水口(FD)を設置。</p> <p>照明:居室と同等の照明</p> <p>コンセント設置高さ:1m</p> <p>アースは、D種独立を共通に設ける。</p> <p>壁:</p> <p>46.47号室に接する部分は実験を制御管理するため、ガラス張りとする(耐熱)</p> <p>扉:</p> <p>W0.9×H2.5(片開き)×3ヶ所</p> <p>流し台:ステンレス製(1台)</p>	
49 試料保管室	<p>特殊空調:恒温恒湿室(壁・天井はプレハブ式)</p> <p>地盤材料は、温度及び湿度変化に敏感なために、長期にわたって高品質を維持するために恒温・恒湿環境下で保管する必要がある</p> <p>流し:手洗い、実験試料洗浄用</p> <p>重量物:月4～5回程度</p> <p>コンセント設置高さ:1m</p> <p>アースは、D種独立を共通に設ける。</p> <p>照明:居室と同等の照明</p> <p>床:全面補強(5t)、恒温・恒湿に適していること。床面に排水口(FD)を設置。</p> <p>壁:恒温・恒湿に適していること</p> <p>扉:</p> <p>W2.5×H2.5(両開き)×1(搬出入用大型扉)</p> <p>W0.9×H2.0(片開き)×1</p> <p>流し台:陶器製(1台)</p>	

エリア(室名)	特殊条件	備考
50 コンプレッサ一室	<p>実験排水:コンプレッサの排水            特殊配管:【別表3】参照            コンセント設置高さ:1m            アースは、D種独立を共通に設ける。            照明:水銀灯・点火灯での補助灯を設置            床:油汚れのふき取り、金属粉の清掃のしやすい構造            壁:騒音(75db×2台)を発生するため、外部に漏れない構造            扉:W2.75×H3(両引き戸)×1</p>	
51 X線実験室	<p>流し:床面の一部に洗い場を設ける(深さ100mm)            実験装置用給排水:            給水:実験用給水と冷却水の2系統            排水:床面に排水溝。沈殿用ピットを設置            土砂を含む容器の洗浄用            床:水洗いにて清掃。防塵塗装。            排水用溝(W0.2×D0.05)グレーチング。洗い場(W1.5×L1.0×D0.1)            沈殿用ピット(W0.7×L0.7×D0.4)            X線遮蔽性能:下記に示すX線源の強度、位置、方向に基づいて遮蔽性能を確保すること。            また、最終的に実験装置実機にて遮蔽性を検収すること。</p> <p>1)X線源に関する情報            X線装置(メーカー・型番):フリップス製 MG165            X線の最大定格出力:160kV、15mA            X線の平面位置:51室内の1×4mの範囲を移動可能            X線源の垂直位置:床面からH1.2～1.6mの範囲を移動可能            X線照射方向:X線管から床面に水平に一方(固定)の照射を行う</p> <p>2)管理区域            管理区域の範囲:管理区域は51室全域とする            安全装置:安全装置については現有のものに移設する。参考のためその安全装置について説明する。            51室の扉二回壁を検知する接点を設け、扉開放時にはX線発生装置の回路を遮断する。            X線発生時には「X線照射中」の表示が点灯する。            3)水道・電力・信号を通すための遮蔽構造について            設置理由:X線遮蔽室に水道(X線管冷却用)、電力(動力、弱電)、信号を供給するためには、遮蔽壁の位置部に穴を開け、穴の周りを鉛板製の遮蔽箱で塞いでクランクを作り、そこに各種ケーブルを通す遮蔽構造を作る必要がある。            スベック:水道、動力用電力(3φ)、弱電力(1φ)、信号について、それぞれ直径15cm以上のケーブルスペースを確保できること。外部への漏洩X線量は法的基準以下であること。            将来的な各種ケーブルの増設を考慮し、容易に増設可能な構造であること。            また、設置位置については、床面よりH0.5以上確保されていること。</p>	別諸元図8参照

エリア(室名)	特殊条件	備考
51	<p>4)その他            検収について、建物竣工時の検査以外に、実機搬入後に漏洩X線量の検査を行うこと。            その際、所定の遮蔽性能を満足していなければ、無償で改善すること。            扉：52室との間に引戸(W1.5×H2.5)を設置            床面は台車走行が可能とすること。X線遮蔽性をゆうすること。            天井：X線遮蔽性を有すること            換気：X線照射中をのぞき52室との扉は開放する。            アース：D種独立のアースを共通に設ける            壁：X線遮蔽仕様            掘込みの水場(1台)</p>	別諸元図8参照
52 X線計測準備室	<p>特殊配管：【別表3】参照            壁：X線遮蔽仕様(51室と同様)            扉：            W1.8×H2.3(両開き)×1ヶ所            45室との壁：W1.5×H2.0(引き戸)×1ヶ所(X線遮蔽用)            分電盤：51、52室の両方をまとめて設置            換気：X線照射中をのぞき、51室のとびらは開放する            そのため、52室から2室分の換気を行っても良い            アース：D種独立のアースを共通に設ける            X線遮蔽仕様(51室と同様)            X線制御コンソールの電源は、51室用機器(X線発生装置、X線蛍光増倍管、X線保持装置)の電源を用いる            流し台、洗面化粧台(1台)</p>	別諸元図8参照
52B コンプレッサ一室	<p>実験排水：コンプレッサの排水            特殊配管：この部屋で生成したコンプレッサ一圧と真空圧を関連する部屋へ供給するためのガス管が必要            扉：ドライエリアとの壁W1.8×H2(両開き)×1ヶ所            コンセント設置高さ：1m            アースは、D種独立で52Bのみ</p>	

エリア(室名)	特殊条件	備考
53 地殻環境模型実験室	<p>空調：一般的な快適温度を目安とする。 のため換気設備必要(2回/1時間程度) 流し：ステンレス製(0.7×1.5)腰高×2ヶ所、陶器製×3ヶ所 実験装置用給排水： 水槽実験装置、比抵抗実験装置、岩盤浸透流、岩盤注入実験装置に対する給排水のため床面に給水2ヶ所・排水4ヶ所必要。 排水溝には沈殿ピット蓋付を設置 ガス設備：砂及び岩石供試体の乾燥のため(腰高流し台隣接) 給湯設備：水槽実験、岩盤浸透流実験、岩盤注入実験装置への温水供給(流しに設置×2ヶ所) 実験排水：水槽実験装置及び岩盤注入実験装置用のpHセンサ運動型中和装置0.2m<sup>3</sup>/回を集水後に1ヶ所クレーン：実験装置搬入据付、岩石供試体の搬入(2.9t)。 重量物：試験装置搬入据付、岩石供試体の搬入(頻度：随時)、岩石ブロック2.9t×5個(分散)を床面全体で使用</p> <p>水の使用：実験及び洗浄に多量の水を使用</p> <p>床： 防水床コンクリート及びドレーンが必要 一部掘込みの排水溝が必要 排水溝：20×20cm、鋼製スリット型。蓋付き。耐荷重有。3列 排水マス(沈殿ピット)：40×40×深さ20cm、2ヶ所 養生ピット1.2×4×深さ1m。鋼製スリット型。蓋突き。耐荷重1t/m<sup>2</sup>程度 壁：外気と接する壁については採光窓(床面より2m以上)の設置。W2×H1.5×3面(半透明ガラス)程度とする(フラインド付) 扉：W2.5×H4.5(試験装置搬入時)×1ヶ所 W1.8×H2.0(面開き)×1ヶ所 W0.85×H2.0(片開き)×1ヶ所 コンセントは、全て床高1mに設置。 流し台 陶器製(3台)：流し台 ステンレス製(2台)</p>	換気：土砂粉塵発生
54 大深度地下物性実験室	<p>空調：一般的な快適温度を目安とする。 特殊換気方法：フード及び集塵機付(風量60m<sup>3</sup>/分)排気装置を設置。 実験装置用給排水：実験及び洗浄に多量の水を使用(給水3ヶ所) 流し：試料及び実験器具の洗浄及び手洗いのため 料試験装置の油圧ポンプの冷却及び岩石試料ボーリング・切断・成形に冷却水循環設備が必要(10% /min×2ヶ所、20%<sub>min</sub>/min×2ヶ所) ガス設備：ガスバーナー用 実験排水：セメント排水の中和及び岩石試料の切削屑の除去(排水は中和処理を行うこと) クレーン：岩石試料等の運搬5t(点検台とも) 重量物：試験装置の搬入設置、大型岩石試料(3t/個×5個)の搬入(頻度：随時)</p> <p>床： 一部床面防水ドレーンが必要 L5×W4の範囲に掘込みの排水溝(W0.2×D0.1)および防水床が必要 L2×W4の範囲に岩石試料置場(3t/個×5個)が必要 天井： 床高2mの位置にL3×W2の天井フード必要 扉： W1.8(通常使用)×1ヶ所 W2.5×H4.5(機器搬入用)×1ヶ所 流し台、陶器製(3台)：流し台、ステンレス製(2台)</p>	材

エリア(室名)	特殊条件	備考
55 岩石鉱物分析室	<p>空調: 室内に壁を設けて、精密機器エリアと試料調整エリアに分け、防音・防塵対策を行う 試料調整エリアには岩石の薬液処理のためにドラフトチャンバーを設置する 換気方法:天井扇2基(各エリア1基) 流し:試験器具、供試体の洗浄、手洗いのため 実験装置用給排水:分析装置の冷却水に給排水が必要(冷却水循環)×3ヶ所 ガス設備:岩石供試体の乾燥及び薬液処理(ガスコンロ用) 給湯設備:試験器具、供試体の洗浄のため 実験排水:岩石の薬液処理・排水(2ヶ所) 暗室:遮光カーテンによる準暗室化が必要 床: 目地溶接ロシリウムシート貼、掃除口、床排水ドレーン×3ヶ所 扉:W1.8×H2.3(両開き)×1ヶ所(防音) W1.25×H2(親子開き)×1ヶ所(防音・防塵) 流し台、陶器製(3台)、流し台、ステンレス製(2台)</p>	
56 地化学環境実験室	<p>換気方法:天井扇、フード(床から2m) 流し:実験器具の洗浄及び手洗いのため ガス設備:分析試料の加熱及びガラス器具製作のため 実験排水:土壌岩石を使用する実験で、大量の酸・アルカリ排水が発生するため、床面に排水口を設置し中和沈殿槽を経由する必要がある 床:床排水掃除口、ビニール床シート、目地溶接 扉:W1.8(両開き)…機器搬出入時に最低必要×1ヶ所 流し台、陶器製(2台)、流し台、ステンレス製(2台)</p>	
57 地殻環境解析室	扉:W1.35(親子開き)×1ヶ所	
58 地下電磁計測実験室	<p>電磁シールドルーム:W4×L4.8×CH2.6 面積19.2㎡のシールドルームを設置 換気方式:一部電磁シールド 流し:実験器具の清掃、手洗いのため 天井:一部電磁シールド 床:一部電磁シールド 壁:一部電磁シールド 扉:W1.8(両開き)×1ヶ所 流し台、陶器製(1台)</p>	
59 地下可視化解析室	扉:W1.35(親子開き)×1ヶ所	
60 対話型行動心理観測実験室	<p>多数のパソコンを同時に使用して、被験者参加型の実験を行うためOA照明が必要である。 LANIについては、室内設置予定の情報コンセントにハブを接続し、必要なケーブル数に分岐した上で、OA床内を經由して各機のPCIに接続させる。 被験者に対してCGや写真を提示しつつ、意思決定に関するデータを収集するため、室内にスクリーンならびに暗幕の設置が必要である。</p>	
61 運転行動シミュレーション室	<p>初期に導入されるシミュレーターは、モーション部を持たない形式のものを想定しており、被験者はコンピュータが生成する映像・音声の刺激を受けつつ、運転操作を模範的に行うことを求められる。このような簡易なシミュレーターから始まり、将来的には加速度感を体感できるモーション部を持つシミュレーターへの拡張を希望している。その際に建物設備の改修を実施しないためにも、床補強ならびに三相200V電源の設置が必要。 流し:ドライビングシミュレーターの洗浄ならびに被験者・実験者の手洗い等のため 床:ドライビングシミュレーター設置のため、床補強(1tonf/m<sup>2</sup>程度)が必要 流し台:洗面化粧台(1台)</p>	

エリア(室名)	特殊条件	備考
62 精密空間情報計測室  空間情報系	<p>流し:フィルム現像用 給湯設備:1栓</p> <p>暗室内の現像機で35℃以上の一定温の温水を使用 特殊照明:調光可能な照明 暗室:完全暗室とし、セーフティライトと蛍光灯を設置する。 位置に天井を設け、セーフティライトと蛍光灯を設置する。 蛍光灯とセーフティライトは別々のスイッチでON/OFFできるようにする。 セーフティライトは40wの白熱灯を赤色のプラ板で覆って作る。換気扇は光漏れのないよう工夫する。 実験室内の照明は、調光器によって光量を調節できるようにする。そのため、蛍光灯には調光用インバータ付きのものを使用し、調光器と組み合わせて使う。蛍光灯のほかに、スタンド型のスクリーンライトも使用。スクリーンライトの電源は床から取る。 暗室の外壁に暗室内で作業中であることを示す作業表示灯をつけ、暗室内の電灯スイッチと連動させる。 1基1kWの高出力であるので、許容電流量には余裕が必要。 窓には、遮光カーテンを付ける。北西角の部屋なので北側にも窓を付けることが可能だと思われるが、可能であれば窓を付けさらに遮光カーテンを付ける。 床:スタジオとして利用することを配慮(床から電源) 壁:防音(一般的な居室程度) 扉:W1.8×H2(両開き)×1ヶ所 流し台:陶器製(1台)</p>	
63 温湿度環境制御実験室  生活環境系	<p>温湿度の制御された環境下で日照・採光・熱環境及び光環境の実験や準備を行う。</p> <p>流し:実験装置などを洗うため 給湯設備:1栓</p> <p>暗室:二重窓及び遮光率100%の遮光カーテン 扉:W1.25×H2(親子開き)・・・廊下側、W0.85×H3(カーテンウォールの高さ以上)(片開き)・・・外壁用 100Vの電源は、10ヶ所の接地付コンセントで計80Aが必要。各コンセントは床より30cmの高さ。 単相200Vの電源は、3ヶ所の接地付コンセントで計80Aが必要。 スポットクーラー(三相200V)の消費電流は、室内機と室外機をあわせて25A程度であるが、始動電流は計120Aとなる。 ソーラーシミュレーターの機器発熱は、スポットクーラーで直接冷却するので、空調負荷とはならない。 流しの水栓は、水と湯を別々にする。 照明は、3スパン別に独立してON/OFFでき、それぞれは3路スイッチとして、2ヶ所の入口に取り付ける。 流し台:陶器製(1台)</p>	
64 温湿度環境制御実験準備室	<p>流し:工具の洗浄、手洗い 給湯設備:1栓</p> <p>ガス設備:1栓 実験排水:コンクリート打設時に強アルカリ排水がでるため(ただし、原点処理は行う) 扉:W1.7以上必要×1ヶ所 床:重量物の搬入が毎日行われるため、廊下と同じレベルにする 恒温恒湿室は、2室あり給排水及び冷媒用スリーブを設置する。 流し台:陶器製(1台)</p>	



エリア(室名)	特殊条件	備考
65 人工環境実験制御分析室	<p>特殊空調設備:世界各地の気候での屋内外の温湿度環境を再現するためプログラムによるスケジュール運転可能な独立した空調設備①及び空調設備②により、恒温恒湿室①(屋外環境)と恒温恒湿室②(屋内環境)の温度・湿度は、それぞれ独立して制御できる恒温恒湿室(プレハブ式)を設置する。</p> <p>恒温恒湿室と前室の間は断熱断湿扉とする</p> <p>恒温恒湿室①、②はそれぞれW3.4×L4.2とする</p> <p>恒温恒湿室①は、世界各地の屋外を再現するため、温度は-10~50±2℃、湿度は20~95±5%RHの範囲で任意設定可能なものとする。</p> <p>恒温恒湿室②は、①に対応する屋内を再現するので、温度は0~40±2℃、湿度は30~80±5%RHの範囲で任意設定可能なものとする。</p> <p>各恒温恒湿室の壁、床、天井は、断熱材・防湿材及び仕上げ材で構成し、結露が発生しないようにする</p> <p>各恒温恒湿室の照明は蛍光灯で、床面照度は1000lx、また0~100%の調光装置が必要</p> <p>各恒温恒湿室の内部発熱は、データロガー及びコンピュータで計1kWと、人間が2~3人程度</p> <p>100Vの電源は、6ヶ所のコンセントで計50Aが必要</p> <p>流し:実験装置を洗うため(前室に必要)</p> <p>給湯設備:1栓</p> <p>実験装置用給排水:特殊空調設備への給排水が必要</p> <p>扉:W1.25×H2(親子開き)×4ヶ所</p> <p>流しの水栓は、水と湯を別々にする</p> <p>流し台:陶器製(1台)</p>	
66 外界気象計測機器室	<p>特殊空調:恒温恒湿室(プレハブ式)</p> <p>流し:実験装置などを洗うため</p> <p>給湯設備:1栓(前室に必要)</p> <p>暗室:壁、床、天井は、断熱材・防湿材及び仕上げ材で構成し、結露が発生しないようにする</p> <p>壁・床・天井の仕上げはマンセルN2以下</p> <p>扉:W1.25×H2(親子開き)×1ヶ所</p> <p>100Vの電源は、2ヶ所の接地付コンセントで計50Aが必要</p> <p>流し台:陶器製(1台)</p>	
66B 小観測室	<p>道具や機器を持って屋上にかかるのではなく手摺付階段が必要</p> <p>落雷による機器破損事故を防ぐため避雷針が必要。ただし、機器に日影を落とさないよう屋上北側中央に設置。</p> <p>連続観測のため停電・瞬断対策が必要</p> <p>流し:ほこりや鳥のフンにより汚れた観測センサー類を洗浄するため</p> <p>屋上には立上りが15cm程度の足流い場を設ける。</p> <p>水と湯を別々にし、凍結対策が必要(各1栓)</p> <p>壁、床、天井は、断熱材・防湿材及び仕上げ材で構成し、結露が発生しないようにする</p> <p>小観測室上部の屋上に鳩小屋を設置し、測定用ケーブルや電源ケーブルを通すための配管(φ80mm×2本)が必要</p> <p>扉:W0.85×H2(片開き)×1ヶ所</p> <p>100Vの電源は、2ヶ所の接地付コンセントで計50Aが必要</p>	

エリア(室名)	特殊条件	備考
66C 日照環境実験室の設置場所(将来対応)	重量物:ユニットハウス(1.2t×4=4.8t)。5年に1回程度屋上に防水型コンセント盤(接地付コンセント3個。情報コンセント1個)が必要100Vの電源は、30A単独回路が3回路、合計90Aが必要	別諸元図9参照
67 移動空間シミュレーション実験室	<p>流し:屋外を想定した車椅子等の走行実験も行うため、泥やほこりが多く発生すると予想され、機器等を清掃するため</p> <p>給湯設備:車椅子等の油污れの清掃のため</p> <p>床:吸音効果が高くグレアの発生しない耐久性のある木材による内装</p> <p>壁:吸音効果が高くグレアの発生しない耐久性のある木材による内装</p> <p>扉:W1.25×H2(両開き)</p> <p>流し台:陶器製(1台)</p> <p>扉:W1.25×H2(両開き)×2ヶ所</p>	
68 景観シミュレーション制御室	<p>流し:車椅子に付着した砂やほこり等を除去するため</p> <p>扉:W1.25×H2(親子開き)×1ヶ所</p> <p>流し台:洗面化粧台(1台)</p>	
69 行動解析分析室	<p>流し:コンピュータ機器などの掃除、衛生のため</p> <p>扉:W1.25×H2(両開き)×2ヶ所</p> <p>88室との間は、H1.80のパーティション(天井は空いている)</p> <p>負荷のコンセントは、H30cm</p> <p>流し台:洗面化粧台(1台)</p>	
70 景観シミュレーション実験室	<p>換気方式:浴室ゾーンと居室ゾーンは別系統とする。</p> <p>流し:高齢者や障害者、車椅子対応の流し、浴槽を設置することによりユニバーサルデザインに関する実測・実験を行うため</p> <p>排水設備:シャワー室ゾーンに床排水2ヶ所を設置する。</p> <p>実験装置用給排水:高齢者、障害者対応の浴槽に関する動作解析を行うため、浴槽の排水及び浴室ゾーンに床排水1ヶ所を設ける必要がある</p> <p>給湯設備:高齢者・障害者対応の浴槽動作解析のため、給湯する必要がある(シャワー2栓、浴槽1栓、キッチン1栓)</p> <p>床:浴槽周辺についてはタイル等(耐水性のある仕上げ)</p> <p>防水範囲は、3.6×3.6程度の広さとする</p> <p>壁:浴槽周辺についてはカビが発生しにくい仕上げ(耐水性のある仕上げ)</p> <p>扉:W1.25×H2(親子開き)×1ヶ所・・・吸気用ガトリ設置</p> <p>設計時に67移動空間シミュレーション室との連携をスムーズに行うため、71生活設備シミュレーション実験室を67移動空間シミュレーション実験室の隣りに移すことを調整すること。</p>	
71 生活設備シミュレーション実験室		

エリア(室名)	特殊条件	備考
72・冷蔵保管室・ 73 冷凍保管室	<p>特殊空調設備:分析に供する試料のうち、分解等のおそれのあるものは冷凍又は冷蔵保管する必要がある</p> <p>流し:実験器具の洗浄</p> <p>特殊配管:純水供給。サンプルの調整等</p> <p>給湯設備:実験器具の洗浄</p> <p>扉:W0.85×H2(片開き)×2ヶ所 W1.05×H2(片引き自動)×1ヶ所</p> <p>薬品・試料を両手に持って出入りするため、両手を使用しなくても開閉可能な扉</p> <p>温度湿度管理のため、冷凍保管室には冷蔵保管室から入室すること</p> <p>温度制御および電源は、4℃、-20℃別個とする</p> <p>室外機は屋外に配置すること</p> <p>低温、冷凍室及び-80℃冷凍庫は自家発電機系統に接続のこと</p> <p>流し台、ステンレス製(1台)</p>	別諸元図10参照
74・試薬管理室 89 天秤室	<p>試薬類の保管・管理・防犯・防災特別仕様(入退室管理システム・試薬使用管理・防犯用入感センサー・安全シャワー他)</p> <p>流し:陶器製1台LD600(手洗い他)、ステンレス製1台(90cm幅、実験用)</p> <p>ドラフトチャンバー:W1.2(12m<sup>3</sup>/min)</p> <p>重量物:防振動台(天秤用)</p> <p>扉:W1.25×H2(親子開き)×1ヶ所 W1.8×H2(引分け自動)×1ヶ所</p> <p>薬品・試料を両手に持って出入りするため、両手を使用しなくても開閉可能な扉</p> <p>薬品の適正管理のため、管理スペースと、保管スペースとを隔壁により分け、入室はカードキーによるものとする。</p> <p>なお、防犯の観点から、隔壁の一部はガラス窓とし、管理スペースから監視可能とさせる。</p> <p>薬品保管部分(パーティションで区切られた部分)は、入退室管理システムで、入室制限(カードキー保持者のみ)及び入室記録(入室者名と日時)がされる。またドア開閉に応答して、防犯カメラを作動させ、それを記録させる。</p> <p>薬品の使用は、同隔壁内の保管スペースのみとし、薬品保管部以外への持ち出しを一切、許さない。</p> <p>また、PRTR制度、不正薬品使用者防止のため、薬品管理システムにより、使用量・使用者を記録する。</p> <p>本システムは、入退室管理システムと連動させる(パソコンをターミナルとする)。</p> <p>また同室内に、赤外線センサーを置き、それに応答して照明を自動応答させる。</p> <p>特に室内照明をOFF状態で入感センサーが感知した場合(アラームを鳴らす)</p> <p>さらに、本保管領域では、防災(火災・地震・事故)が万全となうように、薬品保管棚は、原則上下で固定、また除塵天井シャワーを設置する。壁は、耐火を強化する。</p> <p>洗面手洗器(1台)、流し台、ステンレス製(1台)</p>	

エリア(室名)	特殊条件	備考
75A 実験器具保管室 ・ 76・ フィールド調査準備室 77 プラント保管庫	<p>流し: ステンレス製、大型ステンレス流し フィールド調査終了後やプラント実験等、機器洗浄を必要とするため 実験装置用給排水: フィールド調査準備室では機器の洗浄や試料の準備に水を使用するため、 供給設備・床面での排水が可能となるような排水収集工事が必要。床面は、防水で排水溝を必要とする。 給湯設備: 泥などが付着した機器洗浄(5L/min 45°C) 特殊配管: 物理実験室、水土壤実験室における高純度のガスの保管・供給設備のための供給配管【別表3】参照 大型機器の搬入: 各実験で使用する実験装置の搬出入、保管、ポンベ保管 床: 重量物を設置するため、2t/m<sup>2</sup>程度の床補強が必要。 防水加工、排水溝が必要 壁: 実験器具の設置のため棚を転落防止するための強度が必要 扉: W0.85 × H2 (片引き) × 2ヶ所 W1.8 × H2 (引き戸) × 3ヶ所 各実験室で使用する実験機器の保管を行うため 別表3の②、③、④、⑤の棚は、各実験に必要な重量物、及び機器類を保管するため、壁に転落防止策を講じ る ステンレス流しの栓は、全て混合栓とする。ただし、混合栓は湯(45°C、5l/min程度) + 水 76室のサービスマードへの開き戸以外は、実験装置、実験器具を両手に持って部屋への出入りすることが多い ことが予想されるため、両手がふさがっていても、部屋への出入りできるような仕様の扉とする 75A室 二重天井とし、高さ3mとする スライドラックはハンドル式を使用する ガスポンベは水土壤環境分析室、物理実験室への高純度ガス(N<sub>2</sub>、Air(O<sub>2</sub>), Ar, He, O<sub>2</sub>)を保管する ガス供給設備が必要であり、ポンベにレギュレータを取り付ける ポンベが空になっても、他のポンベに切り替わる自動弁を取り付ける ガスポンベ立ては別途機器搬入時にアンカーボルトで固定 左上扉はW0.85 × H2の引き戸 下側扉はW1.8 × H2の引き戸(引分け) 床は防水ではなく耐薬品性とする 13番の酸素濃度計は常時使用し、その状況は、77b実験管理室において、パソコンによりモニタリングできるも のとする 76室 排水溝は、上部をグレーチング蓋で覆う 上側扉、左側扉はW1.8 × H2の引き戸(引分け) 右側のサービスマードへの扉は、床から1m高く面開きの開き戸で作成。ただし、取り外し可能な階段、及びス ロープを設置する 床は防水とする 77室 77室の上部は扉を付けない、幅3mとする 床は防水ではなく耐薬品性とする この部屋については、将来は2層の床設置が可能となるように基礎を対応する 流し台: ステンレス製(2台)、大型ステンレス流し(1台)</p>	

エリア(室名)	特殊条件	備考
75B 実験器具保管室	流し: 機具類や装置類の洗浄のため 給湯設備: 実験器具洗浄のため	
75C 実験器具保管室	扉: W1.8×H2(両開き)(引分け) 流し台: ステンレス製(2台)	
77b 実験管理室	流し: 高度分析機器の取扱書の閲覧及びコンピューターの操作に際し手を洗うため 扉: W1.25×H2(親子開き) 洗面化粧台(1台)	別諸元図11参照
78 低温環境実験室	特殊空調設備: 恒温室(プレハブ式)蛋白質等の実験には低温条件が必要とされるため 換気: 緊急用換気設備及び酸素濃度計が必要 流し: サンプルの調整等(低温室内及び78-81共通の前室の2ヶ所) 特殊配管: 純水供給。サンプルの調整等 扉: W0.85×H2(片開き)×1ヶ所 W1.1×H2(片引き)前室1ヶ所 薬品・試料を両手に持って出入りするため、両手を使用しなくても開閉可能な扉(前室のみ) 前室は低温、常温、中温、恒温・恒温恒湿室共通とする ガス設備: 給湯用(前室) 給湯設備: 実験器具の洗浄等 重量物: 低温室 流し台: ステンレス製(1台)前室、流し台、ステンレス製(1台)	別諸元図11参照
79 常温環境実験室	特殊空調設備: 恒温室(プレハブ式)動物の飼育や吸着試験などに必要 換気: 臭気防止のための屋外強制排気。要排気ダクト、脱臭装置 換気: 緊急用換気扇及び酸素濃度計が必要 前室に換気設備必要 実験装置用給排水: 給餌給水、実験器具の洗浄 特殊配管: 純水供給。サンプルの調整等。 実験排水: 排水管80A 扉: W0.85×H2(片開き)×1ヶ所 薬品・試料を両手に持って出入りするため、両手を使用しなくても開閉可能な扉(前室のみ) 前室は低温、常温、中温、恒温・恒温恒湿室共通とする	別諸元図11参照
80 中温環境実験室	特殊空調設備: 恒温室(プレハブ式)魚類等の飼育には、厳しい温度制御が必要とされる 換気: 緊急用換気扇及び酸素濃度計が必要 実験装置用給排水: 水槽への給水、排水 特殊配管: 純水供給。サンプル調整のため 扉: W0.85×H2(片開き)×1ヶ所 薬品・試料を両手に持って出入りするため、両手を使用しなくても開閉可能な扉(前室のみ) 前室は低温、常温、中温、恒温・恒温恒湿室共通とする	別諸元図11参照
81 恒温恒湿室	特殊空調設備: 恒温室(プレハブ式)植物の培養には温度・湿度制御が不可欠である 換気: 緊急用換気扇及び酸素濃度計が必要 実験装置用給排水: 培養植物への給水・排水 特殊配管: 純水供給。サンプル調整のため 扉: W0.85×H2(片開き)×1ヶ所 薬品・試料を両手に持って出入りするため、両手を使用しなくても開閉可能な扉(前室のみ) 前室は低温、常温、中温、恒温・恒温恒湿室共通とする	別諸元図11参照

エリア(室名)	特殊条件	備考
82 ガス供給室 97 環境微生物培養室	<p>流し: 実験器具の洗浄、試薬の調整等のため                      実験装置用給排水: サンプルの冷却に必要な水を自動製水器にて作成する                      ガス設備: サンプルの調整等                      給湯設備: 実験器具の洗浄、試薬の保温のため                      特殊配管: 純水供給、N2供給、培養液等の調整【別表3】参照                      ドラフトチャンバー: W1.5、風量30m<sup>3</sup>/min                      バイオハザードキャビネット: W1365排気量7.5m<sup>3</sup>/min                      ドラフト及びバイオハザードは、排気ダクトを別個に設ける                      顕微鏡の実験台: 防振性とする                      扉: W1.25×H2(スライドア)                          W0.85×H2(引戸)×2ヶ所                      薬品・試料を両手に持って出入りするため、両手を使用しなくても開閉可能な扉                      流し台、ステンレス製(1台)</p>	
83 純水供給実験室 93 高純度ガス供給室 94 ガスポンベ保管室	<p>流し: ポンベの搬出入、送液、送ガスのメンテナンス、手洗いや、床の掃除等に必要のため                      実験装置用給排水: 純水製造装置においては水道水から蒸留を行い、蒸留水を作成し、その後イオン交換を行い、純水を作成するための給排水が必要である。(20ℓ/min)                      ガス設備: 集中配管、レギュレータなどのガス設備が必要である                      給湯設備: 集力40℃5ℓ/min 機器類洗浄のため                      特殊配管: 高純度ガス供給のためにHe、Ar、O<sub>2</sub>、Air、N<sub>2</sub>用の配管及びレギュレータが必要である。                      純水設備を各実験室に配管するための設備及び配管が必要。【別表3】参照                      機器の搬出入: ガスポンベ                      床:                      貯蔵ガスが最大教トンに達する事態も考えられるため、床補強が必要である(2t/m<sup>2</sup>程度)                      扉: W1.8×H2(両開き)×1ヶ所                      電動式シャッター: W2×H2.5×1ヶ所                      本室は、83純粋供給室、93ガスポンベ保管庫、94高純度ガス供給室3室を統合                      壁やデッドスペースをなくし、スペースをより有効に使用する                      ガスポンベ立ては、固定用鎖が上下2本あるものを使用                      ガスポンベ立ては、別途機器搬入時にアンカーボルトで床に固定する                      ガスポンベ立ては、例えば8連である必要はなく、4連のものを2つ並べても可能                      高純度ガス供給先は以下のとおり、極微量汚染物質検出室、環境重金属汚染分析室、高度機器分析室、試料前処理室、精密試料前処理室(これら5ヶ所に高純度ガスを供給する)                      ポンベにはそれぞれレギュレータを設置する。また、ポンベがなくなつた場合に、次のポンベに自動で入れ替わる自動弁を設置する                      それぞれのガス種類に応じて上記システムを設置する                      純水の供給先は以下のとおり19ヶ所 試薬管理室、低温環境実験室、常温環境実験室、中温環境実験室、恒温環境実験室、化学実験室、物理実験室、極微量汚染物質検出室、環境重金属汚染分析室、水                      土環境分析室、生体毒性評価実験室、高度機器分析室、環境微生物培養実験室、環境生物培養実験室、                      精密試料前処理室、試料前処理室、X線使用実験室、プラント実験室</p>	

エリア(室名)	特殊条件	備考
83	<p>純水タンクはPE製で1m貯蓄できるもの。また床に固定する必要有り</p> <p>純水供給設備は、供給ポンプ、配管、電気設備からなり、床に固定する必要有り</p> <p>出入口は実験装置、実験器具を両手に持って部屋へ出入りすることが多いことが予想されるため、両手がふさがっていても、部屋へ出入りできるような仕様の扉とする。ガスの搬出入の効率化のため</p> <p>純水設備は大量の水を使用するため、床は防水処理、及び排水溝が必要</p> <p>排水溝はグレーチング蓋加工</p> <p>別表3の⑧製水機左のコンセンは漏電遮断機×2付にする</p> <p>照明：通常照明と倉庫程度の照明とに区分して計画する</p> <p>機器チェック、ポンベチェック等は、通常照明を使用し、特に暗い部分等は⑩の懐中電灯で対応する</p> <p>酸素濃度は適宜⑩の酸素濃度計でチェックする</p> <p>流しは陶器製の給水は湯・水の混合栓とする</p> <p>純水製造設備連のブレーカーは動力制御盤とし、電源は三相AC200V×1+予備1とする</p> <p>純水製造設備への水道水の供給は圧力が0.15~0.3MPa、水量20L/min以上必要。水温は特に制限なし</p> <p>ガスボンベは、合計74本置ける状況だが、充填ガスは42本、32本が空ボンベ置き場とする</p> <p>13番の酸素濃度計は常時使用し、その結果は77bの実験管理室のパソコンでモニタリングできるものとする</p> <p>流し台、陶器製(1台)</p>	
84	<p>プラント実験室</p> <p>空調：一般的な快適温度を目安とする。</p> <p>実験装置給排水：プラント実験室では水を使用したパイロット実験を実施するため、その供給設備、また床面の排水が可能となるような排水収集工事が必要である。床面は防水で、排水溝を必要とする。対象機器、水量は別諸元図12に記載</p> <p>大型の水槽や、配管、カラムなどの実験装置を使用する。実験中、実験終了後において、機器洗浄を必要とする場合があり、通常の流しでは対応できないため。</p> <p>給湯設備：能力45℃ 5l/min程度。実験装置の洗浄に使用</p> <p>クレーン：高置水槽や、大型カラム実験、燃焼実験等を予定しているため、大型重量物搬入のために電動走行クレーン設備が必要(2t)</p> <p>特殊配管：          純水の供給…プラント実験では純水を使用して実験したり、特にパイロット実験に使用するオンライン測定機器の保守・洗浄等で、測定データの精度を高めるために必要である          冷却水設備・機器冷却のため冷却水循環設備が必要。          大型機器の搬出入：半年に1回。パイロット実験に使用する機器          床：防水コンクリートで、排水溝を必要とする          扉：W1.8×H2(両開き)</p> <p>別諸元図12右にはシャッター(4m×3m)を設置し、搬入のトラックが出入りできるようにする</p> <p>シャッターのところに油圧式の昇降機を設置する(3m×3mの広さ)</p> <p>別諸元図12の太線は天井クレーンの稼働範囲。クレーンは、3本のレールからなり、図面上下ラインを稼働し、2本の左右ラインは上下ラインを動かすラインとする</p> <p>図の太い破線は回廊の位置</p> <p>外周、高さ3mのところに回廊を設ける。回廊へは、勾配45度の階段であることができるようにする。階段、回廊も高さ1.5m程度の手すりが必要。回廊の幅は1m、また回廊の周りの壁に蛍光灯をつける</p> <p>回廊の壁の部分は8ヶ所コンセントを設置する。なお、高さは床から3.15m、目的は高所における排ガスサンプリング等を実施するときの電源</p>	別諸元図12参照

エリア(室名)	特殊条件	備考
84	<p>床は防水性でグレーチング蓋の排水溝を図のグレー一部分に設ける  各実験設備にはドラフトフードを設けて、排気する  大型ステンレス流し2ヶ所には純水供給設備を設置する  また、流しの他の水栓はすべて湯と水の混合栓にする。湯は45°C×5l/min  扉は(シャッターをのぞき)実験装置、実験器具を両手も持って部屋へ出入りすることが多いことが予想されるため、両手がふさがっていても、部屋への出入りができるような仕様の扉とする  66、67は、RDF、基礎燃焼実験装置、活性炭高圧実験装置はその排ガスラインに共通の活性炭充填層をつける。活性炭充填層は活性炭吸着実験装置に付属するため、機器設置時に設置する。また、充填層出口には機器設置時に排気ダクト(100A プリキ)を設置、2.5mの高さで、図面左側へ伸びるため、それと接続できる高さ、100Aのダクトをもってこれを穴を開け、仮蓋でふさいでおく。また煙突は、設置時にH型のものを外部に設置する。(定期的1回/年)に有害物質の濃度を測定  RDF 焼却炉の排ガス量は、10Nm<sup>3</sup>/h、ユニットクーラー(冷却能力2000kcal/h、水循環量35l/h)を設置するため。排ガス処理装置(焼却炉付属)出口、活性炭入口の温度は100°C程度、ガスは排気ダクトで排出。  ユニットクーラーへの水供給は通常の水道栓程度の供給能力があれば接続して随時実施。余剰水はわずかであり排水溝に排出  RDF 焼却炉の空気はコンプレッサーで室内の空気を送気、5Nm<sup>3</sup>/h程度  プラント実験室の空調は甘くする。主に送風が目的  4、17、18、30、43等のポンベ類は、別途機器搬入後、ポンベ立て、及びアンカーボルトで固定する  照明は水銀灯+蛍光灯を使用する  14～16は一連の実験装置であり、14に電力供給盤ブレーカーから電力を供給する。また、14は単独アース100Ω以下とする  またこれらには水冷のための水道水を供給する。水量は5l/Min、排水も同様  32は単独アース100Ω以下とする  66、67それぞれは単独100Ω以下とする  図面の左下におおがたプラント機器用に洗浄場を設ける。床はグレーチング蓋とし、排水溝よりも排水部分を高くし、最終的に洗浄排水は、排水溝に流れるようにする。なお、洗浄は水洗いのみで、水は左側の流しよりホースで持つてくる。供給量は水道水供給程度  大型ステンレス流し(2台)</p>	別諸元図12参照
85 化学実験室	<p>ドラフトフード: W1.5(16m<sup>3</sup>/min) × 8台  流し: 使用する器具の洗浄  実験装置用給排水: オートスタイル用。中央実験台(4台)他  ガス設備: ガスバーナー実験等に使用するため(ドラフトチャンバー、中央実験台他)  給湯設備: 器具洗浄のため  特殊配管: 【別表3】参照  照明: 耐薬品性照明  床: フタル酸フリー耐薬品性床、床排水  扉: W1.8×H2(両開き)スライド式自動扉  薬品・試料を両手に持って出入りするため、両手を使用しなくても開閉可能な扉  流し台: ステンレス製(2台)</p>	



エリア(室名)	特殊条件	備考
86 物理実験室	<p>流し：一般的な実験のために実験用流しが必要            ガス設備：実験の熱源として必要            給湯設備：実験器具等の洗浄            特殊配管：【別表3】参照            ドラフトチャンバー：W1.8、(37m<sup>3</sup>/min)2台。各中央実験台の電源は、20Aを3回路、給水栓(化学水栓含む)はすべて給湯しての混合栓とする            床：排水ピット(塩酸、硫酸、硝酸、水酸化ナトリウムなど)            壁：65dBほどの騒音発生機器に対する防音機能を有すること            扉：W1.8×H2(自動ドア)                W1.25×H2(親子開き)            薬品・試料を両手に持って出入りするため、両手を使用しなくても開閉可能な扉            流し台、ステンレス製(1台)</p>	
87 生物実験室	<p>ドラフトキャビネット：W1.5 (30m<sup>3</sup>/min)            バイオハザード用キャビネット：W1.365mm 排気量7.5m<sup>3</sup>/min            ドラフト及びバイオハザードは、排気ダクトを別個に設ける            顕微鏡の実験台：防振性とする            流し：実験器具の洗浄、試薬調整のため            ガス設備：サンプリングの調整等            給湯設備：実験器具の洗浄、試薬保温のため            特殊配管：【別表3】参照            中央実験台3台(給排水、ガス、純水が必要)            扉：                W1.25×H2(スライドドア)                W1.8×H2(スライドドア)            流し台、ステンレス製(1台)</p>	
88 分析管理室	<p>ガス設備：コンロ程度            給湯設備：洗浄のため(能力 5l/min 45℃)            棚は転倒防止策を講じる            流しの栓は、混合栓とする            扉：W8.5×H2(片開き)×1ヶ所            流し台、ステンレス製(1台)</p>	

エリア(室名)	特殊条件	備考
<p>90 極微量汚染物質検出室</p> <p style="text-align: center;">環境系</p>	<p>特殊空調設備: クリーンルーム(クラス10000、プレハブ式)。高性能ガスクロマトグラフ質量分析計、液体クロマトグラフ質量分析計等の極微量成分分析装置で、その高い検出精度を再現、安定させるためには、厳密な温度管理と空調が必要であるため。</p> <p>また、当該実験室においては、本来バックグラウンド環境中にも存在する微量汚染物質を分析するため、その測定精度を保持するため、クラス10000程度のクリーンルーム扱いとする。</p> <p>流し: 分析に使用したセル、試験管を洗浄するため</p> <p>実験装置用給排水: 微量汚染物質分析装置は、冷却水、余剰水の排出を伴うため、床面に排水口を設置する必要がある</p> <p>特殊配管:          純水供給、分析の精度を保持するため、contamination防止【別表3】参照          高純度ガス…ヘリウムガスが分析機器で必要なため</p> <p>床:          特に有機物の汚染を防ぐため、床面は目地溶接フタル酸フリー耐薬品性シートを施工する</p> <p>壁: 床と同様とする</p> <p>扉: W1.5×H2(両開き)×2ヶ所          W0.25×H2(片開き)×4ヶ所</p> <p>本室は大型の機器が多く、かつクリーンルームであるため、空調機器室、前室をもうける。そのため部屋としては少々手狭になる可能性がある。できるだけ広く取りたいため、空調はクリーンルームの上側に設置するのを原則とする。</p> <p>出入口は、両開きが2ヶ所(部屋への出入口とクリーンルームへの荷物搬入口)W1.5、H2m程度。</p> <p>前室へは全て上履とし、エアージャケットを設ける。</p> <p>クリーンルーム内の循環は垂直循環方式</p> <p>クリーンルーム内流しには、純水供給口を1つ設置する。また通常の水栓は湯と水の混合栓にする。なお、湯の量は5l/minとし、45°C程度とする。</p> <p>8 LC-GC-MS本体は、単独アースを抵抗100Ω以下にする。また冷却水のために給水口2つ、排水口2つを設置する。それぞれ給水圧は2.5kgf/cm<sup>2</sup>、水量は4l/min、排水量は2l/min程度。床強度は1t/m<sup>2</sup>に補強する。振動は3μm以下、周波数100サイクル以下とする。よって建物振動、床振動との縁切りをする。また、高純度ガスとしてHeガスを供給する。ガスは100ml/min以下、2~10kg/cm<sup>2</sup>程度で供給できるものとする。</p> <p>11、12のデータ処理装置は8とは別に単独アースを抵抗100Ω以下にする。</p> <p>13 HRGC-HRMS単独アースを抵抗100Ω以下にする。床強度は1t/m<sup>2</sup>に補強する。振動は3μm以下、周波数100サイクル以下とする。よって建物振動、床振動との縁切りをする。また高純度ガスとしてHeガスを供給する。また高純度ガスとしてHeガスを供給する。</p> <p>14 クーリングユニットは冷却水循環装置であるため排水、給水口は特に必要としない。</p> <p>15 データ処理装置は13、14とは別に単独アースを抵抗100Ω以下にする。</p> <p>13 HRGC-HRMSの上にはドラフトフードを設置する</p> <p>電話はクリーンルーム内と外側2ヶ所とする。2ヶ所不可能である時は外側を優先し、子機をクリーンルーム内に設置し、スマートフォン製(1台)</p>	
<p>91 環境重金属汚染分析室</p>	<p>換気: 排気フード(直結型10m<sup>3</sup>/min)×4系統</p> <p>流し: 一般的な試料の処理のために実験用流しが必要</p> <p>ガス設備: 実験の熱源として使用</p> <p>給湯設備: 実験器具等の洗浄</p> <p>特殊配管: 純水供給実験室からの純水供給配管(蛇口1ヶ所)【別表3】参照</p> <p>床: 耐薬品性(塩酸、硫酸、硝酸、水酸化ナトリウムなど)</p> <p>扉: W1.8×H2×1ヶ所…薬品・試料を両手に持って出入りするため、両手を使用しなくても開閉可能な扉</p> <p>中央実験台の電源は20Aを3回路</p> <p>給水栓(科学水栓を含む)は全て給湯しての混合栓とする</p> <p>流し台、ステンレス製(1台)</p>	

エリア(室名)	特殊条件	備考
92 水士環境分析室	<p>ドラフトチャンバー: W1.8(37m<sup>3</sup>/min)2台                  流し: 一般的な実験のために実験用流しが必要                  給排水設備: ドラフトチャンバー2台、実験台2台、流し台1台に給排水管を設置する。                  ガス設備: 実験の熱源として必要(ドラフトチャンバー2台、実験台2台他)                  給湯設備: 実験器具等の洗浄                  特殊配管: 純水供給実験室からの純水供給配管(蛇口2ヶ所)【別表3】参照                  床: フタル酸フリーで耐薬品性(塩酸、硫酸、硝酸、水酸化ナトリウムなど)                  壁: 65dB以上の騒音発生機器に対する防音機能が必要                  扉: W1.8×H2(両開き)×1ヶ所                  各中央実験台の電源は20Aを3回路及び給水栓(化学水栓を含む)は全て給湯しての混合栓とする                  流し台: ステンレス製(1台)</p>	
95 生体毒性評価実験室	<p>特殊空調設備: 恒温恒湿室(2室)各室温湿度設定ができるようにする。                  種微量成分分析装置の高い検出精度を再現するために、温度・湿度の厳密な制御と機器への常時通電が必要条件である。このために、20℃±1℃の恒温条件を満たす他の空調に影響されない独立空調を必要とし、これは自家発電設備と連動する必要がある。空調の風が直接磁石や分光計に当たらないようにする。両機器へのノイズを最小限に押さえるために、接地は独立したものとす。                  換気設備: 液体ヘリウム充填時には、作業終了までに数m<sup>3</sup>のヘリウムガスが室内に放出される。                  酸素欠乏を防止するため、充分な換気量の換気扇を取り付ける。                  換気扇が超伝導マグネットに接近する場合は、ステンレス製のものを使用する                  室内には酸素濃度計を取り付け、換気扇と連動させる。                  ヘリウムガスが室内に長時間残留すると、超伝導マグネットの真空断熱が劣化し、冷媒の蒸発量が増大することもあるので、液体ヘリウム充填時には必ず換気するようにする</p> <p>流し:                  試料の調整及び実験器具洗浄のため各1ヶ所必要                  実験装置用給排水: 電子スピニング共鳴スペクトルメータの冷却に16L/minの冷却水が必要                  給湯設備: 洗浄効果増大等実験精度向上のため(5l/min 45℃程度)                  特殊配管: 純水配管(2ヶ所)…試料調整及び実験器具洗浄のために純水は必須である                  照明: NMR磁石付近には照明を設置しない                  床: フタル酸フリー耐薬品性シート、免振機能、                  床補強(ESR磁石の付近は2.5ton/m<sup>2</sup>の荷重に耐えられるようにする)が必要                  壁: フタル酸フリー耐薬品性シート                  核磁気共鳴分析装置、電子スピニング共鳴スペクトルメータの相互干渉及び隣室の精密分析機器への影響を防止するために壁などは磁場シールド加工を施す(1ガウス以下にする)                  緊急用、保守管理用に換気扇(シャッター付)を設ける                  扉: W0.85×H2(片開き)×1ヶ所                  W1.8×H2(両開き)×1ヶ所                  給水栓(化学水栓を含む)は全て給湯しての混合栓とする                  流し台: ステンレス製(2台)</p>	

エリア(室名)	特殊条件	備考
96・高度機器分析室 99 高度分析関連器具保管室	<p>換気：排気フード4系統。天井に設置。            流し：            試料の調整及び実験器具洗浄のため、流しの水栓からは給湯もできるようにする            実験装置用給排水：質量分析計等の冷却に8L/min(4L/min×2)の冷却水が必要            給湯設備：洗浄効果増大等実験精度向上のため            特殊配管：純水・超純水配管(2ヶ所)…試料調整及び実験器具洗浄のために純水は必須である            アルゴン、ヘリウム、窒素の供給が必要である。【別表3】参照            中央実験台に給排水、給湯、純水を供給する。            床：目地溶接フタル酸フリー耐薬品性シート貼り、床排水ドレイン、及び床補強(2tonf/m<sup>2</sup>)が必要            壁：目地溶接フタル酸フリー耐薬品性シート貼り            扉：W1.8×H2(スライド式)×1ヶ所…薬品・試料を両手に持って出入りするため、両手を試用しなくても開閉可能な扉            ガスクロマトグラフ・質量分析計及び実験台の上(天井部)に換気フードを設ける(4系統)。排気量は天井層程度。            各種ガスのコックの位置は床上1500mmとする。            電源の位置は床上約1000mmとする。            流し台、ステンレス製(1台)</p>	
98 環境生物培養実験室	<p>ハイオハザード用安全キャビネット：W1.365(換気量7.5m<sup>3</sup>/min(要排気ダクト))            流し：実験器具の洗浄、試薬の調整            ガス設備：クリーンベンチ内等での器具の滅菌、サンプルの調整(クリーンベンチ3台、中央実験台1台、安全キャビネット1台)            特殊配管：純水供給。培養液等の調整。(中央実験台9            扉：W1.25×H2(スライド)×1ヶ所            薬品・試料を両手に持って出入りするため、両手を試用しなくても開閉可能な扉            W0.85×H2×1ヶ所            顕微鏡を配置する実験台は防振性とする            流し台、ステンレス製(1台)</p>	
100 試料前処理室	<p>ドラフトフード：W1.5(16m<sup>3</sup>/min)8台、ドラフトフードW1.4(16m<sup>3</sup>/min)1台            給排水設備：ドラフトチャンバー8台、中央実験台2台、流し台、1台に給排水を設置する。            流し：使用する器具の洗浄            ガス設備：ガスバーナー実験等に使用するため(ドラフトチャンバー8台、実験台5台)            給湯設備：必要            特殊配管：試料調整に必要なため【別紙3】参照(ドラフトチャンバー内他)            照明：耐薬品性照明            床：フタル酸フリー耐薬品性床、床排水            扉：W1.8×H2(両開き)スライド式自動扉            薬品・試料を両手に持って出入りするため、両手を試用しなくても開閉可能な扉            流し台、ステンレス製(1台)</p>	

エリア(室名)	特殊条件	備考
101 精密試料前処理室	<p>特殊空調設備:クリンルーム(クラス10000、プレハブ式) 極微量の環境試料を扱うため、空気中の浮遊物質による試料の汚染が問題となる。そのため、空気中の浮遊粒子を低減するクリンルーム仕様とする必要がある(クラス10000) 前室にエアシャワーを設置すること ドラフトフード:W1.4(16m<sup>3</sup>/min)×2台、ドラフトチャンバー:W1.5(16m<sup>3</sup>/min)×4台 流し:使用する器具の洗浄のため 実験装置用給排水:超純水製造装置用 特殊配管:試料調整に利用するため【別表3参照】 給排水設備:ドラフトチャンバー×4台、実験台3台、流し台1台に給排水設置 給湯設備:流し台に給湯設備設置 ガス設備:実験台にガスコック設置 床:フタル酸フリー耐薬品性床、床排水 扉:W1.8×H2(両開き)、機材搬入用出入口 流し台:ステンレス製(1台)</p>	
103 環境化学物質分子毒性評価室	<p>ドラフトチャンバーW1.5(30m<sup>3</sup>/min)1台 流し:実験器具の洗浄、サンプル調整等 ガス設備:サンプル調整のため(ドラフトチャンバー、実験台に設置) 給湯設備:実験器具の洗浄、サンプル調整等(流し台に設置) 特殊配管:純水供給、N2。サンプル調整のため 扉:W1.25×H2(スライド) 薬品・試料を両手に持って出入りするため、両手を試用しなくても開閉可能な扉 流し台:ステンレス製(1台)</p>	
106 防音室	<p>特殊空調設備:防音室 密閉された空間内で長時間実験をするため、空調の音・振動が防音室内に漏れないこと。 防音室外では一般空調 流し:手洗いなど 特殊配管:防音室の内外で実験用ケーブルを接続するため。このときに音が漏れないようにすること(予備配管) 扉:W1.25×H2(両開き) 防音室: 床・壁・天井に防音パネル(面密度約50kg/m<sup>2</sup>)を取り付ける 入り口は防音扉とする(鋼性 W0.8×H1.9(片開き)) 防音室の床は防振架台とし、防振ゴムを取り付ける 防音室内には60W白熱電灯3灯、表示灯(F15W)1灯をつける(照明器具は普通の反射がないよう表面積を小さくする) 内部にマイク吊りフックを20ヶ所設ける 出入口に階段をつける 小型分盤を設ける NC値は10とする 防音室内の耐荷重は、500kg/m<sup>2</sup>とする。防振性能は、鋼製架台に防振ゴムMED-55を取り付ける 外形寸法は、3.6×4.0とし、高さ3.4mとする。内形寸法はNC値を満足するように可能な限り大きくすること 流し台:洗面化粧台(1台)</p>	

エリア(室名)	特殊条件	備考
107 X線使用実験室	<p>特殊空調設備: 恒温室 蛍光X線分析装置及びX線光電子分光分析装置、電子顕微鏡、X線回折装置は、温度条件が分析の再現性に影響するので、常に20℃付近の室温を保つ必要がある。 流し: 実験器具の洗浄。 試料をセツトする容器等がステンレスでできているため陶器製ではわかれる可能性があり、ステンレス製が必要 必要 実験装置用給排水: X線を使用する機械は全て、X線の管球を冷やすために循環冷却装置を設置する。 また、実験器具の洗浄等に水を使用する ガス設備: X線使用分析装置に高純度ガスを供給するため【別表3】参照 給湯設備: 環境サンプル(土、灰、汚泥)等が付着した実験器具の洗浄等に使用するため(5L/min 45℃) 特殊配管: サンプル調整のため、純水供給配管を引く。X線使用分析装置に高純度ガスを供給するため 床: 大型重量分析装置を設置し、周辺振動がこれらの機器に影響を与えるのを防止するため、2tonf/m<sup>2</sup>の床補強工事が必要である。特に電子顕微鏡については有効な測定精度を得るには床自体を免振構造とする必要がある。 厚: W1.8×H2(両開き) 'SEMIは、床振動は2μm(P-P)以下(5Hz以上の正弦波の振動数)、設置に際し、建物振動、床振動との縁切りをする。特別な漏洩X線策は不要。 冷却水EYELAIはSEMの循環冷却装置であり、給水、排水は必要としない。流量は2L/min、水圧は0.05～0.2Mpa、冷却能力は1200kcal/hであり、SEM発熱量から差し引いた。 ESCA本体はアルゴンガスを使用する。使用圧力は5kg/cm<sup>2</sup>、ガス出口は3mmφスエジロック、レギュレータ付で接続。アースは単独、接地抵抗で100Ω以下。設置に際し、特別な漏洩X線策は不要。 クーリングユニット(ESCA)は室外に設置、これは水を媒体として循環すいにより冷却するもので、排水、給水を別途必要とする流量は5L/min、水圧は0.29Mpa。また、室外に設置するため、壁に給排水用の配管を通す穴が必要、大きさは50φ程度が2つ。 XRFは設置に際し、特別な漏洩X線策は不要。振動は人体に感じない程度。アースは30Ω以下独立アースにする。クーリングユニット(XRF)は室外に設置。これは水を媒体として循環水により冷却するもので、排水、給水を別途必要とする。また、室外に設置するため、壁に給排水用の配管を通す穴が必要、大きさは50φ程度が2つ。流量は8L/min、水圧は3kgf/cm<sup>2</sup> X線回折実験装置は、アースは単独、接地抵抗で100Ω以下。設置に際し、特別な漏洩X線策は不要。 循環冷却装置は室外に設置、能力7000kcal/hの冷却能力を持つ。これは蒸留水を媒体として循環水により冷却するもので、排水、給水はならない。ただし、室外に設置するため、壁に給排水用の配管を通す穴が必要、大きさは30φ程度が2つ。流量は45L/min、アースは100Ω以下独立アースにする。 流しの部分に、純水供給口をつけて純水供給室からの純水を供給する。 流しの水柱は湯と水との混合柱とする。湯は45℃、5L/minとする。 流し台、ステンレス製(1台)</p>	
108 実験廃液調整保管室	<p>流し: 廃液を扱った際の手洗いのため 給排水設備: 流し台1台 実験台2台、ドラフトチャンバー2台、掘り込み水場に給排水を設置。 ガス設備: ドラフトチャンバー用 給湯設備: 基部洗浄のため ドラフトチャンバー: W1.5(16m<sup>3</sup>/min) × 2台 照明: 耐薬品性照明 床: 耐薬品性床、床排水 壁: 引火性廃液を扱う W1.8×H2(両開き)(スライド式自動扉) 廊下に除染シャワー設置 流し台、ステンレス製(1台)、掘り込みの水場(1台)</p>	

エリア(室名)	特殊条件	備考
109 環境計算室	<p>重量物: 並列計算機を複数台収納したラック            扉: W0.85H2(片開き) × 4ヶ所            前面OAフロア(10cm高)、OA照明            計算機・サーバ室とほかの2室(シミュレーション室とGIS室)は固定パーティションで区切る            シミュレーション室とGIS室は移動壁で区切る            4つの部屋の扉は電子錠(カード式)に対応しているものであること            計算機室・サーバ室は冬季にも冷房ができること(独立系統)            シミュレーション室とGIS室は計算機専用室であり、常時計算機を稼動する可能性があるため、居室の空調機と別系統になっていること            計算機・サーバ室            ・並列計算機は、33台ずつ左右のラックに収納する            ・ラック1台につき6~7台を収納する            ・無停電源もラックごとに1台ずつ載せる            ・ラックの計算機への電気供給は配電盤より独立; 将来スーパーコンピュータ用に200V、20Aの電源を設置            ・ラックへは床下からコードで電源供給            シミュレーション室・GIS室            廊下側のガラスは見学者用、腰窓で面積は大きく窓のブラインドは部屋側に設置する            シミュレーション室とGIS室は個別の回線とする            両部屋とも机やパソコンの設置は任意となるため、床下からのコンセントは一定面積ごとに1ヶ所つくるようにする            (点線の四角形で表した)            図の配置では、灰色の丸で表したところに4口タップが来るようにする</p>	
110 国際共同研究室 1	<p>床: 院生室同様            壁: 院生室同様            扉: W1.25 × H2(親子開き) × 1ヶ所            流し台: ステンレス製(1台)</p>	
111 国際共同研究室 2	<p>床: 院生室同様            壁: 院生室同様            扉: W1.25 × H2(親子開き) × 1ヶ所            流し台: ステンレス製(1台)</p>	
112 国際共同研究室 3	<p>床: 院生室同様            壁: 院生室同様            扉: W1.25 × H2(親子開き) × 1ヶ所</p>	
112 建築環境設計室 A	<p>床: タイルカーペット            扉: W0.9 × H2(片開き) × 1ヶ所、W0.7 × H2(片開き) × 1ヶ所(教授室へ)            流し台(1台)、シーリングファン</p>	
112 地盤環境学 B	<p>床: タイルカーペット            扉: W0.9 × H2(片開き) × 1ヶ所、W0.7 × H2(片開き) × 1ヶ所(教授室へ)            流し台(1台)、シーリングファン</p>	
112 地盤環境工学サブラボ C	<p>扉:            W1.7 × H2(両開き) × 1ヶ所            W0.85 × H2(片開き) × 1ヶ所            流し台: 陶器製(1台)</p>	

エリア(室名)	特殊条件	備考
113 QNDE室	流し:手洗い、飲料水等 実験装置用給排水:超音波水槽の利用 扉:W1.35×H2(親子開き)×1ヶ所 流し台:陶器製(1台)	
114 CAE室	流し:会議用の湯茶設備 床:OAフロア 壁:ローパーティンコンにて会議室を区分する 扉:W1.35×H2(親子開き)×1ヶ所 流し台:ステンレス製(1台)	
115 並列計算機室	流し:LD600 高度空調設備:発熱の大きい並列計算機を安定して作動させるためには、室温を恒温に保つ必要があるため 床:OAフロア 壁:高度空調のため、外壁の窓は不要。断熱材を使用する 扉:W1.8×H2(両開き)×2ヶ所 流し台:陶器製(1台)	
116 教授室	床:タイルカーペット 扉:W0.9×H2(片開き)×1ヶ所、W0.7×H2(片開き)×2ヶ所(助教授室、共同利用室へ) 流し台(1台)、シーリングファン	別諸元図13参照
117 助教授室	床:タイルカーペット 扉:W0.9×H2(片開き)×1ヶ所、W0.7×H2(片開き)×1ヶ所(教授室へ) 流し台(1台)、シーリングファン	別諸元図13参照
118 共同利用室	床:タイルカーペット 扉:W0.9×H2(片開き)×1ヶ所、W0.7×H2(片開き)×1ヶ所(教授室へ) 流し台(1台)、シーリングファン	別諸元図13参照
119 院生室	床:OAフロア(床スラブは下けない)、タイルカーペット 扉:W0.9×H2(片開き)×1ヶ所 流し台(1台)、シーリングファン	別諸元図13参照
120 エントランスホール	風除室を設ける。 展示スペースを設ける。(ガラス壁) 喫煙スペースを設ける。(ガラス壁) 打合、応接スペースを設ける。(ガラス壁) 扉:(引分け・自動扉)×2ヶ所(風除室) 喫煙スペースを設ける。(ガラス壁)	
121 ラウンジ		
122 防災センター		
123 電気室		
124 機械室		
125 EV機械室		
126 ゴミ収集場		
127 サービスヤード		
128 廊下		
129 階段		
130 便所		



エリア(室名)	特殊条件	備考
1 相談室	<p>ガス設備:1栓 給湯設備:1栓 床:室外・隣室への声が聞こえないような防音 壁:室外・隣室への声が聞こえないような防音 扉:W0.85×H2(片開き)×1ヶ所 相談室、処置・休養室、診療・遠隔医療室は連続的に配置し、相談室を最も奥の眺望のよい場所とする。 医用接地を設ける 流し台、ステンレス製(1台)</p>	
2 処置・休養室	<p>流し:診療用として使用。実験用排水と同様の排水設備が必要 給湯設備:1栓 館内LAN用 床:遮音性の比較的高いもの 壁:遮音性の比較的高いもの 扉:W0.85×H2(片開き)×1ヶ所 監視カメラのモニターはスタッフルームに設置する 相談室、処置・休養室、診療・遠隔医療室は連続的に配置する。 給水給湯は混合水栓で供給する。 医用接地を設ける 流し台、ステンレス製(1台)</p>	
3 診療・遠隔医療室	<p>給湯設備:1栓 本地区との大容量回線(電源3ヶ所) 床:診療に適した部材。プライバシー保護のため遮音性の比較的高いもの 壁:診療に適した部材。プライバシー保護のため遮音性の比較的高いもの 扉:W0.85×H2(片開き)×1ヶ所 情報コンセントは保健管理LANを含む 相談室、処置・休養室、診療・遠隔医療室は連続的に配置する。 給水給湯は混合水栓で供給する。医用接地を設ける。 流し台、ステンレス製(1台)</p>	
4 研究室	<p>扉:W0.85×H2(片開き)×1ヶ所 健康データ取り込みのため保護管理LAN設置を計画している 形にはこだわらない。 KUINSの情報コンセントの種類はAタイプとする。(他室はCタイプとする) 医用接地を設ける 流し台、洗面化粧台(1台)</p>	
5 物置	<p>扉:W0.85×H2(片開き)×1ヶ所</p>	
6 受付・事務室	<p>ガス設備:1栓 給湯設備:1栓 扉:W0.85×H2(片開き)×1ヶ所 診療部分とヒーリング/エクササイズ部分の中央に配置する。 KUINSの情報コンセントの種類はAタイプとする。(他室はCタイプとする) 流し台、ステンレス製(1台)</p>	
7 検査室	<p>床:脳波形を設置するため電磁シールドが必要 壁:脳波形を設置するため電磁シールドが必要 扉:W0.85×H2(片開き)×1ヶ所 電磁シールド用アースを設ける 医用接地を設ける 流し台、ステンレス製(1台)</p>	

エリア(室名)	特殊条件	備考
8 会議室・スタッフルーム	<p>ガス設備:1栓 給湯設備:1栓 扉:W0.85×H2(片開き)×1ヶ所 テレビは患者監視モニターと兼用 流し台:ステンレス製(1台)</p>	
9 倉庫・更衣室	<p>扉:W0.85×H2(片開き)×3ヶ所 給湯設備:シャワーユニットへ供給 流し台:洗面化粧台(2台)、シャワーユニット(1台)</p>	
10 エクササイズルーム・ヒーリングルーム	<p>流し:診療用 給湯設備:エクササイズルーム洗面用 床:木の床(合板可) 扉:W1×H2(ガラス扉)×1ヶ所 W1.6×H2(引違い)×1ヶ所 ヒーリングブース:遮音、密閉、防振、空調、調光、強制吸排気の機能を備える ヒーリングルーム: 最も眺望のよい位置に配置し、大きめの窓を設ける。また、遮音と防振には特に留意し、香料を用いるため強制給排気できるようにする。 照明は間接照明とするが、照度は十分に確保する。 エクササイズルーム:エクササイズは疾患を持った人の運動療法など医学管理下で行う運動とする。 流し台:洗面化粧台(1台)</p>	
11 便所	<p>扉:W0.85×H2(片開き)×2ヶ所 障害者用便所W1.5×H2(引き戸)×1ヶ所 診療時の検尿が円滑にできるよう処置・休養室と小窓で連結していること。 流し台:陶器製(3台)</p>	
12 倉庫		

エリア(室名)	特殊条件	備考
13 エントランスロビー		
14 多目的ラウンジ		
15 和風レストラン		
16 厨房(和風レストラン)		
17 搬入スペース		
18 倉庫		
19 洋風レストラン		
20 厨房(洋風レストラン)		
21 ATM郵便局設置スペース		
22 インターネットカフェ(会議室)		
23 パントリー		
24 スタッフルーム		
25 購買部		
26 展望テッキ(外部)		
27 機械室(1)		
28 電気室		
29 機械室(2)		
30 便所		
31 廊下(保健管理棟共通)	保健管理棟待合廊下:診療部分の廊下は待合を兼ねているため、3mの幅員を確保する。また、空調設備を設置する。	
32 階段(保健管理棟共通)		

福利棟

福利・保健管理棟共通

【別表2】各エリアに設置する予定の設備・備品等(参考)

エリア(室名)	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	搬出入 基礎	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	了 了 種 別	停 電 対 策	機 器 発 熱 量 kcal/h	給 水 ・ 排 水 ・ ガ ス の 有 無	同 時 使 用 率 %	機 器 設 置 予 定 年 度	備 考	
																		機 器 設 置 予 定 年 度
1 大講義室 共用	○	1	大型液晶プロジェクタ(A)	0.53×0.569×0.20	30	3	有	無	単相	100	800W					100		
	○	2	同上専用レンズ			3												
	○	3	同上専用吊金具			3												
		4	デジタルRGB端子ボード			6												
	○	5	100インチ 2面張込スクリーン	W4.5×H2.4	-	1	有	無		-								
		6	プラズマディスプレイ	0.089×1.02×0.61	35	6	有	無	単相	100	295W			253.7			100	
		7	同上吊金具			6												
	○	8	電動開閉式白板	W4.2×H2.1	-	1	有	無	制御 部よ	DC24	-						10	
	○	9	電動開閉式貼りカーテ	W4.2×H2.1	-	1	有	無	制御 部よ	DC24	-						10	
	○	10	100インチ 電動巻上スクリーン	W2.6	50	1	有	無	制御 部よ	DC24	-						10	
	○	11	OHP用スクリーン	W2.2×H2	40	1	有	無	制御 部よ	DC24	-						10	
		12	リニアモーター式暗幕	W3.6×H2	-	10	有	無	制御 部よ	DC24	-						10	
		13	映像切換パネル(A) (1/F付き)			1												
		14	スクリーン操作パネル (1/F付き)			1												
		15	遠隔講義用カメラ操作 パネル			1												
		16	S-VHS対応ビデオデッ キ			1												



エリア(室名)	設備・備品														備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器 熱量 kcal/h		給水・排 水・ガス の有無 給排ガ	同時 使用 %	機器 設置 予定 年度
1	38	ワイヤレスマイクロホン			6													
	39	メインスピーカー(A)	0.3×0.577×0.394	18	2	有	無		-		-							
	40	同上取付金具			2													
	41	天井埋込スピーカー	0.275×0.275×0.148	3	12	有	無		-		-							
	42	ワイヤレスアンテナ	0.034×0.12×0.19	0.25	4	有	無		-		-							
	43	講師用カメラ機器設備	0.192×0.2×0.244	10	1	有	無	制御 部よ	DC12		-							
	44	固定机・椅子			216													
45	教壇			1														
46	流し台			1														
47	ブラインド																	
2A 中講義室(1)		遠隔講義システム 【別紙8】参照																
	1	リニアモーター式暗幕	W3.6×H2	-	3	有	無	制御 部よ	DC24		-						10	桂情報ネットワーク WGの作成仕様による 遠隔講義システム
	2	映像切換パネル(B) (1/F付き)			1													
	3	スクリーン操作パネル (1/F付き)			1													
	4	遠隔講義用カメラ操作 パネル			1													
	5	S-VHS対応ビデオデッ キ			1													
6	全世界対応ビデオデッ キ			1														
共用																		

エリア(室名)	設備・備品														備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース 種別	停電 対策	機器 熱量 kcal/h		給水・排 水・ガス の有無	同時 使用 率 %	機器 設置 予定 年度
2A	7	スライドフィルムビデオ			1													
	8	オーバーヘッドカメラ (OHC)			1													
	9	プロジェクター用電源 制御部(B)			1													
	10	CPU接続パネル (2系統)			1													
	11	マトリクススイッチャー			1													
	12	NTSCモニター			1													
	13	ワイヤレス受信機			1													
	14	ワイヤレスチューナー			1													
	15	オーディオミキサー			1													
	16	パワーアンプ(A)			1													
	17	パワーアンプ(B)			1													
	18	デジタルマルチイコーラ イザー			2													
	19	電源制御部			2													
	20	有線マイク接続パネル			1													
	21	遠隔講義用ユニット			1													
	22	同上I/Fユニット			1													
	23	ワイヤレスマイクroh ン			1													
	24	メインスピーカー(A)		0.3×0.577×0.394	18	2	有	無	-		-							
	25	同上取付金具				2												
	26	天井埋込スピーカー		0.275×0.275×0.1 48	3	4	有	無	-		-							
	27	黒板		3.2×0.2×1.5		1												

共用

エリア(室名)	設備・備品														備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h		給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %	機器設置予定年度
2A	○	28 流し台			1													
	○	29 ブラインド																
2B 中講義室(2)	○	遠隔講義システム 【別紙8】参照																
	1	リニアモーター式暗幕	W3.6×H2	-	3	有	無	制御 部よ り	DC24		-							10
	2	映像切換パネル(B) (1/F付き)			1													
	3	スクリーン操作パネル (1/F付き)			1													
	4	遠隔講義用カメラ操作 パネル			1													
	5	S-VHS対応ビデオデッ キ			1													
	6	全世界対応ビデオデッ キ			1													
	7	スライドフィルムビデオ			1													
	8	オーバーヘッドカメラ (OHC)			1													
	9	プロジェクター用電源 制御部(B)			1													
	10	CPU接続パネル (2系統)			1													
	11	マトリクススイッチャー			1													
	12	NTSCモニター			1													
	13	ワイヤレス受信機			1													
	14	ワイヤレスチューナー			1													
	15	オーディオミキサー			1													
	16	パワーアンプ(A)			1													
17	パワーアンプ(B)			1														

共用



エリア(室名)	設備・備品														備考		
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース 種別	停電 対策	機器 発熱 kcal/h		給水・排 水・ガス の有無 給排ガ	同時 使用 % 年度
2B	18	デジタルマルチイコー イザー			2												
	19	電源制御部			2												
	20	有線マイク接続パネル			1												
	21	遠隔講義用ユニット			1												
	22	同上I/Fユニット			1												
	23	ワイヤレスマイクロホ ン			1												
	24	メインスピーカ(A)	0.3×0.577×0.394	18	2	有	無		-		-						
	25	同上取付金具			2												
	26	天井埋込スピーカ	0.275×0.275×0.1 48	3	4	有	無		-		-						
	29	黒板	3.2×0.2×1.5		1												
	30	流し台			1												
31	ブラインド																
3A 小講義室(1)	1	大型液晶 プロジェクター(B)	0.495×0.495×0.1 75	20	1	有	無	単相	100	600W				516			100
	2	同上専用レンズ			1												
	3	同上専用吊金具			1												
	4	100インチ 電動巻上スクリーン	W2.6	50	1	有	無	制御 部よ り	DC24	-	-						10
	5	OHP用スクリーン	W2.2×H2	40	1	有	無	制御 部よ り	DC24	-	-						
共用																	

エリア(室名)	設備・備品														備考		
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h		給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %
3A 共用	6	リニアモーター式暗幕	W3.6×H2	-	3	有	無	制御部より	DC24	-	-	-	-	-	-	-	10
	7	映像切換パネル(C) (1/F付き)			1												
	8	スクリーン操作パネル (1/F付き)			1												
	9	S-VHS対応ビデオデッキ			1												
	10	スライドフィルムビデオ			1												
	11	オーバーヘッドカメラ (OHC)			1												
	12	プロジェクター用電源 制御部(B)			1												
	13	CPU接続パネル(2系統)			1												
	14	マトリクススイッチャー			1												
	15	NTSCモニター			1												
	16	ワイヤレス受信機			1												
	17	ワイヤレスチューナー			1												
	18	オーディオミキサー			1												
	19	パワーアンプ(A)			1												
	20	パワーアンプ(B)			1												
	21	デジタルマルチコライザー			2												
	22	電源制御部			1												
	23	有線マイク接続パネル			1												
	24	映像音声機器 収納ラック		0.57×0.62×2.05	230	2	有	無	単相	100	8000W	アース専用		6880			100
	25	ワイヤレスマイクロホン				1											

エリア(室名)	設備・備品													備考					
	本件事業により事業者が調達するもの	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別		停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排水	同時使用率 %	機器設置予定年度
3A	○	26	メインスピーカ(A)	0.3×0.577×0.394	18	2	有	無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	○	27	同上取付金具			2													
	○	28	天井埋込スピーカ	0.275×0.275×0.148	3	4	有	無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	○	29	ワイヤレスアンテナ	0.034×0.12×0.19	0.25	2	有	無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	○	30	黒板	3.2×0.2×1.5		1													
	○	31	流し台			1													
	○	32	ブラインド																
	○	1	大型液晶プロジェクター(B)	0.495×0.495×0.175	20	1	有	無	単相	100		600W			516			100	
	○	2	同上専用レンズ			1													
	○	3	同上専用吊金具			1													
	○	4	100インチ電動巻上スクリーン	W2.6	50	1	有	無	制御部より	DC24		-						10	
	○	5	OHP用スクリーン	W2.2×H2	40	1	有	無	制御部より	DC24		-						10	
○	6	リニアモーター式暗幕	W3.6×H2	-	2	有	無	制御部より	DC24		-						10		
		7	映像切換パネル(C)(1/F付き)			1													
		8	スクリーン操作パネル(1/F付き)			1													
		9	S-VHS対応ビデオデッキ			1													
		10	スライドフィルムビデオ			1													
		11	オーバーヘッドカメラ(OHC)			1													
		12	プロジェクター用電源制御部(B)			1													
		共用																	
3B 小講義室(2)																			

エリア(室名)	設備・備品														備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h		給水・排水・ガスの有無 給排水	同時使用率 %	機器設置予定年度
3B		CPU接続パネル (2系統)			1													
		マトリクススイッチャー			1													
		NTSCモニター			1													
		ワイヤレス受信機			1													
		ワイヤレスチューナー			1													
		オーディオミキサー			1													
		パワーアンプ(A)			1													
		パワーアンプ(B)			1													
		デジタルマルチコライザー			2													
		電源制御部			1													
		有線マイク接続パネル			1													
		映像音声機器 収納ラック		0.57×0.62×2.05	230	2	有	無	単相	100	8000W	アース専用		6880			100	
		ワイヤレスマイクロホン				1												
		メインスピーカー(B)		0.243×0.405×0.28	10	2	有	無		-	-							
	○	同上取付金具				2												
	○	天井埋込スピーカー		0.275×0.275×0.148	3	4	有	無		-	-							
	○	ワイヤレスアンテナ		0.034×0.12×0.19	0.25	2	有	無		-	-							
	○	黒板		3.2×0.2×1.5		1												
	○	流し台				1												
	○	ブラインド																
	○	遠隔講義システム 【別紙8】参照																
	4A 遠隔講義室(1)	1	コンピュータ			1		単相	100	5			無	120				桂情報ネットワーク WGの作成仕様による 遠隔講義システム
		2	ディスプレイ			1		単相	100	2			無	50				
3		黒板		W3×H2	1													
4		ブラインド																

共用

エリア(室名)	設備・備品													備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排水	同時使用率 %	機器設置予定年度
4A	5	リニアモータ式暗幕			1													
	6	暗幕操作パネル			1													
	7	S-VHS対応ビデオデッキ			1													
	8	オーバーヘッドカメラ(OHC)			1													
	9	遠隔講義用ユニット			1													
	10	同上I/Fユニット			1													
	11	NTSCモニター			1													
	12	設置台			1													
	4B 遠隔講義室(2)	1	コンピュータ			1			単相	100	5			無	120			
		2	ディスプレイ			1			単相	100	2			無	50			
		3	黒板	W3×H2		1												
		4	ブラインド															
5		リニアモータ式暗幕			1													
6		暗幕操作パネル			1													
7		S-VHS対応ビデオデッキ			1													
8		オーバーヘッドカメラ(OHC)			1													
9		遠隔講義用ユニット			1													
10		同上I/Fユニット			1													
11		講師用カメラ機器設備			1													
12		NTSCモニター			1													
13		設置台			1													
4C 遠隔講義室(3)	1	コンピュータ			1			単相	100	5			無	120				
	2	ディスプレイ			1			単相	100	2			無	50				
	3	黒板	W3×H2		1													
	4	ブラインド																
	5	リニアモータ式暗幕			1													

共用

エリア(室名)	設備・備品														備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発 熱量 kcal/h		給水・排 水・ガス の有無	同時 使用 率 %	機器 設置 予定 年度
4C	6	暗幕操作パネル			1													
	7	S-VHS対応ビデオデッキ			1													
	8	オーバーヘッドカメラ(OHC)			1													
	9	遠隔講義用ユニット			1													
	10	同上I/Fユニット			1													
	11	講師用カメラ機器設備			1													
	12	NTSCモニター			1													
	13	設置台			1													
	5 大会議室		遠隔会議システム【別紙8】参照															
		1	ピクチャーレール			1												
		2	白板															
		3	ブラインド															
		4	リニアモーター式暗幕	W3.6×H2	-	4	有	無	制御 部よ り	DC24		-						10
5		同上操作パネル			1													
6		映像切換パネル(A)(I/F付き)			1													
7		電動巻上スクリーン操作パネル(I/F付き)			1													
8		S-VHS対応ビデオデッキ			1													
9		スライドフィルムビデオ			1													
10		オーバーヘッドカメラ(OHC)			1													
11		CPU接続パネル(2系統)			1													
12		マトリクススイッチャー			1													
13		NTSCモニター			1													
14		オーディオミキサー			1													
15	パワーアンプ(A)			1														

共用

エリア(室名)	設備・備品														備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h		給水・排水・ガスの有無 給排水	同時使用率 %	機器設置予定年度	
5	16	パワーアンプ(B)			1														
	17	デジタルマルチコライザー			2														
	18	電源制御部			1														
	19	有線マイク接続パネル			1														
	20	ワイヤレスマイクロホン			4														
	21	メインスピーカー(A)	0.3×0.577×0.394	18	2	有	無		-		-								
	22	同上取付金具			2														
	23	天井埋込スピーカー	0.275×0.275×0.148	3	6	有	無		-		-								
	6A 中会議室(1)	1	OHP用スクリーン	W2.2×H2	40	1	有	無	制御部より	100		30						10	
		2	ハイパワーアンプ			1													
		3	内蔵型ワイヤレスユニット			1													
		4	ハウリングサブレッサー			1													
		5	電源制御ユニット			1													
6		OHP操作パネル			1														
7		ワイヤレスマイクロホン			1														
8		天井埋込スピーカー	0.275×0.275×0.148	3	2	有	無		-		-								
9		ワイヤレスアンテナ	0.034×0.12×0.19	0.25	2	有	無		-		-								
10		小型アンプブロック	0.62×0.57×1.25	90	1	有	無	単相	100		120W			103.2			100		
11		ピクチャーレール																	
13	白板	W4×H2		1															
14	ブラインド																		

共用

エリア(室名)	設備・備品														備考				
	本件事業により事業者が調達するもの	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排水	同時使用率 %	機器設置予定年度
6B 中会議室(2)	○	1	OHP用スクリーン	W2.2×H2	40	1	有	無	制御部より	100	30							10	
		2	ハイパワーアンプ			1													
		3	内蔵型ワイヤレスユニット			1													
		4	ハウリングサブレッサー			1													
		5	電源制御ユニット			1													
		6	OHP操作パネル			1													
		7	ワイヤレスマイクロホン			1													
	○	8	天井埋込スピーカー	0.275×0.275×0.148	3	2	有	無		-		-							
	○	9	ワイヤレスアンテナ	0.034×0.12×0.19	0.25	2	有	無		-		-							
		10	小型アンプラック	0.62×0.57×1.25	90	1	有	無	単相	100	120W				103.2			100	
		11	白板	W4×H2		1													
		12	ピクチャーレール																
		13	リニアモーター式暗幕																
		14	ブラインド																
7A 小会議室(1)		1	コンピュータ			1			単相	100	5			無	120				
		2	ディスプレイ			1			単相	100	2			無	50				
	○	3	OHP用スクリーン			1													
		4	リニアモーター式暗幕			2													
		5	ハイパワーアンプ			1													
	6	内蔵型ワイヤレスユニット			1														
	7	ハウリングサブレッサー			1														
	8	電源制御ユニット			1														
	9	OHP操作パネル			1														
共用																			



エリア(室名)	設備・備品														備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出人	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h		給水・排水・ガスの有無 給排水ガ	同時使用率 %	機器設置予定年度
7A	10	暗幕操作パネル			1													
	11	小型ラック			1													
	12	ワイヤレスマイクロホン			1													
	13	天井埋込スピーカー			2													
	14	ワイヤレスアンテナ			2													
	15	白板	W4×H1.5		1													
	16	電動巻上式スクリーン	W2.2×H2		1								無					
	17	ピックアップレール																
	18	ブラインド																
	7B 小会議室(2)	1	コンピュータ			1			単相	100	5			無	120			
		2	ディスプレイ			1			単相	100	2			無	50			
		3	OHP用スクリーン			1												
		4	リニアモーター式暗幕			2												
		5	ハイパワーアンプ			1												
		6	内蔵型ワイヤレスユニット			1												
		7	ハウリングサブレッサー			1												
		8	電源制御ユニット			1												
		9	OHP操作パネル			1												
10		暗幕操作パネル			1													
	11	小型ラック			1													
	12	ワイヤレスマイクロホン			1													
	13	天井埋込スピーカー			2													
	14	ワイヤレスアンテナ			2													
	15	白板	W4×H1.5		1													
	16	電動巻上式スクリーン	W2.2×H2		1								無					
	17	ピックアップレール																
	18	ブラインド																

エリア(室名)	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排水	同時使用率 %	機器設置予定年度	備考		
																			機器設置予定年度	
8 ライブラリーレクチャールホール  共用	○	1	ブラインド(資料閲覧スペースの窓およびガラス壁)																	
	○	2	ホワイトボード	3.6×1.8		1														
	○	3	大型液晶プロジェクター(B)	0.495×0.175×0.495	20	1		単相	100		600W			無	516			100		
	○	4	同上専用レンズ			1														
	○	5	同上専用吊金具			1														
	○	6	電動巻上式スクリーン	W2.2×H2	50	1		制御部より	DC24		-							10		
			7	リニアモーター式暗幕		14		制御部より	DC24		-				無			10		
			8	映像切換パネル(A)		1														
			9	スクリーン操作パネル		1														
			10	S-VHS対応ビデオデッキ	0.43×0.28×0.089	1														
			11	全世界対応ビデオデッキ	0.463×0.307×0.098	1														
			12	オーバーヘッドカメラ(OHC)		1														
			13	スライドフィルムビデオプロジェクター用電源制御部	0.284×0.292×0.126	1														
			14	CPU接続パネル(2系統)		1														
			16	マトリクススイッチャー	0.422×0.323×0.133	1														
			17	NTSCモニター	0.370×0.399×0.352	1														
			18	ワイヤレス受信機	0.420×0.176×0.044	3														
			19	ワイヤレスチューナー		3														

エリア(室名)	設備・備品														備考						
	本件事業により事業者が調達するもの	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %	機器設置予定年度		
8		20	ワイヤレスアンテナ混合分配器	0.420×0.176×0.044		1															
		21	オーディオミキサー	0.480×0.1545×0.177		1															
		22	パワーアンプ(A)	0.480×0.350×0.088		1															
		23	パワーアンプ(B)	0.480×0.370×0.088		1															
		24	デジタルマルチイコーイザー	0.480×0.275×0.044		2															
		25	電源制御部	0.480×0.300×0.044		2															
		26	有線マイク接続パネル			1															
		27	映像音声機器 収納ラック	0.57×0.62×2.05	230	2			単相	100			6000W	アース専用	無	5160			100		
		28	ワイヤレスマイクロホン			6															
		29	メインスピーカー(A)	0.394×0.300×0.077	10	2			-	-											
		30	同上取付金具			2															
		31	天井埋込スピーカー	0.275×0.275×0.148	3	12	有	無		-											
		32	ワイヤレスアンテナ	0.12×0.19×0.034	0.24	4	有	無		-											
		33	システムキッチン	0.6×1.8×0.85		1											有	有			
		34	ガス湯沸器	0.141×0.288×0.036		1											有	有			
		35	パソコン			5			単相	100						無			100		
		36	プリンタ			2			単相	100						無			100		
		37	複写機	0.56×0.669×1.118		1			単相	100						無					
		38	洗面台	0.7×0.5×0.838		1															
		39	冷蔵庫	0.46×0.495×1.291		2			単相	100						無		有			
	40	電話			1			単相													
	21	ファクシミリ			1			単相													
	42	ピックアップレール			1			単相													
	43	ブラインド																			

エリア(室名)	設備・備品													備考				
	本件事業により事業者が調達するもの	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別		停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %
9A 外国人研究者室(1)		1	コンピュータ			2			単相	100	5			無	120/台			
		2	ディスプレイ			2			単相	100	2			無	50/台			
		3	プリンタ			1			単相	100	8			無	180			
		4	電気ポット			1			単相	100	10			無	250			
	○	5	流し台	0.55×0.75×0.8												有	有	
		6	冷蔵庫	0.581×0.477×1.2 75	27	1			単相	100	0.1			無	5			
	○	7	ブラインド															
9B 外国人研究者室(2)		1	プリンタ			1			単相	100	8	0.8		無	180			100
		2	パソコン			1			単相	100	5	0.5		無	120			100
		3	CRTディスプレイ			1			単相	100	2	0.2		無	50			100
		4	冷蔵庫	0.581×0.477×1.2 75	27	1		無		100	3	0.3			260			100
		5	電動ポット			1			単相	100	10	1.0		無	864			100
	○	6	流し台	0.55×0.75×0.8		1										有	有	
	○	7	ブラインド															
9C 外国人研究者室(3)		1	プリンタ			1			単相	100	8			無	180			100
		2	パソコン			1			単相	100	5			無	120			100
		3	CRTディスプレイ			1			単相	100	10			無	250			100
		4	冷蔵庫	0.581×0.477×1.2 75	27	1		無		100				無				
		5	電動ポット			1			単相	100	2			無	50			100
	○	6	流し台	0.55×0.75×0.8		1										有	有	
	○	7	ブラインド															
10 研究用資料保管庫		1	電動式移動棚	図面参照	約48520	一式	有	有	単相	100 200	6A× 5箇所			-				
		2	除湿機	0.38×0.33×0.67	26	2			単相					無			有	
	○	3	流し台			1												
	○	4	ブラインド															
11 協力講座教官室		1	パソコン			6			単相	100	5							
		2	プリンタ			3			単相	100	8							

共用

エリア(室名)	設備・備品													備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %
11	3	CRTディスプレイ			6			単相	100	2							
	4	冷蔵庫			1			単相	100	6							
	5	電動ポット			1			単相	100	10							
	6	流し台			1			単相							有		
	7	ブラインド															
	8	換気扇															
	1	パソコン			6			単相	100	5							
	2	プリンタ			3			単相	100	8							
12 協力講座学生 室	3	CRTディスプレイ			6			単相	100	2							
	4	冷蔵庫			1			単相	100	6							
	5	電動ポット			1			単相	100	10							
	6	流し台			1			単相	100	10					有		
	7	ブラインド			1												
	8	換気扇			1												
	1	冷蔵庫	0.6×0.62×1.6	68	2			単相	100								
	2	パソコン			32			単相	100	38.4	3840W			有			
13 事務室	3	プリンタ	0.65×0.65×0.56	70	3			単相	100	33	3300W						
	4	ファックス	0.494×0.512×0.424	33	1			単相	100								
	5	コピー機	1.5×0.8×1.2		2			単相	100	15A×2							
	6	電気ポット			2			単相	100	17A×2	1700W						
	7	コーヒーメーカー			2			単相	100	17A×2	1700W						
	8	空気清浄機	0.4×0.82×0.17		3			単相	100	1.45A×3	144W						
	9	テレビ	0.66×0.458×0.52		2			単相	100	1.25A×2	120W						
	10	デスクヒーター			30			単相	100	75A×30	7500W						

エリア(室名)	設備・備品															備考		
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出人	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排水		同時使用率 %	機器設置予定年度
13	○	11 天板	0.45×0.9×0.02		5													
		12 3枚引き違い保管庫	0.45×0.9×1.05		5													
		13 ベース	0.438×0.9×0.06		5													
		14 天板	0.45×0.9×0.02		7													
		15 ガラス引き違い保管庫	0.45×0.9×0.702		7													
		16 ベース	0.438×0.9×0.06		7													
		17 金庫	0.733×0.7×1.69		1													
	○	18 ビジネスキッチン	0.45×0.9×1.79		2													
		19 ビジネスセーバー(増速)	0.94×1.84×2.262		2													
		20 ビジネスセーバー(基本)	0.94×0.92×2.262		4													
		21 平机	0.7×1.4×0.7		30													
		22 卓上タップ			30													
		23 フゴン(3段)	0.604×0.4×0.612		30													
		24 フゴン(2段)	0.604×0.4×0.612		30													
		25 椅子	0.55×0.407×0.82 5		30													
		26 平机	0.7×1.4×0.7		3													
	○	27 一槽流し台	0.55×1.2×0.8		2										○ ○ ○			
共用																		

エリア(室名)	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	搬出人	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %	機器設置予定年度	備考	
																		本件事業により事業者が調達するもの
13	○	28 断熱ブラインド	3X1															
	○	29 受付カウンター			2													
	○	30 換気扇																
14A 用務員室	○	1 テーブル	0.75×1.2×0.7		1													
	○	2 イス	0.505×0.51×0.79		2													
	○	3 ビジネスキッチン	0.45×1.8×0.9		1		単相	100		1,200W								
	○	4 流し台	0.55×1.05×0.8		1									○				
	○	5 ガスキャビネット	0.55×0.6×0.8		1													
	○	6 湯沸器	0.135×0.288×0.358	5.7	1									○				
		7 冷蔵庫	0.59×0.62×1.6	68	1		単相	100										
		8 テレビ(25型ステレオカラーテレビ)	0.45×0.7×0.53	27.4	1		単相	100										
	○	9 換気扇																
	○	10 一槽流し台	1.05×0.55×0.8		1													
		11 ガス台	0.6×0.543×0.623		1													
14B 印刷室		1 オフセット印刷機	1.4×0.65×1.1	80	1		単相	100	3	0.3	一般	-						
		2 裁断機	0.9×1.2×1.3	150	1		単相	100	4	0.4	一般	-						
		3 丁合機	0.55×0.6×1.6	80	1		単相	100	7	0.7	一般	-						
		4 製本機	0.65×0.5×1	50	1		単相	100	4	0.4	一般	-						
		5 カラーコピー機	1.3×0.8×1	60	1		単相	100	15	1.5	一般	-						
		6 シュレッダー	0.65×0.75×0.9	60	1		単相	100	10	1.0	一般	-						
		7 冷蔵庫	0.47×0.55×0.8	40	1		単相	100	2	0.2	一般	-						
		8 FAX	0.45×0.6×0.95	20	1		単相	100	5.5	0.55	一般	-						
		9 ポット	0.20×0.30×0.25	2	1		無	単相	100	6.5	0.65	一般	無					
		10 電気スタンド	0.20×0.20×0.50	1	2		無	単相	100	0.2	0.02	一般	無					
		11 パソコン			1		無	単相	100	2	0.2	一般	無					
		12 電子ホットキス	0.193×0.523×0.217	2	1		無	単相	100	0.92	0.092	一般	無					
		13 電話機			1		無	単相	100	1.2	0.12	一般	無					
		14 棚	0.4×1.8×1.8		1		無	単相	100	1.2	0.12	一般	無					

エリア(室名)	設備・備品													備考					
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発 熱量 kcal/h	給水・排 水・ガスの 有無 給排ガ	同時 使用 %	機器 設置 予定 年度	
14B	15	整理BOX	0.3×0.9×0.9		1														
	16	作業台	0.8×1.3×0.84		1														
	17	机	0.7×1×0.7		1														
	18	袖机	0.73×0.4×0.75		1														
	19	換気扇	0.2×0.3×0.3		1			100				一般	無		○	○	100	100	
	20	流し台	0.55×1.05×0.8		1														
	21	パティション	0.4×1.25×1.8		3														
	22	断熱ブラインド																	
	23	一槽流し台	1.05×0.55×0.8		1														
	24	吊戸棚	0.9×0.386×0.5		1														
	15	1	メールボックス	0.38×0.9×1.79		11													
		2	テーブル	0.9×1.8×0.7		2													
		3	ブラインド																
		4	換気扇																
16	1	ビジネスキッチン	0.45×0.9×1.8		1			単相	100		1.200W				○	○			
	2	テーブル	0.8×1.8×0.7		1														
	3	平机	0.7×1.4×0.7		1														
	4	椅子	0.485×0.4×0.685		6														
	5	テーブル	0.6×1.2×0.5		1														
	6	ソファアームベッド	0.97×2.05×0.71		2														
	7	4人用ロッカー	0.515×0.9×1.85		7														
共用	8	パティション(天井迄)			1式														
	9	流し台			1														
	10	冷蔵庫	0.59×0.62×1.6		1			単相	100										
	11	ガスコンロ(2口)	0.42×0.57×0.22		1									8,200				○	



エリア(室名)	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	搬出人	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %	機器設置予定年度	備考			
																		給排ガ		
16		テレビ (25型ステレオカラーテレビ)	0.45×0.7×0.53	27.4	1		単相	100												
		湯沸器	0.14×0.29×0.86	5.7	1									○	○					
		ブラインド																		
		換気扇																		
		ガス台		0.75×0.55×0.626		1														
		1	ビジネスセーバー(基本)	1.84×0.94×2.262	1249	5													移動ラックは、振動感知式自動ロック解除装置(免震箱)付とする。	
	2	ビジネスセーバー(増連)	0.92×0.94×2.262																	
17 事務室倉庫		3 移動ラック	2.03×0.56×2.22	17,920	15		単相	100	15											
		3 移動ラック(ルール)			1															
		3 連動照明					単相	100	15											
		4 会議用テーブル	1.8×0.45×0.7		4															
		5 壁掛袖付手洗器	0.5×0.4×0.755		1									○	○					
		6 ユニット照明家具	0.8×0.45×2.03		10															
		7 流し台			1															
		8 換気扇																		
18A 会議室(1)		遠隔会議システム 【別紙8】参照																桂情報ネットワークWGの作成仕様による遠隔講義システム		
		1 コンピュータ			1		単相	100	5								無			
		2 ディスプレイ			1		単相	100	2										無	
		3 白板	W4×H1.5		1															
		4 スクリーン(天井吊)	W2×H2		1															
		8 メインスピーカー(A)	0.3×0.577×0.394		18	2													DC24	
		9 天井埋込スピーカー	0.275×0.275×0.148		3	4														DC24
		10 リニアモーター式暗幕				1														DC24

エリア(室名)	設備・備品											備考						
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA		アース種別	停電対策	機器 熱量 kcal/h	給水・排 水・ガス の有無 給排ガ	同時 使用 % 年度	機器 設置 予定 年度
18A	○	11 流し台			1													
	○	12 ブランド																
18B 会議室(2)	○	遠隔会議システム 【別紙8】参照																
		1 コンピュータ			1		単相	100	5				無	120				
		2 ディスプレイ			1		単相	100	2				無	50				
	○	3 白板	W4×H1.5		1													
	○	4 スクリーン(天井吊)	W2×H2		1													
	○	8 メインスピーカ(A)	0.3×0.577×0.394	18kg	2				DC24									
	○	9 天井埋込スピーカ	0.275×0.275×0.1 48	3kg	4				DC24									
	○	10 リニアモーター式暗幕			1				DC24									
18C 給湯 共用	○	11 流し台			1													
	○	12 ブランド			1													
	○	1 湯沸し器			1													
	○	2 システムキッチン	0.65×2.55×0.85		1													
		3 冷蔵庫	0.581×0.477×1.2 75	27	1		単相	100	0.1				無	5				
	○	4 ガス給湯器			1													
	○	5 システムキッチン(2 ジャンボシンク)			1													
	○	6 ビルトイン式自動食器 洗機			1													
	○	7 電磁調理コンロ			2													
	○	8 フード付換気扇			1													
	○	9 流し台			1													
18D 技術室	○	10 ブランド																
	○	11 換気扇																
		1 パソコン			10	無	単相	100	2/台	2KW			無	1720				
		2 プリンタ			1	無	単相	100	10	1KW			無	860				
		3 コピー機			1	無	単相	100	15	1.5			無	1290				
	4 ファックス			1	無	単相	100	1.1	0.11			無	86					

桂情報ネットワーク  
WGの作成仕様による  
遠隔講義システム

停電対策、サーバ用2  
台

エリア(室名)	設備・備品													備考					
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排水	同時使用率 %	機器設置予定年度	
18D		5 冷蔵庫			1	無		单相	100	3	0.3		無	258					
		6 電気ポット			1	無		单相	100	10	1		無	860					
	○	7 流し台	SN1.2×0.55×0.8		1										○	○	○		
		8 電話機			2	無		单相	100	1.2/台	0.24		無	206					
		9 スキヤナー			1	無		单相	100	0.5	0.05		無	43					
	○	10 換気扇			2	有		单相	100	3	0.6		無	516					
	○	11 ガス湯沸し器			1	無									○	○	○		
		12 ロッカー	0.6×0.55×1.85		4	無													
		13 棚	0.9×0.3×2.1		8	無													
		14 会議机	1.8×0.9×0.7		1	無													
		15 パソコンラック	0.7×0.6×0.7		10	無													
		16 衝立	W=2.4		2	無													
		17 抽付椅子			8	無													
		18 抽なし椅子			8	無													
		19 机	1.2×0.9×0.7		8	無													
		20 電気スタンド			8	無		单相	100	0.02/分	0.16		無	138					
	○	21 ブランド			有														
		22 ハンダこて			1	無		单相	100	0.5									
		23 電動ドリル			1	無		单相	100	3									
		24 プリンター一台	1.5×0.7×0.7		1	無													
		25 作業台	1.8×0.9×0.9			無													
		26 電話代	0.7×0.7×0.7			無													
		27 ファックス台	0.7×0.7×0.7			無													
		28 食器棚	0.6×0.43×1.8			無													
		29 テレビ			1	無		单相	100	1	0.1			86					
	18E 小会議室(3)		1 コンピュータ			1	無		单相	100	5			無	120	○	○	○	
			2 ディスプレイ			1	無		单相	100	2			無	50				
		○	3 白板	1.5×4		1													
		○	4 電動巻上式スクリーン	2×0.2×0.2		1								無					
		5 リニアモーター式暗幕			1														
○		6 ブランド																	
○		7 換気扇																	

共用

エリア(室名)	設備・備品													備考					
	本件事業により事業者が調達するもの	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別		停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %	機器設置予定年度
18F 共同利用室 (35m <sup>2</sup> )		1	コンピュータ			1		単相	100	5			無	120					
		2	ディスプレイ			1		単相	100	2			無	50					
		3	白板	W3×H1.5		1													
		4	スクリーン(天井吊)	W2×H2		1													
		5	流し台			1													
		6	ブラインド																
		7	換気扇																
		8	電動巻上式OHPスクリーン	2×0.2×0.2		3													
		○																	
18G 共同利用室 (50m <sup>2</sup> )		1	コンピュータ			1		単相	100	5			無	120					
		2	ディスプレイ			1		単相	100	2			無	50		有			
		3	流し台			1													
		4	白板	W4×H1.5		1													
		5	スクリーン(天井吊)	W2×H2		1													
		6	流し台			1													
		7	換気扇																
		8	ブラインド																
		○																	
18H 男子更衣室		1	4人用ロッカー	0.515×0.9×1.85		6													
		○	壁掛袖付手洗器	0.5×0.4×0.755		1			100										
		8	角テーブル	0.75×1.5×0.63		1			100										
		○	換気扇																
		○																	
18I 更衣室		1	シャワーユニット	0.88×1.64×2.193		3							無			有	有		
		○	シャワーユニット用ガス給湯器			3													
		3	洗濯機			2											有		
		4	乾燥機			2													
		○	流し台			1													

共用

エリア(室名)	設備・備品											備考							
	本件事業により事業者が調達するもの	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A		入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %	機器設置予定年度
19A 第1構造実験室		①	大型構造物試験装置	(アチエータ-1) φ370mm×1989mm±250mm (アチエータ-2) φ370mm×1364mm±125mm (アチエータ-3) φ370mm×1364mm±125mm (アチエータ-4) φ370mm×980mm±50mm (PP80型油圧源) 900mm×1420mm±1500mm	(アチエータ-1) 800kg(アチエータ-2) 700kg(アチエータ-3) 700kg(アチエータ-4) 600kg(PP80型油圧源) 1550kg(油量含む) 500L含む)	1	有	無	(クーリングタワー)200/220(P80型油圧源)60(P80型油圧源)20/220(油圧源)440	100	1.2A	(クーリングタワー)200型油圧源)60(油圧源)120	第3種	無	(クーリングタワー)冷却能力:10トン	給	○		
		②	データロガーTHS-1100		13kg	1	無	有	単相	100	1.2A		第3種	有				○	
		③	データロガーTDS-302		10kg	2	無	有	単相	100	0.74A		第3種	有				○	
		④	スイッチボックスSHW-50D		8kg	5	無	有	単相	100	0.11A		第3種	有				○	
		⑤	スイッチボックスSHW-50A		14kg	2	無	有	単相	100	0.15A		第3種	有				○	
		⑥	実験制御用PC DESKPRO EP SERIES 6450/10			3	無	無	単相	100-120/220-240	最大5.5A	最大285	第3種	有	最大171.96			○	
		⑦	実験制御用PCモニタ			3	無	無	単相	100/240	2.8Ap	160W			有			○	
		⑧	5tクレーン		775	1	有 (レール)	無	三相	220					無			○	
		⑨	スライド収納棚	2.76×0.8×2.556	350	2	無	無											
		⑩	供試体		最大10t	4	無	有											
		⑪	写真用レフランプ			5	無	有	単相	100		500W			無			○	
	39	CO2溶接機		100kg	1	無	有	三相	200		29kVA			無					

エリア(室名)		設備・備品											備考			
No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %
19A	46 大型構造物試験装置用油圧源			1	無	無	三相	440		120kVA		無	15冷却トン必要	○	○	H20
	47 ブラインド															
	48 換気扇															
	放送設備(制御室と実験室間の通信)			一式												
	入退室管理システム(他実験室と共用)			二式												
	ポンプ	2.705x1.405x1.82		一式												
	動的ジャッキ			一式												
	載荷フレーム	5x5x5		一式												
	反カフレーム	2.035x1.875x1		一式												
	装置設置フレーム	3.750x0.9x1.5		二式												
19B 第1構造実験制御室	① 大型構造物試験装置	(制御装置) 1×3×1	(制御装置) 160	1	無	無	(制御装置) 単相	(制御装置) 100	(制御装置) 100	(制御装置) 4	第3種	有	(制御装置) 1650		○	
	⑫ ワークステーションSun SPARCstation			1	無	無	単相	(本体) 100-120/2	(本体) 6A(100V), 3A(200V), 2A(100V), 1A(200V)	(本体) 200VA, 350W(モニタ)		有	683BTUs/hr(モニタ) 683BTU/hr		○	
	⑬ 流し台 LD600			1	無	無	単相	100	100	1300W以下		無	-	○	○	
	⑭ カラーレーザープリンタ		50kg	1	無	無	単相	100	100	1000W		無			○	
	⑮ ボット		3kg	1	無	有	単相	100	100			無			○	
	38 冷蔵庫		49kg	1	無	無	単相	100	100			無			○	
	37 UPS		60kg	1	無	無	単相	100	33A	3300V	第3種	無			○	

エリア(室名)	設備・備品														備考				
	本件事業により事業者が調達するもの	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給排水・排 水・ガスの 有無	同時 使用 率 %	機器 設置 予定 年度
19B		⑥	実験制御用PC DES KPRO SERIES 6450/10			6	無	無	単相	100- 120/2 20- 240	最大 5.5A	最大 285	第3種	有			○		
		⑦	実験制御用PCモニタ A102G			6	無	無	単相	100/2 40 2.8Ap	2.8Ap	160W		有			○		
		28	動ひずみ計		1kg	50	無	有	単相	100	0.08A			第3種	有			○	
		45	AVシステム																
		46	ブラインド																
		47	換気扇																
				放送設備(制御室と実験室間の通信)															
20			第3構造実験室																
		26	20kN用振動台	(振動台) 3.2×1.8×0.85 (制御装置) 0.7×1.6×1.7 (油圧源)(油 量含む) 1×2.4×1.4 (クレーン クレーン クレーン) 0.8×0.8 (クレーンクレーン) φ1000mm×1700 mm	(振動 台)(制 御装置) (油圧 源)(油 量含む) (クレーン クレーン) 65kg	1	有	無	(制御 装置)単 相 (クレー ンクレー ンクレー ン) 三相 (油圧源) 三相 200/2 20	(制御 装置) 100 (クレー ンクレー ンクレー ン) 200/2 20	(制御 装置)4 (クレー ンクレー ンクレー ン) 油圧源 57	第3種	無	(制御 装置) 4032 (QF70A 型油圧 源)4900 0(クレー ンクレー ンクレー ン)冷 却能力: 10冷 却ト	給 排	○			
		27	3kN用振動台	(振動台) 2.2×1.1×1.21 (制御装置) 0.84×0.6×1.9 (プロワー ) 0.475×0.506×1.0 4	(振動 台) 1500kg (制御装 置) 250kg (プロワ ) 20kg	1	有	無	(制御 装置)単 相 200/2 20	(制御 装置) 200/2 20	(制御 装置)7	第3種	無	(制御 装置) 6048	給 排	○	※2.8tfクレーン(2-⑩) は第二構造実験室と 共有		
		28	動ひずみ計DA-16A		1kg	10	無	有	単相	100	0.08A		第3種	有			○		
		29	変位計LB-1200		1kg	5	無	有	単相	100	0.15A		第3種	有			○		
		⑥	実験制御用PC DESKPRO EP SERIES 6450/10			2	無	無	単相	100- 120/2 20- 240	最大 5.5A	最大 285	第3種	有	最大 171.96		○		

エリア(室名)	設備・備品														備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h		給水・排水・ガスの有無 給排水	給排ガ	同時使用率 %
20	○	⑦	実験制御用PCモニタ		2	無	無	単相	100/2 40	2.8Ap	160W		有			○		
		⑧	2.8tクレーン		1	有 (シール)	無	三相	220				無				○	
		⑨	スライド収納棚	2.76×0.8×2.556	350	1	無	無							-			
		30	供試体		最大	4	無	有										
		⑩	写真用レフランプ		5	無	有	単相	100		500W		無				○	
		⑭	カラーレーザープリンタ		50kg	1	無	無	単相	100		1300W 以下		無			○	
		⑮	ポット		3kg	1	無	有	単相	100		1000W		無			○	
		37	UPS		60kg	1	無	無	単相	100	33A	3300V A	第3種	無	2700kJ		○	
		39	CO2溶接機		100kg	1	無	有	三相	200		29kVA		無				
		○	40	ブラインド														
		○	41	換気扇														
		○		放送設備														
		○		入退室管理システム (第一構造実験室と共用)														
	21A 第2構造実験室		⑯	3次元試験装置	占有面積として (ピット工事必要) (2.9×3.6×6) (クレーンタワーは屋 外設置) 油圧源サイズ (0.95×1.1×2)	9800	1	有	無	(油圧 電源) 三相 (クレー ン) 200/2 20	(油圧 電源) 20(ク レーン タワー) 2	(油圧 電源) 3000 (クレー ン) 2700kJ	第3種	無	(油圧 源) 3000 (クレー ン) 2700kJ	○	○	



エリア(室名)	本件事業により事業者が調達するもの	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %	機器設置予定年度	備考
21A		①	サーボパルサ	占有面積として (3.6×4×2.8) (クーリングタワーは屋 外設置)	3600	1	有	無	(制御装置) 単相 (油圧電源) 三相 (クーリングタワー) 三相	(制御装置) 100 (油圧電源) 200/2 20 (クーリングタワー) 200/2 20		(制御装置) 1.5(油圧電源) 30 (クーリングタワー) 2	第3種	無	(制御装置) 650(油圧電源) 3200 (クーリングタワー) 冷却能力:7.5 冷卻トン	○	○	※5tクレーン(2-⑮)は 供試体製作室と共有	
		⑧	万能材料試験機	1.6×2.9×2.73	1550(油量500L 含む)	1	有	無	三相	200/2 20		9		無	3000 (同等機種参考値)		○	※2tクレーン(2-⑮)は 第三構造実驗室と共有	
		⑨	アムスラー型耐圧試験機	2×2×4	4000	1	有	有	三相	220		50	10		無	—		○	
		⑩	万能試験機	2×1.5×3.5	3500	1	有	有	三相	220		30	8		無	—		○	
		21	材料疲労試験機	3.5×2.5×3.5	4500	1	有	有	三相	(制御装置) 100 (油圧電源) 200/2 20 (クーリングタワー) 200/2 20			(油圧電源) 30(クーリングタワー) 2	第3種 接地	無	冷却能力:5冷 却トン	○		
21A		②	データロガーTHS-1100		13kg	2	無	有	単相	100	1.2A			第3種			○		
		③	データロガーTDS-302		10kg	4	無	有	単相	100	0.74A			第3種			○		
		④	スイッチボックスSHW-50D		8kg	4	無	有	単相	100	0.11A			第3種			○		
		⑤	スイッチボックスSHW-50A		14kg	2	無	有	単相	100	0.15A			第3種			○		

エリア(室名)	設備・備品													備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %
21A	⑥	実験制御用PC DESKPRO EP SERIES 6450/10			6	無	無	単相	100- 120/2 20- 240	最大 5.5A	最大 285	第3種	有	最大 171.96		○	
	⑦	実験制御用PCモニター A102G			6	無	無	単相	100/2 40	2.8Ap	160W		有			○	
		22 流し台 SK6			1									-	○		
		⑧ 5tクレーン		775	1	有	無	三相	220							○	
		⑧ 2.8tクレーン		425	1	有	無	三相	220							○	
		⑨ スライド収納棚	2.76×0.8×2.556	350	3	無	無								-		
		25 供試体		最大 10t	4	無	有										
		⑪ 写真用レフランプ		5		無	有	単相	100		500W			無			○
		39 CO2溶接機		100kg	1	無	有	三相	200		29kW			無			
		40 ブラインド															
		41 換気扇															
		放送設備(制御室と実験室間の通信)			一式												
		入退室管理システム(第一構造実験室と共用)			二式												
21B 第2構造実験制御室	⑫	3次元試験装置	占有面積として 制御装置室 (2×2×2)		1	有	無	(制御装置) 単相	(制御装置) 100		(制御装置) 6	第3種	有	(制御装置) 2500		○	
	⑬	ワークステーションSun SPARStation			1	無	無	単相	(本体) 100- 120/2 00- 240(	(本体) 6A(10 0V).3 A(200 V)(モ ニタ 二タ) 2A(10 0V).1 A(200 V)	(本体) 200VA, 350W(モ ニタ) 200VA, 200W		有	(本体) 683BTU s/hr(モ ニタ) 683BTU /hr		○	
	⑬ 流し台LD600			1											○		

エリア(室名)	設備・備品													備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %	機器設置予定年度
21B	⑭	カラーレーザープリンタ		50kg	1	無	無	単相	100		1300W以下		無			○		
	⑮	ポット		3kg	1	無	有	単相	100		1000W		無			○		
	⑯	実験制御用PC DESKPRO EP SERIES 6450/10			6	無	無	単相	100-120/2 20-240	最大 5.5A	最大 285	第3種	有	最大 171.96		○		
	⑰	実験制御用PCモニタ A102G			6	無	無	単相	100/2 40	2.8Ap	160W		有			○		
	37	UPS		60kg	2	無	無	単相	100	33A	3300VA	第3種	無	2700kJ		○		
	38	ブラインド																
	39	換気扇																
			放送設備(制御室と実験室間の通信)			一式												
	22 工作室	22	流し台SK6			1										○		
		31	手動式2f子チェーンロック(トリ、レール付)		50	1	有(レール)	無									○	
⑨		スライド収納棚	2.76×0.8×2.556	350	2	無	無											
32		万能ボール盤		275		無	無	三相	200	6			無			○		
⑩		写真用レフランプ		50kg	5	無	有	単相	100		500W		無			○		
⑭		カラーレーザープリンタ		3kg	1	無	無	単相	100		1300W以下		無			○		
⑮		ポット		3kg	1	無	有	単相	100		1000W		無			○		
⑯		実験制御用PC DESKPRO EP SERIES 6450/10			2	無	無	単相	100-120/2 20-240	最大 5.5A	最大 285	第3種	有	最大 171.96		○		
⑰		実験制御用PCモニタ A102G			2	無	無	単相	100/2 40	2.8Ap	160W		有			○		
39		CO2溶接機		100kg	1	無	有	三相	200		29kVA		無			○		
40	グラインダ		15	1	無	無	三相	200	2			無			○			

エリア(室名)	設備・備品													備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %
22		41 メタルソー		300	1	無	無	三相	200	9			無			○	
		42 丸のこ		20	1	無	無	単相	100	14			無			○	H20
	○	43 ブラインド															
	○	44 換気扇															
	○	33 流し台			1									-	○	○	
23 供試体製作室	○	⑧ 5tfクレーン															※5tfクレーン(②-⑧)は第2構造実験室
		⑨ スライド収納棚	2.76×0.8×2.556	350	1	無	無							-			
		34 供試体		最大10tf	3	無	有										
		35 ハイブレータ		10kg	10	有	有	三相	100	8A			無			○	
		⑩ 写真用レフランプ		5		無	有	単相	100		500W		無			○	
		39 CO2溶接機		100kg	1	無	有	三相	200		29kVA		無				
		40 グラインダ		2	5	無	有	単相	100	8			無			○	
		43 供試体研磨機		180	1	無	無	三相	200		750W		無				
	○	44 ブラインド															
	○	45 換気扇															
	○	入退室管理システム (第一構造実験室と共用)				二式											
26 第1コンクリート 実験室	○	金型用特殊クレーン	3.05×1.65×3.3		1												
	○	トラバースリフト(バット リー上昇式)	0.9×1.5×2.0		1												
	○	1 コンクリートミキサー(大)	3×3×1	1300	1	無	有	三相	220	30(容量)	7		無			○	
	○	2 コンクリートミキサー(小)	2×2×1	650	1	無	有	三相	220	15(容量)	3		無			○	

エリア(室名)	設備・備品														備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h		給水・排水・ガスの有無 給排水	同時使用率 %	機器設置予定年度
26		3	200kN耐圧試験機	2×2×2	2000	1	無	有	三相	220	20(容量)	4		無	250		○	
		4	環境槽(大)	4×4×2	4200	1	無	有	三相	220	30(容量)	7	第3種	無	1000	○	○	
		5	鉄筋棚	6×2×2	2000	1	無	有										
		6	重量棚	6×2×2	2000	1	無	有										
				3×4×4(占有面積)	4500													
		7	2MN耐圧試験機	1.5×1.5×0.9(掘込み)	3600(載荷フレーム、掘込み部)	1	有	無	三相	220	50(容量)	10	第3種	無	350		○	
		8	供試体端面仕上げ機	0.9×0.6×1.4	180	1	無	有	三相	220		0.75		無			○	
		9	モルタルミキサー	0.5×0.5×1	60	1	無	有	三相	220		0.3		無			○	
		10	ハイブレータ		10	4		有	単相	100		8		無			○	
		11	台秤	0.5×0.6×1	20	4		有	単相	100		5		無			○	
		12	集塵機	0.9×1.6×0.75	5	2		有	単相	100		11		無			○	
		13	作業台	1.8×1.2×0.8		2		有										
		14	工具キャビネット	1.3×0.55×1.2		2		有										
		15	流し台			1												
		16	換気扇															
		○		入室管理システム			1式											
	○		放送設備			1式												
	○		3方向クレーン	21×21×10 m		1												

エリア(室名)	設備・備品														備考		
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h		給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %
27 第2コンクリート実験室	○	1 環境槽(小)	3×2×2	9600(供試体込み)	1	無	有	三相	220	30(容量)	7		無	700	○	○	
		2 凍結融解装置	3×2×2	2000(供試体込み)	1	無	有	三相	220	30(容量)	7		無	1000	○	○	
		3 中性化装置	3×2×2	9600(供試体込み)	1	無	有	三相	220	30(容量)	10kW		無	1500	○	○	
		4 塩水浸漬乾燥試験機	3×2×2	1500(供試体込み)	1	無	有	三相	220	30(容量)	7		無	1000	○	○	
		5 乾燥炉	2×2×2	1000(供試体込み)	1	無	有	三相	220	15(容量)			無	1500		○	
		6 電気ドリル		2.1	4			単相	100	4.2			無			○	
		7 台秤	0.5×0.6×1	20	2		有	単相	100	5			無			○	
		8 ティスクグラインダ		1.7	2			単相	100	7.9			無			○	
		9 作業台	1.8×1.2×0.8		1		有										
		10 工具キャビネット	1.3×0.55×1.2		1		有										
		11 流し台			1												
		12 ブラインド															
		13 換気扇															
		3 方向クレーン	21×21×10 m		1												
	○	入退室管理システム		1式													
28 コンクリート恒温温室	○	1 コンクリート製水槽	図面参照	58000(水槽+水+供試体)	1										○	注1	コンクリート製水槽への注水(32φ)、排水は排水溝へ
		2 重量棚	6×2×2	2000	1												
		3 モルタルミキサー	0.5×0.5×1	60	1	無	有	三相	220		0.3		無			○	
		4 集塵機	0.4×0.4×0.5	5	2		有	単相	100	11			無			○	
		5 台秤	0.5×0.6×1	20	4		有	単相	100	5			無			○	
		6 作業台	1.8×1.2×0.8		1		有										
	○	7 流し台			1												
	○	8 ブラインド															
	○	9 換気扇															

エリア(室名)	設備・備品													備考					
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排水ガ	同時使用率 %	機器設置予定年度	
29 コンクリート分 析室	1	電子顕微鏡	2×2×2	100	1	無	有	三相	220	30	7	接地抵抗 100Ω以下	無	250	○	○	注1	循環冷却水、20φ	
	2	電子顕微鏡用PC			1	無	有	単相	100	最大 5.5A	最大 0.285	第3種	無	最大 171.96		○			
	3	微小硬度計	0.4×0.5×0.5	50	2	無	有	単相	100		0.05	第3種	無	250		○			
	4	ストーンテーパー	7.2×0.6×0.8	500	3	無	無												
	5	電子天秤		10	4	有	有	単相	100		0.01		無			○			
	6	集塵機	0.4×0.4×0.5	5	2	有	有	単相	100	11			無			○			
	7	ステンレス流し台	1.2×0.55×0.8		1											給 × 2			
	8	実験台	1.8×0.75×0.8	105	1														
	9	薬品棚	1.8×0.4×1.8	125	1														
	10	流し台			1														
	11	ブランド																	
	12	換気扇																	
30 コンクリート用 骨材ピット				27000			有												
31 風洞実験室 A～D	1	風洞(1)(31A, 31B)	24×4.2×3.2	32000	1	有	有	三相	440		120	C	無	64500	○	100		風洞(1)の送風機部 には、2.2w4L0.8D(m) のコンクリート基礎が 必要。その周りは縁切 りする。	
	2	風洞付属装置(1) (31A)	一式	400	一 式		有	三相	220		1.2KW	C	無	1032		80			
	3	風洞(2)(31A)	13.2×1.4×2.8	8000	1	有	有	三相	220		25		無	12900		50			
	4	送風機(1)(31A)	1.6×1×2.5	1000	1		有	三相	200	40			無			50			
	5	インバーター(31B)			1		有	三相	220	64	22		無			50			
	6	風洞付属装置(2) (31A)	一式	150	一 式		有	三相	220	3.5			無			50			
	7	加振装置(31A)	0.8×0.8×0.8	100	1		有	単相 三相	220/2 20	0.6/2. 4			無			50		風洞(1)の下の床は アンカーを打つため、 厚さ250cm程度必要	
	8	送風機(2)(31A)	0.3×0.3×0.3	5	1		有	単相	100	4	0.36KW		無			50			
	9	コンプレッサー(31A)	0.7×0.4×0.8	50	1		有	単相	100		0.75KW		無			80			
	10	ボール盤(31C)	0.3×0.7×1	30	1		有	単相	100		0.2KW		無			20			
	11	電動カッター(31C)	0.3×0.7×1	15	1		有	三相	200	8.5	2.2KW		無			20			

エリア(室名)	設備・備品														備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h		給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %	機器設置予定年度	
31 A～D	○	12	ブラインド(31D)															風洞(2)の下の床ある程度 の厚みが必要	
		13	計測機器(31A～D)		30			単相	100	5			無				80		
		14	パソコン(31A, 31B)		4			単相	100	5			無	120			100		
		15	プリンタ(31A, 31B)		2			単相	100	8			無	180			100		
	○	16	流し台(31A, 31C)		1										○				
	○	17	走行クレーン(31A, 31B)		1			三相	200									風洞関係(No1～6)と 計測機器、パソコン等 のアースは別にする 必要あり	
	○	18	電動スクリーン(31D)		1														
		19	温度成層装置(31A)	1.5×2×1.2	1000	1		三相	220		80KW		無	68800			50	現在 申請 中	
	○	20	給湯(31A, 31C)		2										○				
	○	21	換気扇																
	32 構造計測室		⑨	スライド収納棚	2.76×0.8×2.556	350	3	無											
			36	机	1.5×0.8×0.7		5	無											
			⑥	PC DESKPRO EP SERIES 6450/10		2	無	無	単相	100-120/2 20-240	最大 5.5A	最大 0.285	第3種	有	最大 171.96			○	
			⑦	PCモニタ		2	無	無	単相	100/2 40	2.8Ap	160W		有				○	
			⑭	カラーレーザープリンタ		50kg	1	無	無	単相	100	1300W 以下		無				○	
			⑮	ポット		3kg	1	無	有	単相	100	1000W		無				○	
			38	冷蔵庫		1	無	無	単相					無				○	
			37	UPS		60kg	1	無	無	単相	100	330V A	第3種	無	2700kJ			○	
○		38	パーティション																
○		39	流し台		1														
○	40	換気扇																	



エリア(室名)	設備・備品											備考						
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA		アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %	機器設置予定年度
33 構造解析室	⑨	スライド収納棚	2.76×0.8×2.556	350	2	無	無							—				
		36机	1.5×0.8×0.7		13	無	無							—				
		⑥ PC DESKPRO EP SERIES 6450/10			13	無	無	単相	100-120/2 20-240	最大 5.5A	最大 0.285	第3種	有	最大 171.96			○	
		⑦ PCモニタ			13	無	無	単相	100/2 40	2.8A <sub>p</sub>	160W		有				○	
		⑭ カラーレーザープリンタ		50kg	1	無	無	単相	100		1300W 以下		無				○	
		⑮ ポット		3kg	1	無	有	単相	100		1000W		無				○	
		38 冷蔵庫			1	無	無	単相					無				○	
		37 UPS		60kg	1	無	無	単相	100		330V		無	2700kJ			○	
		44 電動スクリーン		9kg	1	無	無	単相	100									
		○ 可動パーティション																
		○ 10流し台			1													
		○ 11ブラインド																
	○ 12換気扇																	
35A 乱流水路実験 長水路実験室 (39室と一体利 用)		1 ⑤風洞開水路実験装置	19.6×0.9×3	7500	1			三相	200	24	9.5	三種	無	2500	○	○	20	
		2 ⑥多目的風洞実験装置	12×1.2×3.5	4500	1			三相	200	41.7	16.5	三種	無	4300	○	○	50	
		3 ⑦流砂水路実験装置	14×0.7×2.5	約4000	1			三相	200	33	13	三種	無	3400	○	○	50	
		4 ⑧広幅河川実験装置	11.3×1.2×1.5	約4000	1			三相	200	90	33	三種	無	8600	○	○	40	
		5 ⑨レーザー流速計装置 (コントロール室)	4.6×2.3×3.1	約1000	1			単相	100	40		三種	有	2100	○	○	100	
		6 ⑩レーザー流速計装置 (コントロール室)	4.6×2.3×3.1	約1000	1			単相	100	40		三種	有	2100	○	○	100	
		7 工作機器			5			単相	100	20		三種	無	1000			10	
		8 ステンレス流し台			2			単相	100			三種	無		○	○	30	
		9 LANコネクタ	⑨⑩の引込み線		1			単相	100			三種	有				100	
		10 電気温水器 1m3程度	60度の熱湯		1				200								30	
		11 暗幕(全ての窓)			10												50	
		12 ブラインド(全ての窓)			10												50	
		13 流量制御パソコン			4			単相	100			三種	有				100	
		14 大型換気扇とダクト			2			単相	100			三種	無				20	
		15 ドラフトチャンバー			2													
		16 照明機器 高度空調機			適 2													

構造系

水工系

エリア(室名)		設備・備品													備考		
No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排ガ		同時使用率 %	機器設置予定年度
39 環境推理実験室(35A室と一体利用)	1	①風洞実験装置	9.8×0.98×2	約500	1		三相	200	16.5	6.5	三種	無	1700		20		
	2	②可視化開水路実験	11.7×1.5×2	3000	1		三相	200	45	16	三種	無	4200	○	50		
	3	③急勾配開水路実験	11.3×1.6×3.5	3200	1		三相	200	16.5	6.5	三種	無	1700	○	50		
	4	④レーザー流速計装置(コントロール室)	4.6×2.3×3.1	約1000	1		単相	100	40		三種	有	2100	○	100		
	5	工作機器			5		単相	100	20		三種	無			10		
	6	ステンレス流し台			2							無		○	30		
	7	電話器・ベル付き			2		単相	100			三種	有			100		
	8	LANコネクタ	④の引込み線	IT端末	1		単相	100			三種	有			100		
	9	電気温水器1m3程度	60度の熱湯		1			200							30		
	10	暗幕(全ての窓)			2											50	
	11	流量制御パソコン			4		単相	100			三種	有			100		
	12	大型換気扇			1		単相	100			三種	無			20		
	13	ブラインド(全ての窓)			2											50	
35B 実験準備室		高度空調機			1												
	1	PC		5	2		単相	100	10		三種	有	120(1台)		80		
	2	PSプリンタ		10	1		単相	100	15		三種	有	120(1台)		80		
	3	PCモニタ		8	2		単相	100	10		三種	有	150(1台)		80		
	4	OAデスク			1												
	5	OAチェア			2												
	6	工作台			2												
	7	ラック			3												
	8	ハブ			1		単相	100	5		三種	有	10(1台)		80		
	9	流し台			1												
	10	電気ポット			1		単相	100	5			無	10(1台)		10		
	11	工作機器			4		単相	100	40		三種	無	200(1台)		20		
	12	アルゴンレーザ			1		三相	200	60		三種	無	1000				
13	ブラインド																

エリア(室名)	設備・備品														備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器 熱量 kcal/h		給水・排 水・ガス の有無 給排ガ	同時 使用 率 %	機器 設置 予定 年度
35B	○	14換気扇																
	○	電気給湯器(共通)	0.53×0.205×0.68 5		1													
35C データ解析室		暗幕			1													
		1 超並列計算機		200	1		三相	200	100			三種 (接地 極付)		4000		80	H20 年度	
		2 数値可視化システム		100	1		単相	100	150			三種 (接地 極付)		2000		80	H20 年度	
		3 PCクラスタ		150	1		単相	100	200			三種 (接地 極付)		3000		95	H20 年度	
		4 PC		5	20		単相	100	100			三種 (接地 極付)		120 (1台)		100		
		5 レーザープリンタ		10	2		単相	100	30			三種 (接地 極付)		150 (1台)		95	H20 年度	
		6 PSプリンタ		5	2		単相	100	30			三種 (接地 極付)		100 (1台)		50		
		7 PCモニタ		7	20		単相	100	20			三種 (接地 極付)		150 (1台)		100		
		8 大型モニタ		20	1		単相	100	10			三種 (接地 極付)		150 (1台)		20	H20 年度	
		9 OAデスク			14													
		10 OAチェア			20													
		11 ラック			4													
		12 電話台			2													
		13 ハブ			3													
		14 流し台			1													
	○	15 電気ポット			1		単相	100	1			三種	有	50(1)		100		
		16 冷蔵庫			20		単相	100	10			三種	無	100(1 台)		10		
		17 PC周辺機器			20		単相	100	5			三種	無	100(1 台)		100		
		18 TV受信機			10		単相	100	10			三種	有	10(1)		80		
○	19 パーティション			100	6													

エリア(室名)	本件事業により事業者が調達するもの	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %	機器設置予定年度	備考		
																				機器設置予定年度	
35C	○	20	入退室管理システム			1															
		21	ブラインド																		
		22	換気扇																		
			電気給湯器(共通)	0.53×0.205×0.68	5	1															
			暗幕			3															
		36・流域土砂動態研究実験長水路実験室・	○	1	高水槽揚水ポンプ			1	無		三相	200	90	33	三種	無	8600	○	100		
				2	管路非線形動力学実験装置	10×2×2	300	1	無		三相	200	45	16	三種	無	4200	○	50		
				3	河床・河道変動実験装置(1)	15×2×1.5	5000	1	有		三相	200	24	9.5	三種	無	2500	○	50		
				4	アメニティ水理学実験装置	2×2×1	200	1	無		三相	200	33	13	三種	無	3360	○	50		
				5	回転水槽実験装置	2×2×2.5	500	1	無		三相	200	21	7.3	三種	無	1880	○	50		
				6	密度流実験装置	5×0.5×1	200	1	無		三相	200	21	7.3	三種	無	1880	○	50		
				7	給湯設備			1	無								無		○		
		38	○	8	流し台			2	無												
				9	天井クレーン	35×10×4		1	無		三相	200			3.4	三種	無	3000			
				10	計測機器			5	無		単相	100	10			三種	無	250		60	
11	パソコン					5	無		単相	100	5			三種	無	250		60			
12	可視化用照明(天井コンセント)					5	無		単相	100	10			三種	無	250		60			
13	シャッター			W3.2×H4		1	無								無			10			
14	丸ノコ盤			L2×W2	100	1	無		三相	200	30	12	三種	無	3000		10				
15	換気扇																				
37・動的相互作用実験用長水路実験室・	○		給水用高水槽(揚水ポンプ付)	3×3×1 床から4.5m		1															
			移動式回廊	3×1×2.5		1															
			電気子エーンブロック	55.0×7.0×1.0~		1															
		1	多目的水理地盤実験装置	30×2.5×2.8	40000	1	有		三相	200	98.4			三種	無	9210	○	100			
		2	同時加減圧可能振動流発生装置	4.3×2.7×2.5	3000	1	有		三相	200	28.2			三種	無	2530	○	100			
		3	造波水槽	50×1.2×2.8	20000	1	有		三相	200	100			三種	無	8950	○	50			
		4	耐圧型振動流装置	5.4×0.8×2.8	3000	1	有		三相	200	33			三種	無	3360	○	50			
40A 非線形波動水理実験室A	○	5	シートロー漂砂発生装置	12.4×1.6×1.8	2000	1	有		三相	200	21		三種	無	1880	○	60				
		6	揚水ポンプ	1.2×0.7×0.8		1	無		三相	200		0.4	三種	無	344		5				
		7	給湯器			1	無							三種	無		○	5			

エリア(室名)	設備・備品														備考		
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース 種別	停電 対策	機器 熱量 kcal/h		給水・排 水・ガス の有無	同時 使用 率 %
37・ 40A	○	8 流し台(SK6)	0.8×0.5×0.25		1	無	無	三相	200		3.4	三種	無	3000	○		
		9 天井クレーン	50×6×5	160	1	無	無	三相	200			三種	無			5	
		10 パソコン			5	有	有	単相	100	4		三種	無	120		100	
		11 照明機器	0.2×0.2×1	2.7	3	有	有	単相	100	5		三種	無	430		10	
		12 測定機器		1.5	3	有	有	単相	100	2		三種	無	170		30	
	○	13 プラインド															
	○	14 換気扇(シャッター付)															
		1 パソコン			8	有	有	単相	100	5		三種	有	250		100	
		2 プリンタ			2	有	有	単相	100	10		三種	無	250		100	
		3 電気ポット			2	無	無	単相	100	5		三種	無	250		100	
		4 冷蔵庫			1	有	有	単相	100	10		三種	無	1000		100	
	○	5 流し台			2	無	無								○		
		6 電話			1	無	無										
		7 ファックス			1	無	無										
○	8 換気扇																
40B 非線形波動水 理実験室B	○	1 パソコン			9	無	無	単相	100	5		三種	無	120		100	
		2 プリンタ			4	無	無	単相	100	7		三種	無	150		100	
	○	3 流し台(SK6)			1										○		
		4 机	0.8×1.6×0.7		22												
		5 作業台	2.7×1.2×0.7		1												
		6 収納棚(3連結)	0.45×2.7×2.2		9												
	○	7 換気扇(シャッター付)															
○	8 プラインド			7													
40C 非線形波動水 理実験室C		1 パソコン			8	無	無	単相	100	5		三種	無	120		100	
		2 プリンタ			4	無	無	単相	100	7		三種	無	150		100	
		3 机	0.8×1.6×0.7		12												
		4 作業台	2.7×1.2×0.7		1												
		5 収納棚(3連結)	0.45×2.7×2.2		3												
		6 並列計算機(16台)			900	2		単相	100	UPS 接続		三種	有	8000		100	
		7 サーバラック	1.0×1.8×2.0		300	2											
	○	8 無停電電源 1400W			16			単相	100		1.4	三種	無	100		100	
○	7 換気扇(シャッター付)																
	8 プラインド			3													

エリア(室名)	設備・備品													備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %	機器設置予定年度
41A 大気・水観測・測器調整室A	1	パソコン	0.6×0.7×0.6	20	4	無	無	単相	100	120W			無	120		100		
	2	作業台	0.75×1.8×0.7		4	無	無											
	3	作業台	0.75×1.5×0.7		1	無	無											
	4	測器収納棚	0.5×1.8×1.8		2	無	無											
	5	UPS	0.6×0.25×0.25	20	1	無	無	単相	100		3			200		100		
	6	レーザー流速計	1×1×1	50	1	無	無	三相	200	60				0		100		
	7	レーザー流速計用空冷装置	1×1×1	50	1	無	無	単相	200	40				4000 J/S		100		
	8	プリンタ	0.75×0.6×0.6	60	1	無	無	単相	100	1200				無	520		100	
	9	ゾンデ受信機	0.6×0.7×0.6	20	1	無	無	単相	100	120w				無	120		100	
	10	電気ポット	0.2×0.2×0.3	3	1	無	無	単相	100	985w				無	200		100	
	11	流し台	0.6×0.12×0.75	1	1	無	無									○		
	12	換気扇																
○	ブラインド	1.2×1.5		1														
○	ブラインド	2×2		1														
○	白板	1.5×0.2×1		1														
○	ガス湯沸器			1														
41B 大気・水観測・測器調整室B	1	大型測器洗浄用スベース	1.8×1.8×0.05												○			
	2	流し台	0.6×1.5×0.75	1	1	無	無								○			
	3	作業台	0.8×1.6×0.7	8	8	無	無											
	4	測器収納棚	0.5×1.8×1.8		5	無	無											
	5	ノートPC	0.25×0.3×0.25	2	8	無	無	単相	100		120W			無	120		100	
	6	乾燥機	0.6×0.6×0.8	40	1	無	無	単相	100	6.5A				無	240		100	
	7	換気扇																
	8	白板	1.5×0.2×1		1													
42 地球流体マルチプロセッシング室	1	パソコン	0.6×0.7×0.6	20	32	無	無	単相	100		120W		無	120		100		
	2	プリンタ	0.75×0.6×0.6	60	1	無	無	単相	100		1200W		無	520		100		
	3	A1プリンタ	0.8×1.5×1	60	1	無	無	単相	100		50W		無			100		
	4	デジタルイザ-	0.5×1.5×1.8	25	2	無	無	単相	100		20VA		無			10		
	5	衛星画像受信機	0.6×0.7×0.6	20	1	無	無	単相	100		120W		無	120		100		
	6	PCテーブル	0.7×1.8×0.7		16	無	無											
	7	椅子	0.5×0.6×0.7		32	無	無											
	8	作業台	0.9×1.8×0.7		4	無	無											

エリア(室名)	設備・備品													備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %	機器設置予定年度
42 水工系		9	キヤビネット	0.5×1.8×1.8		5	無	無										
		10	キヤビネット	0.5×1.8×1		3	無	無										
		11	流し台	0.4×1.3×0.75		1	無	無							○			
		12	衛生画像受信機台	0.6×1×0.7		1	無	無										
		13	プリンタ台	0.8×1.8×0.7		1	無	無										
		14	UPS	0.6×0.25×0.25	20	1	無	無	単相	100	3				200		100	
		15	換気扇															
				ステンレス流し台	1.2×0.55×0.8	1												
				ブラインド	1.8×1.5	1												
				ガス湯沸器		1												
	43 地盤基礎実験室(恒温・恒湿制御部)		1	軟石クリープ試験機		1	無	無	三相	200	30	10.4	D	無	447		50	
				データロガー		1	無	無	単相	100	5	0.5	D	無	86		50	
				スイッチボックス		1	無	無	単相	100	0.23	0.023	D	無	4		50	
				計測制御用パソコン		1	無	無	単相	100	3	0.3	D	無	129		50	
				CRTモニター		1	無	無	単相	100	1.3	0.13	D	無	22		50	
			MODドライブ		1	無	無	単相	100	1	0.1	D	無	17		50		
		2	軟岩三軸試験機		1	無	無	三相	200	30	10.4	D	無	447		50		
			データロガー		1	無	無	単相	100	5	0.5	D	無	86		50		
			スイッチボックス		1	無	無	単相	100	0.23	0.023	D	無	4		50		
			計測制御用パソコン		1	無	無	単相	100	3	0.3	D	無	129		50		
			CRTモニター		1	無	無	単相	100	1.3	0.13	D	無	22		50		
			MODドライブ		1	無	無	単相	100	1	0.1	D	無	17		50		
		3	岩石一面せん断試験コントローラ		1	無	無	無	無	—	—	—				50		
			油圧コンプレッサー		2	無	無	無	単相	100	15	1.5	D	無	258		50	
			データロガー		2	無	無	三相	200	30	10.4	D	無	0(水冷)	○	50		
			スイッチボックス		1	無	無	単相	100	5	0.5	D	無	86		50		
			計測制御用パソコン		1	無	無	単相	100	0.23	0.023	D	無	4		50		
			CRTモニター		1	無	無	単相	100	3	0.3	D	無	129		50		
			MODドライブ		1	無	無	単相	100	1.3	0.13	D	無	22		50		
地盤系			4	圧密試験機		1	無	無	単相	100	1	0.1	D	無	17		50	
			データロガー		1	無	無	単相	100	10	1	D	無	172		50		
			スイッチボックス		1	無	無	単相	100	5	0.5	D	無	86		50		
			計測制御用パソコン		1	無	無	単相	100	0.23	0.023	D	無	4		50		
			CRTモニター		1	無	無	単相	100	3	0.3	D	無	129		50		
			MODドライブ		1	無	無	単相	100	1.3	0.13	D	無	22		50		
			圧密試験機		1	無	無	単相	100	1	0.1	D	無	17		50		
			データロガー		1	無	無	単相	100	10	1	D	無	172		50		
			スイッチボックス		1	無	無	単相	100	5	0.5	D	無	86		50		
			計測制御用パソコン		1	無	無	単相	100	0.23	0.023	D	無	4		50		
		CRTモニター		1	無	無	単相	100	3	0.3	D	無	129		50			
		MODドライブ		1	無	無	単相	100	1.3	0.13	D	無	22		50			

※機器の重量については、いづれも標準荷重を上回る重量物はないため記載を省略している。

エリア(室名)	設備・備品														備考		
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h		給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %
43 地盤系	5	三軸試験機			2	無	無	単相	100	10	1	D	無	344		50	
		軸荷制御システム			2	無	無	単相	100	5	0.5	D	無	172		50	
		空圧制御システム			20	無	無	単相	100	0.1	0.01	D	無	34		50	
		動ひずみ計			2	無	無	単相	100	3	0.3	D	無	258		50	
		計測制御用パソコン			2	無	無	単相	100	1.3	0.13	D	無	44		50	
		CRTモニター			2	無	無	単相	100	1	0.1	D	無	34		50	
		MODドライブ			1	無	無									50	
	6	中空ねじり試験機			1	無	無	単相	100	10	1	D	無	172		50	
		軸荷制御システム			1	無	無	単相	100	10	1	D	無	172		50	
		ねじり載荷制御システム			1	無	無	単相	100	5	0.5	D	無	86		50	
		空圧制御システム			12	無	無	単相	100	0.1	0.01	D	無	21		50	
		動ひずみ計			1	無	無	単相	100	3	0.3	D	無	129		50	
		計測制御用パソコン			1	無	無	単相	100	1.3	0.13	D	無	22		50	
		CRTモニター			1	無	無	単相	100	1	0.1	D	無	17		50	
		MODドライブ			1	無	無	単相	100	1	0.1		無	43		50	
		ライト			2	無	無	単相	100	0.1	0.01	D	無	1		10	
	7	電子天秤			1	無	無	単相	100	15	1.5	D	無	26		5	
8	大型掃除機			1	無	無	単相	100	9.5	0.95	D	無	41		5		
9	電子レンジ			3	無	無	単相	100	8	0.8	D	無	41		2		
10	写真用ライト			4	無	無	単相	100	0.4	0.04		無	97		70		
11	作業台(卓上蛍光灯付)			2													
12	保管庫			2													
13	ステンレス流し台	BSM2-186L		2										○			
14	ステンレス流し台	BSF1-106		2										○			
15	電話																
16	ブラインド																
17	換気扇																
44 地盤基礎実験室(恒温制御部)	1	締め固め試験機			1	無	無	三相	200	30	10.4	D	無	268		30	
		データーロガー			1	無	無	単相	100	5	0.5	D	無	52		30	
		スイッチボックス			1	無	無	単相	100	0.23	0.023	D	無	2		30	
		計測制御用パソコン			1	無	無	単相	100	3	0.3	D	無	77		30	

※



エリア(室名)	設備・備品													備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %
44		CRTモニター			1	無	無	単相	100	1.3	0.13	D	無	13		30	
		MODドライブ			1	無	無	単相	100	1	0.1	D	無	10		30	
		2 透水試験機			2	無	無									30	
		動ひずみ計			8	無	無	単相	100	0.1	0.01	D	無	8		30	
		計測制御用パソコン			2	無	無	単相	100	3	0.3	D	無	155		30	
		CRTモニター			2	無	無	単相	100	1.3	0.13	D	無	27		30	
		MODドライブ			2	無	無	単相	100	1	0.1	D	無	21		30	
		3 一面せん断試験機			4	無	無	三相	200	30	10.4	D	無	1073		30	
		動ひずみ計			16	無	無	単相	100	0.1	0.01	D	無	17		30	
		計測制御用パソコン			4	無	無	単相	100	3	0.3	D	無	310		30	
		CRTモニター			4	無	無	単相	100	1.3	0.03	D	無	54		30	
		MODドライブ			4	無	無	単相	100	1	0.1	D	無	41		30	
		4 一軸圧縮試験機			3	無	無	三相	200	30	10.4	D	無	805		30	
	動ひずみ計			12	無	無	単相	100	0.1	0.01	D	無	12		30		
	計測制御用パソコン			3	無	無	単相	100	3	0.3	D	無	232		30		
	CRTモニター			3	無	無	単相	100	1.3	0.13	D	無	40		30		
	MODドライブ			3	無	無	単相	100	1	0.13	D	無	31		30		
	5 土槽			2	無	無	単相	100	10	1.0	D	無	34		5		
	6 供試体作製機			4	無	無	三相	200	30	10/4	D	無	716		5		
	7 蒸留水作製装置			1	無	無	単相	100	15	1.5	D	無	903		70		
	8 電子天秤			2	無	無	単相	100	0.1	0.01	D	無	1		10		
	9 大型掃除機			1	無	無	単相	100	15	1.5	D	無	26		5		
	10 電子レンジ			1	無	無	単相	100	9.5	0.95	D	無	41		5		
	11 写真撮影用ライト			3	無	無	単相	100	8	0.3	D	無	41		2		
	12 作業台(卓上蛍光灯)			4	無	無	単相	100	0.4	0.04		無	97		70		
	13 ステンレス流し台		BSM2-186L	1													
	○																

地盤系

エリア(室名)	設備・備品													備考					
	本件事業により事業者が調達するもの	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別		停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %	機器設置予定年度
44	○	14	ステンレス流し台	BSFI-106		1										○			
		15	電話																
	○	16	ブラインド																
	○	17	換気扇																
	45 基礎実験計測管理室		1	ラフネス計測試験装置			1	無	無	単相	100	2.5	0.25	D	無	26		30	
				データローガー			1	無	無	単相	100	5	0.5	D	無	52		30	
				計測制御用パソコン			1	無	無	単相	100	3	0.3	D	無	77		30	
				CRTモニター			1	無	無	単相	100	1.3	0.13	D	無	13		30	
				MODドライブ			1	無	無	単相	100	1	0.1	D	無	10		30	
			2	データ処理用パソコン			2	無	無	単相	100	3	0.3	D	無	310		60	
				CRTモニター			2	無	無	単相	100	1.3	0.13	D	無	54		60	
				MODドライブ			2	無	無	単相	100	1	0.1	D	無	41		60	
			3	冷凍庫			2	無	無	単相	100	3	0.3	D	無	516		100	
		4	冷蔵庫			1	無	無	単相	100	3	0.3	D	無	258		100		
46 地盤模型実験室		5	乾燥炉			1	無	無	三相	200	30	10.4	D	無	3578		100		
		6	電子天秤			2	無	無	単相	100	0.1	0.01	D	無	1		10		
		7	電子レンジ			1	無	無	単相	100	9.5	0.95	D	無	82		10		
		8	電気ポット			1	無	無	単相	100	8	0.8	D	無	69		10		
		9	作業台(卓上蛍光灯)			3	無	無	単相	100	0.4	0.04		無	27		70		
	○	10	ステンレス流し台	USF2-127		1										○			
		11	電話																
	○	12	ブラインド																
	○	13	換気扇																
		1	シールド模型掘進実験装置	2×2×1.5	500	1	無	有	単相	100	15	1.5	D	無	516		40		
		載荷モータ			1	無	有	三相	200	20	6.8	D	無	2339.2		40			
		データローガー			1	無	有	単相	100	1	0.5	D	無	344		40			
		スイッチボックス			1	無	有	単相	100	0.23	0.023	D	無	15.824		40			
		動ひずみ計			3	無	有	単相	100	0.08	0.008	D	無	16.512		40			

エリア(室名)	設備・備品													備考				
	本件事業により事業者が調達するもの	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別		停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %
46 地盤系			計測制御用パソコン			1	無	有	単相	100	3	0.3	D	無	258		40	
			CRTモニター			1	無	有	単相	100	1.3	0.13	D	無	111.8		40	
			MODドライブ			1	無	有	単相	100	1	0.1	D	無	86		40	
			2 シールド土圧計測実験装置	1×2×1.5	500	1	無	有	単相	100	15	1.5	D	無	516		40	
			データローガー			1	無	有	単相	100	1	0.5	D	無	344		40	
			スイッチボックス			1	無	有	単相	100	0.23	0.023	D	無	15.824		40	
			動はずみ計			3	無	有	単相	100	0.08	0.008	D	無	16.512		40	
			計測制御用パソコン			1	無	有	単相	100	3	0.3	D	無	258		40	
			CRTモニター			1	無	有	単相	100	1.3	0.13	D	無	111.8		40	
			MODドライブ			1	無	有	単相	100	1	0.1	D	無	86		40	
			3 トンネル掘削実験装置	1×2×1.5	500	1	無	有	単相	100	15	1.5	D	無	516		40	
			データローガー			1	無	有	単相	100	1	0.5	D	無	344		40	
			スイッチボックス			1	無	有	単相	100	0.23	0.023	D	無	15.824		40	
			動はずみ計			3	無	有	単相	100	0.08	0.008	D	無	16.512		40	
			計測制御用パソコン			1	無	有	単相	100	3	0.3	D	無	258		40	
			CRTモニター			1	無	有	単相	100	1.3	0.13	D	無	111.8		40	
			MODドライブ			1	無	有	単相	100	1	0.1	D	無	86		40	
			4 三次元トンネル掘削実験装置	1.5×2×1.8	500	1	無	有	単相	100	15	1.5	D	無	516		40	
			データローガー			1	無	有	単相	100	1	0.5	D	無	344		40	
			スイッチボックス			1	無	有	単相	100	0.23	0.023	D	無	15.824		40	
		動はずみ計			3	無	有	単相	100	0.08	0.008	D	無	16.512		40		
		計測制御用パソコン			1	無	有	単相	100	3	0.3	D	無	258		40		
		CRTモニター			1	無	有	単相	100	1.3	0.13	D	無	111.8		40		
		MODドライブ			1	無	有	単相	100	1	0.1	D	無	86		40		
		5 二次元落とし戸実験装置	2×2×1.8	500	1	無	有	単相	100	15	1.5	D	無	516		40		
		データローガー			1	無	有	単相	100	1	0.5	D	無	344		40		
		スイッチボックス			1	無	有	単相	100	0.23	0.023	D	無	15.824		40		
		動はずみ計			3	無	有	単相	100	0.08	0.008	D	無	16.512		40		

エリア(室名)	設備・備品													備考				
	本件事業により事業者が調達するもの	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別		停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %
46 地盤系			計測制御用パソコン			1	無	有	単相	100	3	0.3	D	無	258		40	
			CRTモニター			1	無	有	単相	100	1.3	0.13	D	無	111.8		40	
			MODドライブ			1	無	有	単相	100	1	0.1	D	無	86		40	
			6 三次元落し戸実験装置	2×2×1.8	500	1	無	有	単相	100	15	1.5	D	無	516		40	
			載荷モータ			1	無	有	三相	200	20	6.8	D	無	2339.2		40	
			データローガー			1	無	有	単相	100	1	0.5	D	無	344		40	
			スイッチボックス			1	無	有	単相	100	0.23	0.023	D	無	15.824		40	
			動はずみ計			3	無	有	単相	100	0.08	0.008	D	無	16.512		40	
			計測制御用パソコン			1	無	有	単相	100	3	0.3	D	無	258		40	
			CRTモニター			1	無	有	単相	100	1.3	0.13	D	無	111.8		40	
			MODドライブ			1	無	有	単相	100	1	0.1	D	無	86		40	
			7 杭の水辺載荷実験装置	2×3×1.8	500	1	無	有	単相	100	15	1.5	D	無	516		40	
			データローガー			1	無	有	単相	100	1	0.5	D	無	344		40	
			スイッチボックス			1	無	有	単相	100	0.23	0.023	D	無	15.824		40	
			動はずみ計			3	無	有	単相	100	0.08	0.008	D	無	16.512		40	
			計測制御用パソコン			1	無	有	単相	100	3	0.3	D	無	258		40	
			CRTモニター			1	無	有	単相	100	1.3	0.13	D	無	111.8		40	
			MODドライブ			1	無	有	単相	100	1	0.1	D	無	86		40	
			8 杭の鉛直載荷実験装置	2×3×2	500	1	無	有	単相	100	15	1.5	D	無	516		40	
			載荷モータ			1	無	有	三相	200	20	6.8	D	無	2339.2		40	
		データローガー			1	無	有	単相	100	1	0.5	D	無	344		40		
		スイッチボックス			1	無	有	単相	100	0.23	0.023	D	無	15.824		40		
		動はずみ計			3	無	有	単相	100	0.08	0.008	D	無	16.512		40		
		計測制御用パソコン			1	無	有	単相	100	3	0.3	D	無	258		40		
		CRTモニター			1	無	有	単相	100	1.3	0.13	D	無	111.8		40		
		MODドライブ			1	無	有	単相	100	1	0.1	D	無	86		40		
		9 トンネル内精密写真測量実験装置	3×2×2	100	1	無	有	単相	100	15	1.5	D	無	516		40		
		データローガー			1	無	有	単相	100	1	0.5	D	無	344		40		
		スイッチボックス			1	無	有	単相	100	0.23	0.023	D	無	15.824		40		

エリア(室名)	設備・備品													備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %	機器設置予定年度
46		動はずみ計			3	無	有	単相	100	0.08	0.008	D	無	16,512		40		
		計測制御用パソコン			1	無	有	単相	100	3	0.3	D	無	258		40		
		CRTモニター			1	無	有	単相	100	1.3	0.13	D	無	111.8		40		
		MODタイプ			1	無	有	単相	100	1	0.1	D	無	86		40		
		10 斜面変動精密写真測量実験装置	3×2×2	100	1	無	有	単相	100	15	1.5	D	無	516		40		
		データローガー			1	無	有	単相	100	1	0.5	D	無	344		40		
		スイッチボックス			1	無	有	単相	100	0.23	0.023	D	無	15,824		40		
		動はずみ計			3	無	有	単相	100	0.08	0.008	D	無	16,512		40		
		計測制御用パソコン			1	無	有	単相	100	3	0.3	D	無	258		40		
		CRTモニター			1	無	有	単相	100	1.3	0.13	D	無	111.8		40		
		MODタイプ			1	無	有	単相	100	1	0.1	D	無	86		40		
		11 ドリル	1×1×1.8		1	無	有	単相	100	15	1.5	D	無	1,290		20		
		12 グラインダ	0.5×0.6×1		1	無	有	単相	100	20	2	D	無	1,720		20		
		13 ハンドドリル			1	無	有	単相	100	7	0.7	D	無	602		20		
		14 ハンドドライバ			1	無	有	単相	100	2.2	0.22	D	無			20		
		15 電子天秤ばかり			6	無	有	単相	100	0.1	0.06	D	無	0		20		
		16 蒸留水作成装置	1×1×1.5		1	無	有	単相	100	20	2	D	無	800		100		
		17 洗濯機			1	無	有	単相	100	5	0.5	D	無	430		20		
		18 練り混ぜ機	1×1×1.5		1	無	有	単相	100	5	0.5	D	無	430		20		
		19 大型掃除機			1	無	有	単相	100	20	2	D	無	1,720		20		
		20 電子レンジ			1	無	有	単相	100	7	0.7	D	無	602		20		
		21 大型ばかり			1	無	有	単相	100	0.3	0.03	D	無	25.8		20		
		22 ハイプレーター			1	無	有	単相	100	4.5	0.45	D	無	387		20		
		23 コアカッター	1×1×2		1	無	有	三相	200	30	10.2	D	無	3,508.8		20		
		24 施盤	1.3×0.5×1		1	無	有	三相	200	20	6.8	D	無	2,339.2		20		
		25 切断機	0.5×1×1		1	無	有	三相	200	30	10.2	D	無	3,508.8		20		
		26 乾燥炉			1	無	有	三相	200	20	6.8	D	無	584.8		100		
		27 クレーン			1	無	無	三相	200	19.2	6.55	D	無	5,633		40		
		28 シャッター	2.7×3		1	無	無	三相	200	2	0.68	D	無	584.8		40		
		29 電話			1													
		30 FAX			1													
		31 ステンレス流し台(2槽水切りシンク)	1.8×0.6×0.8		2										○ ○ ○			
		32 ブラインド																
	33 換気扇																	
47 地盤模型実験室(恒温制御部)	1	矢板式透水模型実験装置	2×1.6×1.8	500	1	無	有	単相	100	15	1.5	D	無	516		40		
		載荷モータ			1	無	有	三相	200	20	6.8	D	無	2,339.2		40		
		データローガー			1	無	有	単相	100	1	0.5	D	無	344		40		

エリア(室名)	設備・備品											備考						
	本件事業により事業者が調達するもの	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A		入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %
47 地盤系			スイッチボックス			1	無	有	単相	100	0.23	0.023	D	無	15.824		40	
			動はずみ計			3	無	有	単相	100	0.08	0.008	D	無	16.512		40	
			計測制御用パソコン			1	無	有	単相	100	3	0.3	D	無	258		40	
			CRTモニター			1	無	有	単相	100	1.3	0.13	D	無	111.8		40	
			MODドライブ			1	無	有	単相	100	1	0.1	D	無	86		40	
			2ダム型透水模実験装置	2×1.6×1.8	500	1	無	有	単相	100	15	1.5	D	無	516		40	
			データーロガー			1	無	有	単相	100	1	0.5	D	無	344		40	
			スイッチボックス			1	無	有	単相	100	0.23	0.023	D	無	15.824		40	
			動はずみ計			3	無	有	単相	100	0.08	0.008	D	無	16.512		40	
			計測制御用パソコン			1	無	有	単相	100	3	0.3	D	無	258		40	
			CRTモニター			1	無	有	単相	100	1.3	0.13	D	無	111.8		40	
			MODドライブ			1	無	有	単相	100	1	0.1	D	無	86		40	
			3ダム堤体モデル実験装置	2×2×2.5	1200	1	無	有	単相	100	15	1.5	D	無	516		40	
			載荷モータ			1	無	有	三相	200	20	6.8	D	無	2339.2		40	
			データーロガー			1	無	有	単相	100	1	0.5	D	無	344		40	
			スイッチボックス			1	無	有	単相	100	0.23	0.023	D	無	15.824		40	
			動はずみ計			3	無	有	単相	100	0.08	0.008	D	無	16.512		40	
			計測制御用パソコン			1	無	有	単相	100	3	0.3	D	無	258		40	
			CRTモニター			1	無	有	単相	100	1.3	0.13	D	無	111.8		40	
			MODドライブ			1	無	有	単相	100	1	0.1	D	無	86		40	
			4振動台実験装置	2×1.6×1.5	1200	1	無	有	単相	100	15	1.5	D	無	516		40	
		載荷モータ			1	無	有	三相	200	20	6.8	D	無	2339.2		40		
		データーロガー			1	無	有	単相	100	1	0.5	D	無	344		40		
		スイッチボックス			1	無	有	単相	100	0.23	0.023	D	無	15.824		40		
		動はずみ計			3	無	有	単相	100	0.08	0.008	D	無	16.512		40		
		計測制御用パソコン			1	無	有	単相	100	3	0.3	D	無	258		40		
		CRTモニター			1	無	有	単相	100	1.3	0.13	D	無	111.8		40		
		MODドライブ			1	無	有	単相	100	1	0.1	D	無	86		40		
		5電子天秤ばかり			6	無	有	単相	100	0.1	0.01	D	無	0		20		
		6 蒸留水作製装置			1	無	有	単相	100	20	2	D	無	800		100		
		7 ハンドミキサ			1	無	有	単相	100	7	0.7	D	無	602		20		
		8 練り混ぜ機	1×1×1.5		1	無	有	単相	100	5	0.5	D	無	430		20		
		9 練り混ぜ機(大型)	1×1×1.5		1	無	有	単相	100	7.5	0.75	D	無	645		20		

エリア(室名)	設備・備品													備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発 熱量 kcal/h	給水・排 水・ガス の有無 給排ガ	同時 使用 率 %	機器 設置 予定 年度
47	10	ハンドドリル			1	無	有	単相	100	7	0.7	D		602		20		
	11	グラインダ	0.5×0.6×1		1	無	有	単相	100	20	2	D	無	1720		20		
	12	ハンドドライバ			1	無	有	単相	100	2.2	0.22	D				20		
	13	大型掃除機			1	無	有	単相	100	20	2	D	無	1720		20		
	14	電子レンジ			1	無	有	単相	100	7	0.7	D		602		20		
	15	大型ばかり			1	無	有	単相	100	0.3	0.03	D		25.8		20		
	16	パイプレータ			1	無	有	単相	100	4.5	0.45	D		387		20		
	17	乾燥炉			1	無	有	三相	200	20	6.8	D	無	5848		100		
	18	クレーン			1	無	無	三相	200	19.2	6.55	D	無	5633		40		
	19	電話			1													
	20	FAX			1													
	21	ステンレス流し台(2槽 水切りシンク)	1.8×0.6×0.8		1											○ ○ ○		
	22	ステンレス流し台	1×0.6×0.8		1													
	23	ブラインド																
	24	換気扇																
	48 模型実験計測 管理室	1	解析用パソコン			3	無	有	単相	100	3	0.3	D	無	774		40	
			CRTモニター			3	無	有	単相	100	1.3	0.13	D	無	111.8		40	
			MODドライブ			3	無	有	単相	100	1	0.1	D	無	86		40	
			プリンター			3	無	有	単相	100	9.5	0.95	D	無	2451		40	
		2	電子天秤ばかり			6	無	有	単相	100	0.1	0.01	D		0		40	
		3	電子レンジ			1	無	有	単相	100	7	0.7	D		602		20	
		4	冷蔵庫	2×1×1.8		2	無	有	単相	100	3	0.3	D	無	516		100	
		5	乾燥炉			1	無	有	三相	200	20	6.8	D	無	5848		100	
		6	電気炉			500	1	無	有	三相	200	20	6.8	D	無	5848		40
7		電話																
8		FAX																
49 試料保管室	9	ステンレス流し台(舟 形シンク)	USF2-127		1										○ ○ ○			
	10	ブラインド																
	11	換気扇																
	1	解析用パソコン			2	無	有	単相	100	3	0.3	D	無	774		40		
		CRTモニター			2	無	有	単相	100	1.3	0.13	D	無	111.8		40		
		MODドライブ			2	無	有	単相	100	1	0.1	D	無	86		40		
		プリンター			2	無	有	単相	100	9.5	1.9	D	無	2451		40		
	2	電子天秤ばかり			6	無	有	単相	100	0.1	0.01	D		0		40		
	3	電子レンジ			1	無	有	単相	100	7	0.7	D		602		20		

エリア(室名)	設備・備品													備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %	機器設置予定年度
49	4	大型掃除機			1	無	有	単相	100	20	2	D	無	1720	○	20		
	5	陶器流し台	SK-6		1										○			
	6	換気扇																
			立体電動倉庫	3.54×4H×1.69D(+0.399)		1												
		1	コンプレッサ			2	無	有	三相	200	30	20.4	D	無	17544		100	
		2	旋盤	1.3×0.65×1	180	1	無	有	三相	200	20	6.8	D	無	5848		40	
50 コンプレッサ室	3	帯鋸盤	0.9×0.5×1.3	120	1	無	有	三相	200	30	10.2	D	無	8772		40		
	4	電気溶接機	0.4×0.8×0.8	80	1	無	有	三相	200	75	25.5	D	無	21930		40		
	5	切断機	0.5×1.1×1	30	1	無	有	三相	200	30	10.2	D	無	8772		40		
	6	グラインダ	0.5×0.6×1	30	1	無	有	単相	100	20	2	D	無	1720		40		
	7	ボール盤	0.8×0.6×1.8	80	1	無	有	単相	100	20	2	D	無	1720		40		
	8	ハンドグラインダ					無	有	単相	100	15	1.5	D	無	1290		20	
	9	ハンドドリル					無	有	単相	100	15	1.5	D	無	1290		20	
	10	工具棚	1.6×0.6×2.1		1													
	11	パーツBOX	1×0.4×1.7		1													
	12	ツールBOX	0.7×0.7×1		1													
	13	換気扇																
	51 X線実験室	1	X線発生装置		300	1	無	有	単相	220	35		第3種	無	(注1)	○	100	(注1) 水冷式の冷却装置を有する
		2	X線蛍光増倍管		20	1	無	有	単相	100	20		第3種	無			100	
		3	X線保持装置		100	1	無	有	三相	200	15		第3種	無			100	
4		三軸平面ひずみ試験機			1	無	有	三相	200		0.4kW	第3種	無			30		
5		模型土槽		200	1	無	有	三相	200		0.4kW	第3種	無			70		
6		監視カメラ			1	無	有	単相	100		150VA		無			100		
7		計測用PC			2	無	有	単相	100		100W		無			50		
8		計測アンブ			10	無	有	単相	100		7VA	第3種	無			20		
9		データロガー			2	無	有	単相	100		40VA	第3種	無			50		
10		実験台			1	無	有											
11		油圧コンプレッサ			1	無	有	三相	200		1.5kW					30		
12		真空ポンプ			1	無	有	単相	100		200W					20		
13		流し台			1													
14		ブラインド																



エリア(室名)	設備・備品													備考				
	本件事業により事業者が調達するもの	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別		停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %
52 X線計測準備室		1	X線制御コンソール			1	無	有		100 200	(注1)		第3種	無				
		2	画像処理装置			1	無	有	单相	100		160W	第3種	無			100	
		3	データ処理用WS			2	無	有	单相	100		460W	第3種	無			50	
		4	作業台			1	無	有										
		5	解析用PC			1	無	有	单相	100		300W	第3種	無			50	
		6	プリンタ			1	無	有	单相	100		950W	第3種	無			20	
		7	電子レンジ			1	無	有	单相	100		700W	第3種	無			10	
		8	流し台			1												
		9	ブラインド															
		10	換気扇															
52B コンプレッサー室		1	コンプレッサー	1.59×0.532×1.1		2	無	無	三相	200	30	20.8	D	無	7155		100	
		2	真空ポンプ	0.6×0.45×0.5		1	無	無	单相	100	15	1.5	D	無	516		100	
		3	換気扇															
53 地殻環境模型実験室		1	パーソナルコンピュータ	0.45×0.75×0.5	10	2	無	無	单相	100	6		第3種		120		100	
		2	差動増幅器	0.2×0.055×0.015	3	2	無	無	单相	100	0.9		第3種		100		20	
		3	任意波形発生器	0.2×0.3×0.15	2	1	無	無	单相	100	0.75		第3種		100		20	
		4	プログラマブルデジタルイザ	0.45×0.55×0.15	15	3	無	無	单相	100	2		第3種		200		20	
		5	オシロスコープ	0.35×0.4×0.2	10	2	無	無	单相	100	2		第3種		180		20	
		6	超音波診断装置	0.3×0.6×0.35	10	1	無	無	单相	100	2		第3種		200		20	
		7	地震探査装置(A)	0.35×0.35×0.4	10	1	無	無	—	—	—		—	—	100		20	
		8	地震探査装置(B)	0.5×0.7×0.4	30	1	無	無	—	—	—		—	—	300		20	
		9	土壌浄化実験装置	1.5×2×1	3000	1	有	無	单相 三相	100 200/2 20	22 10		第3種		1100	○	100	H18
		10	比抵抗実験装置	0.5×0.5×0.3	10	1	無	無	单相	100	2		第3種		100		20	
		11	岩盤注入実験装置	0.5×0.7×0.4	30	1	無	無	单相	100	5		第3種		100		20	

地盤系

資源系

エリア(室名)	設備・備品														備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h		給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %	機器設置予定年度
53	○	12 水槽	2×3×1	6000	1	有	無	単相 三相	100 200/2 20	20 10		第3種		1100	○	100	H18	
		13 水槽実験計測機器	0.5×0.5×0.3	30	1	無	無	単相	100	5		第3種		100		20		
		14 電気探査装置	0.2×0.28×0.2	9	2	無	無	単相	—	—		—	—	120		20		
		15 地下レーダー装置	0.3×0.3×0.15	5	1	無	無	単相	—	—		—	—	120		20		
		16 ボアホール試験モデル 実験装置	0.5×0.5×2.5	20	5	無	無	単相	100	5				200				
		17 純水製造装置	1×0.7×1	120	1	無	無		100	20		第3種		500	○	100		
		18 岩盤浸透流実験装置	2×2×1.7	150	1	無	無	単相	100	20		第3種		500	○	20	H18	
	○	19 流し台			2													
	○	20 換気扇																
	○	電気給湯器(GB-3022)	0.53×0.205×0.68 5		2													
		ガス台	0.9×0.75×0.8		1													
	○	採光窓用ブラインド	窓の寸法に適合 したもの		1式													
	○	電動式天井走行ク レーン			29001式													
	54 大深度地下物 性実験室		1 NC-モデルリングマシン	0.6×0.7×0.6	40	1	無	無	単相	110	2		D		60		50	
			2 3軸圧縮試験機油圧 ポンプ	1.2×1.3×1.1	200	1	無	有	三相	220	60		D		5000	○	30	
			3 3軸圧縮試験機	0.7×1×2.5	4000	1	有	有									30	
			4 3軸圧縮試験機コント ローラ	0.6×1.1×1.8	200	1	無	有	単相	110	30		D		800		30	
			5 エアコンプレッサー	0.6×0.35×0.65	50	1	無	無	単相	110	5		D		100		30	
			6 3軸圧縮試験機封圧 載荷装置	0.6×0.3×1.8	300	1	無	有									30	
			7 4軸圧縮試験機封圧コ ントローラ	0.6×0.6×1.7	250	1	無	有	単相	110	30		D		800		60	

エリア(室名)	設備・備品														備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h		給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %	機器設置予定年度
54 資源系	8	一面せん断試験機油圧ポンプ	1.2×0.8×1	200	1	無	有	三相	220	30		D		2500	○	40		
	9	一面せん断試験機コントローラ	0.6×0.6×1.9	150	1	無	有	単相	110	30		D		800		40		
	10	一面せん断試験機	1.4×0.9×2.5	3000	1	無	有									40		
	11	乾燥機	0.6×0.6×0.8	40	1	無	無	単相	110	10		D		500		100		
	12	簡易せん断試験機	1.8×0.8×2	1500	1	無	有	単相	110	5		D		100		40		
	13	孔隙率浸透率測定装置	2×0.8×1.8	300	1	無	有	単相	110	15		D		250		40		
	14	岩盤表面形状測定装置	2.5×0.8×1.3	350	1	無	有	単相	110	10		D		500		30		
	15	岩石試料研削盤	1×1×1.5	250	1	有	有	三相	220	30		D		100	○	20		
	16	ディスクカッター	0.7×1×1	150	1	有	有	三相	220	30		D		100	○	20		
	17	ポーリングマシン	1×1×2	250	1	有	有	三相	220	30		D		100	○	20		
	18	MTS一軸圧縮試験機	1×1×4	2500	1	有	有									30		
	19	MTS一軸圧縮試験機油圧ポンプ	0.8×0.8×0.8	500	1	無	有	三相	220	60		D		5000	○	30		
	20	MTS一軸圧縮試験機コントローラ	0.6×0.7×0.8	100	1	無	有	単相	110	30		D		800		30		
	21	MTS一軸引張り試験機	1×1×3	1500	1	無	有									30		
	22	MTS一軸引張り試験機油圧ポンプ	0.8×0.8×0.8	300	1	無	有	三相	220	40		D		3000	○	30		
	23	MTS一軸引張り試験機コントローラ	0.6×0.7×1.2	100	1	無	有	単相	110	30		D		800		30		
	24	材料試験機	0.7×2.5×2.5	3000	1	有	有	三相	220	30		D		1000		40		
	25	岩盤透水試験装置	2×0.8×1.8	150	1	無	無	単相	110	3		D		100	○	30		
	26	ハンコン			10	無	無	単相	110	8		D		120×10台		100		
	27	プリンター			3	無	無	単相	110	5		D		120×3台		100		
	28	岩盤応力実験装置	2×1×1.5	5000	1	有	有	三相	220	30		D		500		30	H18	
	29	流し台			2													

エリア(室名)	設備・備品													備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース 種別	停電 対策		機器 熱量 kcal/h	給水・排 水・ガス の有無 給排ガ	同時 使用 %
55 岩石鉱物分析 室		1 岩石試料調整装置	0.5×0.7×0.5	200	4	無	無	単相	100	0.1				50	○	20	
		2 偏光顕微鏡	0.3×0.5×0.3	5	3	無	無	単相	220	20		第3種		2000	○	100	
		3 大型恒温乾燥炉	1×0.7×2	150	1	無	無	三相	100	20		第3種		1000	○	100	
		4 中型恒温乾燥炉	0.7×0.7×1	30	3	無	無	単相	100	20		第3種		500	○	20	H18
		5 電子顕微鏡	2×1×1	400	1	無	無	単相	100	20		第3種		500	○	20	H18
		6 X線蛍物組成分析装置	2×1×1	100	1	無	無	単相	100	20		第3種		500	○	20	H18
		7 CT岩石組成分析装置	1.5×1×1	200	1	無	無	単相	100	20		第3種		500	○	20	H20
		8 EPMA 鉱物元素分布分析装置	1.5×1×1	200	1	無	無	三相	100 200 220	20 10		第3種		500	○	20	H20
		9 原子吸光化学組成分析装置	1×1×1	80	1	無	無	単相	100	10				1200		20	H22
		10 高速液体クロマトグラフ	0.6×0.4×1	60	1	無	無	単相	100	10				200		20	H22
		11 試料切断装置	0.6×0.4×0.4	40	1	無	無	単相	100	10				200	○	10	H18
		12 試料研磨装置	0.4×0.4×0.5	60	1	無	無	単相	100	10				100	○	10	H18
		13 試料面蒸着装置	0.4×0.4×0.5	40	1	無	無	単相	100	10				100		10	
		14 純水製造装置	1×0.7×1	120	1	無	無	単相	100	20		第3種		1000	○	100	
		15 ステンレス流し台	0.75×1.8×0.8	35	2	無	無								○		
		16 実験台	0.75×2.4×0.8	140	1	無	無										
		17 実験台	0.75×1.8×0.8	70	1	無	無										
		18 ドラフトチャンバー	0.75×1.8×2.5	1		無	無	単相 三相	100 200/2 20	10 10		第3種		500	○	20	H18
		19 陶器流し台 SK-7			5										○		
	電気給湯器(GB-3022)	0.53×0.205×0.68 5		2													
	ガス台	0.90×0.75×0.80		1													
	遮光カーテン	窓の寸法に適合したもの		1式													
	窓用ブラインド	窓の寸法に適合したもの		1式													

エリア(室名)	設備・備品													備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %	機器設置予定年度
56 地化学環境実験室  資源系	○	1	ドラフトチャンバー	0.75×1.8×2.5	1	無	有	単相 三相	100 200/2 20						○ ○ ○			
		2	定温恒温乾燥機	0.56×0.55×0.82	58	1	無	無	単相	100	12.5	1.25	第3種		630		100	
		3	遠心機	0.4×0.35×0.3	15	1	無	無	単相	100	2		第3種		50		10	
		4	純水製造装置	0.25×0.25×0.4	7	1	無	無	単相	100	0.2		第3種		50	○	100	
		5	自動滴定装置本体	0.385×0.19×0.19 <sub>2</sub>	4	1	無	無	単相	100		0.35	第3種		90		100	
		6	自動ピュレット	0.345×0.12×0.38	6	1	無	無	単相	100		0.03	第3種		10		100	
		7	定電圧直流電源	0.5×0.425×0.147	25	1	無	無	単相	100	20	0.7	第3種		180		100	
		8	定電流直流電源	0.342×0.21×0.15	5	1	無	無	単相	100		0.05	第3種		15		100	
		9	インテリジェントレコーダー	0.334×0.438×0.2 <sub>3</sub>	11	1	無	無	単相	100		0.105	第3種		30		100	
		10	電子天秤	0.315×0.216×0.3 <sub>3</sub>	7	1	無	無	単相	100		0.007	第3種		2		100	
		11	ウォーターバス	0.25×0.22×0.12	2	1	無	無	単相	100	5	500W	第3種		130		10	
		12	攪拌機	0.3×0.38×0.5	5	2	無	無	単相	100	1		第3種		50		10	
		13	定量送液ポンプ	0.15×0.15×0.186	3	2	無	無	単相	100	0.4	0.04	第3種		20		100	
		14	デジタルハイスタ	0.211×0.177×0.0 <sub>82</sub>	1	1	無	無	単相	100		0.05	第3種		15		100	
		15	pHメータ	0.257×0.182×0.0 <sub>6</sub>	1	1	無	無	単相			0.012	第3種		12		100	
		16	マグネチックスターラー	0.155×0.072×0.0 <sub>75</sub>	1	6	無	無	単相		0.3		第3種		50		100	
		17	超音波発生装置	0.45×0.19×0.25	11	1	無	無	単相		6		第3種		80		30	
		18	レーザー回折式粒度分布測定装置	0.62×0.71×0.41	82	1	無	有	単相		2		第3種		50		10	H18
		19	原子吸光分析装置	0.425×0.69×0.37	38	1	無	有	単相	100/2 20		0.3	第3種		80	○ ○ ○	30	H18

エリア(室名)	設備・備品														備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース 種別	停電対策	機器 熱量 kcal/h		給水・排 水・ガス の有無 給排ガ	同時 使用 率 %	機器 設置 予定 年度
56		20	コンプレッサー	0.44×0.58×0.6	40	1	無	無	単相	100		340W	第3種	90		30	H18	
		21	高周波プラズマ発光分光装置	0.677×1.388×0.675	220	1	有	単三			6	第3種		3000	○	30	H18	
		22	ガスクロマトグラフ	0.575×0.42×0.91	40	1	有	単相			1.6	第3種		800	○	30	H18	
		23	実験台(陶器流し台付き)	1.5×3.6×0.8	369	2	有								○		H18	
		24	実験台	0.75×1.5×0.8	70	1	有										H18	
		25	実験台	0.75×2.4×0.8	140	2	有										H18	
		26	両面水切り付流し台	0.75×1.8×0.8	76	1	無								○		H18	
		27	ステンレス流し台	0.75×0.65×0.8	35	1	無								○		H18	
		28	恒温振とう水槽	0.6×0.4×0.556	47	1	無	無	単相		15	第3種		750	○	40	H18	
		29	相挙動実験装置	2×1×2	500	1	無	有	三相		30	第3種		3000		30	H18	
	30	天秤台	0.75×0.9×0.8	94	1												H18	
57 地殻環境解析室		1	パーソナルコンピュータ	0.45×0.75×0.5	10	9	無	無	単相	100	6×9台		第3種	120×9台		70		
		2	パーソナルコンピュータ	0.45×0.75×0.5	10	2	無	無	単相	100	6×2台		第3種	120×2台		70		
		3	ワークステーション	0.7×0.7×0.5	15	2	無	無	単相	100	8.5×2台		第3種	180×2台		70		
		4	レーザープリンタ	0.6×0.6×0.6	5	1	無	無	単相	100	10		第3種	180		70		
		5	カラーレーザープリンタ	0.6×0.6×0.6	10	1	無	無	単相	100	11		第3種	180		70		
		6	A0カラープロック	1.2×0.5×1	5	1	無	無	単相	100	2		第3種	120		30		
		7	集密書架															H18
		8	ブラインド															

エリア(室名)	設備・備品														備考		
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h		給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %
58 地下電磁計測 実験室	1	YAGレーザー	0.57×0.152×0.096	10	1	無	無	単相	200	5	B			900		100	
	2	YAGレーザーコントローラ	0.365×0.365×0.192	15	2	無	無	単相	100		0.215×2台	B		180		100	
	3	レーザードップラー振動計	0.47×0.18×0.135	17	1	無	無	単相	100		0.15	B		100			
	4	レーザードップラー振動計コントローラ	0.45×0.335×0.18	10	2	無	無	単相	100			B		100			
	5	デジタルオシロスコープ	0.5×0.37×0.21	15	1	無	無	単相	100			B		100			
	6	除震台	2×1×0.8	200	1	無	無										H16
	7	XYステージ	0.81×0.63×0.12	15	2	無	無	単相	100		0.1×2台	B		100×2台		100	
	8	磁気特性測定装置	0.76×0.63×1.2	150	1	無	無	単相	100		0.1	D		100		5	
	9	フラックスメータ	0.317×0.217×0.09	3	2	無	無	単相	100		0.02×2台			20×2台		100	
	10	ガウスメータ	0.342×0.361×0.191	9	1	無	無	単相	100	1				100		100	
	11	ロックインアンプ	0.495×0.432×0.133	15	1	無	無	単相	100		0.04			40		100	
	12	直流電圧電流源モニタ	0.49×0.272×0.192	17	1	無	無	単相	100		0.34	D		300		30	
	13	直流電源(10V500A)	1×1×1	150	1	無	無	単相三相	100/220	1/25		D		4000		5	
	14	ハイボラ電源	0.42×0.6×0.017	30	1	無	無	単相	100		0.4	D		300		50	
	15	高速ハイボラ電源	0.538×0.308×0.193	18	1	無	無	単相	100		0.95	D		800		50	
	16	高精度パワーアンプ	0.6×0.43×0.443	93	1	無	無	単相	100	8		D		1300		50	
	17	パーソナルコンピュータ	0.45×0.75×0.5	10	5	無	無	単相	100	6×5台				500×5台		70	
	18	デジタルオシロスコープ	0.22×0.306×0.266	6	1	無	無	単相	100		0.2			150		50	
	19	デジタルレコーダ	0.4×0.4×0.26	15	2	無	無	単相	100		0.25×2台			200×2台		50	
	20	ボール盤	0.3×0.6×1	30	1	無	無	単相	100		0.2	D		150		10	

エリア(室名)	設備・備品													備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース 種別	停電 対策		機器 発熱 量 kcal/h	給水・排 水・ガス の有 無	同時 使用 率 %	機器 設置 予定 年度
58	21	直流電源	0.504×0.426×0.133	17	1	無	無	単相	220	15		D		2500		10		
	22	広帯域電力増幅器	0.43×0.38×0.25	30	1	無	無	単相	100	6		D		500		10		
	23	LFインバータシステム	0.615×0.426×0.235	19	1	無	無	単相	100		0.15	D		100		50		
	24	流し台			1													
	25	ブラインド																
	26	換気扇																
	1	パーソナルコンピュータ	0.45×0.75×0.5	10	5	無	無	単相	100	6×5 台		第3種	無	120×5 台		70		
2	ワークステーション	0.7×0.7×0.5	15	3	無	無	単相	100	8.5× 3台		第3種	無	180×3 台		70			
3	レーザープリンタ	0.6×0.6×0.6	5	1	無	無	単相	100	10		第3種	無	180		70			
4	カラーレーザープリンタ	0.6×0.6×0.6	10	1	無	無	単相	100	11		第3種	無	180		70			
5	3次元可視化スクリーン	5×1×2	20	1	無	有	単相	100 200/2 20	10		第3種	無	200		30	H18		
6	バーチャルリアリティ解析装置	0.7×0.7×0.5	15	2	無	無	単相	100	8.5× 2台		第3種	無	180×2 台		70			
60 対話型行動心理観測実験室	1	電動スクリーン	3.468×2.923	32	1	無	無	単相	100	1.1								
	2	暗幕				無	無											
	3	パソコン		4	22	無	無	単相	100	5.0		第3種	無	120		100		
	4	机	1.8×0.7×0.7		11	無	有											
	5	机	1.2×0.7×0.7		1	無	有											
	6	いす	0.66×0.58×0.985		21	無	有											
	7	液晶プロジェクター	0.35×0.28×0.1	4.5	1	無	有	単相	100	5.0			無	120				
61 運転行動シミュレーション室	1	ドラゴンシミュレータ	1.702×2.204×1.556	1~3計 750	1	無	無	単相	100		4	第3種	無	360		50	H19	
	2	電動モーションシステム	3.75×3.35×2.97		1	無	無	三相	200		14	第3種	無	120		50	H19	
	3	シミュレータ操作卓	0.8×1.2×1.2		1	無	無	単相	100		4	第3種	無	120		50	H19	

資源系

計画系



エリア(室名)	設備・備品													備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排水	同時使用率 %	機器設置予定年度
計画系	○	4 電動スクリーン	3.468×2.923	32	1	無	無	単相	100	1.1								
		5 暗幕			窓数	無	無											
		6 パソコン		4	13	無	無	単相	100	5.0		第3種	無	120		100		
		7 机	1.8×0.7×0.7		7	有	有											
		8 いす	0.66×0.58×0.985		13	無	有											
	○	9 液晶プロジェクター	0.35×0.28×0.1	4.5	1	無	有	単相	100				無	120		50		
	○	10 陶器製流し台	LD600		1										○	○		
			暗幕			窓数												
	○	1 作業台	0.8×1.8×0.8		1	無												
	○	2 作業台	0.9×1.8×0.7		2	無												
空間情報系		3 PCテーブル	0.8×1.8×0.7		2	無												
		4 棚	0.45×0.7×0.8		1	無												
		5 棚	0.4×1.8×1.8		4	無												
	○	6 流し台(SK6)	0.45×0.7×0.8		1	有												
		7 現像機	0.7×1.2×0.755		1	無		単相	100	3.4			無					
		8 写真引伸機	0.74×0.59×1.674		1	無		単相	100	8.3			無					
	○	9 電気湯沸器	0.245×0.253×0.49		1	有		単相	100	10		第3種	無					
	○	10 換気扇			1	有		単相	100				無					
		11 セーフティライト			1	有		単相	100	1			無					
		12 パソコン			2	無		単相	100	5		第3種	無					
○	13 スクープライト	0.46×0.526×0.526		3	無		単相	100	10			無						
○	14 調光器	0.039×0.116×0.12			有		単相											
○	15 遮光カーテン(暗幕)				有													
○	16 ブラインド																	
○	17 暗室作業表示灯			1	有		単相	100	1			無						
63 温湿度環境制御実験室	○	1 流し台	SK-6		2													
		2 作業台	0.72×1.8×0.7		6													
		3 ソーラーシュミレーター	0.9×1.2×1.2		1		単相	200	75			第3種		12900		40		

エリア(室名)	設備・備品													備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %
63		4 スポットクーラー(室内)	0.7×0.87×0.445	70	1			三相	200	3(始動時18)		第3種	-13760			40	
		5 スポットクーラー(室外)	0.38×1.05×1.25	120	1			三相	200	21(始動時100)		第3種	0			40	
		6 パソコン		30	12			単相	100	5×12=60		第3種	5160			80	
		7 レーザープリンタ		100	2			単相	100	10×2=20		第3種	1720			80	
		8 ブランド															
		1 恒温恒温室TBR3	3.65×2.305×2.1	1500	1	有	無	三相	200	60	12	第3種	無	6000	○		
		2 恒温恒温室TBR6	3.65×2.305×4.2	2500	1	有	無	三相	200	120	24	第3種	無	12000	○		
		3 蒸発器	1×1×1.5	500	6	有	無	三相					無		○		
64 温湿度環境制御実験準備室		4 万能試験機AG100	0.9×1.5×2.3	800	1	有	無	三相	200	30	4	第3種	無	3000			
		5 パソコン			3	無	有	単相	100	3			無				
		6 データロガー			3	無	有	単相	100	5			無				
		7 洗面台SK6			1								無		○		
		8 湯沸器			1	無	無	単相	100				無		○		
		9 LANルータ			1	無	無	単相	100				無				
		10 ブランド															
		11 換気扇															
		恒温恒温室(1)	3.79×2.1×3.205		1												
		恒温恒温室(2)	3.79×2.1×3.205		1												
65 人工環境実験制御分析室		1 特殊空調設備①			1		三相	200	100		第3種	無		○		50	
		2 特殊空調設備②			1		三相	200	100		第3種	無		○		50	
		3 流し台	SK-6		1										○		
		4 作業台	0.72×1.8×0.7		3												

エリア(室名)	本件事業により事業者が調達するもの	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %	機器設置予定年度	備考	
																				機器設置予定年度
65		5	データロガー		30	2			単相	100	5×2 =10		第3種		860		50			
		6	パソコン		30	6			単相	100	5×6 =30		第3種		2580		80			
		7	レーザープリンタ		100	1			単相	100	10		第3種		860		80			
		8	ブラインド																	
		○	1	流し台	SK-6		1													
		○	2	データロガー		30	4			単相	100	5×4 =20		第3種		1720		60		
			3	パソコン		30	4			単相	100	5×4 =20		第3種		1720		60		
			4	レーザープリンタ		100	1			単相	100	10		第3種		860		60		
66 外界気象計測 機器室		5	クセノンショートアーク ランプ点灯装置	0.24×0.326×0.58	30	1			単相	200	20		第3種		3440		60			
		6	ブラインド																	
			恒温恒湿室	3.79×4.2×3.305		1														
	66B 小観測室		○	1	流し台		1													
			2	データロガーソラックVI	0.15×0.3×0.1	10	1			単相	100	2		第3種	有	172		100		
			3	パソコン		30	1			単相	100	5		第3種	有	430		100		
			4	UPS		30	2			単相	100	5×2 =10		第3種	有	860		100		
				5	レーザープリンタ		100	1			単相	100	10		第3種	有	860		100	
				6	スカイスキヤナー	0.46×0.4×0.45	30	1			単相	100	2		第3種	有			100	
				7	太陽追尾装置STR01	0.46×0.4×0.45	30	1			単相	100	2		第3種	有			100	
				8	太陽追尾装置STR02A	0.46×0.4×0.45	30	1			単相	100	2		第3種	有			100	
				9	有効放射計MF-11A	0.64×0.22×0.22	10	1			単相	100	1		第3種	有			100	
				10	通風管付温度計MT-020S	φ152mm×420mm	5	1			単相	100	1		第3種	有			100	
			11	露点温度計MH-030F	0.216×0.09×0.07	5	1			単相	100	1		第3種	有			100		
		12	温湿度計MH-011PS	0.19×0.22×0.4	5	1			単相	100	1		第3種	有			100			
		13	回転式日照計MS-093	0.14×0.2×0.28	10	1			単相	100	1		第3種	有			100			
		14	精密全天日射計MS-802	φ160mm×92mm	10	7														

エリア(室名)	設備・備品													備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器 熱量 kcal/h	給水・排 水・ガス の有無	同時 使用 率 %	機器 設置 予定 年度
66B	15	グローバル照度計 ML020S	φ80mm×33mm	5	7													
	16	ブラインド																
	17	換気扇																
66C 日照環境実験 室の設置場所 (将来対応)		1	防水型コンセント盤		1	1	有	単相	100	90		第3種				60		
		1	暗幕設備		1	1	無						無					
		2	陶器製流し台SK6		1	1	有						無		○			
		3	パソコン		1	1	無		100	5			無	120				
		4	スクリーン		1	1	有						無					
		5	ポット		1	1	無		100	8			無					
		6	レーザープリンタ		1	1		単相	100									
		7	プロジェクター		1	1		単相	100									
		8	ビデオカメラ		4	4		単相	100									
		9	ビデオカメラバッテリー 充電器		3	3		単相	100									
		10	ブラインド															
	11	換気扇																
68 景観シュミレー ション制御室		1	パソコン	0.7×0.7×0.7	20	3	無	有	単相	100	6.5	第3種	無	180/(台)		50		
		2	プリンタ	0.5×0.5×0.5	10	1	無	有	単相	100	5	第3種	無	180/(台)		50		
		3	流し台		1	1												
69 行動解析分析 室		1	パソコン		5	5	無	有	100	5×5 =25			無	600 12×5				
		2	陶器製流し台	TOTO LD600	1	1	有						無					
		3	ポット		1	1			100				無					
		4	レーザープリンタ		1	1			100				無					
		5	テレビモニタ		1	1			100				無					
		6	ビデオデッキ		1	1			100				無					

エリア(室名)	設備・備品													備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %	機器設置予定年度
69		7 インクジェットプリンター			1				100				無					
		8 スキャナー			1				100				無					
	○	9 ブラインド																
	○	10 換気扇																
		1 パソコン		0.7×0.7×0.7	20	3	無	有	単相	100/200	6.5		第3種	無	180		50	
		2 パソコン		0.7×0.7×0.7	20	2	無	有	単相	100/200	6.5		第3種	無	180		50	
		3 製図台		1.3×1×1	45	5	無	有										
		4 陶器流し台		1.3×1×1	70	1	無	有								○		
	○	5 コピー		0.55×0.67×0.945	85	1	無	有	三相	100	15		第3種	無			50	
		6 ジアゾコピー		1.3×0.45×0.35	30	1	無	有	単相	100	10		第3種	無			20	
	7 ビデオ機器		0.7×0.4×0.15	10	1	無	有	単相	100	5		第3種	無			50		
○	8 映写機能付ボード		1.58×0.6×2	50	1	無	有									50		
	9 カラープリンタ		0.5×0.5×0.5	10	1	無	有	単相	125	5		第3種	無	180		50		
	10 電気ポット															50		
	11 ブラインド																	
71 生活設備シミュレーション実験室	○	1 高齢者障害者対応昇降式キッチン	0.65×1.5×0.67から0.85(180ストローク)		1	無	無	単相	100	14		2P横アース端子	無		○			
	○	2 和洋折衷バス	0.75×1.15×0.6		1	有	無						無		○			
		3 パソコン			1	無	有		100	5			無	120				
	○	4 ガス湯沸し器																
		5 シャワー			1	有	無								○			
		6 ビデオカメラ			2	無	有	単相	100									
		7 ポット			1	無	有	単相	100									

エリア(室名)	設備・備品														備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h		給水・排水・ガスの有無 給排水	同時使用率 %	機器設置予定年度	
71 生活環境系		8ビデオカメラバッテリー充電器			1	無	有	単相	100										
		9テレビモニター			1	無	有	単相	100										
		10ビデオデッキ			1	無	有	単相	100										
	○	11耐水性ブラインド																	
	○	12浴室鏡			1														
	○	13浴室棚			1														
	○	14シャワー																	
	○	15浴室フロアマット(3/4坪用)			2														
	○	16浴室フロアマット(300幅)			1														
	○	17浴室フロアマット(100幅)			2														
	72・冷蔵保管室・ 73 冷凍保管室 環境系	○	1 低温室(4℃)	室寸法にあわせて設計					三相	200	約5			有		給排水			
		○	2 低温室(-20℃)	室寸法にあわせて設計					三相	200	約15			有					
			3 防湿蛍光灯			4	有	無	単相	100	400W								
			4 業務用掃除機			1		有	単相	100	10.5								
		○	5 -80℃冷蔵庫	0.8×0.85×1.81	300	4	無		三相	200	5	1		無					
			6 液体窒素保管庫	0.5×0.5×1	80	2	無	有	単相										
		○	7 流し台			1													
○		8 換気扇																	
○	給湯器			1															

エリア(室名)	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %	機器設置予定年度	備考
74 試薬管理室 89 天秤室  環境系	1	ステンレス薬品庫	1.8×0.5×1.75	124	14	有	有											9, 19, 20+パーテイションは一体のシステム(特別仕様)
	2	ステンレス薬品庫	1.19×0.53×1	128	2	有	有											
	3	防振台	1.2×0.6×0.8	120	2	無	有											
	4	防振台	1.4×0.6×0.8	140	1	無	有											
	5	精密電子天秤		3	3	無	有	単相	100	1								
	6	電子天秤		3	3	無	有	単相	100	1								
	7	ドラフトチャンバー	1.2×0.85×2.6	500	1	有	有	単相 三相	100 /200									
	8	ステンレス流し台	0.9×0.75×0.8		1	有	有											
	9	試薬管理システム			1	有	有	単相	100	3								
	10	陶製流し台			1	有	有											
	11	机	1.5×0.75×0.8		1	無	有											
	12	パソコンシステム		10	1	無	有	単相	100	5								
	13	本棚	1.8×0.4×1.8	85	1	無	有											
	14	冷蔵庫	0.63×0.65×1.89	110	1	無	有	単相	100	5								
	15	冷蔵庫	0.9×0.65×1.89		1	無	有	単相	100	5								
	16	冷蔵庫ショーケース	1.2×0.7×1.9	420	1	無	有	単相	100	5								
	17	冷蔵庫	0.85×0.8×1.8	250	1	無	有	単相	100	5								
	18	デュープフリーザー	0.6×0.7×0.9	100	1	無	有	単相	100	5								
	19	木製作業台	1.5×0.75×0.8		1	無	有											
	20	木製作業台	1.8×0.75×0.8		1	無	有											
	21	アングル棚(6段)	1×0.75×1.8		2	無	有	単相	100									
	22	監視カメラ			1	無	有											
	23	除害天井シャワー			1	有	有											
	24	カードキー読取装置			1	有	有	単相	100									
	25	防犯人感センサー			1	有	有	単相	100									
	26	電子錠			1	有	有	単相	100									
	27	換気ダクト																
	28	ドラフトチャンバー																

エリア(室名)	設備・備品													備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器 熱量 kcal/h	給水・排 水・ガス の有無	同時 使用 率 %	機器 設置 予定 年度
74 ・ 89  75A 実験器具保管 ・ 室  76 ・ フィールド調査 準備室  77 プラント保管庫	○	入退室管理システム			1													
	○	ドラフトフード(排気ダクト)	1.4×1.4×0.8		2													建物完成 後すぐ
	○	自動扉			1													
		1 電話台	0.45×0.47×0.67	15	3	無	無											
		2 棚1	0.6×1.2×2.1	100	2	無	無											
		3 棚2	0.6×1.8×2.1	150	2	無	無											
		4 棚3	1.2×0.75×2.1	200	6	無	無											
		5 棚4	0.89×0.75×2.1	150	6	無	無											
		6 スライドラック	6.0×1.8×3	800	4	有	無									○	○	50
	○	7 流し台1	0.9×0.45×0.8	37	3	無	無									○	○	50
	○	8 流し台2	0.9×0.45×0.8	29	2	無	無											
	○	9 実験台	0.75×1.8×0.8	107	2	無	無											
		10 ガスボンベ	約0.3φ×1.5	50	20	無	有											
		11 ガスボンベ立て20連	0.5×6.0×0.9	100	1	有	無											
		12 掃除機	0.3×0.34×0.397	6	3	無	無		100		0.8			無	688			50
	13 ポータブル酸素濃度計	0.225×0.115×0.248	3	1	無	無		100		0.01			無	8.6			50	
	14 ブラインド																	
	15 換気扇																	
75B 実験器具保管 ・ 室  75C 実験器具保管 ・ 室	○	1 実験台	0.75×1.8×0.8		1	無	有								給	排		
		2 作業台	0.6×1.2×0.8		1	無	有											
	○	3 流し台			2										○	○		
		4 超音波洗浄器	0.5×0.4×0.4		1	無	有	単相	100	6	600W							50
		5 乾燥器	0.73×0.67×0.36		1	無	有	単相	100	14	1400W							70
		6 物品棚	0.6×1.8×2.1		14	無	有											
		7 電気炉	0.48×0.68×0.7		1	無	有		200	20	4							
	○	8 換気扇																
77b 実験管理室		1 バンコン			2	有	有	単相	100	5		第3種		120				
		2 プリンタ			1	有	有	単相	100	8		第3種		180				
		3 保管庫	1.76×0.515×1.76		3													
		4 キヤベネット	0.458×0.62×0.14		1													
		5 事務机	1.2×0.6×0.7		2													
		6 事務机	1.5×0.75×0.7		1													
		7 事務回転椅子			6													
	○	8 陶器製流し台	0.6×0.45×0.8		1											○	○	



エリア(室名)	設備・備品													備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発 熱量 kcal/h	給水・排 水・ガス の有無	同時 使用 率 %
77b	9	電気スタンド			4			単相	100			第3種					
	10	電気ポット			1			単相	100			第3種					
	11	電気掃除機			1			単相	100			第3種					
	12	流し台			1												
	13	ブラインド															
78 低温環境実験 室	1	低温室				有		三相	200	15					○		
		恒温室内			1												
	2	ステンレス流し台	0.6×0.75×0.8		1	無	無										
	3	サイド実験台	1.5×0.75×0.8		1	無	無										
	4	防湿蛍光灯			2	無	無	単相	100		60W			50			
	5	低温恒温水槽	0.25×0.2×0.15		1	無	無	単相	100	10	1			860			
79 常温環境実験 室	6	換気扇															
		ガス給湯器			1												
	6	恒温室						三相	200	15					○		
		恒温室内			1			単相									
	7	エアーカーテン式飼育 ラック	2.2×0.65×1.85	100	1	有	無	単相	100	0.5	0.5			430			
	8	防湿蛍光灯(室内照 明)			2	無	無	単相	100	4	60W			50			
80 中温環境実験 室	9	流し台(前室)	1.2×0.75×0.8												○		
	10	換気ダクト															
	10	恒温室						三相	200	15					○		
		恒温室内			1												
	11	証明育成装置	0.91×0.56×1.25	50	8	無	無	単相	18	2	0.03			25			
	12	防湿蛍光灯			2	無	無	単相	100		60W			50			
81 恒温恒温室	13	恒温水槽	0.7×0.5×0.45	15	4	無	有	単相	100	10	1kW					有	
	14	換気扇															
	14	恒温室						三相	200	15					○		
		恒温室内			1												
	15	LED光源付き育成装置	0.91×0.56×1.25	50	8	無	無	単相	18	2	0.03			25			
	16	防湿蛍光灯			2	無	無	単相	100		60W			50			

エリア(室名)	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %	機器設置予定年度	備考	
																			機器設置予定年度
81 環境系		全室																	
	○	17オートクレーブ	0.5×0.45×0.9	50	1	無	無	単相	100		1.8		無	1600					
		18乾熱滅菌器	0.526×0.55×0.8	50	2	無	無	単相	100		1.5		無	1300					
	○	19換気扇																	
	○	1ドラフトチャンバー	1.35×0.791×2.36 <sub>2</sub>	327	1	有	無	単相	100					無		○	○	20	
	○	2ハイオハザード用キャビネット	1.365×0.791×2.36 <sub>2</sub>	350	1	有	無	単相	100				第3種	無	バーナ使用有り	○	○	30	
		3インキュベーター	0.7×0.58×1.62	100	1	無	無	単相	100		0.8			有	700			100	
		4ウオーターバス	0.35×0.5×0.3	25	2	無	無	単相	100		15			無	860			30	
		5振とう培養機	1.11×0.715×0.79	168	1	無	無	単相	100		20			無	1400			80	
		6微量高速遠心器	0.37×0.5×0.79	80	1	無	無	単相	100		11			無	750			20	
		7大容量高速遠心器	0.5×0.74×0.94	195	1	無	無	単相	200		15			無	1600			5	
		8卓上遠心器	0.43×0.55×0.36	80	1	無	無	単相	100		8.5			無	480			5	
	○	9オートクレーブ	0.5×0.45×0.9	50	1	無	無	単相	100		1.8			無	1600			5	
		10製氷器	0.4×0.45×0.77	25	1	無	無	単相	100		0.66			無	200	○	○	100	
		11乾熱滅菌器	0.526×0.55×0.8	50	2	無	無	単相	100		1.5			無	1300			10	
		12冷蔵庫	0.45×0.47×0.92	76	1	無	無	単相	100		5	0.3		有	250			100	
		13冷凍庫(-20℃)	0.8×0.85×1.81	210	1	無	無	単相	100		5			有	700			100	
		14冷凍庫(-80℃)	0.8×0.85×1.81	280	1	無	無	三相	200		5			有	900			100	
		15アルミブロック恒温槽	0.17×0.3×0.125	5	2	無	無	有単相	100		1.9			無	260			5	
	○	16中央実験台	3.6×1.2×0.8		1	無	無	単相						無		○			
	○	17サイド実験台	1.8×0.75×0.8		1	無	無	単相						無					
	○	18サイド実験台	1.8×0.75×0.8		1	無	無	単相						無					
	○	19ステンレス流し台	1.5×7.5×0.8		1	無	無	単相						無		○	○		
	20ダイヤフラムポンプ	0.098×0.27×0.2	7	4	無	無	単相	100		1.5	0.15	第3種	無	1507d			30		
	21ハンコン	0.35×0.35×0.35	3	4	無	無	単相	100		6.5				560			50		
○	22サイド実験台	2.4×0.75×0.8		1	無	無	単相	100											
○	23換気扇																		
○	給湯器			1															
83 93 94 純粋供給実験		1純水製造設備	2.1×4.8×1.6	300	1	有	無	三相	200	20	5.5	第3種	有	1300	○	○	50		
		2純水貯留槽		1100	1	有	無	三相									50		
		3純水供給設備		400	1	有	無	三相									50		
		4ガスポンベ	約 300mmφ×1500 mm	50	74	無	有							無	2000	○			
		5ガスポンベ立て6連	0.5×2×0.9	26	7	無	無							無					

エリア(室名)		設備・備品													備考		
No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発 熱量 kcal/h	給水・排 水・ガス の有無		同時 使用 率 %	機器 設置 予定 年度
83	6 ガスボンベ立て12連	0.5×3.8×0.9	50	1	無	無						無					
	7 ガスボンベ立て10連	0.5×3.2×0.9	42	2	無	無						無					
93	8 流し台(陶器)	SK6		1	無	無						無		○			
	9 製氷機	0.42×0.45×0.77	40	1	無	無	単相	100	6.6	0.07		無	210	○	100		
	10 机	0.75×1.2×0.74	20	1	無	無						無					
	11 掃除機	0.26×0.17×1.5	5	1	無	無	単相	100		0.8		無	688		50		
94	12 懐中電灯			1	無	無						無					
	13 ポータブル酸素濃度計	0.225×0.115×0.248	3	1	無	無	単相	100		0.01		無	8.6		100		
	14 ブラインド																
	15 換気扇																
84	1 冷蔵庫	0.51×0.53×1.43	40	1	無	無	単相	100	4	0.4		無	300		100		
	2 嫌気性消化テール	1.5×0.9×0.8	20	1	無	無						無					
	3 嫌気性消化実験装置	1.5×0.75×0.78	70	1	無	無	単相	100	36	3.6		無	3100		50		
	4 嫌気性消火用ボンベ	0.45×0.45×1.5	50	1	有	有						無					
	5 汚泥冷蔵庫	0.47×0.45×0.94	20	1	無	無	単相	100	9	0.9		無	500		100		
	6 汚泥冷蔵庫(テール兼)	1.05×0.46×0.8	40	1	無	無	単相	100	6	0.6		無	300		100		
	7 嫌気性消化種汚泥培養装置	0.65×0.88×0.52	100	1	無	無	単相	100	3	0.3		無	200		50		
	8 コンプレッサー	0.46×0.2×0.64	60	1	無	無	単相	100	4.6	0.5		無	300		50		
	9 汚泥培養装置置き棚2段	0.61×0.31×0.73	20	1	無	無						無					
	10 カラム浮選実験装置、流量計	1.5×0.75×0.73	20	1	無	無	単相	100	0.68	0.1		無	100		50		
	11 カラム浮選実験装置テール	1.5×0.75×0.73	20	1	無	無						無					
	12 カラム浮選+スクラバ実験装置	0.6×0.6×5	50	1	有	有						無					
	13 マスフローコントローラ	0.2×0.35×0.25	5	1	無	無	単相	100	1	0.1		無	200		50		
	14 管状炉制御版	0.62×0.7×1.4	120	1	無	無	三相	200	20	6.928		無	3400	○	50		
	15 スクリューフィーダ	1.35×0.73×1.82	150	1	無	無						無					
	16 管状炉	0.45×1.2×0.6	100	1	無	無						無					
	17 ボンベ	0.45×0.45×1.5	50	1	有	有						無					

エリア(室名)	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %	機器設置予定年度	備考		
																			環境系	
環境系	84	18	加熱実験用ガスポンベ	0.45×0.45×1.5	50	3	有	無												
		19	加熱実験部品テーブル	0.91×0.62×0.75	20	1	無	無												
		20	焼却灰加熱電気炉 テーブル	2.7×0.76×1.55	40	1	無	無												
		21	焼却灰加熱管状電気	0.45×0.8×0.5	40	1	無	無	単相	200	19.5	3.9			3400					
		22	電気炉稼働台	0.5×1.4×0.7	20	1	無	無	単相	100	5	0.5			400					
		23	触媒加熱実験棚	1.02×0.53×1.9	30	1	無	無												
		24	マイクロファイダ	0.32×0.18×0.14	5	1	無	無	単相	100	1	0.1			100					
		25	いすゞ管状電気炉	0.3×0.3×4.5	30	1	無	無	単相	100	6	0.9			500					
		26	+ 温度調節機	0.30×0.39×0.2	20	1	無	無	単相	100	6	0.9			500					
		27	マントルヒーター用 テーブル	0.8×1.2×0.8	20	1	無	無												
		28	パイプマントルヒーター	0.48×0.2×0.21	5	1	無	無	単相	100	11	1.1			700					
		29	温度調節機(縦長)	0.3×0.55×0.48	40	1	無	無	単相	100	15	1.5			900					
		30	実験用ガスポンベ	0.3×0.3×1.5	50	1	有	有												
		31	加熱燃焼実験装置奥 棚3段	0.88×0.46×1.8	40	1	無	無												
		32	燃焼実験装置	0.95×2.09×2.38	500	1	無	無	単相	200	50	4.6	第3種		2600					
		33	圧力調節器+ポンプ		40	1	無	無	三相	200	20	2.5			2000					
		34	マイクロGC		10	1	無	無	単相	100	0.31	0.031			30					
		35	島津ガス分析計		15	3	無	無	単相	100	1.3	0.13			120					
		36	パソコン(データ収集: 排ガス)		5	1	無	無	単相	100	3	0.3			260					
		37	パソコン(データ収集: マイクロGC)		5	1	無	無	単相	100	3	0.3			260					
		38	パソコン(データ収集: TG)		10	1	無	無	単相	100	3	0.3			260					
		39	保温ガスサンブラー (ヒートチューブ含)		100	1	無	無	単相	100	16	1.6			1400					
		40	GSガスクロ	0.51×0.42×0.44	70	1	無	無	単相	100	14	1.4			1200					

エリア(室名)	設備・備品													備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発 熱量 kcal/h	給水・排 水・ガス の有無	同時 使用 率 %
84 環境系	41	GSガスクロサンプリングユニット	0.5×0.5×0.3	50	1	無	無	単相	100	5	0.5		無	430		50	
	42	GSガスクロ機	1.6×0.8×0.7	30	1	無	無						無				
	43	小型燃焼実験用ボン	0.45×0.45×1.5	50	1	有	有						無				
	44	薬品冷蔵庫	0.5×0.8×1.8	95	1	無	無	単相	100	3.4	0.4		無	200		100	
	45	工具入れ	0.52×0.89×1.8	50	1	無	無						無				
	46	大棚7段	0.5×0.157×2.7	45	2	無	無						無				
	47	棚5段	0.5×1.7×2.15	50	1	無	無						無				
	48	オゾン発生装置	0.5×0.35×0.7	30	3	無	無	単相	100	3	0.3		無	200		50	
	49	オゾンモニタ	0.3×0.2×0.25	10	6	無	無	単相	100	1	0.1		無	100		50	
	50	吸光度計	0.55×0.45×0.2	10	1	無	無	単相	100	3	0.3		無	200		50	
	51	乾燥器	0.6×0.62×0.81	40	1	無	無	単相	100	17	1.7		無	1000		100	
	52	インキュベーター	0.7×0.75×1	40	1	無	無	単相	100	3	0.3		無	200		100	
	53	冷蔵庫	0.7×0.65×1.8	30	2	無	無	単相	100	3	0.3		無	200		100	
	54	ポンプ	0.4×0.4×0.4	20	3	無	無	単相	100	2	0.2		無	100		50	
	55	ポンプ	0.5×0.45×0.45	20	1	無	無	単相	100	3	0.3		無	200		50	
	56	超純水製造装置	0.31×0.43×0.43	30	1	無	無	単相	100	3	0.3		無	200	○	100	
	57	ウオーターバス	0.4×0.4×0.4	50	3	無	無	単相	100	1	0.1		無	100		50	
	58	pHメーター	0.8×0.3×0.2	25	1	無	無	単相	100	1	0.1		無	100		50	
	59	スターラー	0.21×0.21×0.12	10	4	無	無	単相	100	1	0.1		無	100		50	
60	加温器	0.21×0.35×0.15	20	1	無	無	単相	100	3	0.3		無	200		50		
61	オートクレーブ	1.6×5.07×2.4	70	1	無	無	単相	100	21	2.1		無	1300		50		
62	反応塔	0.5×0.4×0.95	50	5	無	無						無					
63	棚	1.35×0.76×1.73	20	5	無	無						無					
64	棚	0.6×2.7×0.8	10	5	無	無						無					
65	作業台	0.15×0.75×0.75	5	10	無	無						無					
66	RDF燃焼基礎実験装置	5.5×5.8×5.8	2000	1	有	無	三相	200	130	43	第3種 単独	無	26000	○	50	H18 年度	
67	活性炭吸着実験装置	1.6×5.07×2.4	1500	1	有	無	三相	200	90	29	第3種 単独	無	18000		50	H18 年度	
68	蒸留水精製装置	0.5×0.4×0.95	40	1	有	無	単相	100	15	2.1		無	1300	○	100		
69	大型乾燥機	1.35×0.76×1.73	140	1	無	無	三相	200	40	1.1		無	700		50		

エリア(室名)	設備・備品													備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %	機器設置予定年度
84	○	70 大型ステンレス流し台	0.6×2.7×0.8	50	2	無	無						無		○			
	○	71 ドラフトフード	1.4×1.4×0.8	40	1								無					
	○	72 ブラインド																
	○	73 換気扇																
	○	1 ドラフトチャンバー	0.75×1.5×2.5		8	無	無	単相 三相	100 200						○	○	50	
	○	2 実験台	0.75×1.8×0.8		8	無	有								○	○		
	○	3 実験台	1.5×3.6×0.8		4	無	有									○		
		4 ガスクロマトグラフ	0.5×0.5×0.5		1	無	有	単相	100		1.8					○	50	
		5 TNTP自動分析計	0.6×1.5×0.6		1式	無	有	単相	100	25.7	2.57						50	
		6 NOx自動分析計	0.6×1.5×0.3		1	無	有	単相	100	10	1						50	
		7 有機炭素計	0.6×1.2×0.5		1	無	有	単相	100	15	1.5					○	50	
		8 分光吸光度計	0.36×0.7×0.2		2	無	有	単相	100	2.5	0.25						50	
		9 超音波洗浄器	0.5×0.4×0.4		2	無	有	単相	100	6	0.6						50	
		10 シェイカー	0.8×0.52×0.52		1	無	有	単相	100	11	1.1						50	
		11 オゾナイザー	0.4×0.6×0.8		1	無	有	単相	100	1	0.1					○	50	
		12 流し台			2										○	○		
		13 オートスチル	0.75×0.9×1.5		1	無	有	単相	200	20	4				○	○	100	
		14 乾燥器	0.73×0.67×0.86		1	無	有	単相	100	14	1.4						70	
		15 凍結乾燥器	0.75×1.5×1.2		1	無	有	単相	100	18	1.8						50	
		16 電気炉	0.48×0.68×0.7		1	無	有	単相	200	20	4						50	
		17 冷蔵庫	0.51×0.81×1.8		2	無	有	単相	100	10	1						100	
		18 オートクレーブ	0.5×0.5×0.8		3	無	有	単相	100	20	2						50	
	○	19 リン吸光度測定装置	0.4×0.4×0.25		1式	無	有	単相	100	1.6	0.16						50	
		20 吸光度計プリンタ	0.36×0.7×0.2		1	無	有	単相	100	1.4	0.14						50	
		21 リン溶出実験装置	1×0.4×0.9		30	1	無	有	単相	100	15	1.5					50	
	22 逐次抽出実験装置	0.4×1×0.8		1	無	有	単相	100	2	0.2						50		
	23 遠心分離機	0.4×0.31×0.27		3	無	有	単相	100	2	0.2						50		
	24 TOC計	0.6×0.35×0.2		1	無	有	単相	100	1.5	0.15						50		
	25 ルミカウンター	0.7×0.6×0.5		1	無	有	単相	100	3.4	0.34						50		
	26 ドラフトフード	1.4×1.4		1	無	有	単相	100								50		
	27 電気炉	0.48×0.68×0.7		70	1	無	有	三相	200	2.4						50		
	28 換気扇 自動扉			1														
	○	クレーン		1														
86 物理実験室		1 インキュベーター	0.8×0.83×1.81	205	1	無	有	単相	100	7				1200		50		
		2 インピータース測定システム	0.5×0.8×0.5	60	1	無	無	単相	100	10			第3種	860		20		
		3 Ge半導体検出器	0.6×0.15×1.2	200	1	無	有	単相	100	10			第3種	860		10		

エリア(室名)	設備・備品														備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発 熱量 kcal/h		給水・排 水・ガスの 有無 給排ガ	同時 使用 率 %	機器 設置 予定 年度
86	4	冷蔵庫	0.74×0.7×1.8	100	1	無	有	単相	100	1.5				130		100		
	5	冷凍庫	0.9×0.7×0.9	100	1	無	有	単相	100	3				260		100		
	6	ドラフトチャンバーDF-19NSK(屋上活性炭スクラバー)	1.8×0.75×2.4		1	無	有	単相 三相	100 200						○ ○	50		
	7	ドラフトチャンバーDF-19NSK(湿式スクラバー付き)	1.2×3×0.8		4	無	有								○ ○	100		
	8	流し台	0.6×1.5×0.9		1	無	有								○ ○			
	9	定温乾燥器	0.645×0.61×0.94	75	1	無	有	単相	100	12				1000		80		
	10	超遠心分離器	0.75×0.8×1.05	230	1	無	有	三相	200	30		第3種		5200		10		
	11	FTIR	0.6×1×0.6	75	1	無	有	単相	100	5				430		30		
	12	マツフル炉	0.76×0.64×0.755	65	1	無	有	三相	200	12		第3種		2100		10		
	13	表面積計	0.4×0.4×0.5	15	1	無	有	単相	100	2		第3種		170		10		
	14	粒度分布測定装置	0.5×0.7×0.4	50	1	無	有	単相	100	5		第3種		430		10		
	15	TOC測定装置	0.55×1×0.5	90	1	無	有	単相	100	3		第3種		260		10		
	16	ブラインド																
			自動扉		1													
	87 生物実験室	1	ドラフトチャンバー	1.5×0.835×2.3	250	3	有	無	単相	100					340	○ ○	100	
		2	冷却トラップ	0.455×0.695×0.5 <sub>5</sub>	60	1	無	無	単相	100	10	1	第3種		300		30	
3		遠心エバポレーター	0.24×0.26×0.26	10	1	無	無	単相	100	2.5	0.25	第3種				30		
4		凍結乾燥機	0.445×0.515×0.8 <sub>5</sub>	60	1	無	無	単相	100	12	1.2	第3種		1000		10		
5		吹付式試験管濃縮装置	0.33×0.3×0.125	10	1	無	無	単相	100	3.3	0.33	第3種						
6		UVサンプル撮影装置	0.78×0.5×0.6	35	1	無	無	単相	100	0.4	0.4	第3種		350				
7		卓上遠心器	0.43×0.55×0.36	80	2	無	無	単相	100	15		第3種		450		5		
8		微量高速遠心器	0.37×0.5×0.79	80	2	無	無	単相	100	8.5	0.85	第3種		750		20		
9		中央実験台	3.6×1.5×0.5		3	無	無	単相				第3種						
10		サイド実験台	3.6×0.75×0.8		2	無	無	単相				第3種			○ ○			
11		サイド実験台	1×1×0.8		1	無	無	単相				第3種						
12		流し台	1.5×0.75×0.8		1	無	無	単相				第3種			○ ○			
13		HPLCシステム	0.85×0.5×0.5	50	1	無	無	単相	100	8.5	0.85	第3種		750		30		
14		GCシステム	1×0.5×0.5	120	1	無	無	単相	100	15	2	第3種		1800		30		

エリア(室名)	設備・備品													備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース 種別	停電 対策		機器 熱量 kcal/h	給水・排 水・ガス の有無	同時 使用 率 %	機器 設置 予定 年度
87	15	冷蔵庫	0.45×0.47×0.92	76	2	無	無	単相	100	5	0.3	第3種	有	250		100		
	16	冷凍庫(-20℃)	0.8×0.85×1.81	210	2	無	無	単相	100	5		第3種	有	700		100		
	17	冷凍庫(-80℃)	0.8×0.85×1.81	280	2	無	無	三相	200	5			有	900		100		
	18	PCR	0.25×0.42×0.26	12	1	無	無	単相	100	6.2	0.6	第3種	無	550		20		
	19	アルミブロック恒温槽	0.17×0.3×0.125	5	1	無	有	単相	100		1.9	第3種	無	260		5		
	20	オートクレーブ	0.5×0.45×0.9	50	2	無	無	単相	100		1.8	第3種	無	1600		5		
	21	恒温槽	0.5×0.6×0.81	75	1	無	無	単相	100	9.3	1	第3種	無	900		10		
	22	顕微鏡	0.75×0.5×0.6	80	1	無	無	単相	100			第3種				10		
	23	ハイオハザード対策用 キャビネット	1.65×0.835×2.46 0	250	1	有	無	単相	100	8.2	0.82	第3種	無	バーナ 使用に よる変 更あり	○	30		
	24	ブラインド																
	25	換気扇																
					1													
	88 分析管理室	1	机	0.7×1.5×0.7	50	2	無	無										
2		棚	0.9×0.5×2	65	5	無	無											
3		ロッカー	0.45×0.5×1.8	37	3	無	無											
4		会議机	0.9×1.8×0.8	50	1	無	無											
5		冷蔵庫	0.5×0.6×1.4	36	1	無	無	単相	100		0.33		無	220		100		
6		流し台	0.6×0.5×0.8	20	1	無	無								○			
7		ガス給湯器	0.36×0.3×0.14	10	1	無	無							Max 9600	○	10		
8		パソコン類	0.42×0.62×0.55	40	2	無	無	単相	100		0.6		無	320		50		
9		電気ポット	0.15×0.215×0.24	1	1	無	無		100		1.3			690		50		
10		掃除機	0.26×0.17×1.5	5	1	無	無		100		0.3			690		50		
11		ノートパソコン	0.255×0.192×0.0 326	2	1	無	無		100		0.05			30		50		
12		ブラインド																
13		換気扇																



エリア(室名)	設備・備品														備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器 熱量 kcal/h		給水・排 水・ガス の有無 給排力	同時 使用 率 %	機器 設置 予定 年度
90 極微量汚染物質 質検出室	1	LC机	0.7×1.05×0.75	20	1	無	無	単相	100	8.5	850VA		無	510		50		
	2	LC	0.45×0.6×0.47	50	1	無	無	単相	100	8.5	850VA		無	510		50		
	3	LC2	0.42×0.38×0.42	50	1	無	無	単相	100	8.5	850VA		無					
	4	LCレコーダ機	0.45×0.9×0.8	20	1	無	無	単相	100	1	100VA		無	60		50		
	5	LCレコーダ	0.4×0.34×0.15	10	2	無	無	単相					無					
	6	棚	0.45×0.9×1.92	20	1	無	無						無					
	7	液体窒素ポンプ	0.35×0.35×0.65	10	2	無	有						無					
	8	LC-GC-MS本体	1.1×3.75×1.8	950	1	無	無	単相 単相 三相	200 100 200	20 30 30+	4811VA	第3種	有	6300	○ ○ ○	50		
	9	ロータリーポンプ類	0.24×0.36×0.46	50	4	無	無	三相	200	5	1732VA		有				50	
	10	磁場電源筐体	0.67×0.4×0.79	100	1	無	無	単相	100	15	1500VA		有				50	
	11	データ処理装置1	0.4×0.26×0.5	100	1	無	無	単相	100	10	2000VA	第3種	有				50	
	12	データ処理装置2	0.42×0.62×0.55	100	1	無	無						有				50	
	13	HRGC-HRMS	1.3×2.91×1.4	1650	1	有	無	三相	200	60	11200VA	第3種	有	6000	○	50	H18	
	14	クーリングユニット	1.59×0.68×1.003	240	1	有	無	三相	200	40	4200VA		有	3600			50	H18
	15	データ処理装置	1.21×0.73×1.0	200	1	無	無	単相	100	15	700VA	第3種	無	600			50	H18
	16	棚	0.45×0.9×1.92	20	1	無	無						無					
	17	流し台	0.8×0.6×0.4	20	1	無	無						無		○			
	18	流し台	SK6		1	無	無						無		○			
	19	ドラフトフード	1.4×1.4×0.8	40	1	無	無						無					
	20	換気扇																
91 環境重金属汚染分析室	1	LC-ICP-MS	0.6×2.5×0.6	200	2	無	有	単相 三相	100 200	6 30		第3種		5700		50		
	2	ICP-MS	0.6×2×0.6	200	2	無	有	単相 三相	100 200	2 30		第3種		5300		50		
	3	ICP発光分析器	1×2×1	600	1	無	有	三相	200	20		第3種		3400		50		
	4	原子吸光分析器	0.5×1×0.4	50	2	無	有	三相	200	20		第3種		300		50		
	5	流し台付き実験台	1.2×3×0.8		1	無	有								○ ○ ○	100		
	6	流し台	0.6×1.5×0.9		1	無	有								○ ○			
	7	パーソナルコンピュータ	0.4×0.5×0.4	20	5	無	有	単相	100	7		第3種		600		50		
	8	プリンター	0.3×0.4×0.4	10	3	無	有	単相	100	8		第3種		700		10		
	9	定温乾燥器	0.645×0.61×0.94	75	1	無	有	単相	100	12				1000		20		
	10	冷蔵庫	0.74×0.7×1.8	100	1	無	有	単相	100	1.5				130		100		
	11	冷凍庫	0.9×0.7×0.9	100	1	無	有	単相	100	3				260		100		

エリア(室名)	設備・備品														備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発 熱量 kcal/h		給水・排 水・ガス の有無	同時 使用 率 %	機器 設置 予定 年度
92 水士環境分 析室	1	冷却遠心分離機	0.81×0.76×0.9	100	1	無	有	三相	200	25	7143			4300		50		
	2	汚泥冷蔵庫	0.65×1.05×1.5	110	1	無	有	単相	100	3.51	314			190		100		
	3	SFCクーブール	0.75×1.5×0.73		1	無	有											
	4	SFC実験装置	0.55×0.82×0.55	130	1	無	有	単相	100	10	1429	第3種		860		50		
	5	5LC CDD6A他一式	0.55×0.43×0.43	50	1	無	有	単相	100		850			510		50		
	6	6LC プリンタ	0.39×0.37×0.16		1	無	有		100		100			60		50		
	7	7机	0.91×0.64×0.75		1	無	有											
	8	8超遠心分離器	0.75×0.8×1.05	230	1	無	有	三相	200	30		第3種		5200		10		
	9	9マツフル炉	0.76×0.64×0.755	65	1	無	有	三相	200	12		第3種		2100		10		
	10	10冷蔵庫	0.74×0.7×1.8	100	1	無	有	単相	100	1.5				130		100		
	11	11冷蔵庫	0.9×0.7×0.9	100	1	無	有	単相	100	3				260		100		
	12	12TOC測定装置	0.55×1×0.5	90	1	無	有	単相	100	3		第3種		260		10		
	13	13超臨界抽出装置	0.5×1×0.4	90	1	無	有	単相	100	10		第3種		860		10		
	14	14破砕機	0.8×0.7×1.5	130	1	無	有	三相	200	7.5		第3種		1300		10		
	15	15定温乾燥器	0.645×0.61×0.94	75	1	無	有	単層	100	12				1000		50		
		ドラフトチャンバーDF-19NSK(屋上活性炭スクラバー)	1.8×0.75×2.4	1														
		16ドラフトチャンバーDF-19NSK(湿式スクラバー付き)	1.8×0.75×2.4	1	無	有	単相 三相	100 200							○ ○ ○	50		
		17流し台付き実験台	1.2×3×0.8	2	無	有									○ ○ ○	100		
		18流し台	0.6×1.5×0.9	1	無	有									○ ○ ○			
95 生体毒性評価 実験室	1	1核磁気共鳴分析装置	0.8×0.8×1.6	547	1	無	無					D	有	3.9kW		H18		
	2	2NMRコンソール	1.21×0.8×1.5	404	1	無	無	単相	100	60		D	有			H18		
	3	3NMRデータ処理	1.1×0.75×0.85	74	1	無	無	単相	100	20		D	有	3kW		H18		
	4	4エアコンプレッサ	0.26×0.56×0.39	30	1	無	無	単相	100	15		D	有			H18		
	5	5エアドライヤ	0.36×0.51×0.35	20	1	無	無	単相	100	15		D	有			H18		
	6	6ヘッドアンブシャーシ	0.41×0.75×0.46	23	1	無	無	三相	200	20		D	有			H18		
	7	7固体用コンプレッサ	0.5×0.61×1.07	123	1	無	無	単相	200	20	20	D	有			H18		
	8	8パワーアンプ	0.57×0.8×1.5	270	1	無	無	単相	200	15	15	D	有			H18		
	9	9ステンレス流し台	0.75×0.455×0.8	2	無	無												
	10	10ESR磁石	1.2×0.75×0.95	2300	1	無	無	三相	200	20	20	D	有		○ ○		H18	
	11	11ESR分光計	1.2×0.75×0.95	100	1	無	無	単相	100	100	0.5	D	有				H18	
	12	12ESR電源	0.7×0.8×1.1	500	1	無	無					D	有	5.3kW			H18	
	13	13ブラインド																
	14	14換気扇																

エリア(室名)	設備・備品													備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース 種別	停電対策		機器 熱量 kcal/h	給水・排 水・ガス の有無	同時 使用 率 %	機器 設置 予定 年度
96 高度機器分析 室 高度分析関連 器具保管室	1	ガスクロマトグラフ	0.515×0.53×0.44	30	4	無	無	単相	100		1.8	>100 Ω	有	1548	○	50		
	2	データ処理装置	0.462×0.7×0.801	50	6	無	無	単相	100	8.9			有	534		50		
	3	ガスクロ/質量分析計	0.769×0.598×0.55	100	1	無	無	三相	100	43		>100 Ω	有	3000	○	50		
	4	GC/MS用機	1.6×0.7×0.95		1	無	無	単相							○			
	5	ガスクロ/質量分析計	1.1×0.65×0.9	130	2	無	無	単相	200		4.626	第3種	有	2778	○	50		
	6	データ処理装置	0.55×0.65×1.4	60	2	無	無	単相	100	7			有	613	○	50		
	7	GC/MS用機	1.5×0.75×0.75		2	無	無	単相							○			
	8	CHNコーダー	1.5×0.55×0.47	130	1	無	無	単相	100		3.3	>100 Ω	有	2107	○	50		
	9	CHNコーダー用機	2×0.7×0.09		1	無	無	単相							○			
	10	イオンクロマト用機	1×0.7×0.9		1	無	無										50	
	11	イオンクロマト	0.52×0.42×0.63	72	1	無	無	単相	100		0.96	>100 Ω	有	1000		50		
	12	全有機炭素計	1.02×0.656×0.484	76	1	無	無	単相	100		0.3	>100 Ω	有	510	○	50		
	13	全有機炭素計用機	1.2×0.7×0.9		1	無	無	単相										
	14	自動水質分析装置	1.8×0.7×0.73	115	1	無	無	単相	100	31		>100 Ω	有	2000		50		
	15	データ処理装置	0.55×0.65×1.4	15.5	1	無	無	単相	100	5		第3種	有	300	○	50		
	16	自動水質分析装置用機	1.9×0.9×0.9		1	無	無	単相										
	17	TG,FT-IR機	1.8×0.7×0.65		1	無	無	単相										
	18	FT-IR	1.2×0.6×0.6	90	1	無	無	単相	100		0.58	第3種	有	349		50		
	19	TG-DTA	0.55×0.8×0.9	30	1	無	無	単相	100		0.529	第3種	有	318		50	独立接地とする	
	20	データ処理装置	0.60×.55×0.7	50	1	無	無	単相	100		0.58		有	349		50		
	21	ステンレス流し台	0.75×0.45×0.8		2	無	無											
	22	実験台	3.6×1.5×0.9		1	無	無											
	23	ガスクロマトグラフ	0.4×0.475×0.59	39	4	無	無	単相	100		1.7	>100 Ω	有	1020		50		
	24	ガスクロ用機	1.3×0.75×0.09		4	無	無											
	25	データ処理装置	0.34×0.38×0.15	5	4	無	無	単相	100		0.07		有	60		50		
	26	プリント																

エリア(室名)	設備・備品													備考					
	本件事業により事業者が調達するもの	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別		停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %	機器設置予定年度
98 環境生物培養実験室	○	1	ハイオハザードキヤビネット	1.35×0.791×2.36 2	350	1	有	無	単相	100			第3種	無			30		
	○	2	クリーンベンチ	1.39×0.811×1.89	250	3	無	無	単相	100			第3種	無		○	30		
		3	CO2インキュベーター	0.62×0.685×0.9	91	8	無	無	単相	100	5	2	第3種	有	250	○	100		
		4	中央実験台	4.2×1.5×0.5		1	無	無	単相				第3種	無					
		5	サイト実験台	1.8×0.75×0.8		1	無	無	単相				第3種	無		○	○		
		6	卓上遠心器	0.37×0.5×0.79	80	1	無	無	単相	100			第3種	無				10	
	○	7	オートクレーブ	0.5×0.5×0.8	50	1	無	無	単相	100	13	1.3	第3種	無	1200			5	
		8	位相差顕微鏡	0.6×0.6×0.5	40	1	無	無	単相	100			第3種	無				10	
		9	冷蔵庫	0.45×0.47×0.92	80	1	無	無	単相	100	5		第3種	有	350			100	
		10	冷凍庫(-80℃)	0.8×0.85×1.81	300	1	無	無	三相	200	5		第3種	有	900			100	
		11	液体窒素保管庫	0.5×0.5×1	80	1	無	有	有	単相					無			100	
	100 試料前処理室	○	13	流し台			1	無	無										
○		14	ブラインド				無	無											
○		15	換気扇				無	無											
○			給湯器			1	無	無											
○		1	ドラフトチャンバー	0.75×1.5×2.5		8	無	無	単相 三相	100 200						○	○		
○		2	実験台	0.75×1.8×0.8		2	無	有											
○		3	実験台	1.5×1.8×0.8		4	無	有								○	○		
		4	天秤台	0.6×0.9×0.8	20	1	無	有											
		5	ろ過濃縮装置	0.5×0.6×0.3		1	無	有	単相	100									
○		6	流し台			1	無	有									○	○	
		7	固相抽出装置	0.3×0.4×0.3		1	無	有	単相	100									
		8	マイクロウェーブ	0.65×0.46×0.5		1	無	有	三相 又は 単相	200又 は10 0	12 又は 15	2.4	第3種					50	
	9	遠心分離機	0.5×0.5×0.3		1	無	有	単相	100	2	0.2								
	10	天秤	0.4×0.2×0.3	20	1	無	有	単相	100	2	0.2						50		
	11	冷却遠心機	0.8×0.8×0.9		1	無	有	三相	200	30	6								
○	12	ドラフトフード	1.4×1.4×0.8		1	無	無	単相	100										
○		自動扉			1	無	有	三相	200										

エリア(室名)	設備・備品														備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器 熱量 kcal/h		給水・排 水・ガス の有無 給排ガ	同時 使用 率 %	機器 設置 予定 年度
101 精密試料前処 理室	○	1 ドラフトチャンバー	0.75×1.5×2.5		4	無	無	単相 三相	100 200						○ ○ ○			
	○	2 実験台	0.75×1.8×0.8		3	無	有								○ ○			
		3 ソックスレー抽出機	0.3×0.5×0.9	10	12	無	有	単相	100	2	0.2				○ ○	70		
		4 ローターエバポレー ター	0.5×0.75×0.8	20	2	無	有	単相	100	2.4	0.24				○ ○	50		
		5 pHメーター	0.26×0.3×1.3	2	1	無	有	単相	100	2	0.2				○ ○	50		
	○	6 流し台			1										○ ○			
		7 シェイカー	0.5×0.5×0.6	30	1	無	有	単相	100	5	0.5					50		
		8 乾燥機	0.52×0.53×0.75	30	1	無	有	単相	100	14	1.4					100		
		9 天秤	0.31×0.22×0.33		1	無	有	単相	100	2	0.2					50		
	○	10 実験台	0.75×1.8×0.8		1	無	有											
	○	11 ドラフトフード	1.4×1.4×0.8		2	無	無	単相 三相	100 200								50	
103 環境化学物質 分子毒性評価 環境系		1 シーケンサー	1.5×0.7×0.8	100	1	無	無	三相	200	30	5		無	860		10		
		2 顕微鏡・画像解析装置	0.75×0.5×0.6	80	1	無	無	単相	100	1.6	0.160	第3種	無	140		10		
		顕微鏡(水銀ランプ部)							100	1.55	0.155			140				
		顕微鏡(PC部)							100	2.5	0.250			215				
		3 PCR	0.3×0.5×0.3	30	1	無	無	単相	100	12	1.2	第3種	無	1000		30		
		4 LC/MS	1.5×0.7×0.8	100	1	無	無	三相	200	10	2	第3種	無	1720		30		
		LC/MS(LC部)							100	15	1.5			1290				
		LC/MS(PC部)							100	10	1			860				
	○	5 ドラフトチャンバー	1.35×0.791×2.36	327	1	有	無	単相	100				無		○ ○ ○	20		
	○	6 サイド実験台	1.8×0.75×0.8		1	無	無	単相					無		○ ○			
	○	7 ステンレス流し台	0.9×0.75×0.8		1	無	無	単相					無		○ ○			
		8 ルミネッセンス	0.5×0.5×0.3	7	1	無	無	単相	100	1	0.1	第3種		17		10		
		9 マイクロプレートリー ダー	0.32×0.3×0.13	5	1	無	無	単相	100	0.75	0.1	第3種		100		10		
		10 マイクロプレートウォッ シャー	0.32×0.55×0.2	9.6	1	無	無	単相	100	1	0.1	第3種		100		5		
		11 パソコン																
		12 -80℃冷蔵庫	0.8×0.85×1.81	280	1	無	無	三相	200	5			有	900		100		
	13 -20℃冷蔵庫	0.8×0.85×1.81	210	1	無	無	単相	100	5			有	700		100			
	14 パソコン	0.35×0.35×0.35	3	4	無	無	単相	100	6.5			無	560		50			
○	15 サイド実験台	3×0.75×0.8		2	無	無	単相					無			○			
○	16 換気扇																	

エリア(室名)	設備・備品													備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器 熱量 kcal/h	給水・排 水・ガス の有無	同時 使用 率 %	機器 設置 予定 年度
106 防音室	1	オーゾオメータ	0.33×0.52×0.25	8	1		単相	100	1							○		
	2	ランダム信号発生器	0.37×0.3×0.1	5	1		単相	100	0.8							○		
	3	アンプ	0.4×0.43×0.15	10	1		単相	100	0.3							○		
	4	スピーカ	0.3×0.2×0.35	6	1		単相	100	0.4							○		
	5	FFTアナライザ	0.48×0.42×0.3	15	1		単相	100	1.8									
	6	DATレコーダー	0.33×0.43×0.11	2	1		単相	100	0.6									
	7	MDレコーダー	0.27×0.43×0.1	2	1		単相	100	0.6									
	8	デジタルフィルタ	0.23×0.43×0.05	2	1		単相	100	0.4									
	9	机	1.6×0.7×0.7	15	1													
	10	物品棚	1.8×0.6×2.4	30	1													
	11	パソコン			2		単相	100	1.5								○	
	12	プリンター			1		単相	100	3							○		
	13	陶器製流し台			1											○		
	14	ブラインド																
	15	換気扇																
107 X線使用実験室	1	SEM	2.2×1.55×1.34	513	1	無	無	単相	100	30	2000VA	第3種	無	500		50		
	2	冷却水 EYELA	0.35×0.4×0.85	41	1	無	無	単相	100	11	1100VA		無	950		50		
	3	蒸着装置	0.35×0.35×0.15	20	1	無	無	単相	100	3	300VA		無	260		50		
	4	ESCA本体	0.85×1.35×1.45	200	1	無	無	単相	100	40	4000VA	第3種 単独	無	2400		○	50	
	5	ESCA備品棚	0.47×0.9×2.1	20	1	無	無						無					
	6	パソコン	1×0.76×1.5	15	1	無	無	単相	100	4.6	660VA		無	400		50		
	7	プリンタsum	上に含まれる	10	1	無	無	単相	100	5.2	740VA		無	450		50		
	8	プリンタ	上に含まれる	10	1	無	無	単相	100	0.8	120VA		無	70		50		
	9	モニタ	上に含まれる	15	1	無	無	単相	100	1.4	200VA		無	120		50		
	10	MAC	0.7×0.6×1.2	7	1	無	無	単相	100	5	715VA		無	430		50		
	11	モニタ	上に含まれる	10	1	無	無	単相	100	1.3	190VA		無	110		50		
	12	横のケーブル	0.7×0.48×0.67	10	1	無	無						無					
13	クーリングユニット	0.6×0.46×0.95	70	1	無	無	単相	100	20	2000VA	第3種	無	1720		50			
14	XRF	1.1×1.8×1.4	780	1	無	無	単相	200	80	16000VA	第3種 単独	無	10000		○	50		
15	パソコンモニタ	上に含まれる	上に含まれる	1	無	無	単相	100	3	430VA		無	260		50			
16	パソコン本体	上に含まれる	上に含まれる	1	無	無	単相	100	4.6	660VA		無	400		50			
17	プリンタ	上に含まれる	上に含まれる	1	無	無	単相	100	4	570VA		無	345		50			
18	横のプリンタワゴン	0.45×0.72×0.85	10	1	無	無	—					無						
19	プリンタ	上に含まれる	10	1	無	無	単相	100	1.6	230VA		無	140		50			
20	圧縮機	0.5×0.5×1.3	240	1	無	無	三相	200	3	1039VA		無	650		50			
21	ポンペ	0.49×0.45×1	10	1	無	無						無						
22	ミル	0.49×0.6×0.4	44	1	無	無	単相	100	2	200VA		無	260		50			

エリア(室名)	設備・備品													備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発 熱量 kcal/h	給水・排 水・ガス の有無	同時 使用 率 %	機器 設置 予定 年度
107	23	クーリングユニット (XRF)	0.6×0.6×1.25	100	1	無	無	三相	200	10	2500VA		無	1500		50		
	24	XRF棚	0.4×0.9×1.85	30	1	無	無						無					
	25	X線回折装置	1.18×1.8×2	1000	1	無	無	三相	200	100	34600VA	第3種	無	9500		50		
	26	計測制御	0.7×0.7×1.5	30	1	無	無	単相	100	30	3000VA		無	1500		50		
	27	冷却循環水装置	0.85×1.93×1.6	500	1	有	無	三相	200	50	17000VA	第3種	無	8500		50		
	28	実験台	0.9×1.8×0.8	80	4	無	無						無					
	29	流し台	0.8×0.6×0.4	20	1	無	無						無					
	30	SEM棚	0.47×0.9×2.1	30	1	無	無											
	31	ブラインド																
	32	換気扇																
	108 実験廃液調整 保管室	1	ドラフトチャンバー	0.75×1.5×2.5		2	無	無	単相 三相	100 200								
		2	実験台	0.75×2.4×0.8		2	無	有										
		3	実験台	1.5×2.4×0.8		2	無	有										
4		作業台	0.6×1.2×0.8		1	無	有											
5		流し台			1													
		除害シャワー(廊下に設 置)			1													
6		分光吸光度計	0.5×0.8×0.3		2	無	有	単相	100	2.5	0.25							
7		遠心分離機	0.5×0.5×0.3		1	無	有	単相	100									
8		pH計	0.3×0.3×0.3		1	無	有	単相	100									
9		電子天秤	0.3×0.3×0.3		2	無	有	単相	100	2	0.2							
10		マッフル炉	0.6×0.6×0.5		1	無	有	単相	100	20	4							
11		オートクレーブ	0.5×0.5×0.8		1	無	有	単相	100	20	2							
12		電気炉	0.48×0.68×0.7		1	無	有	単相	200	20	4							
13	換気扇																	
109 環境計算室	1	並列計算機			66	無	無	単相	100	330		第3種	有	7920		80		
	2	パソコン			17	無	無	単相	100	85		第3種	有	2040		80		
	3	プリンタ			6	無	無	単相	100	48		第3種	有	1080		80		
	4	液晶ディスプレイ			27	無	無	単相	100	54		第3種	有	2700		80		
	5	液晶TV			16	無	無	単相	100	80		第3種	有	2880		80		
	6	無停電電源			10	無	無	単相	100	220		第3種	有	4400		80		
	7	ブラインド																
	8	換気扇																

エリア(室名)	設備・備品													備考					
	本件事業により事業者が調達するもの	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別		停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %	機器設置予定年度
110 国際共同研究 室 1		1	プリンタ			2			単相	100	16A	1.6			360 /台				
		2	パソコン			2			単相	100	10A	1			240 /台				
		3	CRDディスプレイ			2			単相	100	20A	0.4			500 /台				
		4	冷蔵庫	0.581×0.477×1.2 75	27	1			単相	100	6A	0.3							
		5	電動ポット			1			単相	100	4A	2.0			100 /台				
		6	流し台	0.55×0.75×0.8		1										有	有		
		7	ブラインド																
		8	換気扇																
111 国際共同研究 室 2		1	プリンタ			2			単相	100	16A	1.6			360 /台				
		2	パソコン			2			単相	100	10A	1			240 /台				
		3	CRDディスプレイ			2			単相	100	20A	0.4			500 /台				
		4	冷蔵庫	0.581×0.477×1.2 75	27	1			単相	100	6A	0.3							
		5	電動ポット			1			単相	100	4A	2.0			100 /台				
		6	流し台	0.55×0.75×0.8		1										有	有		
		7	ブラインド																
		8	換気扇																
112 国際共同研究 室 3		1	プリンタ			2			単相	100	16A	1.6			360 /台				
		2	パソコン			2			単相	100	10A	1			240 /台				
		3	CRDディスプレイ			2			単相	100	20A	0.4			500 /台				
		4	冷蔵庫	0.581×0.477×1.2 75	27	1			単相	100	6A	0.3							
		5	電動ポット			1			単相	100	4A	2.0			100 /台				
		6	流し台	0.55×0.75×0.8		1										有	有		
		7	ブラインド																
		8	換気扇																



エリア(室名)	設備・備品														備考		
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h		給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %
112 建築環境設計 A 学	1	机(1)	1.8×0.7		12												
	2	机(2)	1.2×0.7		8												
	3	椅子(1)	0.8×0.7		20												
	4	椅子(2)	0.5×0.65		5												
	5	キャビネット	0.9×0.5		3												
	6	パソコン			20												
	7	コピ-兼Networkプリンター	0.55×0.7		1												
	8	冷蔵庫	0.5×0.5		1												
	9	ローパーティション			5												
	10	靴箱	0.7×0.4		1												
	11	電気調理器	0.5×0.9		1												
	12	流し台	0.5×0.9		1												
	13	ブラインド															
	14	換気扇															
112 地盤環境学 B	1	机(1)	1.8×0.7		12												
	2	机(2)	1.2×0.7		8												
	3	椅子(1)	0.8×0.7		20												
	4	椅子(2)	0.5×0.65		5												
	5	キャビネット	0.9×0.5		3												
	6	パソコン			20												
	7	コピ-兼Networkプリンター	0.55×0.7		1												
	8	冷蔵庫	0.5×0.5		1												
	9	ローパーティション			5												
	10	靴箱	0.7×0.4		1												
	11	電気調理器	0.5×0.9		1												
	12	流し台	0.5×0.9		1												
	13	ブラインド															
	14	換気扇															
112 地盤環境工学 C サラバ	1	電動型振動装置	1×1×0.3		200	2	無	有	三相	200	38A ×2						無
	2	流し台				1											
	3	ブラインド															
	4	換気扇															

エリア(室名)	設備・備品													備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発 熱量 kcal/h	給水・排 水・ガス の有無	同時 使用 率 %	機器 設置 予定 年度
113 QNDE室	1	除振台	1×0.8×0.75	245	1	無												
	2	デジタルオシロスコープ			1	無	単相	100			350W	第3種	無				20	
	3	バルサ-			1	無	単相	100	3			第3種	無				10	
	4	レーザードアラー振動計			1	無	単相	100	2			第3種	無				10	
	5	パソコン			1	無	単相	100	6			第3種	無				100	
	6	超音波水槽	0.8×0.4×0.6		1	無										○		
	7	AE装置			1	無	単相	100			500W	第3種	無				10	
	8	パソコン			1	無	単相	100	6			第3種	無				100	
	9	プリンタ			1	無	単相	100	8			第3種	無				100	
	10	コンプレッサー			1	無	単相	100	6			第3種	無				10	
	11	流し台			1													
	12	ブラインド																
	13	換気扇																
114 CAE室	1	ワークステーション			10	無	有	単相	100		300W	第3種	無	260			60	
	2	液晶プロジェクタ			1	無	有	単相	100		285W	第3種	無	250			25	
	3	カラープリンタ			1	無	有	単相	100		750W	第3種	無	650			100	
	4	モノクロプリンタ			1	無	有	単相	100		450W	第3種	無	420			100	
	5	電気ポット			1	無	有	単相	100		1200W		無	1050			20	
	6	冷蔵庫			1	無	有	単相	100				無				100	
	7	OHP			1	無	有	単相	100		400W		無	350			25	
	8	ノートパソコン			10	無	有	単相	100		100W		無	90			100	
	9	ワークデスク	1.4×1.4×0.76		8	無												
	10	作業台	1.4×0.7×0.76		1	無												
	11	ミーティングテーブル	3.3×1.8×0.76		1	無												
	12	PCモニタ			10	無	有	単相	100		150W		無	130			60	
	13	流し台			1													
	14	ブラインド																
	15	換気扇																
115 並列計算機室		シンク	2.5×0.7×0.8		1													
	1	並列計算機	3×1.5×2		2	無	有	単相	200	50		第3種	無	8600			100	
	2	並列計算機			1	無	有	単相	100		1500W	第3種	無	1290			100	
	3	並列計算機			1	無	有	単相	100		1500W	第3種	無	1290			100	
	4	ワークステーション			27	無	有	単相	100		300W	第3種	無	260			50	
	5	レーザープリンタ			1	無	有	単相	100		450W	第3種	無	400			30	
	6	OAデスク	1.8×0.7×0.76		10	無	有											
	7	クラスターラック	2×3×2.1		2	無	有											
	8	流し台			1													
9	換気扇																	

エリア(室名)	設備・備品													備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出人	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %
116 教授室	1	机(1)	1.4×1.4		1												
	2	机(2)	1.4×0.7		2												
	3	椅子(1)	0.8×0.7		1												
	4	椅子(2)	0.5×0.65		6												
	5	打ち合わせテーブル	2.1×0.9		1												
	6	キャビネット	0.9×0.5		10												
	7	パソコン			1												
	8	冷蔵庫	0.5×0.5														
	9	手洗い	0.4×0.6														
	10	ブラインド															
	11	換気扇															
117 助教授室	1	机(1)	1.4×1.4		1												
	2	机(2)	1.4×0.7		2												
	3	椅子(1)	0.8×0.7		1												
	4	椅子(2)	0.5×0.65		5												
	5	打ち合わせテーブル	1.8×0.9		1												
	6	キャビネット	0.9×0.5		2												
	7	本棚	0.95×0.4		7												
	8	パソコン			1												
	9	冷蔵庫	0.5×0.5		1												
	10	手洗い	0.4×0.6		1												
	11	ブラインド															
	12	換気扇															
118 共同利用室	1	机(1)	1.8×0.7		2												
	2	机(2)	1.6×0.4		1												
	3	椅子	0.8×0.7		2												
	4	キャビネット(1)	0.9×0.5		1												
	5	キャビネット(2)	0.95×0.4		5												
	6	パソコン			2												
	7	コピ-兼Networkプリンター	0.55×0.7		1												
	8	冷蔵庫	0.5×0.5		1												
	9	ローバーティン			2												
	10	手洗い	0.4×0.6		1												
	11	ブラインド															
	12	換気扇															

エリア(室名)	設備・備品														備考		
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出人	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h		給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %
119 院生室  居室	1	机(1)	1.8×0.7	12													
	2	机(2)	1.2×0.7	8													
	3	椅子(1)	0.8×0.7	20													
	4	椅子(2)	0.5×0.65	5													
	5	キャビネット	0.9×0.5	3													
	6	パソコン		20													
	7	エー兼Networkプリンター	0.55×0.7	1													
	8	冷蔵庫	0.5×0.5	1													
	9	ローパーティション		5													
	10	靴箱	0.7×0.4	1													
	11	電気調理器	0.5×0.9	1													
	12	流し台	0.5×0.9	1													
	13	ブラインド															
	14	換気扇															
120 エントランス ホール  廊下・手洗い等	1	タッチパネル式案内用モニター		1													
	2	エントランス内案内		1													
	3	一般掲示板(1)	W7.2	1													
	4	一般掲示板(2)	W3.6	1													
	5	展示用ボード	W7.2	2													
	6	各棟案内ボード(1)(銅版画等のオブジェ及びサイン)	W10.8×H5.0	1													
	7	教務関係掲示板	W10.8	1													
	8	各棟案内ボード(2)	W3.6	1													
	9	吊下げ型案内標識		2													
	10	ピクチャーレール															
	11	スポットライトレール	L7.2	4													
	12	ソファア(喫煙スペース内)		4													
	13	丸テーブル(打合・応接コーナー内)		2													
	14	テーブル(打合・応接コーナー内)		2													
	15	丸椅子(打合・応接コーナー内)		12													
	16	ソファア(喫煙スペース内)		4													
	17	ブラインド															
	18	換気扇															
121 ラウンジ		ソファア		4													

エリア(室名)	設備・備品													備考				
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %	機器設置予定年度
設備室	122	防災センター																
	123	電気室																
	124	機械室																
	125	EV機械室																
	126	ゴミ収集場																
	127	サービスイヤード																
	128	廊下																
	129	階段																
	130	便所																
	廊下・手洗い等	1	相談室															
保険管理棟																		

エリア(室名)	設備・備品														備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h		給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %	機器設置予定年度
2 処置・休養室	1	電動ベッド	1.9×0.75×0.5		2	無	有	単相	100	12	1.2		無					
	2	流し台			1	無	有								○	○		
	3	医療機材棚	0.9×0.6×1.2		1	無	有											
	4	処置台	0.8×0.6×1.5		1	無	有											
	5	点滴台			1	無	有											
	6	給湯器			1	無	有	単相	100						○	○	○	
	7	監視カメラ			1	無	有	単相	100				無					
	8	流し台			1													
	9	ブラインド																
	10	換気扇																
3 診療・遠隔医療室	1	書棚	0.9×0.45×1.8		1	無	有						無					
	2	パソコン			1	無	有	単相	100				無					
	3	プリンター			1	無	有	単相	100				無					
	4	机	1.5×0.7×0.7		1	無	有											
	5	椅子			2	無	有											
	6	診療ベッド	1.9×0.75×0.5		1	無	有	単相	100				無		○	○	○	
	7	流し台			1	無	有											
	8	テーブル	0.9×0.45×0.7		1	無	有											
	9	シャーカーカステン	1.8×0.5×0.6		1	無	有	単相	100				無					
	10	遠隔医療装置			1	無	有	単相	200				無					
	11	血圧計			1	無	有	単相	100				無					
	12	身長体重計			1	無	有	単相	100				無					
	13	検尿分析装置			1	無	有	単相	100				無					
	14	患者監視装置			1	無	有	単相	100				無					
	15	流し台			1	無	有											
	16	ブラインド																
	17	換気扇																
4 研究室	1	書棚	1.8×0.45×0.8		2	無	有											
	2	流し台	0.6×0.45×1		1	無	有								○	○	○	
	3	机	1.1×0.7×0.7		2	無	有											
	4	椅子			2	無	有											
	5	パソコン			2	無	有	単相	100									
	6	プリンター			2	無	有	単相	100									
5 物置	1	換気扇																

エリア(室名)	設備・備品													備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策		機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %
6 受付・事務室	○	1 ビジネスキッチン	0.9×0.45×1.8		1	無	有	単相	100	10A	1		無				
		2 冷蔵庫	0.6×0.6×1.5		1	無	有	単相	100				無				
		3 キヤビネット	0.45×0.7×1.7		1	無	有										
	○	4 流し台	1.5×0.6×1		1	無	有	単相	100				無		○	○	
	○	5 給湯器			1	無	有	単相					無		○	○	
		6 椅子			4	無	有										
		7 机			3	無	有										
		8 事務机			2	無	有										
		9 パソコン			4	無	有	単相	100				無				
		10 プリンター			1	無	有	単相	100				無				
		11 カルテ入れ			1	無	有						無				
		12 流し台			1												
		13 ブランド															
		14 換気扇															
7 検査室		1 安楽椅子			1	無	有	単相					無				
		2 図波計			1	無	有	単相	100			3	無				
		3 机			1	無	有										
		4 椅子			1	無	有										
	○	5 流し台			1												
	○	6 ブランド															
	○	7 換気扇															
8 会議室・スタッフルーム	○	1 給湯器			1	無	有	単相	100				無		○	○	
	○	2 ユニットキッチン	1.5×0.6×1		1	無	有						無		○	○	
	○	3 ビジネスキッチン	0.9×0.45×1.8		1	無	有		100	10	1		無				
		4 テーブル	1.8×0.6×0.7		1	無	有										
		5 椅子			6	無	有										
		6 書棚	1.8×0.6×1.8		1	無	有										
		7 冷蔵庫			1	無	有	単相	100				無				
		8 更衣ロッカー	1.8×0.6×1.8		1	無	有										
		9 監視モニター			1	無	有	単相	100				無				
	○	10 流し台			1												
	○	11 ブランド															
	○	12 換気扇															
9 倉庫・更衣室	○	1 洗面台			2	無	有	単相	100	10	1		無		○	○	
	○	2 シャワー			4	無	有								○	○	
		3 更衣ロッカー	0.6×0.45×1.8		6	無	有										
		4 器具棚	0.9×0.6×1.8		1	無	有										
	○	5 ブランド															
	○	6 換気扇															

エリア(室名)	設備・備品														備考			
	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出入	電源	電圧 V	負荷 電流 A	入力 KVA	アース種別	停電対策	機器発熱量 kcal/h		給水・排水・ガスの有無 給排ガ	同時使用率 %	機器設置予定年度
10 エクササイズ ルーム・ヒーリ ングルーム	1	トレッドミル	0.9×2.1×1.5	140	3	無	有	単相					無					
	2	サイクルエルゴ	1.25×0.54×1.22	38	3	無	有	単相					無					
	3	血圧計	0.35×0.5×0.71	10	1	無	有	単相					無					
	4	身長体重脂肪計	0.42×0.52×2.3	35	1	無	有	単相					無					
	5	ダンベルセット	0.5×1.25×0.9	70	1	無	有	単相					無					
	6	洗面台	1.2×0.6×1		1	無	有	単相					無					
	7	ヒーリングブース	2×3×2.5		5	無	有	単相					無					
	8	リラクゼーション機器	0.78×0.92×1.25		5	無	有	単相	1.05	0.105			無					
	9	流し台			1													
	10	ブラインド																
	11	換気扇																
11 便所	1	流し台	0.6×0.45×1		2	無	有	単相	100			無			○			
	2	流し台	0.9×0.45×1		1	無	有	単相	100			無			○			
	3	小便器			2	無	有	単相	100			無			○			
	4	大便器			4	無	有	単相	100			無			○			
	5	換気扇																
12 倉庫																		
13 エントランスロ ビー	1	学内紹介情報端末			1													
	2	パーテーション																
	3	椅子																
	4	テーブル																
	5	ブラインド																
	6	監視カメラ																
14 多目的ラウンジ	1	テーブル																
	2	椅子																
	3	ブラインド																
	4	流し台			1													
	5	監視カメラ																
15 和風レストラン	1	テーブル(4人がけ)			13													
	2	椅子			50													
	3	ブラインド																
	4	手洗い			1													
	5	レジ			1													
16 厨房(和風レス トラン)	1	厨房機器一式																
	2	流し台			1													
	3	手洗い			2													
	4	ブラインド																
17 搬入スペース	1	流し台			1													
18 倉庫																		
19 洋風レストラン	1	テーブル(4人がけ) (テラス含む)			60													

保険管理棟

福利棟



エリア(室名)	設備・備品													備考				
	本件事業により事業者が調達するもの	No	機器名	寸法 L×W×H(m)	重量 kg	台数	基礎	搬出人	電源	電圧 V	負荷電流 A	入力 KVA	アース種別		停電対策	機器発熱量 kcal/h	給水・排水・ガスの有無	同時使用率 %
19			2椅子(テラス含む)			235												
		○	3ブラインド															
		○	4手洗い			2												
			5レジ			1												
		○	1厨房機器一式															
20 厨房(洋風レス トラン)		○	2手洗い			2												
		○	3流し台			1												
		○	4ブラインド															
		○	1ATM															
21 ATM郵便局設 置スペース																		
			1情報端末			90												
			2テーブル			90												
			3椅子			90												
		○	4ブラインド															
22 インターネットカ フェ(会議室)		○	5手洗い			1												
		○	1厨房機器一式															
		○	2流し台			1												
		○	3ブラインド															
		○	1机															
23 パントリー			2椅子															
		○	3ブラインド															
		○	4手洗い			1												
			1棚															
			2テーブル															
24 スタッブルーム			3レジ															
		○	4情報端末															
		○	5ブラインド															
			1テーブル(4人がけ)			17												
			2椅子			65												
25 購買部																		
26 展望デッキ(外 部)																		
27 機械室(1)																		
28 電気室																		
29 機械室(2)																		
30 便所																		
31 廊下(保健管理 棟共通)																		
32 階段(保険管理 棟共通)																		

【別表3】実験・分析用ユーティリティ設備の内容

ユーティリティの種類 実験・分析室	純水	圧縮空気	吸引（真空圧）	純酸素	純窒素	窒素	純ヘリウム	純アルゴン	ヘリウム回収管								
<b>総合研究棟Ⅴ</b>																	
<b>② 構造系</b>																	
19A 第1構造実験室																	
19B 第1構造実験制御室																	
20 第3構造実験室																	
21A 第2構造実験室																	
21B 第2構造実験制御室																	
22 工作室																	
23 供試体製作室																	
26 第1コンクリート実験室																	
27 第2コンクリート実験室																	
28 コンクリート恒温室																	
29 コンクリート分析室																	
30 コンクリート用骨材ピット																	
31 風洞実験室 A～D																	
32 構造計測室																	
33 構造解析室																	
<b>③ 水工系</b>																	
35A 乱流水理実験長水路実験室 (39室と一体利用)																	
39 環境水理実験室 (35A室と一体利用)																	
35B 実験準備室																	
35C データ解析室																	
36 流域土砂動態研究実験長水路実験室																	
38A 都市型水害対策実験用長水路実験室A																	
37 動的相互作用実験用長水路実験室																	
40A 非線形波動水理実験室A																	
38B 都市型水害対策実験用長水路実験室B																	
40B 非線形波動水理実験室B																	
40C 非線形波動水理実験室C																	
41A 大気・水観測・測器調整室A																	
41B 大気・水観測・測器調整室B																	
42 地球流体マルチプロセス室																	

ユーティリティの種類 実験・分析室		純水	圧縮空気	吸引(真空圧)	純酸素	純窒素	窒素	純ヘリウム	純アルゴン	ヘリウム回収管								
<b>④ 地盤系</b>																		
43	地盤基礎実験室(恒温・恒湿制御部)		○	○														
44	地盤基礎実験室(恒温制御部)		○	○														
45	基礎実験計測管理室		○	○														
46	地盤模型実験室		○	○														
47	地盤模型実験室(恒温制御部)		○	○														
48	模型実験計測管理室																	
49	試料保管室																	
50	コンプレッサー室		No.46,47の供給源	No.46,47の供給源														
51	X線実験室																	
52	X線計測準備室		○	○														
52B	コンプレッサー室		No.43,44,45,52の供給源	No.43,44,45,52の供給源														
<b>⑤ 資源系</b>																		
53	地殻環境模型実験室																	
54	大深度地下物性実験室																	
55	岩石鉱物分析室																	
56	地化学環境実験室																	
57	地殻環境解析室																	
58	地下電磁計測実験室																	
59	地下可視化解析室																	
<b>⑥ 計画系</b>																		
60	対話型行動心理観測実験室																	
61	運転行動シミュレーション室																	
<b>⑦ 空間情報系</b>																		
62	精密空間情報計測室																	
<b>⑧ 生活環境系</b>																		
63	温湿度環境制御実験室																	
64	温湿度環境制御実験準備室																	
65	人工環境実験制御分析室																	
66	外界気象計測機器室																	
66B	小観測室																	
66C	日照環境実験室の設置場所(将来対応)																	
67	移動空間シミュレーション実験室																	
68	景観シミュレーション制御室																	
69	行動解析分析室																	
70	景観シミュレーション実験室																	
71	生活設備シミュレーション実験室																	

ユーティリティの種類 実験・分析室	純水	圧縮空気	吸引（真空圧）	純酸素	純窒素	窒素	純ヘリウム	純アルゴン	ヘリウム回収管								
<b>⑨ 環境系</b>																	
72・冷蔵保管室・ 73 冷凍保管室																	
74 試薬管理室 ・ 89 天秤室																	
75A 実験器具保管室 ・ 76 フィールド調査準備室 ・ 77 プラント保管庫		No.86.9 2の供給源		No.86.9 2の供給源	No.86.9 2の供給源	No.86.9 2の供給源	No.86.9 2の供給源	No.86.9 2の供給源									
75B 実験器具保管室 ・ 75C 実験器具保管室 77b 実験管理室																	
78 低温環境実験室																	
79 常温環境実験室																	
80 中温環境実験室																	
81 恒温恒湿室																	
82 ガス供給室 ・ 97 環境微生物培養室	○	○					○		○								
83 純水供給実験室 ・ 93 高純度ガス供給室 ・ 94 ガスボンベ保管室	No.82, 84～ 87, 90 ～103, 107の 供給源	No.85, 87, 91 の供給源		No.85 の供給源		No.85,8 6, 92, 103の 供給源	No.85, 87, 90, 91, 92 の供給源	No.85, 91, 107 の供給源									
84 プラント実験室	○																
85 化学実験室	○	○		○	○	○	○	○	○								
86 物理実験室	○	○		○	○	○	○	○	○								
87 生物実験室	○	○						○	○								
88 分析管理室																	
90 極微量汚染物質検出室	○							○	○								
91 環境重金属汚染分析室	○	○		○	○	○	○	○	○								
92 水士環境分析室	○	○		○	○	○	○	○	○								
95 生体毒性評価実験室	○																
96 高度機器分析室 ・ 99 高度分析関連器具保管室	○																
98 環境生物培養実験室	○																
100 試料前処理室	○					○											
101 精密試料前処理室	○					○											
103 環境化学物質分子毒性評価室	○						○										
106 防音室																	
107 X線使用実験室	○							○									
108 実験廃液調整保管室																	
109 環境計算室																	

ユーティリティの種類 実験・分析室	純水	圧縮空気	吸引（真空圧）	純酸素	純窒素	窒素	純ヘリウム	純アルゴン	ヘリウム回収管						
<b>⑩ 建築系</b>															
110 国際共同研究室1															
111 国際共同研究室2															
112 国際共同研究室3															
112 建築環境設計学 A															
112 地盤環境学 B															
112 地盤環境工学サブ Cポ															
<b>⑪ 構造系</b>															
113 QNDE室															
114 CAE室															
115 並列計算機室															

## 8. 設計及び施工に関する要求事項

### (1) 設計に関する要求事項

#### ① 業務

- (ア) 本大学担当者の指示に従い業務に必要な調査を行い、関係法令に基づいて、業務を遂行すること。
- (イ) 業務の詳細及び当該工事の範囲について、本大学担当者との連絡を取り、かつ十分に打ち合わせをして業務の目的を達成すること。
- (ウ) 業務の進捗状況に応じて、業務の区分ごとに本大学担当者に設計図書等を提出するなどの中間報告をし、十分な打合せをすること。
- (エ) 業務に必要と判断した場合は、地質調査を行うこと。
- (オ) 設計図書等の表記方法については、本大学担当者との協議をすること。
- (カ) 官庁協議および消防協議の結果は必ず大学へ書面にて報告すること。
- (キ) 官庁および消防との協議内容が総合研究棟Ⅲ・RⅠ施設、総合研究棟Ⅳに影響する場合は、必ず大学との協議をすること。
- (ク) 設計段階においても、近隣住民に対する配慮を行うこと。

#### ② 設計図書

- (ア) 基本設計及び実施設計完了時には設計図書を本大学に提出し、承諾を得ること。提出する設計図書は、工事施工及び工事費積算に支障のないものとし、詳細については本大学担当者との協議をすること。
- (イ) 提出する設計図書は下記による。  
基本設計図面、実施設計図面、構造計算書、設備負荷計算書、各種省エネ計算書、  
打合せ議事録、工事費内訳明細書 等

### (2) 施工に関する要求事項

#### ① 一般事項

京都大学桂団地工事連絡会に加入し、桂キャンパスで行われている他工事との連絡・調整を行うこと。また、以下の②～⑤の対応にあたっては、京都大学桂団地工事連絡会との連絡調整を図り対応すること。

#### ② 住民対応

- (ア) 建設工事に先立ち、周辺住民に対する工事の説明及び周辺影響調査を行い、工事の円滑な通行と安全を確保すること。
- (イ) 工事中は周辺その他からの苦情が発生しないよう注意するとともに、万一発生した苦情その他については、事業者を窓口として、工程に支障をきたさないように処理を行うこと。
- (ウ) 適切な工事工程を立て、工事期間のすべてにおいて近隣住民に工事内容等を周知せしめること。

#### ③ 安全対策

- (ア) 工事現場内の事故等災害の発生に十分留意するとともに、周辺地域へ災害が及ばないよう、万全の対策を行うこと。
- (イ) 工事車両の通行については、あらかじめ周辺道路の状況を把握し、事前に道路管理者等と打合せを行い、運行速度や誘導員の配置、案内看板の設置や道路の清掃等、十分な配慮を行うこと。

#### ④ 環境対策

- (ア) 騒音・振動や悪臭・粉塵及び地盤沈下等、周辺環境に及ぼす影響について、十分な予測と状況把握及び対策を行うこと。
- (イ) 周辺地域に万一上記悪影響を与えた場合は、苦情処理等事業者の責において処理すること。

⑤ 既存環境の保護

- (ア) 隣接する物件や、道路、公共施設等に損傷を与えないよう留意し、工事中に汚損、破損をした場合の補修及び補償は、事業者の負担において行うこと。
- (イ) 工事に際しては、敷地内の法面や既存樹木の保護に努めること。
- (ウ) 工事により周辺地域に水枯れ等の被害が発生しないよう留意するとともに、万一発生した場合には、事業者の責において対応を行うこと。

⑥ 施工管理

- (ア) 要求される性能が確実に実現されるよう施工管理をすること。
- (イ) 各種関係法令及び工事の安全等に関する指針等を遵守し、設計図書及び施工計画に従って工事を実施する。
- (ウ) 本大学は必要に応じて工事現場の確認を行うことができる。また、施工状況について説明を求められたときには速やかに回答すること。
- (エ) 本大学担当者に対し、定期的に工事施工管理状況の報告を行うこと。
- (オ) 工事完成時には、施工記録を整備し本大学に提出すること。
- (カ) 施設が別途発注する施工上密接に関連する工事や備品等の業務がある場合は、工程等の調整を十分に行い、工事全体について円滑な施工に努めること。

⑦ 廃棄物の処理

- (ア) 工事から発生した廃棄物等については、法令等に定められた方法により適切に処理、処分すること。
- (イ) 工事により発生する廃材等について、その再生可能なものについては、積極的に再利用を図ること。

⑧ その他

- (ア) 工事に際しては、本大学の業務に支障を与えないよう配慮するとともに、本大学の管理する土地を使用する場合は、管理者と十分に協議を行うこと。
- (イ) 工程については、無理のない堅実な工事計画とし、要求される性能が確実に実施されるよう管理すること。

### Ⅲ. 維持管理業務に関する要求水準

#### 1. 目的

事業者は、施設運用開始から事業期間終了までの間、本施設全体に関わる品質・品格を保持し、快適・便利・柔軟かつ効率的な運用が可能な環境を提供し、劣化に伴う機能低下を防止して施設の安全性・機密性を確保し、施設の信頼性を高め、資産の効果的な活用を図るため、施設の維持管理業務を行う。

#### 2. 一般事項

##### (1) 事業者の業務範囲

- ① 建物保守管理業務
- ② 設備保守管理業務
- ③ 清掃業務
- ④ 植栽・外構維持管理業務
- ⑤ 警備業務

##### (2) 業務実施の考え方

業務の実施に当たっては、前項で定める業務について、事業期間を通じて次のことに考慮した維持管理業務計画書（以下「計画書」という。）を作成し、実施する。

- ① 維持管理は、予防保全を基本とすること。
- ② 施設環境を良好に保ち、施設利用者の健康被害を防止すること。
- ③ 建築物（付帯設備を含む）が有する性能を保つこと。
- ④ 劣化等による危険・障害の未然防止に努めること。
- ⑤ 省資源、省エネルギーに努めること。
- ⑥ ライフサイクルコストの削減に努めること。
- ⑦ 建築等の財産価値の確保を図ること。
- ⑧ 環境負荷を低減し、環境汚染等の発生防止に努めること。
- ⑨ 廃棄物の抑制に努めること。
- ⑩ 故障等によるサービスの中断に係る対応を定め、回復に努めること。
- ⑪ 良好な研究・教育環境を損なわないよう、作業時間、作業時期、作業方法につき、本大学担当者と充分協議・調整すること。
- ⑫ ①～⑪の項目について、事業期間中の工程を定め、実施すること。

##### (3) 点検及び故障等への対応

- ① 点検及び故障等への対応は、計画書に従って速やかに実施すること。
- ② 消防の検査等に立会い、維持管理に係る質疑応答や指摘内容の把握・改善を行うこと。

##### (4) 非常時の対応

- ① 事故・火災等への対応についてあらかじめ本大学と協議し、防災計画を策定する。
- ② 事故・火災等が発生した場合は、直ちに被害拡大の防止に必要な措置を取るとともに、施設管理担当者及び関係機関に通報する。

##### (5) 災害時等の対応

本施設内において災害が発生したとき、又は発生するおそれがあるときは、直ちに、初期措置を講じ、施設管理担当者及び関係機関に通報する。

##### (6) 法令等の遵守



必要な関連法令、技術基準等を充足した計画書を作成し、それに基づき業務を実施する。  
また、法令等により資格を必要とする業務の場合には、各有資格者を選任する。

(7) 費用の負担

業務に要する費用は、事業者の負担とする。

(8) 用語の定義

① 点検

建築物等の機能及び劣化の状態を一つ一つ調べること。機能に異常又は劣化がある場合、必要に応じ対応措置を判断することを含む。

② 保守

建築物等の必要とする性能又は機能を維持する目的で行う消耗部品又は材料の取替え、注油、汚れ等の除去、部品の調整等の作業をいう。なお、消耗品（蛍光灯、トイレトーパー）については本大学から支給する。

③ 運転・監視

設備機器を稼働させ、その状況を監視すること及び制御すること。

④ 清掃

汚れを除去し、又は汚れを予防することにより仕上材を保護し、快適な環境を保つための作業をいう。

⑤ 修繕

建築物等の劣化した部分若しくは部材又は低下した性能若しくは機能を、原状又は実用上支障のない状態まで回復させることをいう。

⑥ 更新

機能が劣化した設備や機器等(備品を含む)を新たに設備・調達する保全業務をいう。

⑦ 施設管理担当者

工学研究科に施設管理担当者を置く。

3. 建物保守管理業務

(1) 建物保守管理業務の対象

本施設のうち、建物に関する部分を対象とする。

(2) 業務の実施

① 一般事項で定めた計画書に加え、毎事業年度の開始前に、建物保守管理業務年間計画書を作成し、実施する。

② 修繕等が必要と思われる場合は、迅速に調査・診断を行い、事業者の責任範囲であれば至急修繕を実施する。また、責任範囲が明確でない場合は、本大学とその責任と負担を協議の上、修繕等を実施する。

③ 実施業務の結果を記録する。

(3) 要求水準

事業契約書及び実施設計図書に定められた所要の性能及び機能を保つこと。

① 屋根

- ・漏水がないこと。
- ・ルーフトレン、樋等が詰まっていないこと。
- ・金属部分が錆び、腐食していないこと。
- ・仕上げ材の割れ、浮きがないこと。

- ② 外壁
  - ・漏水がないこと。
  - ・仕上げ材の浮き、剥落、ひび割れ、チョーキング、エフロレッセンスの流出がないこと。
- ③ 地下ピット
  - ・地下ピットの防水性が維持されること。
- ④ 建具（内・外部）
  - ・可動部がスムーズに動くこと。
  - ・定められた水密性、気密性及び耐風圧性が保たれること。
  - ・ガラスが破損、ひび割れしていないこと。
  - ・自動扉及び電動シャッターが正常に作動すること。
  - ・開閉・施錠装置が正常に作動すること。
  - ・金属部分が錆び、腐食していないこと。
  - ・変形、損傷がないこと。
- ⑤ 天井・内装
  - ・ボード類のたわみ、割れ、外れがないこと。
  - ・仕上げ材のはがれ、破れ、ひび割れがないこと。
  - ・塗装面のひび割れ、浮き、チョーキングがないこと。
  - ・気密性を要する部屋において、性能が保たれていること。
  - ・漏水、かびの発生がないこと。
- ⑥ 床
  - ・ひび割れ、浮き又は摩耗及びはがれ等がないこと。
  - ・防水性能を有する部屋において、漏水がないこと。
  - ・歩行及び試験・研究業務に支障がないこと。
- ⑦ 階段
  - ・通行に支障をきたさないこと。
- ⑧ 手すり
  - ・ぐらつき等機能に問題がないこと。

#### 4. 設備保守管理業務

- (1) 設備保守管理業務の対象
 

本件事業による建物を機能させるため、事業者により設置した各種設備及び備品を対象とする。
- (2) 業務の実施
  - ① 総則で定めた計画書に加え、毎事業年度の開始前に、次の項目を含む設備保守管理業務年間計画書を作成し、実施する。
    - ・定期点検・測定・整備業務
  - ② 修繕等が必要と思われる場合は、迅速に調査・診断を行い、事業者の責任範囲であれば至急修繕を実施する。また、責任範囲が明確でない場合は、本大学とその責任と負担を協議の上、修繕等を実施する。
- (3) 要求水準
 

事業契約書及び実施設計図書に定められた所要の性能及び機能を保つこと。
- (4) 設備管理記録の作成及び保管

点検記録及び整備・事故記録等を作成する。運転日誌及び点検記録は、3年以上、整備・事故記録等は、事業期間中保管する。

① 点検記録

- ・電気設備点検表（通信設備を含む）
- ・空調設備点検表
- ・給排水、衛生設備点検表
- ・残留塩素測定記録
- ・貯水槽点検記録
- ・飲料水水質検査記録
- ・空気環境測定記録
- ・実験排水樹PH測定記録
- ・防災設備点検記録
- ・各種水槽清掃実施記録
- ・その他提案により設置される各種設備の点検・測定記録

② 補修・事故記録

- ・定期点検整備記録
- ・補修記録
- ・事故・故障記録

(5) 異常時の報告

運転監視及び定期点検等により、異常が発見された場合には、速やかに施設管理担当者に報告する。

## 5. 清掃業務

(1) 清掃業務の対象

- ① (4)～(6)に示す日常清掃、定期清掃及び外構清掃の項目において指定された範囲とする。ただし、電気が通電され、又は運転中の機器が近くにある等清掃に危険が伴う部分については施設管理担当者と協議すること。
- ② 備品、什器等（椅子等軽微なものを除く）の移動は行わない。

(2) 業務の実施

一般事項で定めた計画書に加え、毎事業年度の開始前に、次の項目を含む清掃業務年間計画書を作成し、実施する。

- ・日常清掃業務
- ・定期清掃業務

(3) 要求水準

目に見える埃、シミ、汚れがない状態を維持し、見た目心地良く、衛生的でなければならない。清掃は、できる限り利用者の妨げにならないように実施する。個別箇所毎に日常清掃及び定期清掃を組み合わせ、業務を実施すること。

(4) 日常清掃

日常清掃の対象は、廊下・階段及び各階共通部分ならびに全館共用のセミナー室・講義室・会議室とし、教官室・実験室等の内部は除く。

① 床

- ・床仕上げに応じた適切な方法により埃、ごみのないようにする。

- ② ごみ箱、汚物容器、厨芥入れ等
    - ・ 始業前までには内容物がすべて空の状態になっており、汚れが付着していない状態にする。
  - ③ トイレ、更衣室、シャワー室（洗面台、鏡、衛生陶器を含む）
    - ・ 衛生陶器類は適切な方法により見た目に清潔な状況に保つ。
    - ・ トイレトペーパー、消毒用品等は常に補充されている状態にする。
    - ・ 間仕切りは落書き、破損がない状態に保つ。
    - ・ 洗面台は常に水垢の付着や汚れがない状態に保つ。
    - ・ 鏡はシミ、汚れがついていない状態に保つ。
  - ④ その他の内部付帯施設（流し台、湯沸かし等）
    - ・ 清潔な状態に保つ。
- (5) 定期清掃
- 日常清掃の対象は、廊下・階段及び各階共通部分ならびに全館共用のセミナー室・講義室・会議室とし、教官室・実験室等の内部は除く。
- ① 床
    - ・ 埃、シミ、汚れがない状態に保つ（繊維床を除く）。
    - ・ 繊維床の場合は、埃、汚れがない状態に保つ。
  - ② 壁・天井
    - ・ 表面全体を埃、シミ、汚れのない状態に保つ。
  - ③ バルコニー（計画がある場合）
    - ・ 土等汚れがない状態に保つ。
  - ④ 照明器具、時計、換気口
    - ・ 埃、汚れを落とし、適正に機能する状態に保つ。
  - ⑤ 窓枠、窓ガラス
    - ・ 汚れがない状態に保つ。
  - ⑥ 金属部分、手すり、扉、扉溝、スイッチ類
    - ・ 埃、汚れがない状態に保つ。
  - ⑦ ネズミ・害虫駆除
    - ・ ネズミ・害虫等を駆除する。殺鼠剤等の使用に当たっては、あらかじめ施設管理担当者  
と協議すること。
- (6) 外構清掃
- ① 外構清掃の対象
    - ・ 建物周囲（玄関周り、犬走り等）
    - ・ 敷地内舗装面
    - ・ 側溝、排水管、污水管、雨水桝、水路
    - ・ 門扉、敷地内案内板等
    - ・ 敷地境界周辺の土地（道路脇等）
  - ② 外構清掃の内容
    - ・ 敷地内のごみ等が近隣に飛散して迷惑を及ぼすことを防止する。
    - ・ 屋外排水設備（敷地内の側溝、排水桝等）の水流をごみ、落ち葉等で阻害しない。
    - ・ 日常清掃は、ごみ置き場、玄関周りについて行う。（水洗い、除塵等）
    - ・ 門扉、敷地内案内板等は、汚れが見苦しくなく、開閉がスムーズで表示が見やすい状態

に保つ。

③ 清掃用具・資機材等の負担

清掃用器具、洗剤などの資機材は、すべて事業者の負担とする。

④ 資機材等の保管

資機材及び衛生消耗品は、計画書に示された場所に整理し、保管する。

⑤ ごみの収集・集積

- ・ごみは、所定の場所に収集し、集積する。(廃薬品、実験廃棄物等は除く)
- ・分別方法は、京都市の指定する方法に従う。

(7) 用語の定義

① 清掃

汚れを除去すること、汚れを予防することにより仕上げ材を保護し、快適な環境を保つための作業をいう。

② 日常清掃

日単位等の短い周期で行う清掃業務をいう。

③ 定期清掃

週単位、月単位及び年単位の長い周期で行う清掃業務をいう。

④ ごみの収集・集積資機材

資機材とは、次のような資材及び機材をいう。

- ・資材：洗浄用洗剤、樹脂床維持剤、パッド、タオル等
- ・機材：自在箒、フロアダスタ、真空掃除機、床磨き機等

⑤ 衛生消耗品

トイレトーパー、水石鹸等をいう。

6. 植栽・外構維持管理業務

(1) 植栽・外構維持管理業務の対象

① 植栽

- ・研究用樹木を除く敷地内の植栽全般

② 外構

- ・施設  
ごみ置き場、駐車場ライン、門扉、囲障、擁壁等コンクリート構造物、案内板、外灯等
- ・敷地地盤  
構内道路、駐車場、多目的運動施設等の舗装面
- ・地中設備  
埋設配管、暗渠及び排水桝等

(2) 業務の実施

- ① 一般事項で定めた計画書に加え、毎事業年度の開始前に、植栽・外構維持管理業務年間計画書を作成し、実施する。
- ② 修繕等が必要と思われる場合は、迅速に調査・診断を行い、事業者の責任範囲であれば至急修繕を実施する。また、責任範囲が明確でない場合は、本大学とその責任と負担を協議の上、修繕等を実施する。
- ③ 実施業務の結果を記録する。

(3) 要求水準

① 植栽

- ・植栽を良好な状態に保ち、かん水を行い、害虫や病気から防御する。
- ・繁茂しすぎないように適宜剪定、刈込みを行う。
- ・風等により倒木しないように管理を行うとともに、万一枝等が散乱した場合の適切な処理を行う。
- ・施肥、除草等を計画的に行う。

② 外構

- ・各施設、設備とも本来の機能を発揮できる状態に保つこと。

(4) 薬剤散布、施肥の際の協議

薬剤散布又は化学肥料の使用に当たっては、あらかじめ、施設管理担当者と協議すること。

7. 警備業務

(1) 警備業務の対象

敷地内の建築物を含むすべての財産の保全及び運営時間外の侵入者の監視等。

(2) 業務の実施

① 用語の定義

一般事項で定めた計画書に加え、毎事業年度の開始前に、業務年間計画書を作成し、実施する。

② 実施業務の結果を記録する。

(3) 要求水準

24 時間、365日警備を行う。

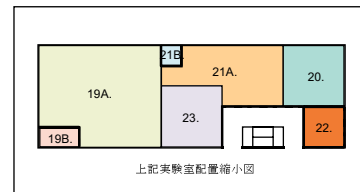
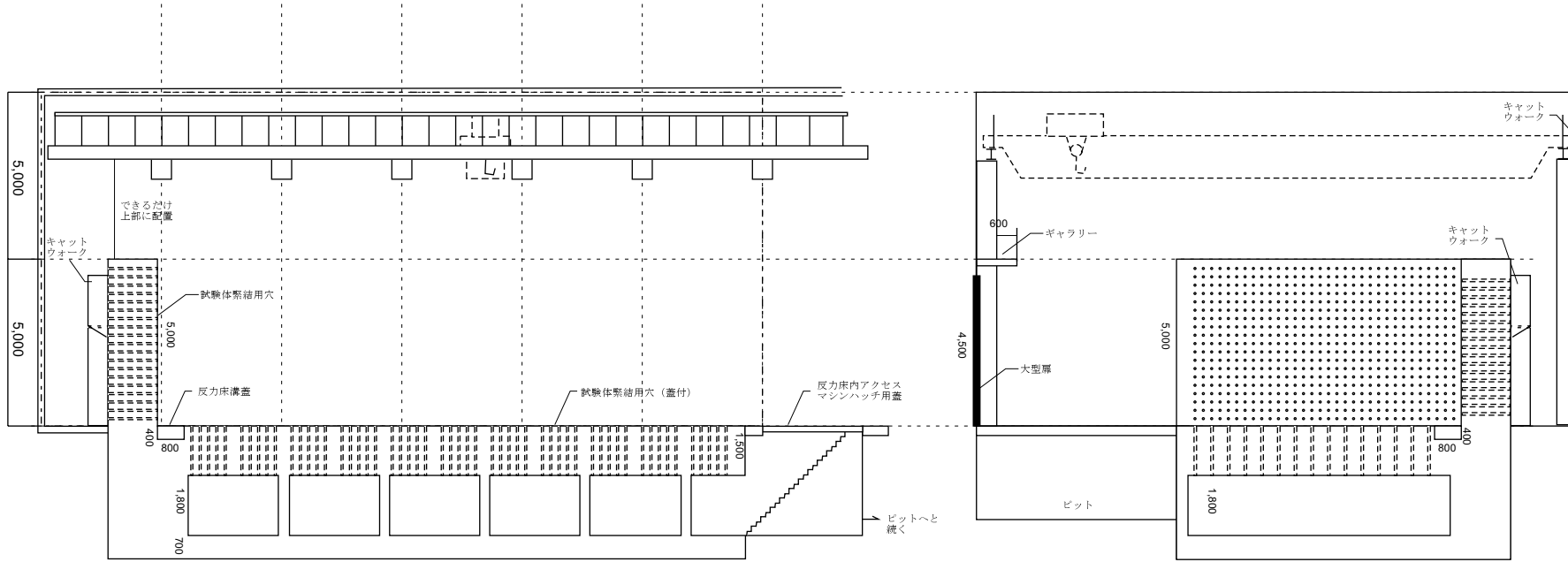
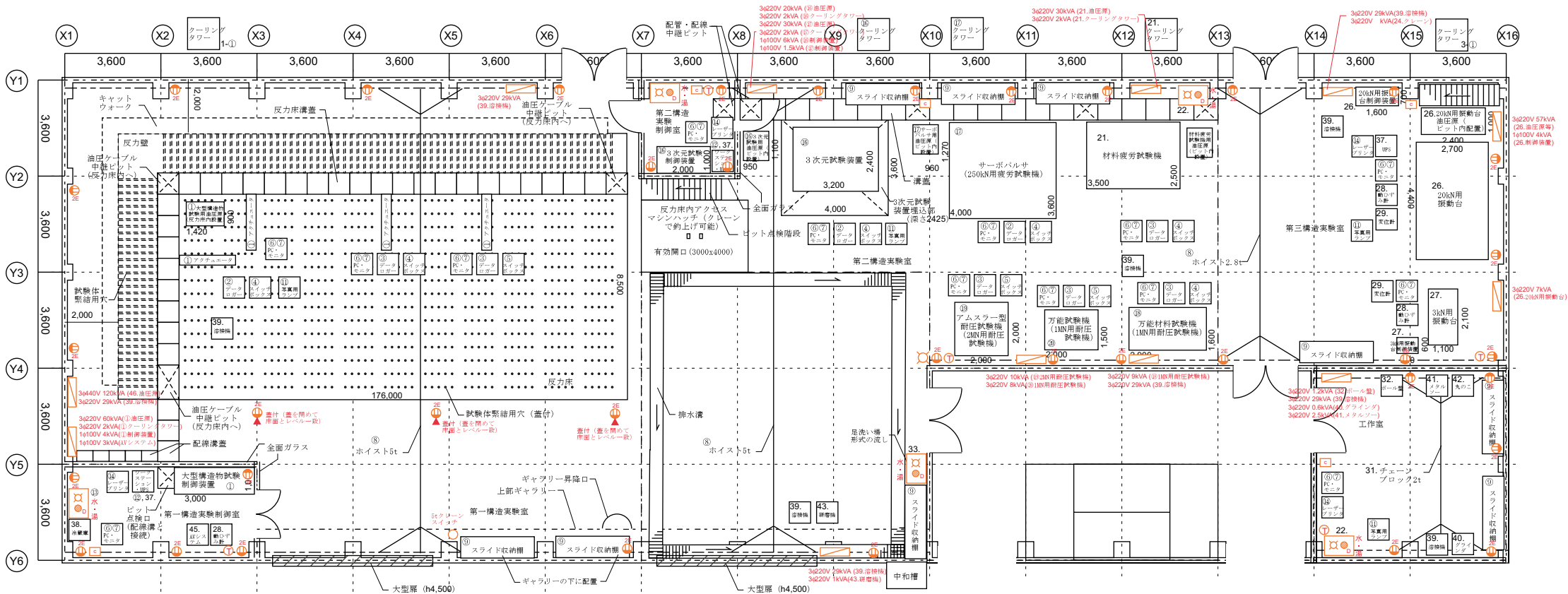
(4) 業務内容

警備担当員は、監視設備により常時監視し、緊急事態に際しては以下の業務を行う。

- ・異常信号を受信したときには、直ちに異常の内容を把握し、関連機関への通報、施設管理担当への通報を行う。
- ・通報後は、直ちに現場へ急行し、適切な応急措置を行う。
- ・地震や風水害による災害が発生したとき、又は発生する恐れがあるときは、直ちに現場に急行し、状況の把握と初期措置をとること。

別添資料

- 【資料1】 事業計画地位置図、現況配置図(工事範囲区分・インフラ取合等)
  - 【資料2】 地盤調査資料(ボーリング図)
  - 【資料3】 概略平面図・概略立面図・概略断面図・面積表
  - 【資料4】 確認申請関係書類(法規制一覧含む)
  - 【資料5】 住民説明関係資料
  - 【資料6】 桂キャンパス基本コンセプト
  - 【資料7】 機械設備資料
  - 【資料8】 遠隔講義システム備品資料
- 
- 【諸元図1】 (19A)第1構造実験室、(19B)第1構造実験制御室、(20)第3構造実験室、(21A)第2構造実験室  
(21B)第2構造実験制御室、(22)工作室、(23)供試体製作室
  - 【諸元図2】 (26)第1コンクリート実験室、(27)第2コンクリート実験室、(28)コンクリート恒温室  
(29)コンクリート分析室、(30)コンクリート用骨材ピット
  - 【諸元図3】 (31A)風洞実験室、(31B)風洞実験室、(31C)風洞実験室、(31D)風洞実験室
  - 【諸元図4】 (35A)乱流水理実験長水路実験室、(39)環境水理実験室
  - 【諸元図5】 (36)流域土砂動態研究実験長水路実験室、(38A)都市型水害対策実験用長水路実験室A
  - 【諸元図6】 (37)動的相互作用実験用長水路実験室、(40A)非線形波動水理実験室A
  - 【諸元図7】 (40B)非線形波動水理実験室B、(40C)非線形波動水理実験室C
  - 【諸元図8】 (51)X線実験室、(52)X線計測・準備室
  - 【諸元図9】 (66C)日照環境実験室の設置場所(将来対応)
  - 【諸元図10】 (72, 73)冷蔵保管室、冷凍保管室
  - 【諸元図11】 (78)低温環境実験室、(79)常温環境実験室、(80)中温環境実験室、(81)恒温恒湿室
  - 【諸元図12】 (84)プラント実験室
  - 【諸元図13】 (116)教授室、(117)助教授室、(118)共同利用室、(119)院生室



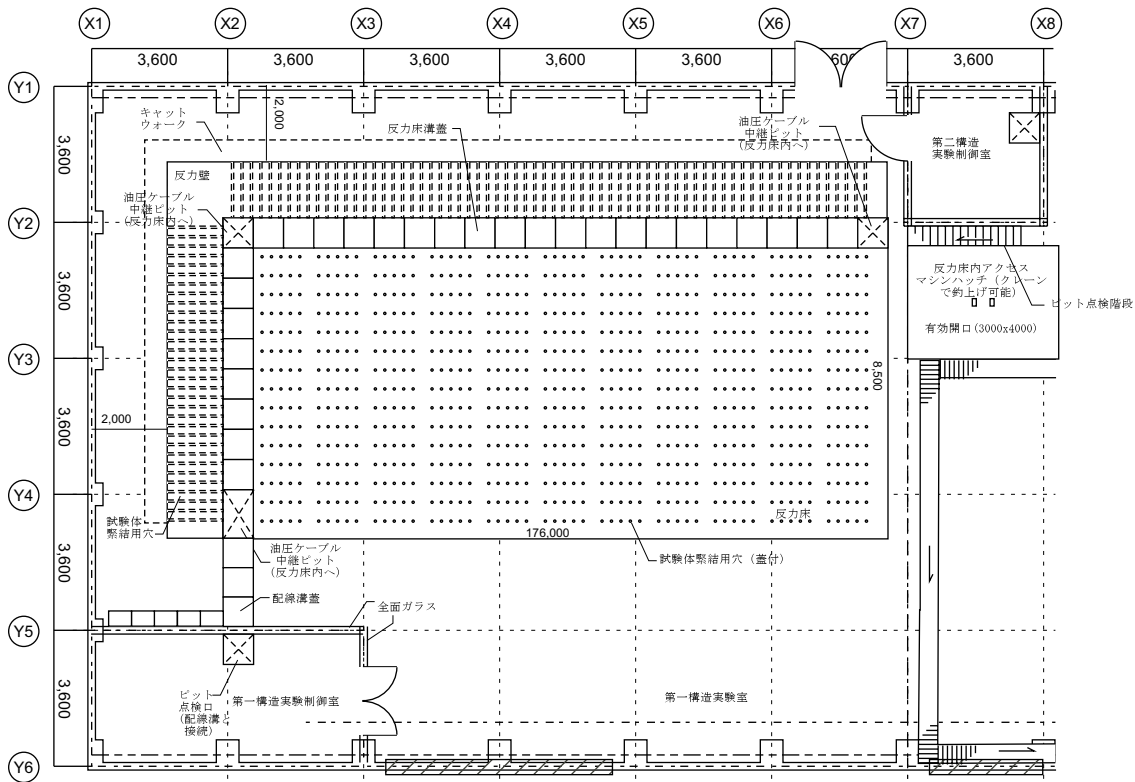
図中のクリーニングタワーは、同機能の冷却設備として他の設備に替えることができる。

資料 1

2002/10/11版  
1/100 (A2出力で)

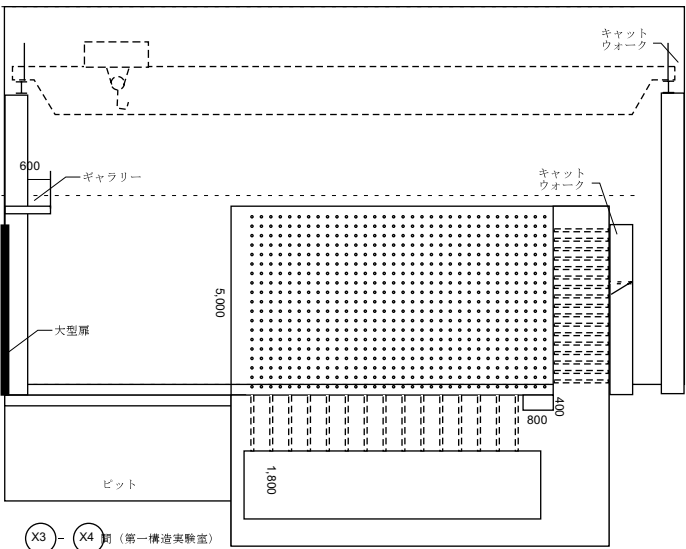
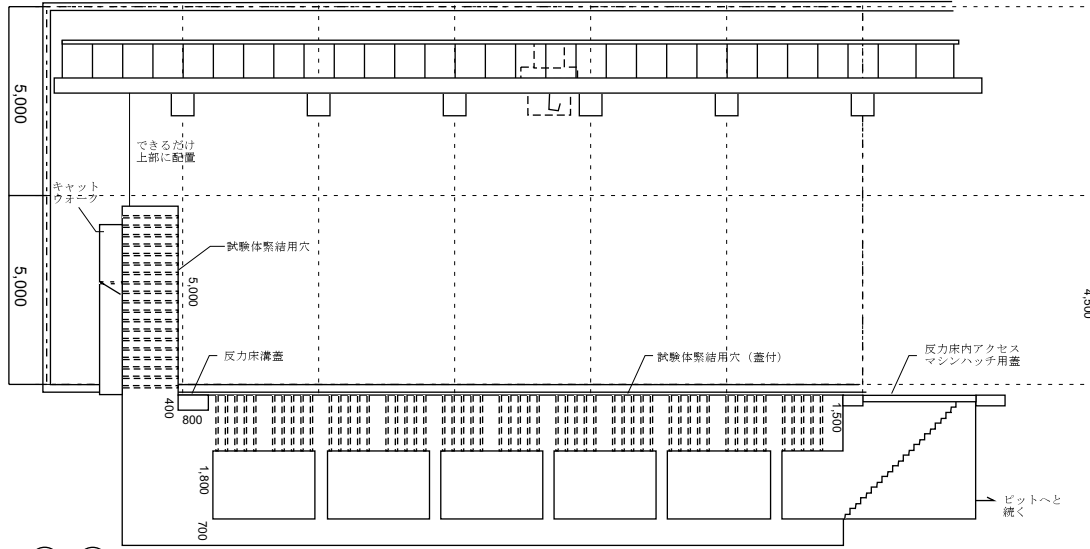
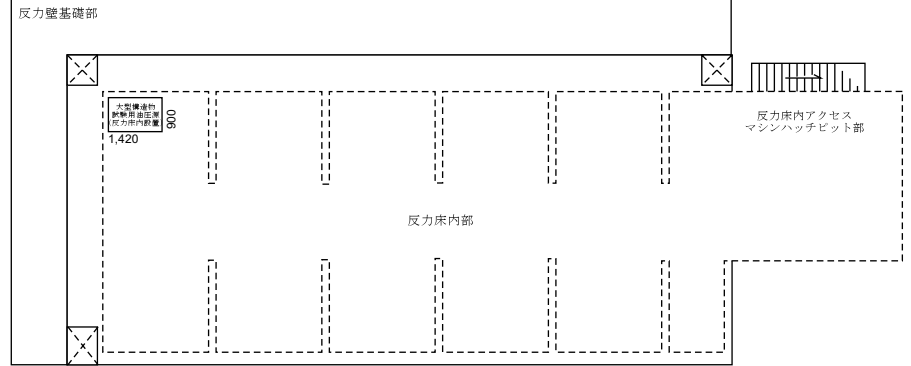






反力床および反力壁について

1. 反力壁および反力床は、丸型鋼管を埋め込んだコンクリート製とする。反力壁はL型とする。
2. 反力壁高さは5,000mmとし、厚さは最大1,500mmとする。天頂部に1MN作用した場合の変形が1mm以下となるようにする。
3. 反力床表面は176,000x8,500mmとする。
4. 丸型鋼管は内径60mm程度とし、最大Φ40のPC鋼棒が余裕をもって緊結可能な大きさとする。
5. 反力壁および反力床の原点はL型反力壁表面と反力床の表面の3平面が交差する点とし、反力壁長辺に沿ってX軸、反力壁短辺に沿ってY軸、高さ方向にZ軸とする。
6. 反力壁長辺の試験体緊結用丸型鋼管はX=250mmとZ=250mmから始めて、250mmグリッド(X方向、Y方向ともに250mm間隔)とする。
7. 反力壁短辺の試験体緊結用丸型鋼管はY=250mmとZ=250mmから始めて、250mmグリッドとする。
8. 反力床のX方向の試験体緊結用丸型鋼管はX=1000mmから始まり、X=1250mm、1500mm、1750mm、2000mmと5列を250mm間隔で作成する。ここで500mm飛ばし、X=2500mmから再び5列を250mm間隔で作成し、その後500mm飛ばし、という形を繰り返す。反力床のY方向の試験体緊結用丸型鋼管はY=1000mmから始まり、500mmピッチで配置する。
9. 反力床の鋼管上面には、塩化ビニルや金属製を用いた蓋を設ける。ただし蓋はコンクリート表面から出ず、蓋をした状態で床表面全体が同じレベルとなるようにする。なお、蓋はねじ式にはしないこと。
10. ビット内で反力床を支える壁は、丸型鋼管の間隔が500mm空いているところに設置する。壁と壁の間隔は芯芯で4500mmとする。また壁には長手方向の往来ができるよう、2000mm程度の開口を設ける。
11. 反力壁に沿う800mmの反力床部には深さ400mm程度の溝を設け、油圧ホース等を配管する空間とする。溝には蓋を設け、上面を反力床全面と同じレベルとする。溝の一部は反力床のないビット部へとつながる空間を設け、油圧源との配管が可能となるようにする。
12. 反力床内のビットには、排水用の溝を周囲に設ける。
13. 反力床短辺の第二構造実験室側に、ビットへ降りる階段をつける。
14. ビットへ降りる階段の隣に油圧源等の機器をビットに降ろすマシンハッチを設ける。マシンハッチは開口部3000x4000mmを確保する。上部には蓋を設ける。
15. 反力壁、反力床のコンクリート表面の仕上がり状態は目遣い、不陸等の極めて少ない良好な面とする。下記の平坦さを満足するようにグラインダー掛け等により平滑に調整する。
  - ・平坦さは1mにつき2mm以下
  - ・床面および壁面の平均レベルからの不陸は±5mm以下
  - ・全体の傾斜は1/1000以下
16. 試験体緊結丸型鋼管の精度は以下を満足する。
  - ・絶対位置に関して±10mm以内
  - ・隣接する丸型鋼管との間隔は±3mm以下
  - ・丸型鋼管の傾斜は1/400以下



参考

1 9 A 第1構造実験室  
 1 9 B 第1構・1実験制御室  
 2 1 B 第2構造実験制御室 諸元図 1

資料 2

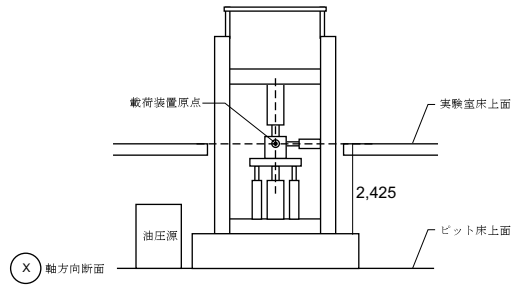
2002/10/11版  
 1/100 (A2出力で)

Y2 - Y3 期 (第一構造実験室と第二構造実験室の一部)

X3 - X4 期 (第一構造実験室)

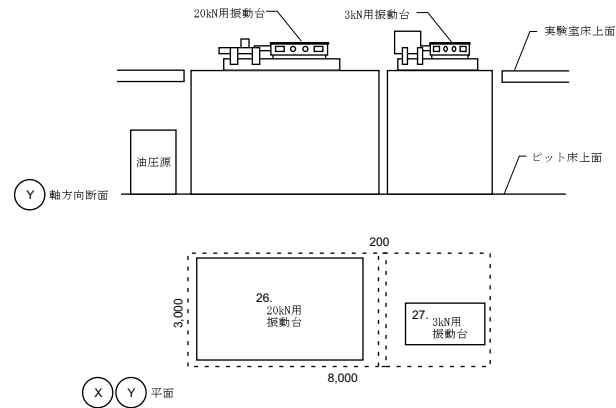
### 3次元試験装置（第二構造実験室）

1. 3次元試験装置の原点が床上面とレベルが同じとなるように、4,000x3,600x2,425Hの載荷装置埋め込み部を設ける。
2. Z方向アクチュエータの点検が可能となるよう、ピットと埋め込み部の間に壁は設けない。柱等で対応する。



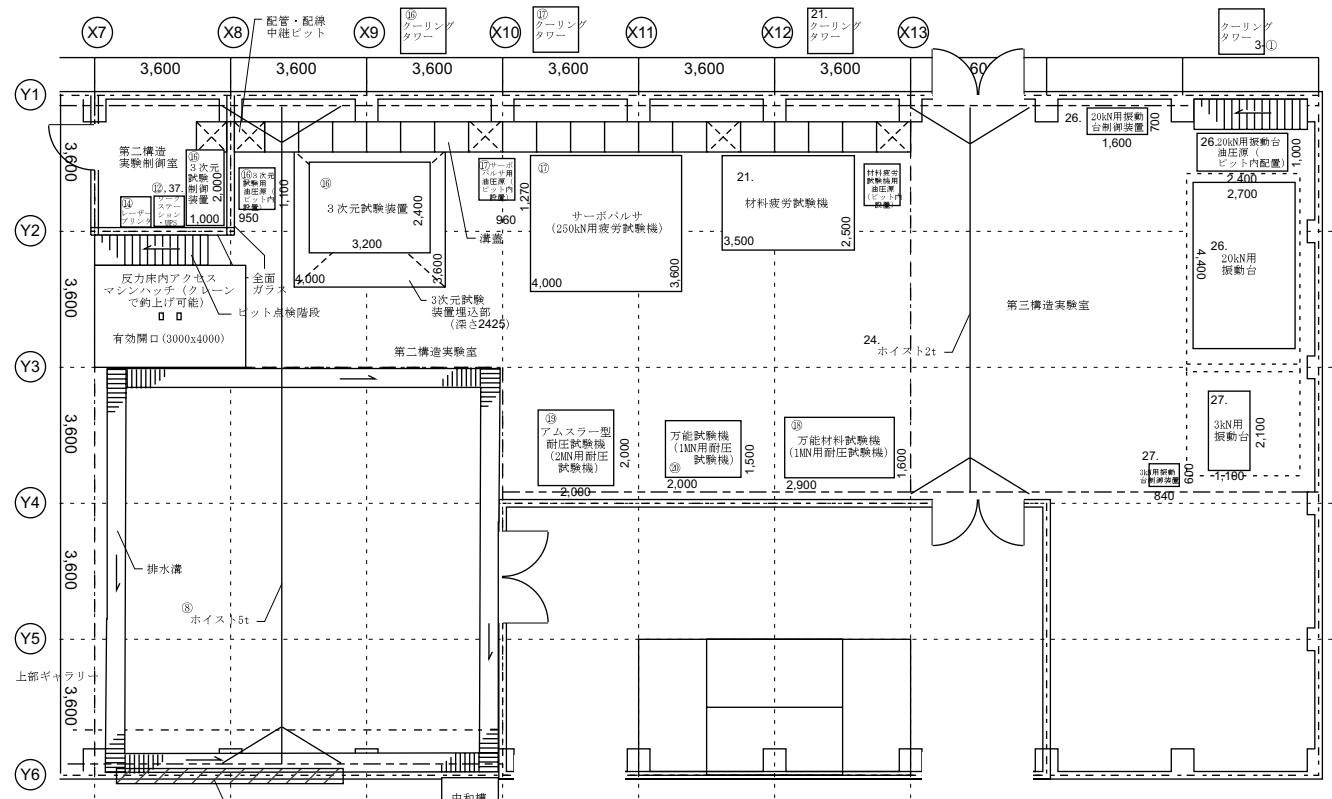
### 20kN用振動台および3kN用振動台（第三構造実験室）

1. 振動台の加振による慣性力を受け持つために、振動台基礎部に反力RCケーソンを設置する。20kN用振動台のケーソンは約60,000kg必要であり、RC製の場合4,400x2,700x2,200mm程度となる。将来の振動台システムの拡張を見越し、3kN用振動台の基礎部にも20kN用振動台同等のケーソンを配置する。ケーソン間および実験室床との間は200mmの空間あるいは緩衝材を設置する。油圧源点検のための階段を配置する。



### サーボバルサ、材料疲労試験機、万能材料試験機、万能試験機、アムスラー型耐圧試験機（第二構造実験室）

1. 各装置は実験室床上面に配置する。各装置は基礎が必要であり、装置重量に応じた床面補強が必要となる。



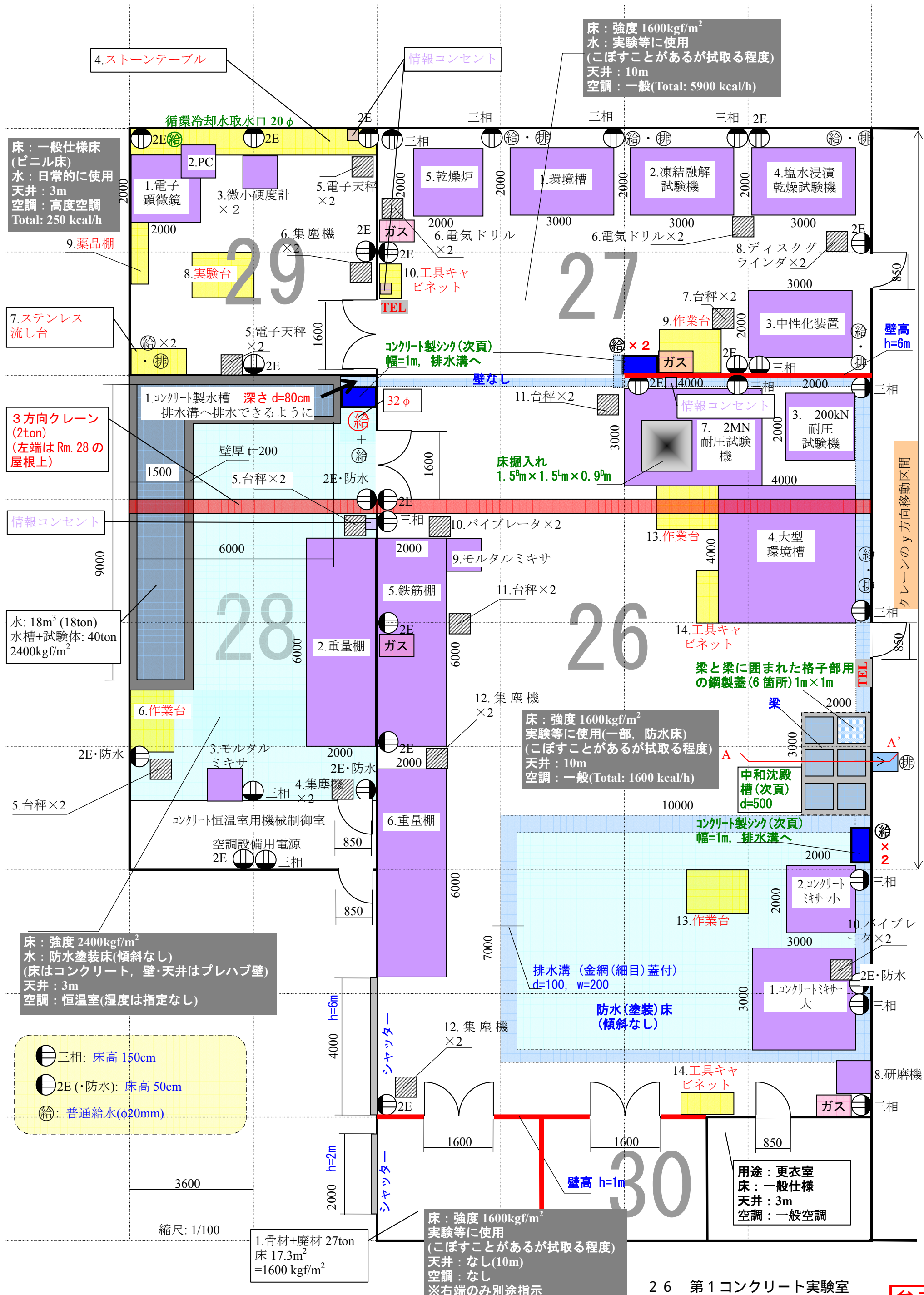
2002/10/11版  
1/100 (A2出力で)

図中のクーリングタワーは、同機能の冷却設備として他の設備に替えることができる。

資料3

参考

2 0 第3構造実験室  
2 1 A 第2構造実験室  
2 1 B 第2構造実験制御室 諸元図1



- 26 第1コンクリート実験室
  - 27 第2コンクリート実験室
  - 28 コンクリート恒温室
  - 29 コンクリート分析室
  - 30 コンクリート用骨材ピット
- 諸元図 2

参考

スロープ

高さ2.5mの位置に300φ (mm)の穴を2箇所、お互いに2~3m離す

クレーン用配電盤 三相200V

風洞他の配電盤

下方に電源コード類を通す穴が必要

W1800

W1800

①の制御盤

⑤インバータ

⑰走行クレーンを設置 31-Aの左, 31-Bの右に 走行レールを設置する. 31-B室の天井上をクレーンが通るようにする.

③風洞

①風洞

31-B室

W1350

W1350

⑱温度成層装置

⑦加振装置

⑬計測機器

⑭パソコン

⑮プリンター

計測用机

W1350

⑬計測機器

⑭パソコン

⑬計測機器

⑭パソコン

⑬計測機器

⑭パソコン

⑮プリンター

⑬計測機器

⑭パソコン

⑮プリンター

②風洞付属装置

⑥風洞付属装置

⑨コンプレッサ

④送風機

⑧送風機

②風洞付属装置

窓(ハコシ) 幅10.8m, 高さ0.6~2m 開閉不要

31-A室

W1350

⑯流しSK6, ⑳給湯

大型扉 W3600H6000

柱, 梁内で可能な限り大きく, クレーンの下まで.

⑪電動カッター

⑩ボール盤

W1350

W1350

W1800

⑯ステンレス製流し, ⑳給湯

窓(ハコシ) 幅3.6m, 高さ1~2m 開閉不要 ⑫ブラインド

31-C室

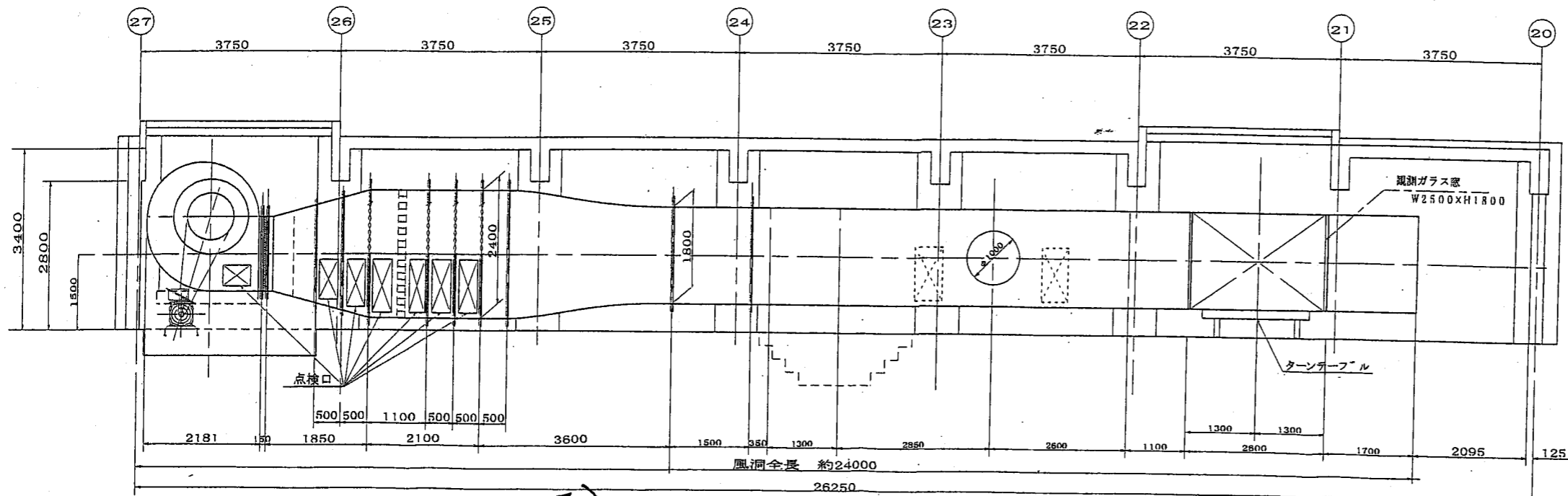
31-D室

スロープ

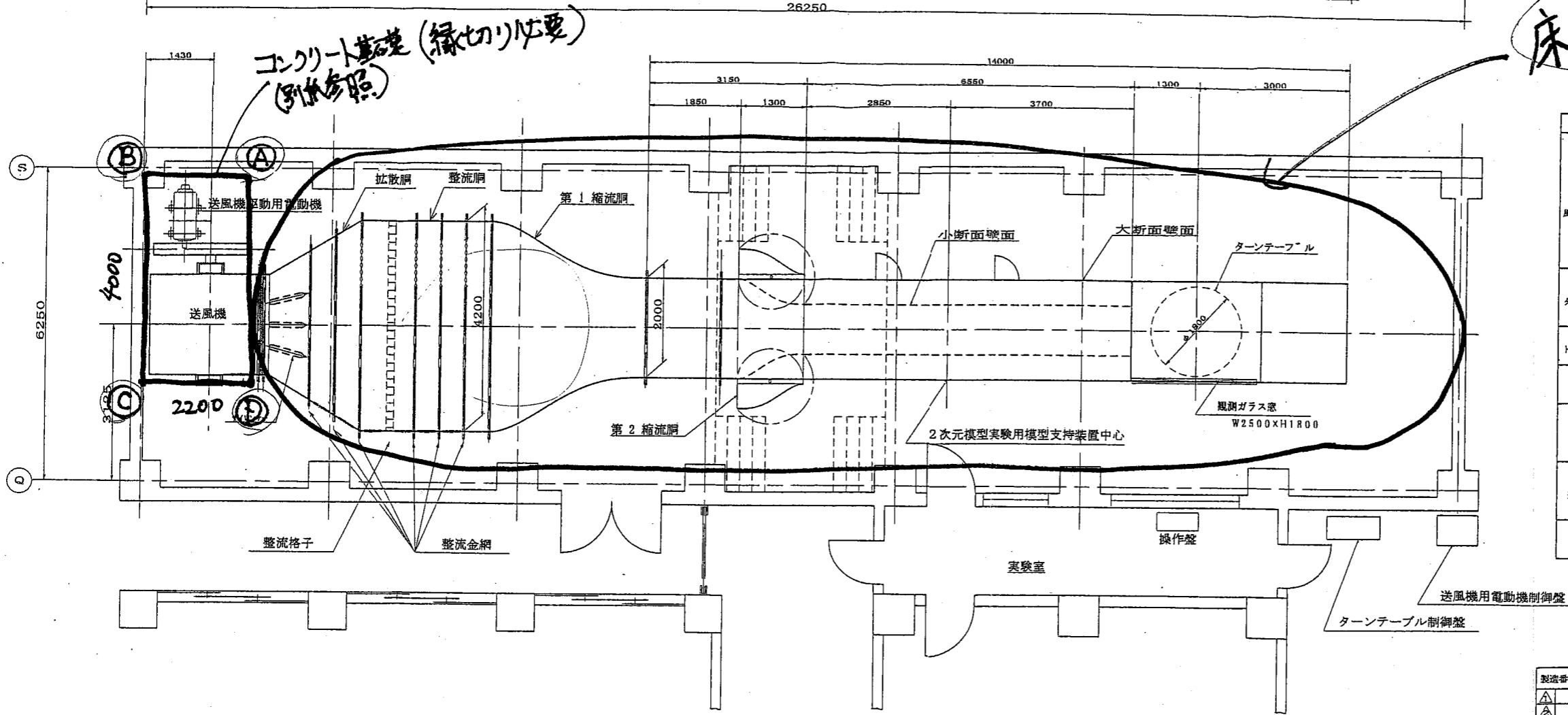
注) 31-A室, 31-B室間の窓の下方, 床面上300mm位置に計測機器とセンサーのケーブル貫通用円形窓(直径200mm)を等間隔に4カ所設置, 更に31-B室の配電盤と風洞間の電気コード貫通用の窓も必要.

参考

# 風洞 (1)



床厚 250mm



主要目表	
型式	エッセル型 室内回流式
全長	全長 約24000mm (回流風洞として全長 約50000mm)
風路 測定断面	大断面 幅 2000mm 高さ 1800mm
	小断面 幅 1000mm 高さ 1800mm
測定料全長	大断面 第1縮流筒終端より 14000mm
	小断面 第2縮流筒終端より 6550mm
ターンプール	直径 1800mm
	搭載重量 300kg
	可動範囲 ±360deg
トラバース装置	高さ方向 1500mm
	可動範囲
整流装置	整流格子 アルミハニカム サイズ 3/8" 長さ 100mm
	整流金網 拡散筒部3枚 整流筒部3枚
送風機	型式 #10 剛性型ワイドファン
	風量 2900m <sup>3</sup> /min
	静圧 60~80mmAq
送風機用電動機	型式 直流電動機 サイリスタ制御
	出力 75kw
電源	基礎回転数 1150rpm
	送風機 AC 440V 60Hz 付属装置 AC 220V 60Hz

製造番号	A 4081	客先	京都大学工学部 殿
承認		多機能風洞実験装置	全体配置図(大断面)
担当			
設計	A. NGUCHI		
図面来歴	製図 J. SHIMIZU		
尺度	1:70	年月日	'95. 2. 16
図面番号	A 4081-00	風技術センター	

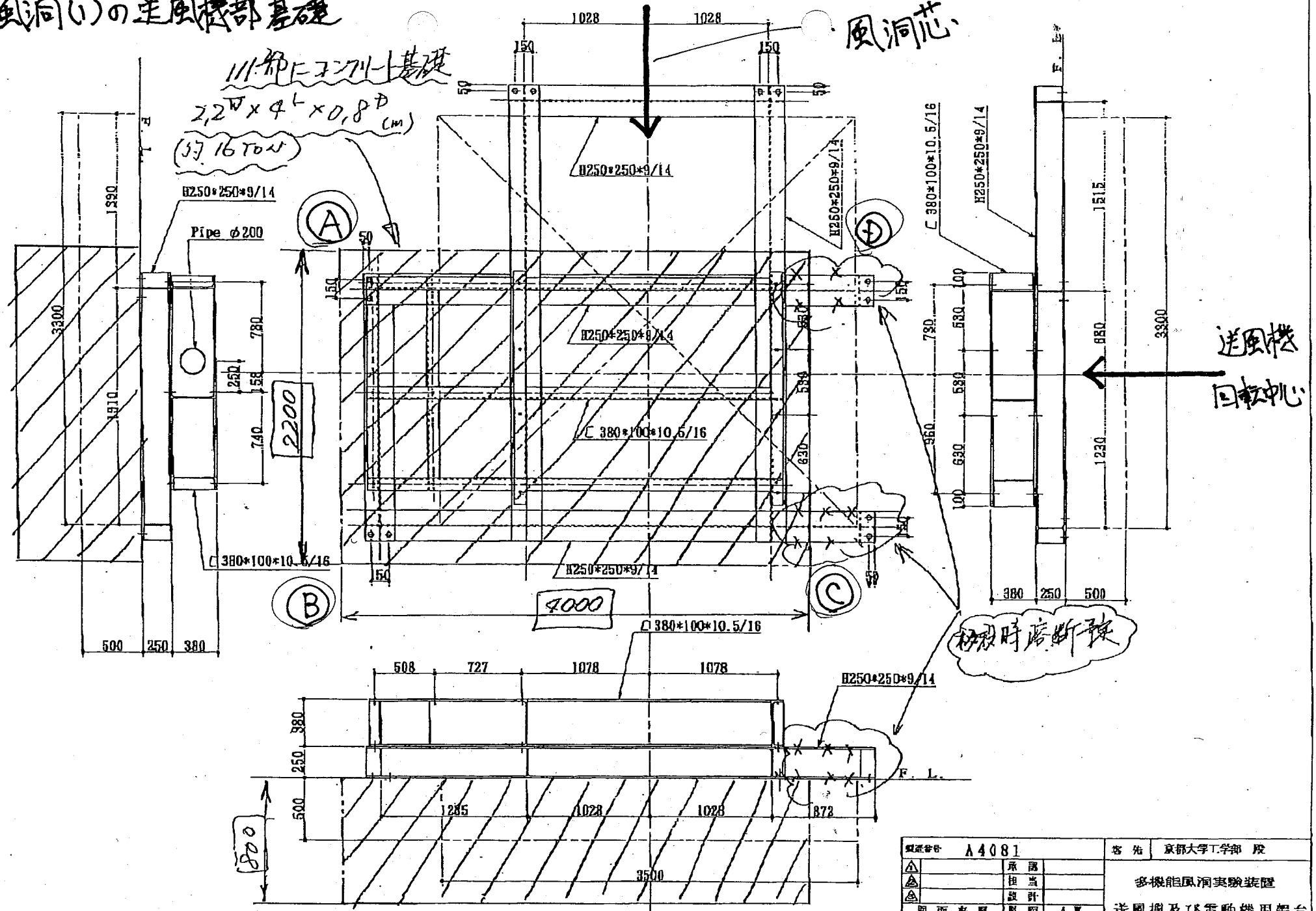
風洞(1)の送風機部基礎

風洞芯

111部にコンクリート基礎

2,20 x 4 x 0,8 D (m)

(37.16トウ)



図番	A4081	客先	京都大学工学部 院
△	承認	多機能風洞実験装置 送風機及び電動機用架台	
△	担当		
△	設計		
図面承認	監製 A.W.	送風機及び電動機用架台	
尺度	1:20	年月日	'95.2.2
図番	A4081-10	風技術センター	

参考

0002/002

04.10/04.WEJ.17:50 Γ.H.U.S.301U Γ.U.I. 風技術センタ- 風洞製作部

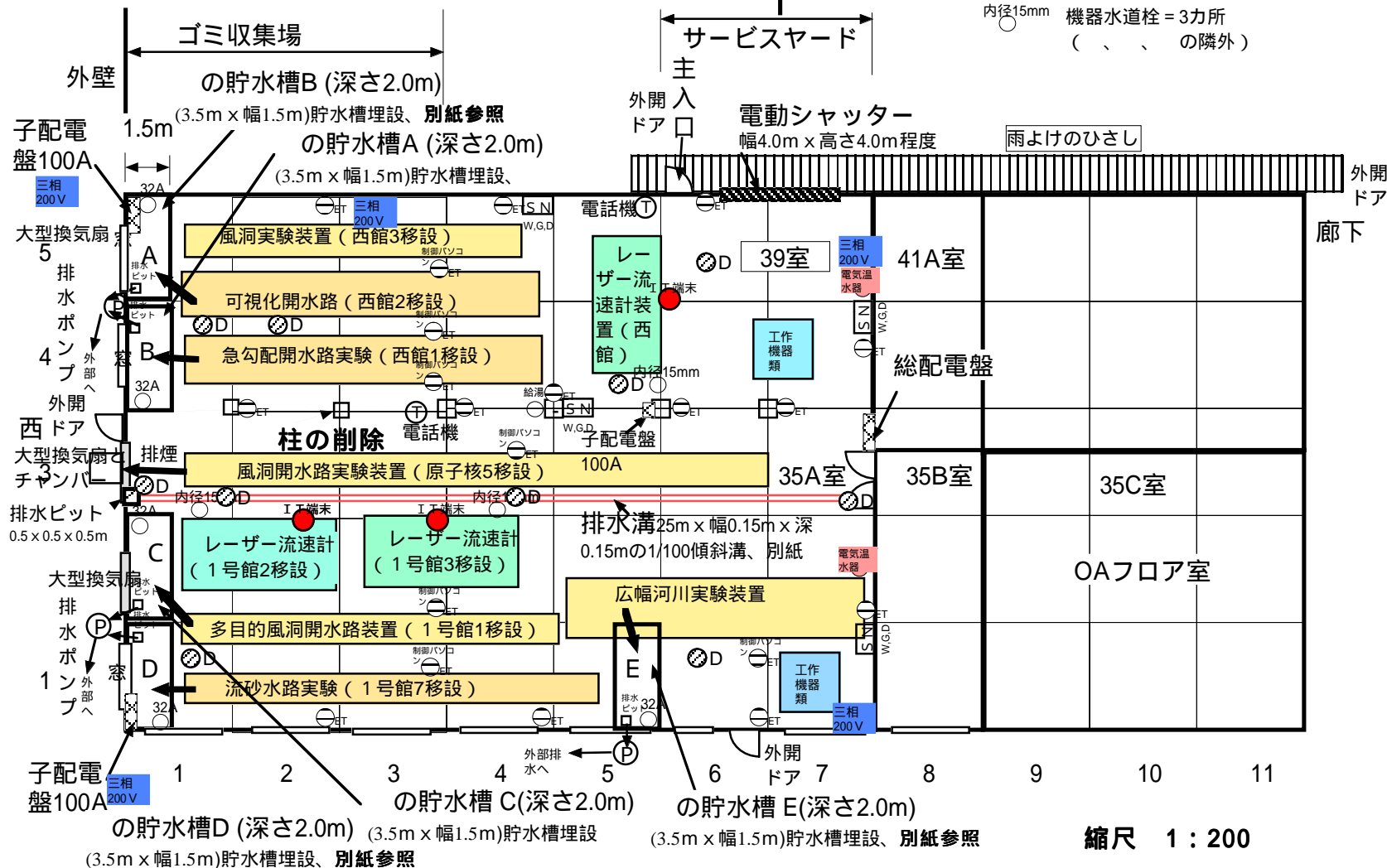
2/2

# 35室と39室の全体配置図

・詳細は、別図5枚を参照

北

○<sup>32A</sup> 貯水槽水道栓 (1m<sup>3</sup>/分程度)  
= 貯水槽に各2個  
○<sup>内径15mm</sup> 機器水道栓 = 3カ所  
( 、 、 の隣外)



縮尺 1 : 200

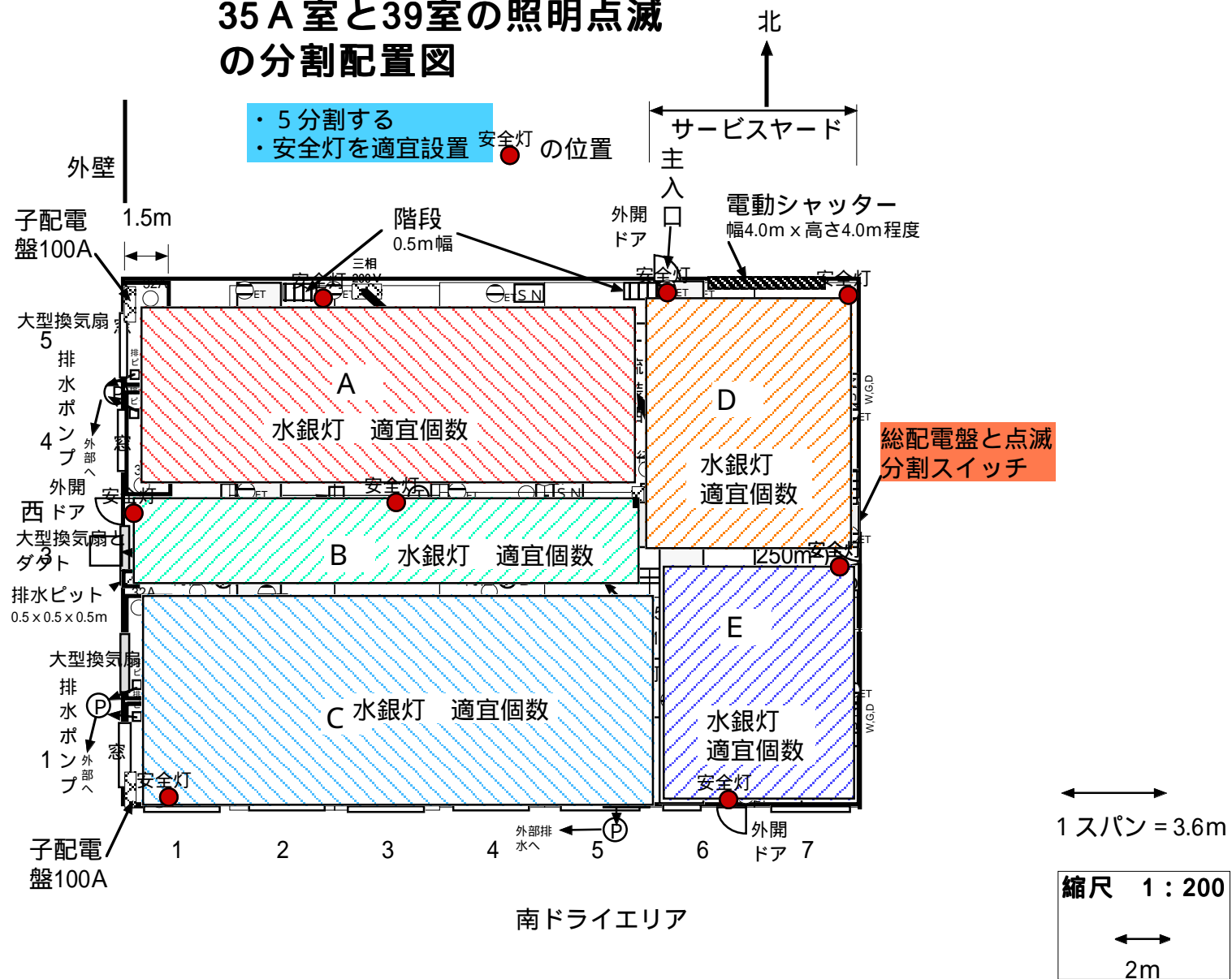
1 スパン = 3.6m



参考

35A 乱流水理実験長水路実験室  
39 環境水理実験室

# 35 A 室と39室の照明点滅 の分割配置図



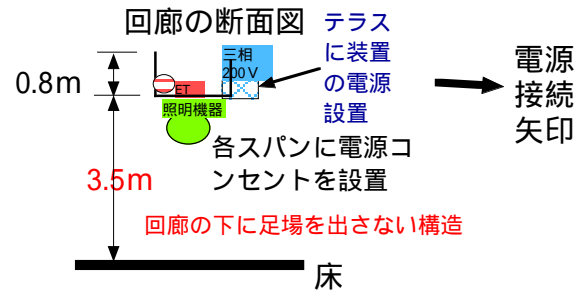
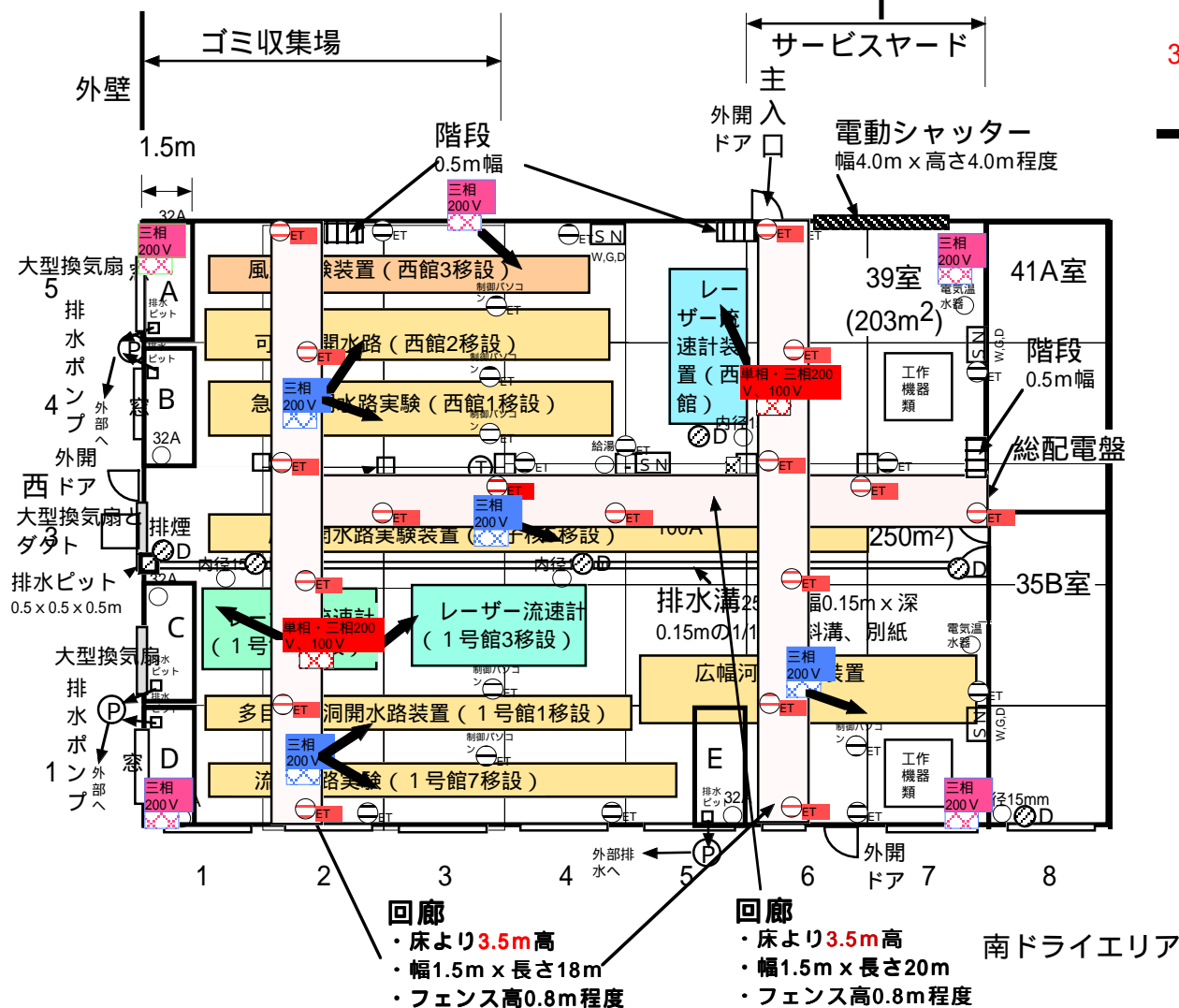
参考

35A 乱流水理実験長水路実験室  
39 環境水理実験室

諸元図4



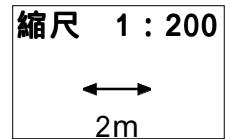
# 35室と39室の回廊配置図 及び回廊テラス電源部



## 電源とブレーカー設置

- 三相 200V : テラス場に4個設置
- 三相 200V : 部屋壁に5個床より設置
- 単相・三相200V、100V : テラス場に設置
- ET : テラス場に100V電源17個以上

1 スパン = 3.6m



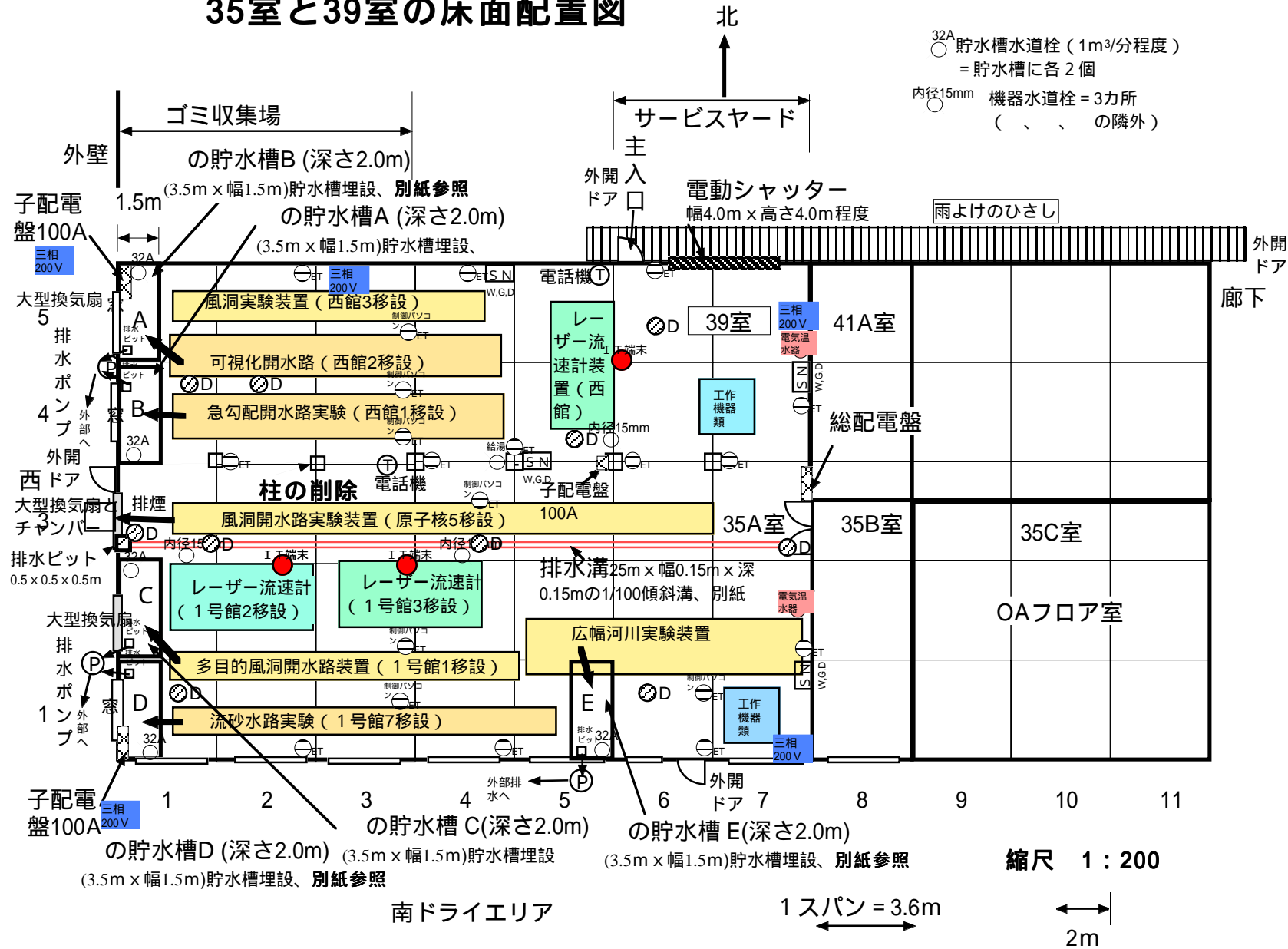
回廊の床からの高さを3.5mに変更します。 よろしく！ 10/25禰津

参考

35A 乱流水理実験長水路実験室  
39 環境水理実験室

諸元図 4

# 35室と39室の床面配置図



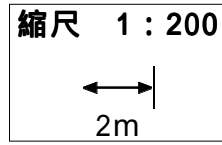
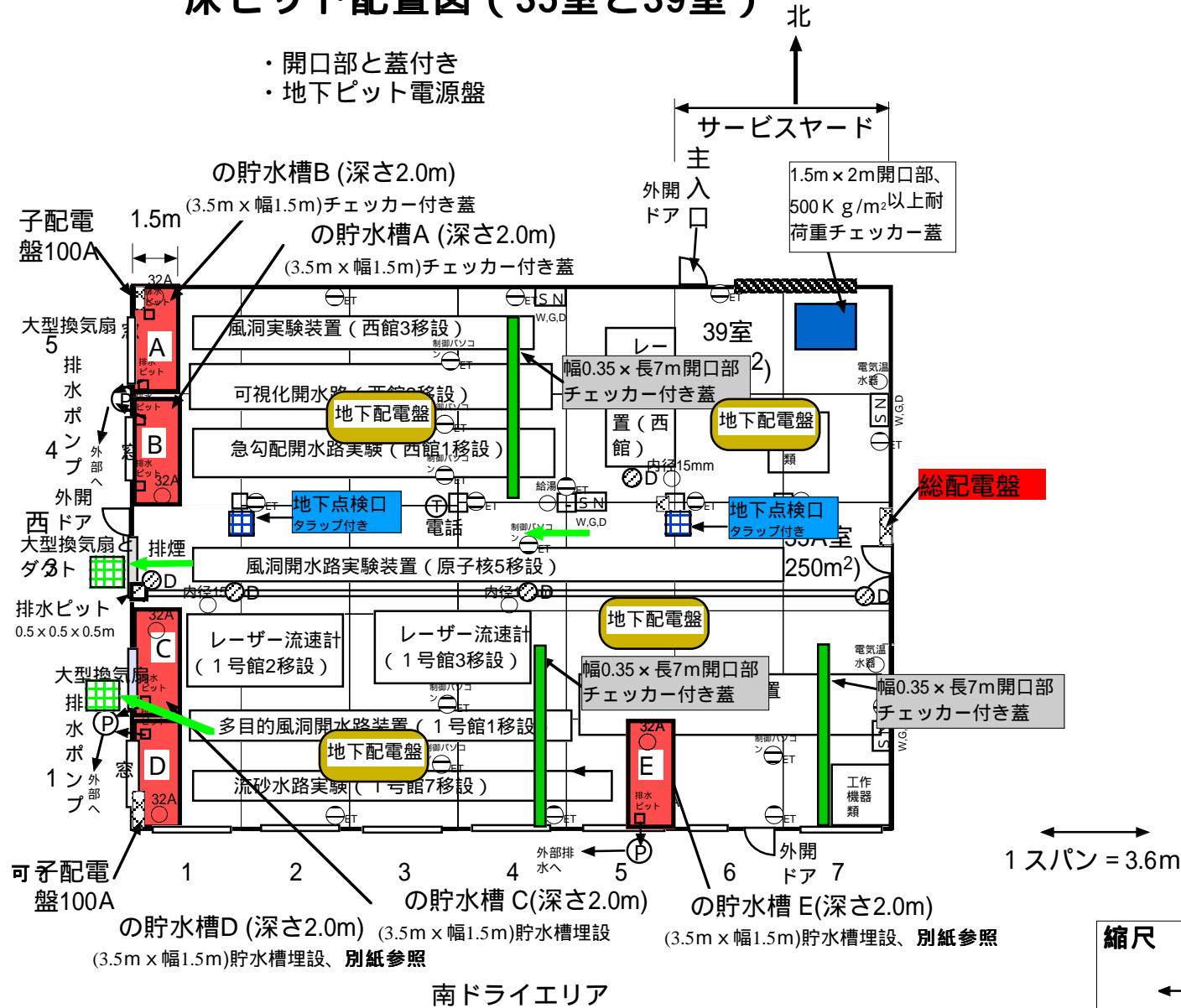
参考

35A 乱流水理実験長水路実験室  
39 環境水理実験室

諸元図 4

# 床ビット配置図 (35室と39室)

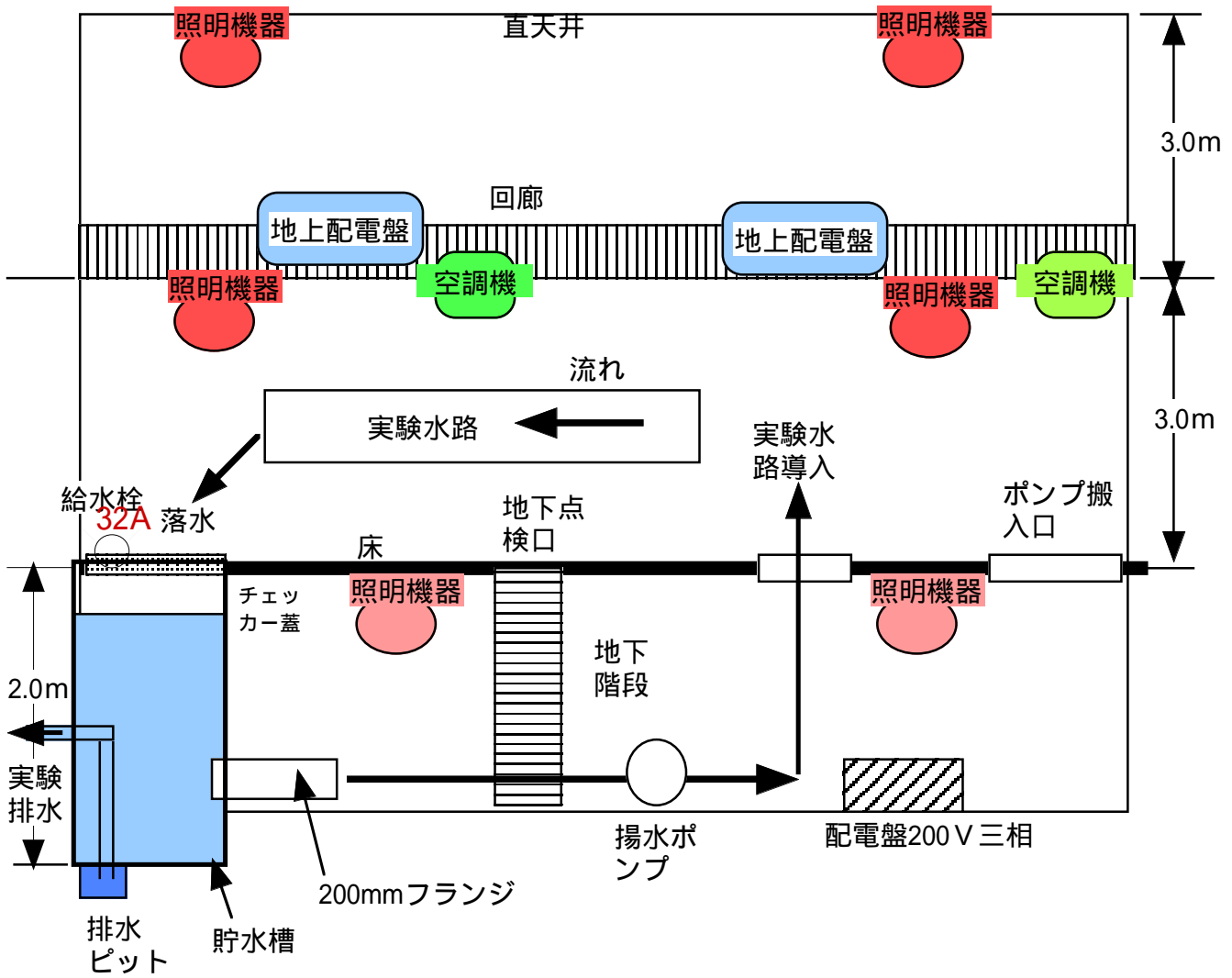
- ・開口部と蓋付き
- ・地下ビット電源盤



参考

35A 乱流水理実験長水路実験室  
39 環境水理実験室

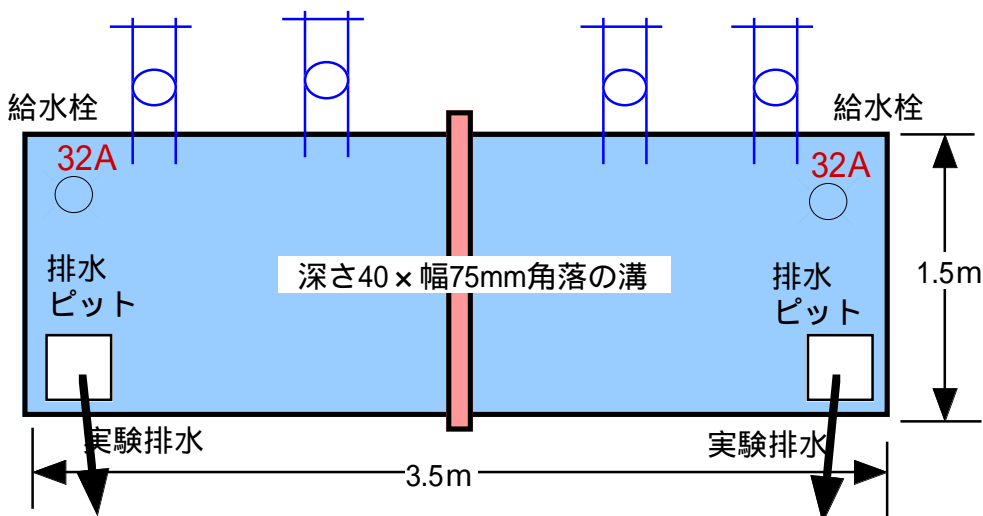
# 35+39実験室 地下断面イメージ図



1個の貯水槽の平面図

貯水槽は5台作成

200mmフランジ@4台



**参考**

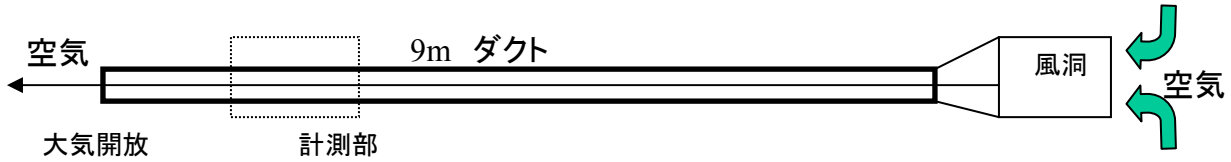
35A 乱流水理実験長水路実験室  
39 環境水理実験室

諸元図 4

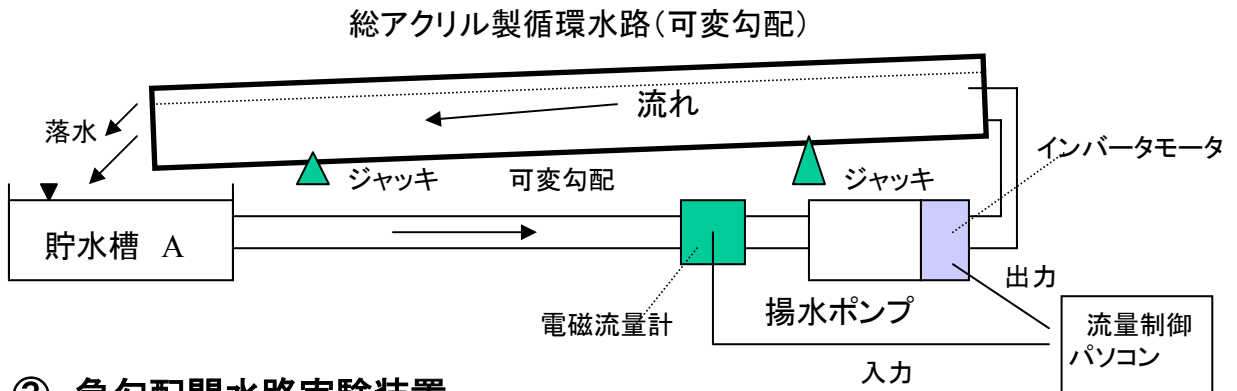
# 35室と39室の実験装置のフロー図

## 39室(環境水理実験室)

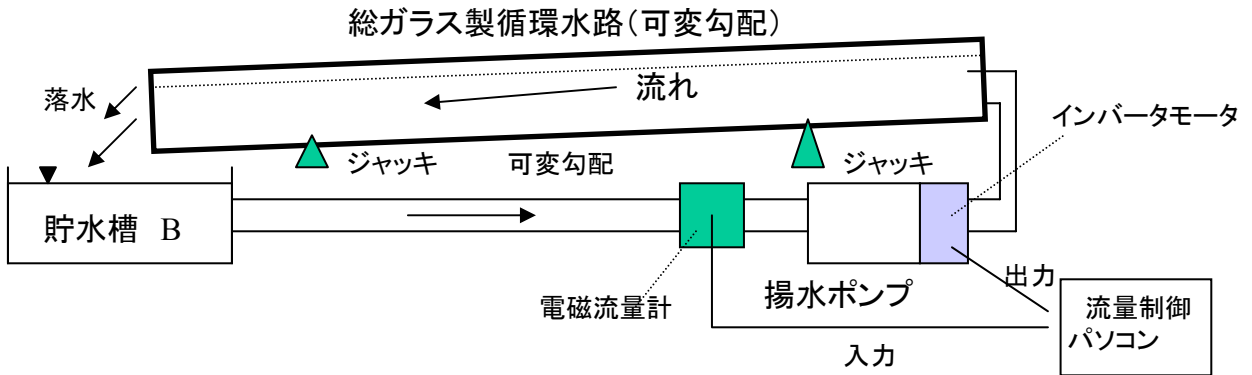
### ① 風洞実験装置



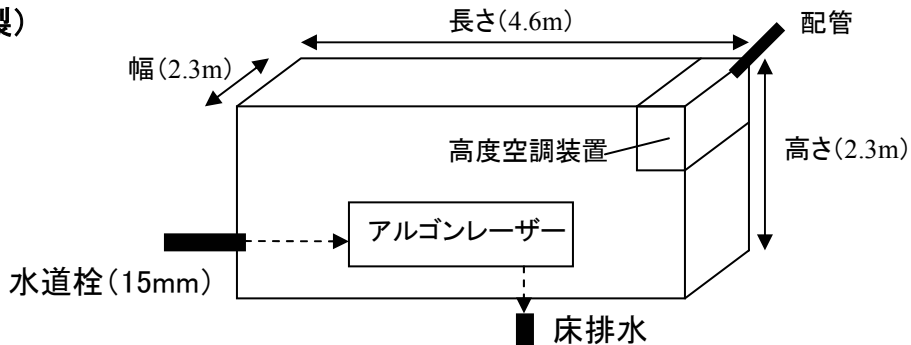
### ② 可視開水路実験装置



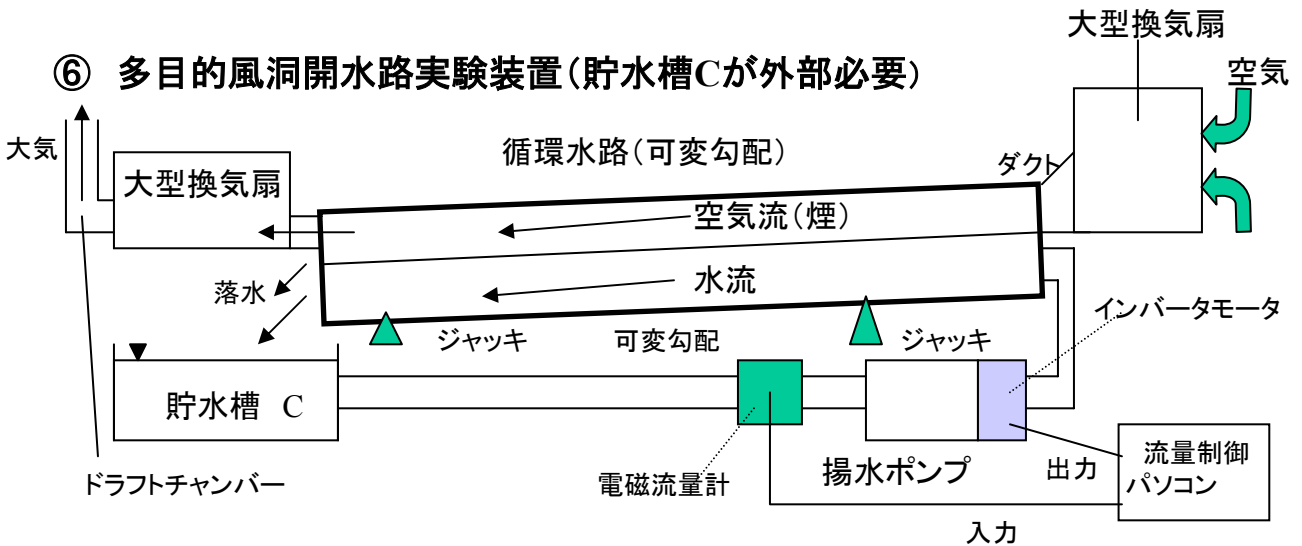
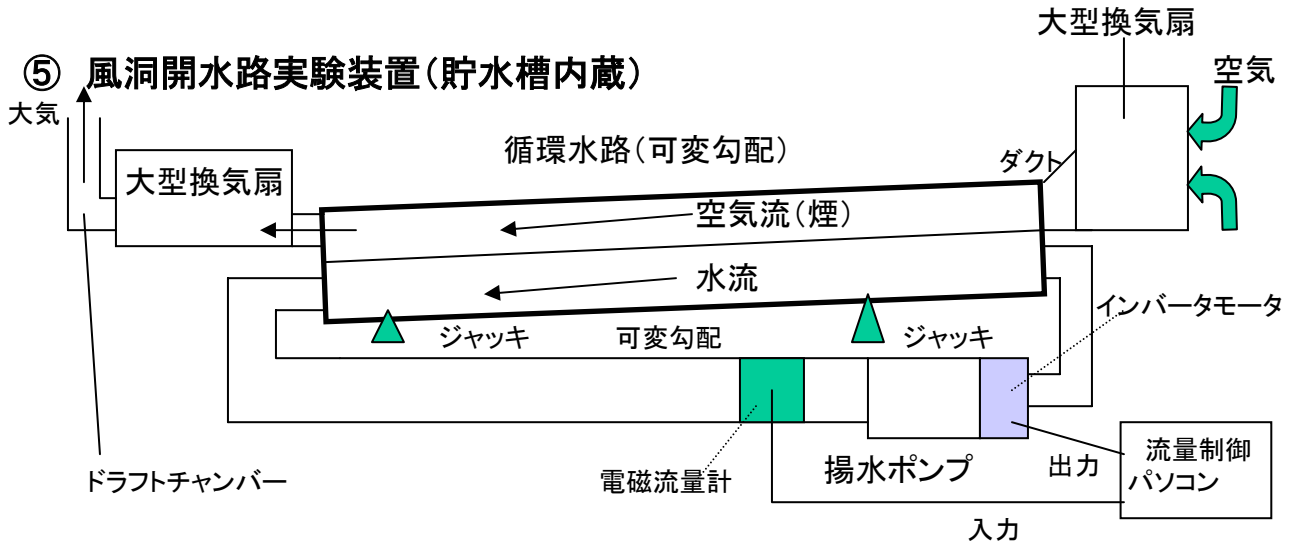
### ③ 急勾配開水路実験装置



### ④ レーザー流速計コントロール室(プレハブ製)



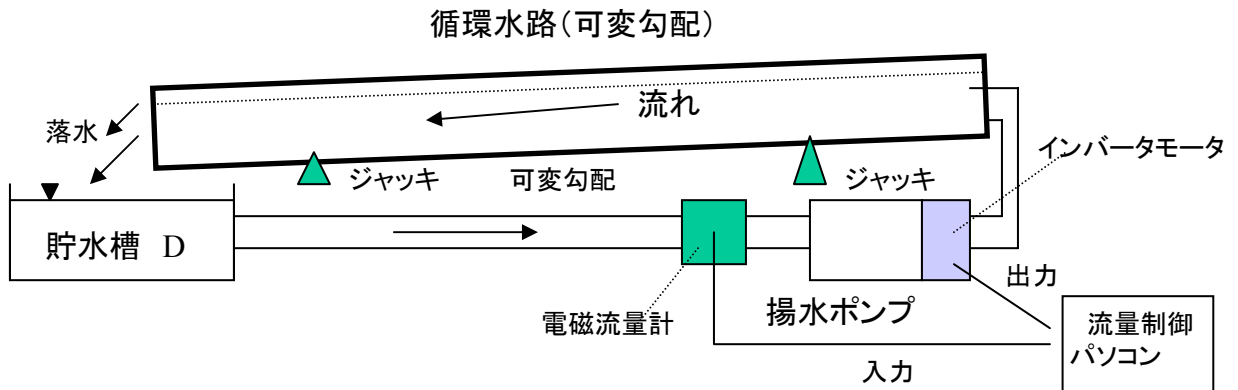
# 35A室(乱流水理実験長水路実験室)



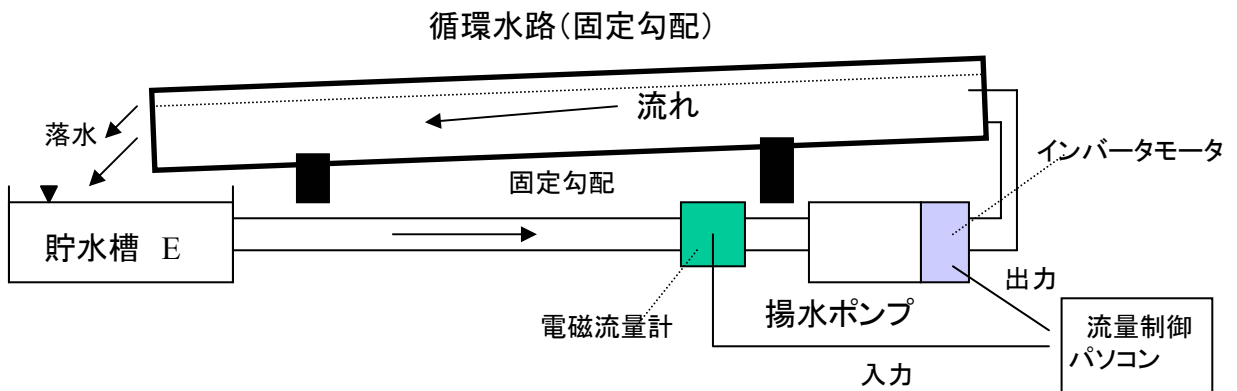
参考

# 35A室(乱流水理実験長水路実験室)-続-

## ⑦ 流砂水路実験装置



## ⑧ 広幅河川実験装置



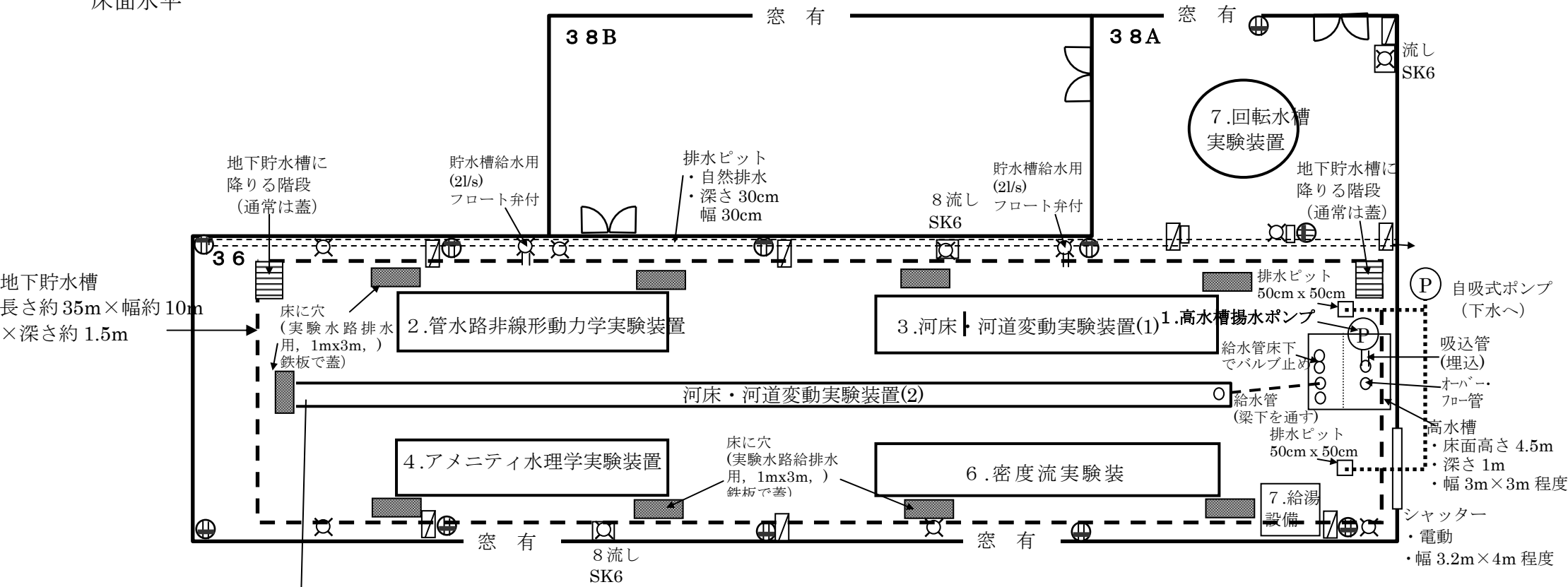
## ⑨および⑩ レーザ流速計コントロール室

④と同一

参考

36, 38A (床)

照明:天井水銀灯 (自動降下), 壁に補助照明  
床面水平



河床・河道変動実験装置(2)  
・コンクリート製 (床面と同時に作成),  
・幅2m×長さ30m×高さ1m  
・勾配水平

参考

36 流域土砂動態研究実験長水路実験室

38A 都市型水害対策実験用長水路実験室A

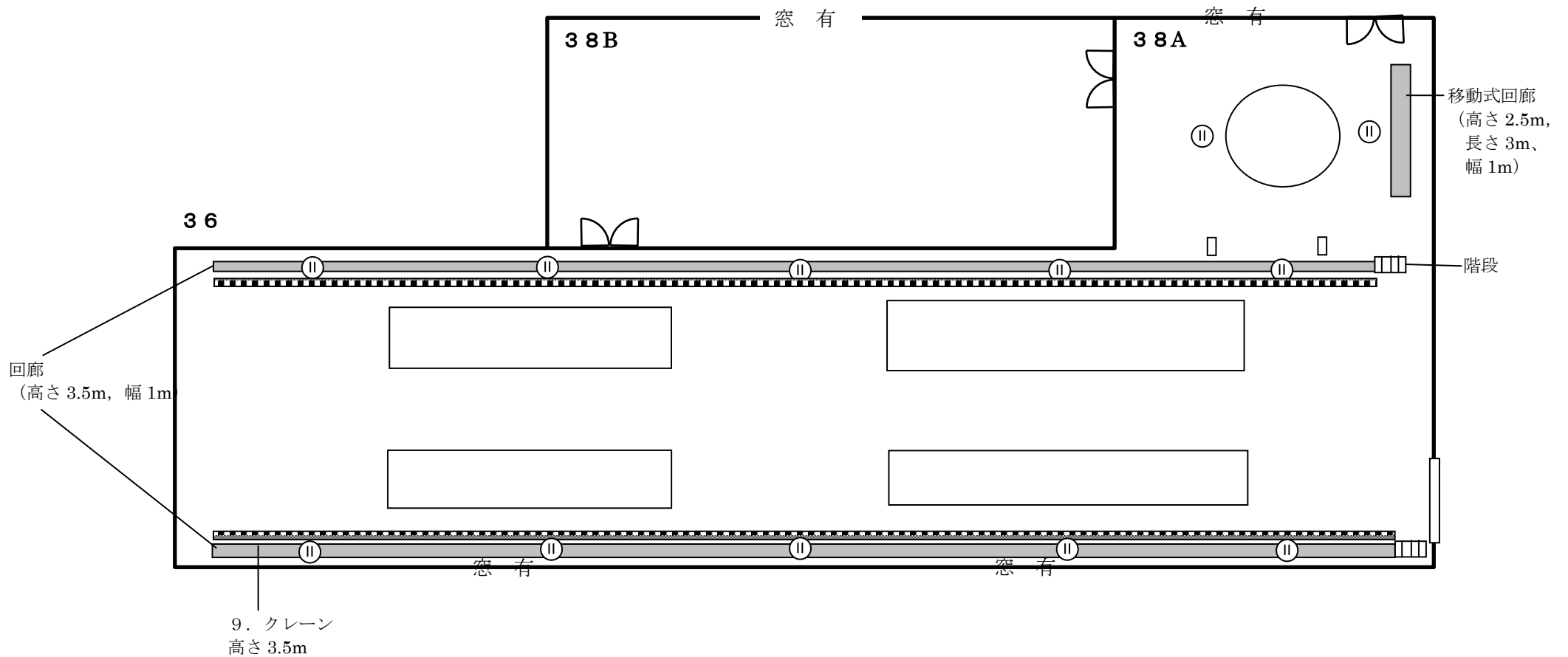
諸元図5



### 36, 38A (天井)

回廊：実験観察，ビデオ計測のため

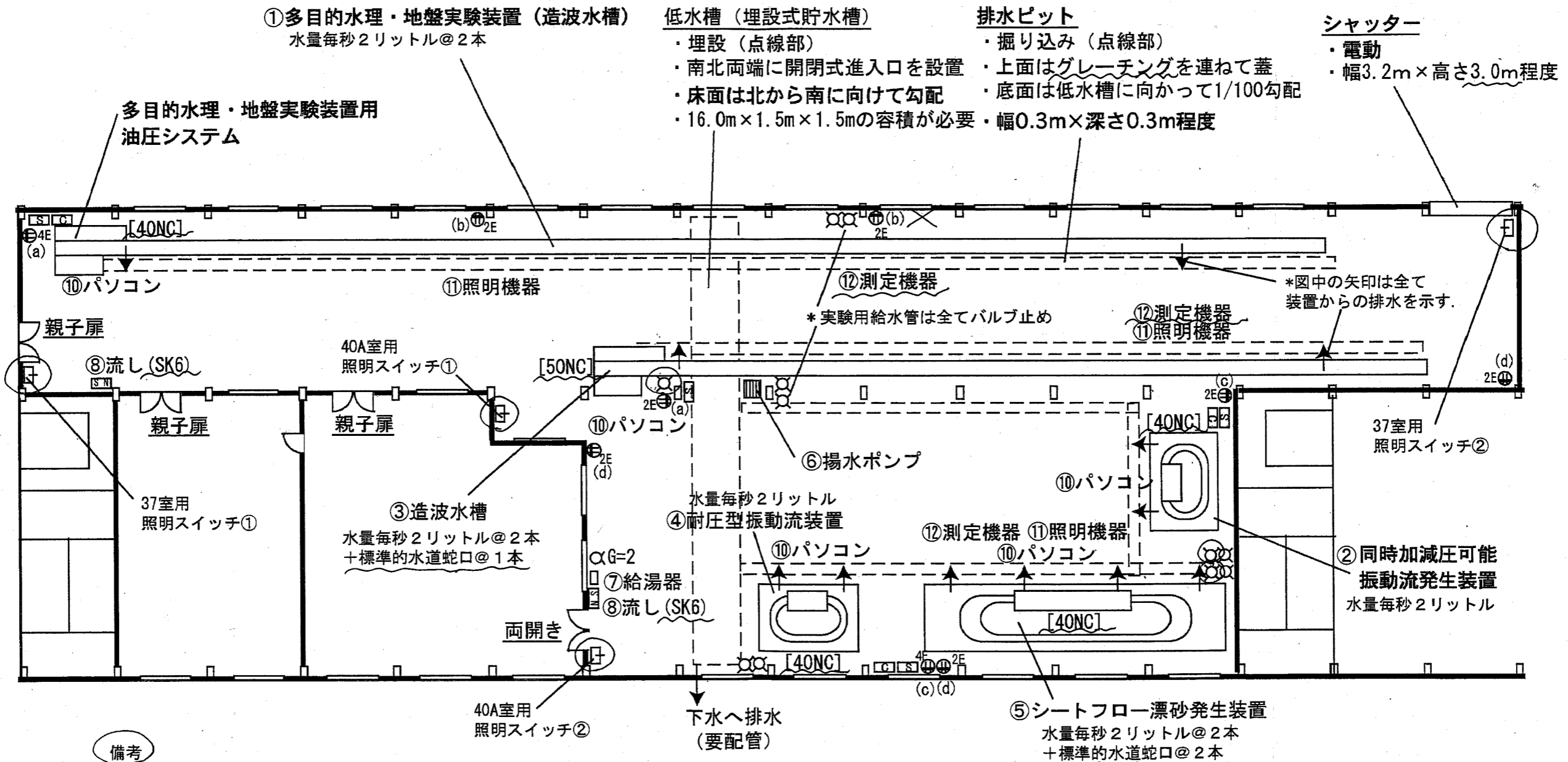
クレーン：実験模型搬入，実験用土砂移動のため



36 流域土砂動態研究実験長水路実験室  
38A 都市型水害対策実験用長水路実験室A

参考

37, 40A 別紙1 機器配置図 (床)



①多目的水理・地盤実験装置 (造波水槽)  
水量毎秒2リットル@2本

低水槽 (埋設式貯水槽)

- ・埋設 (点線部)
- ・南北両端に開閉式進入口を設置
- ・床面は北から南に向けて勾配
- ・16.0m×1.5m×1.5mの容積が必要

排水ピット

- ・掘り込み (点線部)
- ・上面はグレーチングを連ねて蓋
- ・底面は低水槽に向かって1/100勾配
- ・幅0.3m×高さ0.3m程度

シャッター

- ・電動
- ・幅3.2m×高さ3.0m程度

多目的水理・地盤実験装置用  
油圧システム

備考

- ・コンセントは全て床から50cmの高さに設置。
- ・照明は37室と40A室で分け、点灯スイッチは各二箇所。
- ・コンセントの回路分けは、(a)@2, (b)@4 (回廊高さに2箇所) (c)@2, (d)@3の4系統。さらに(b)を2つに分けるのも可。

縮尺 1:180

参考

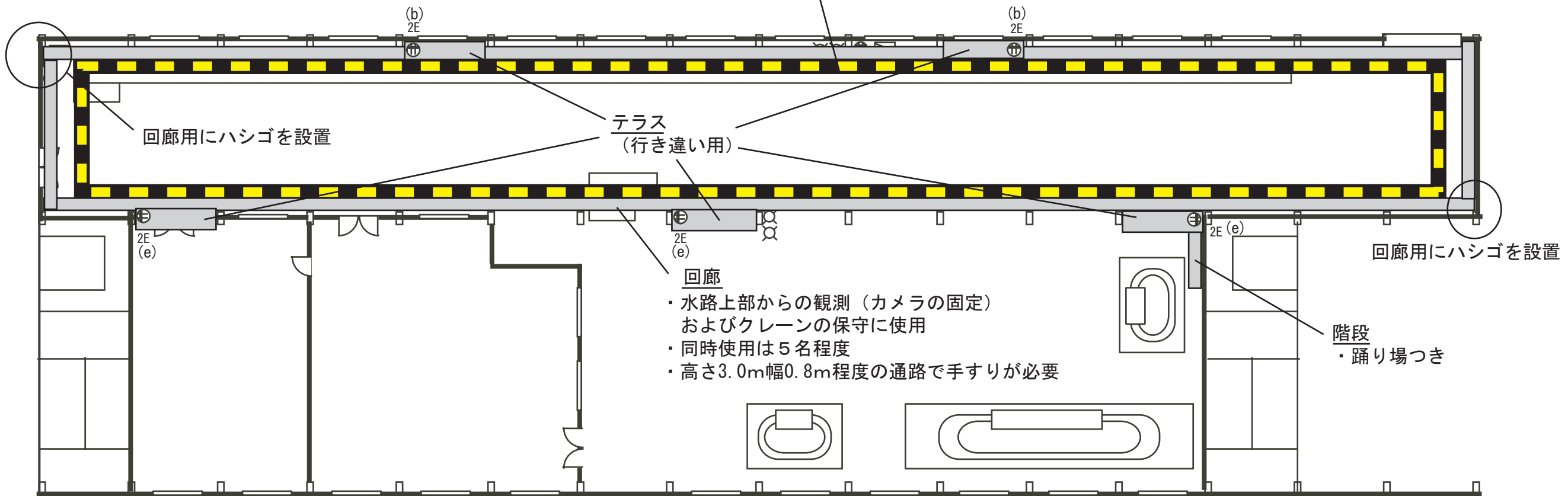
37 動的相互作用実験用長水路実験室  
40A 非線形波動水理実験室

諸元図 6

37, 40A 別紙2 機器配置図 (天井)

\* 北側は換気および採光のため  
回廊の高さにも窓を入れる

(視)天井クレーン[付帯設備で要求]  
(トッランニング式チェーンブロック)



\* 照明はなるべく壁・柱・回廊脇に設置  
(蛍光灯の交換が容易な箇所)

備考

- ・回廊の高さにコンセントは5箇所  
(b)系統@2, (e)系統@3

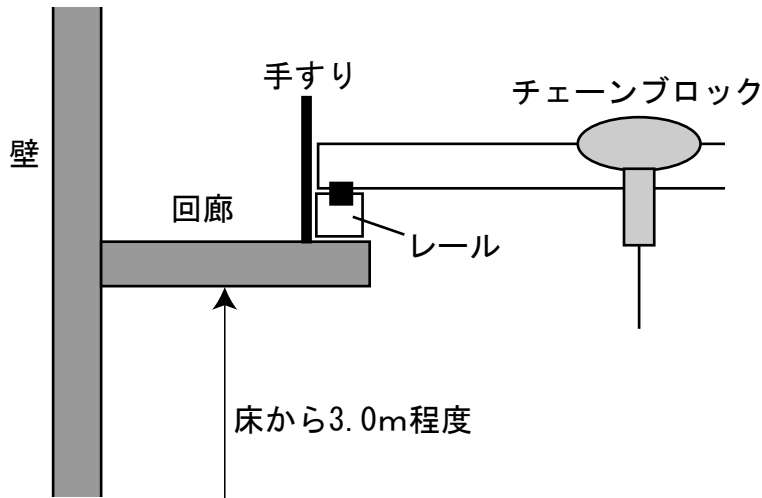
縮尺 1:180

37 動的相互作用実験用長水路実験室  
40A 非線形波動水理実験室

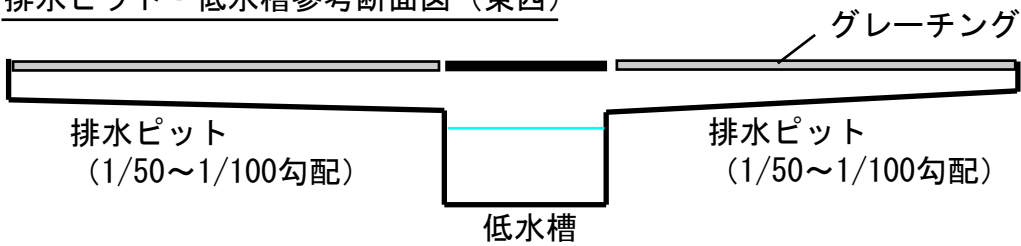
参考

諸元図6

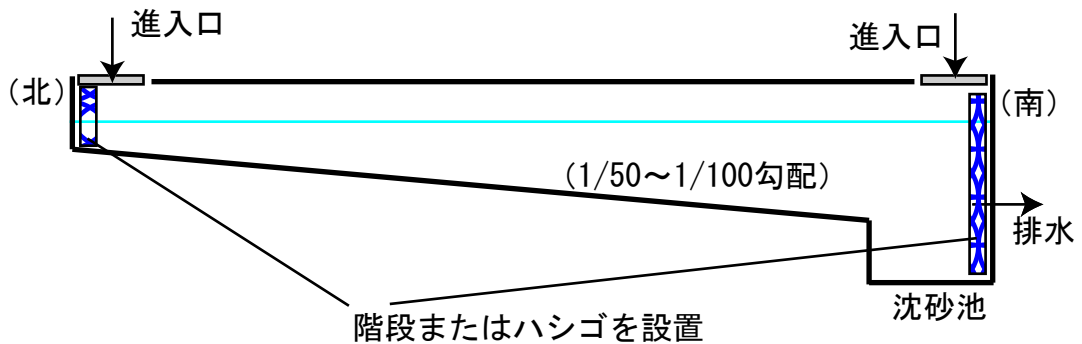
チェンブロック参考断面図 (南北)



排水ピット・低水槽参考断面図 (東西)

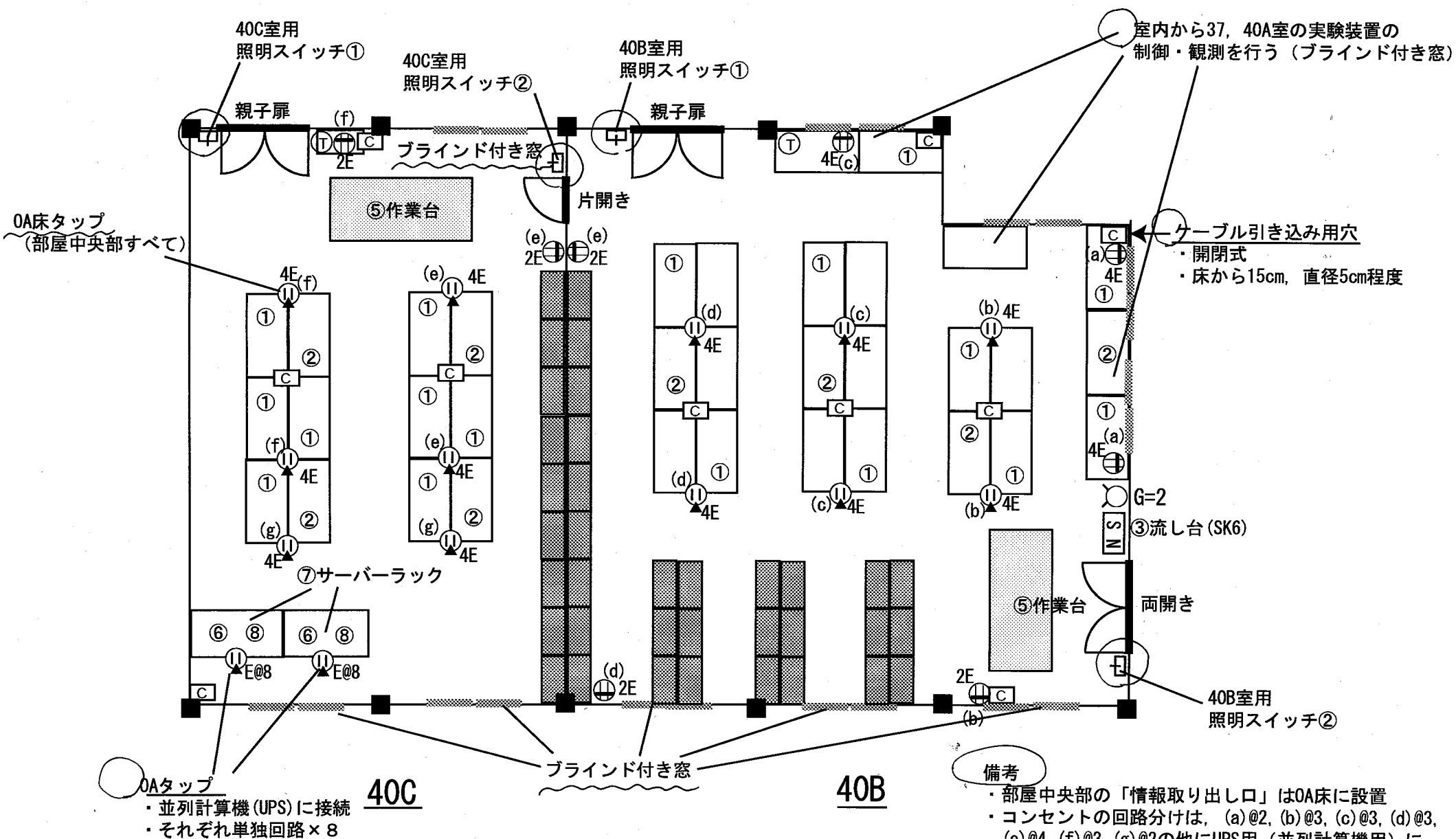


低水槽参考断面図 (南北)



参考

40B, 40C 別紙 機器配置図



0A床タップ  
(部屋中央部すべて)

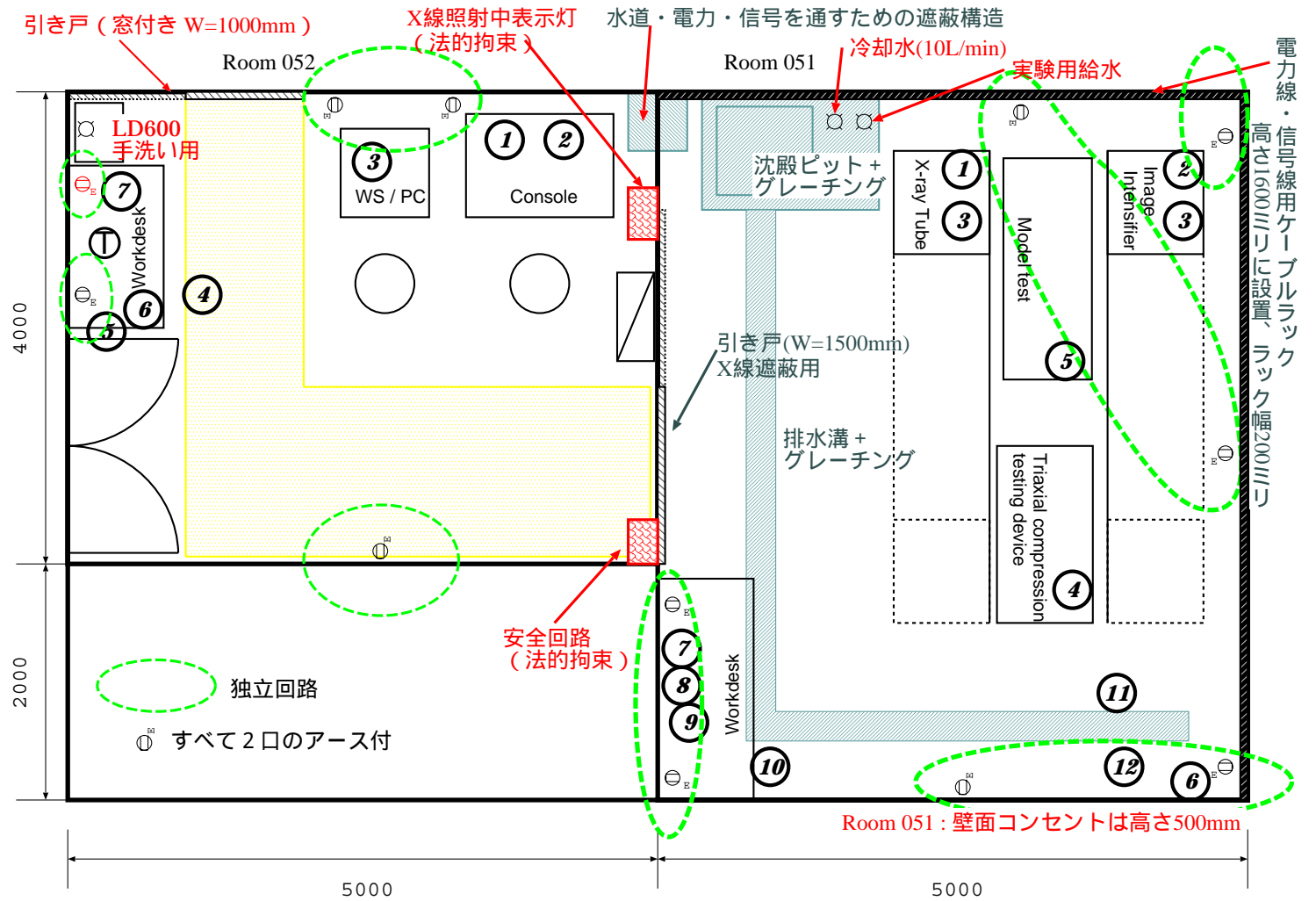
室内から37, 40A室の実験装置の  
制御・観測を行う (ブラインド付き窓)

ケーブル引き込み用穴  
・開閉式  
・床から15cm, 直径5cm程度

0A床タップ  
・並列計算機 (UPS) に接続  
・それぞれ単独回路× 8

備考  
・部屋中央部の「情報取り出し口」は0A床に設置  
・コンセントの回路分けは, (a)@2, (b)@3, (c)@3, (d)@3,  
(e)@4, (f)@3, (g)@2の他にUPS用 (並列計算機用) に  
単独回路を合計16回路設置。  
・窓にはすべてブラインドをつける。

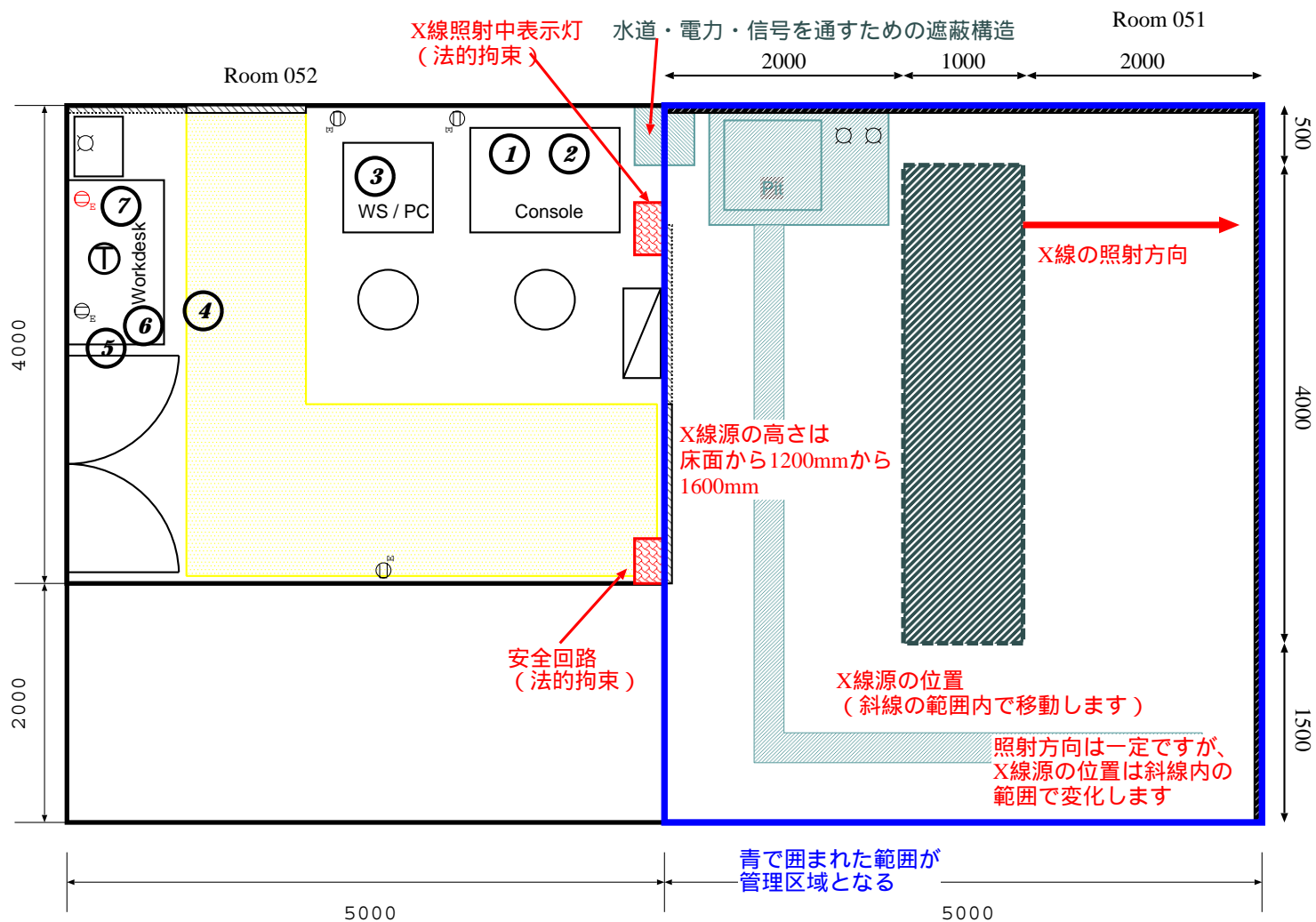
縮尺 1/100



**参考**

- 5 1 X線実験室
- 5 2 X線計測準備室

諸元図 8



**参考**

- 5 1 X線実験室
- 5 2 X線計測準備室

諸元図 8

防水型コンセント盤

階段室

G

E E E

10000

2650

5300

2650

1/100

150

300

防水

1/20

EV機械室

26

屋外機置場

屋外機置場

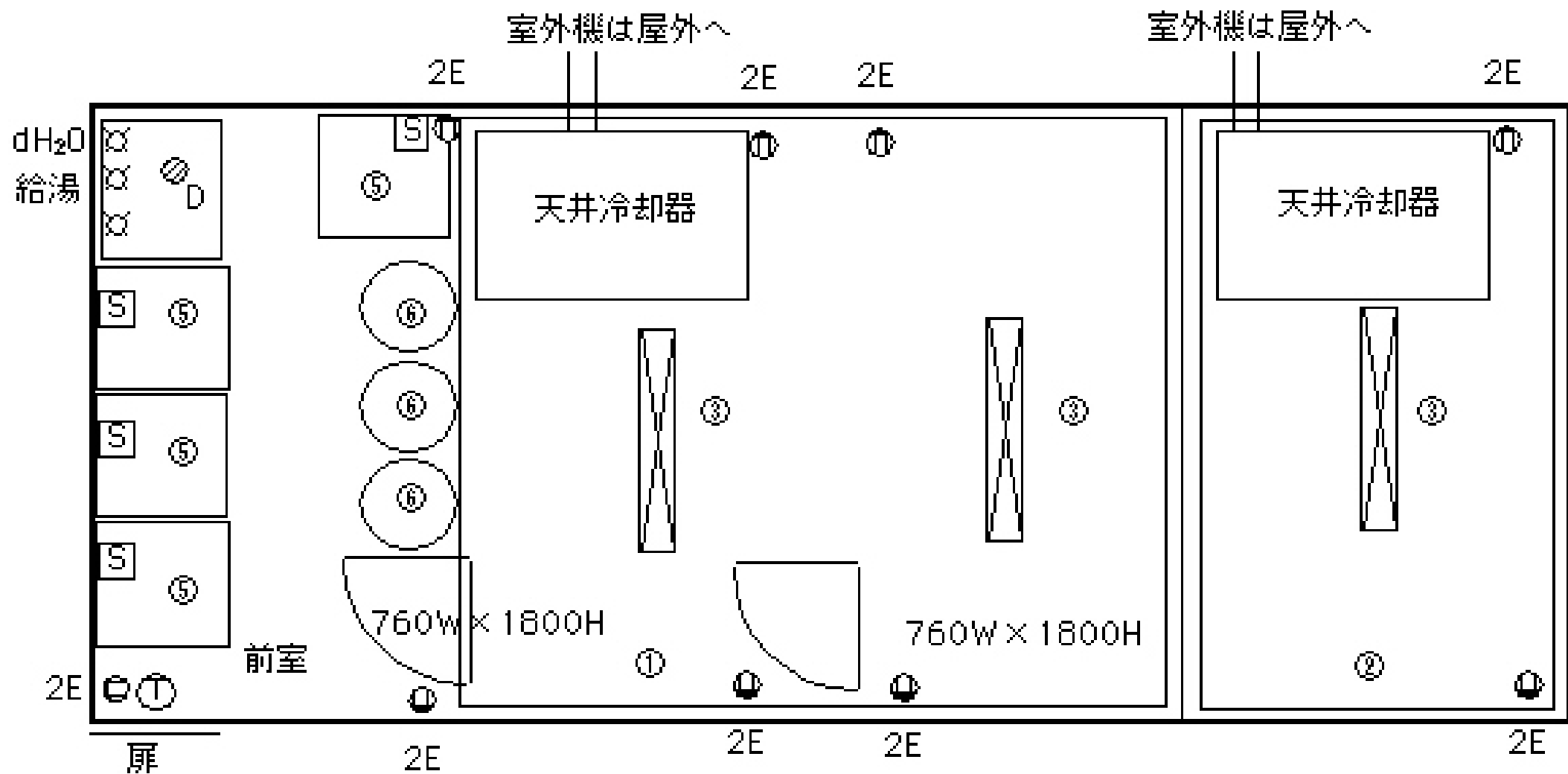
5300

10000

21,600

参考





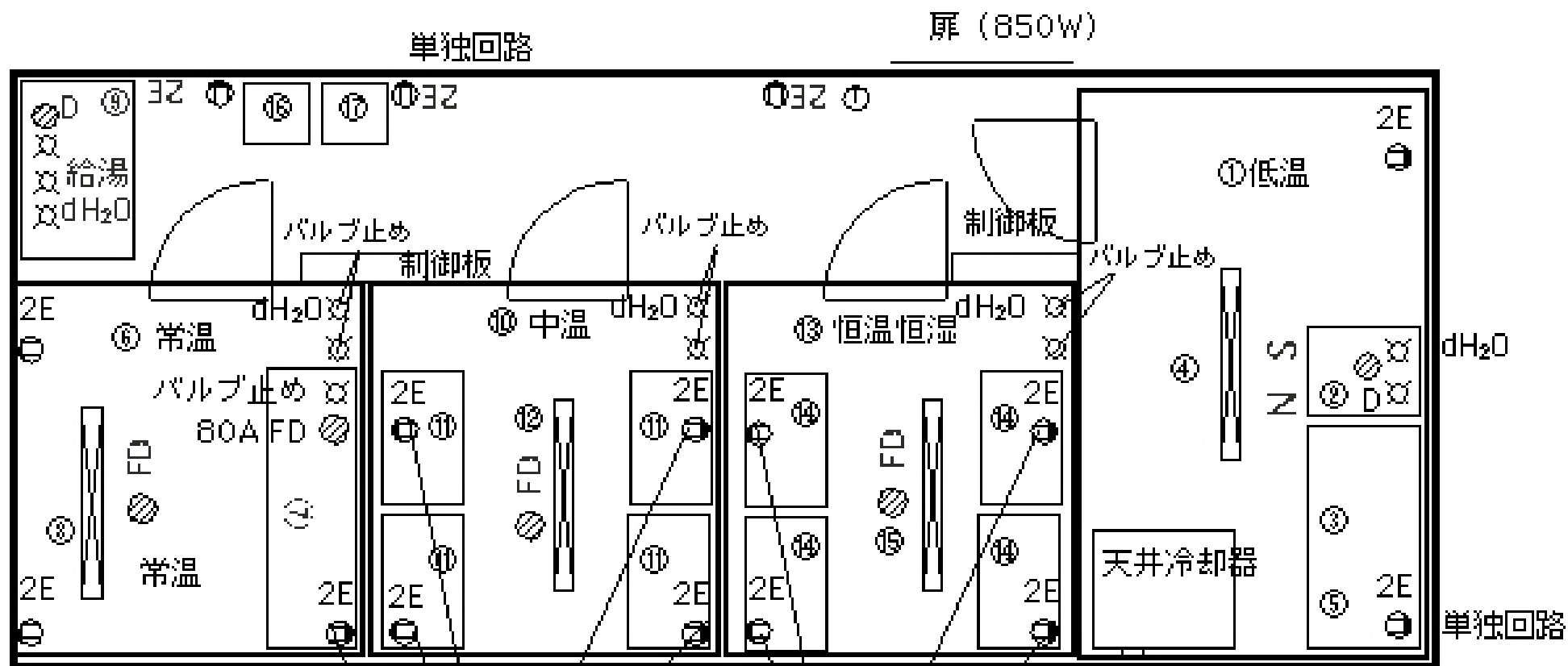
冷蔵、冷凍室および⑤は自家発電機に接続のこと。

縮尺 1/50

参考

7 2 冷蔵保管室  
7 3 冷凍保管室

諸元図 1 0



単独回路

単独回路

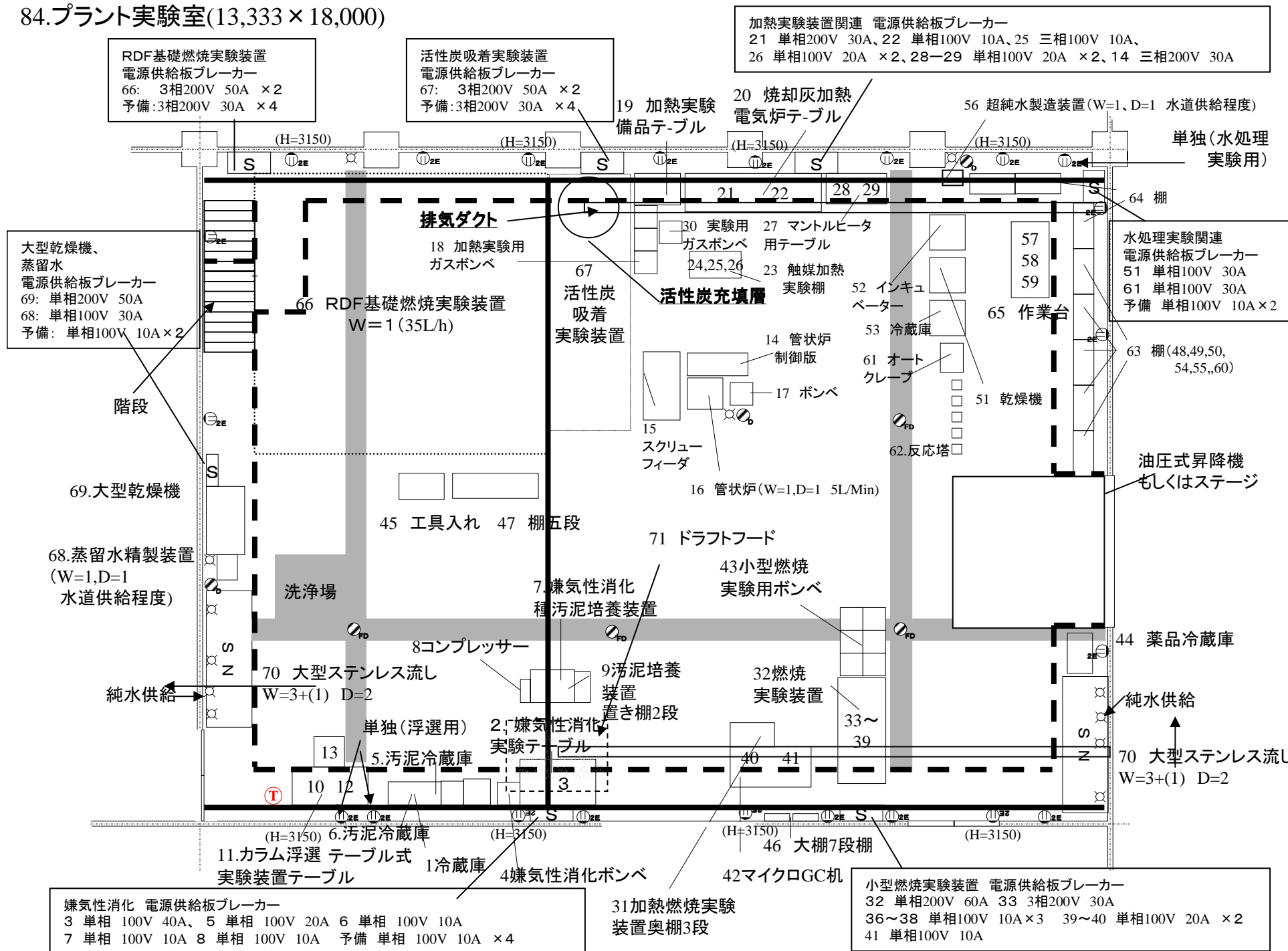
室外機屋外へ

縮尺 1/50

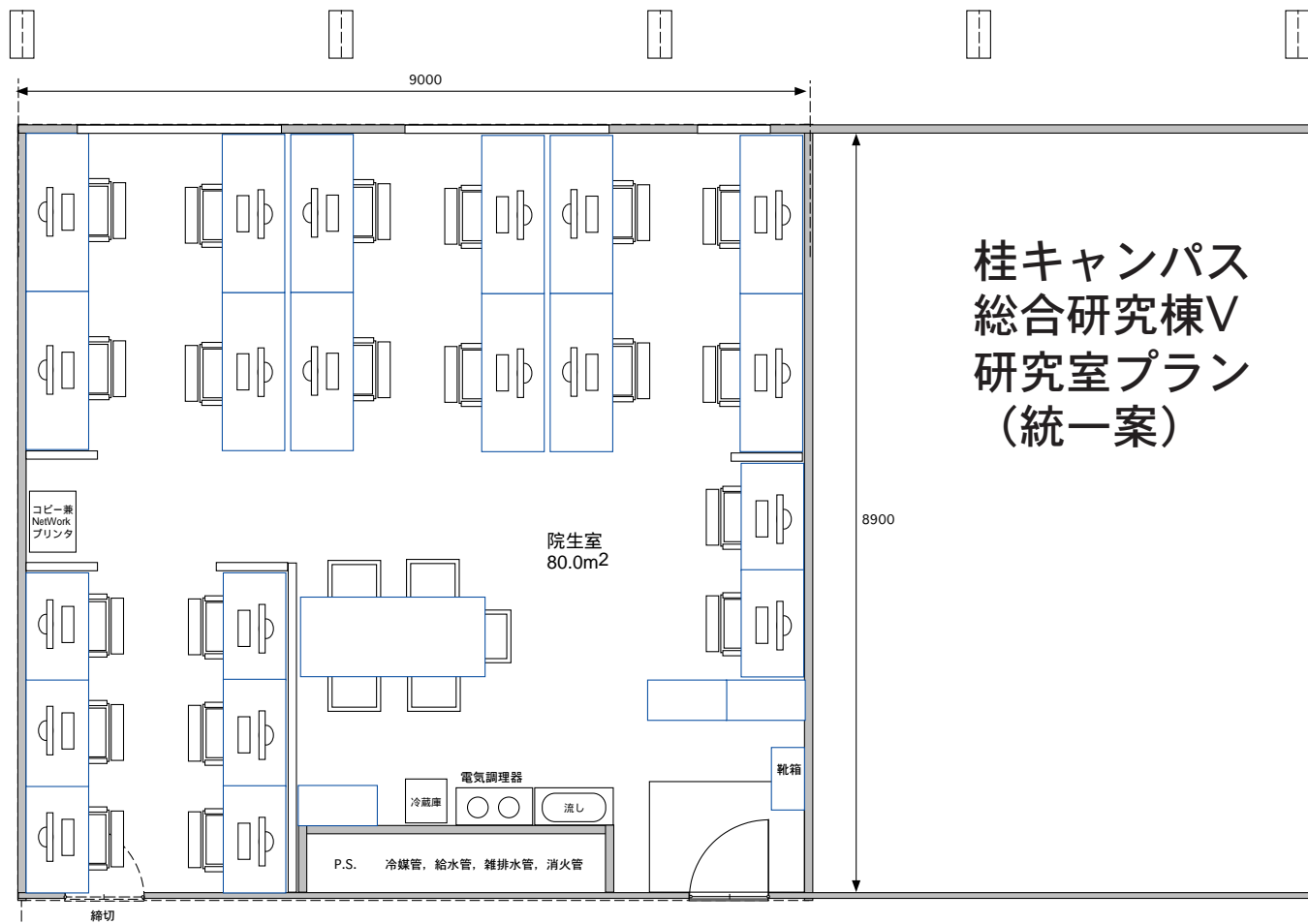
- 7 8 低温環境実験室
- 7 9 常温環境実験室
- 8 0 中温環境実験室
- 8 1 恒温環境実験室

参考

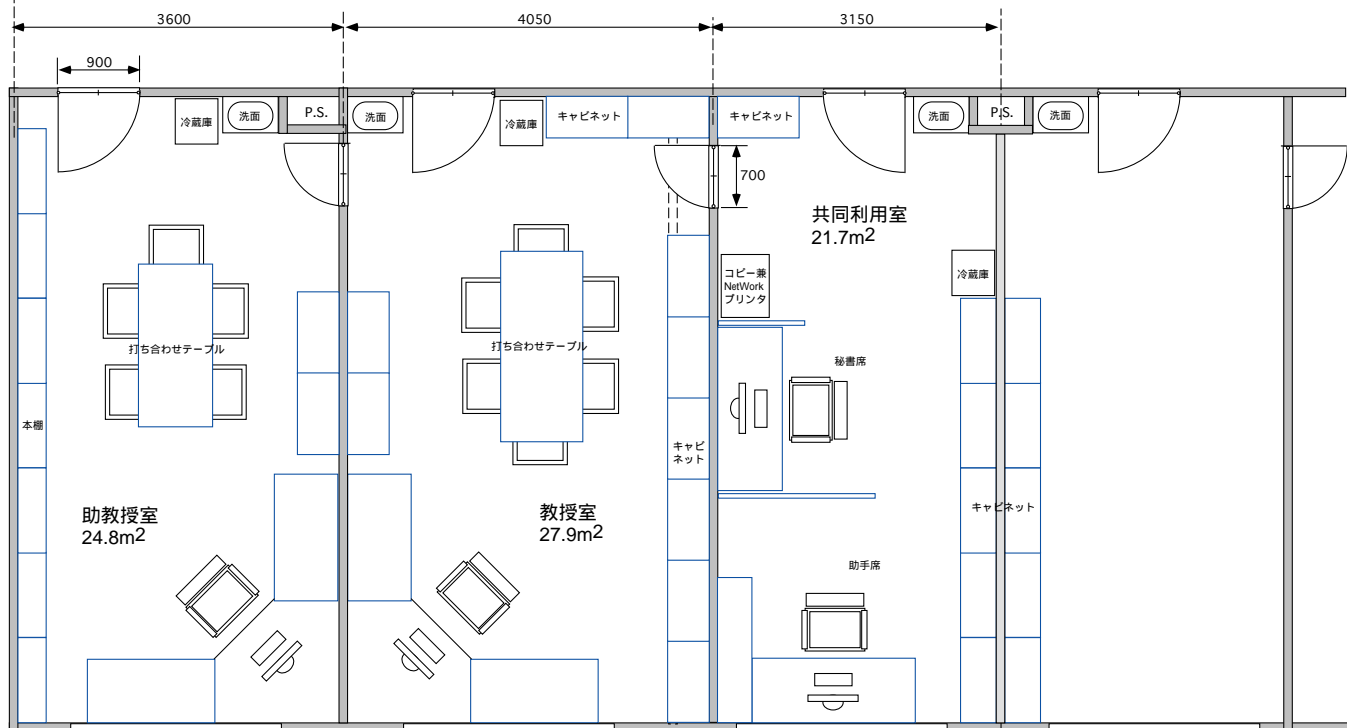
# 84.プラント実験室(13,333×18,000)



参考



桂キャンパス  
総合研究棟V  
研究室プラン  
(統一案)



参考